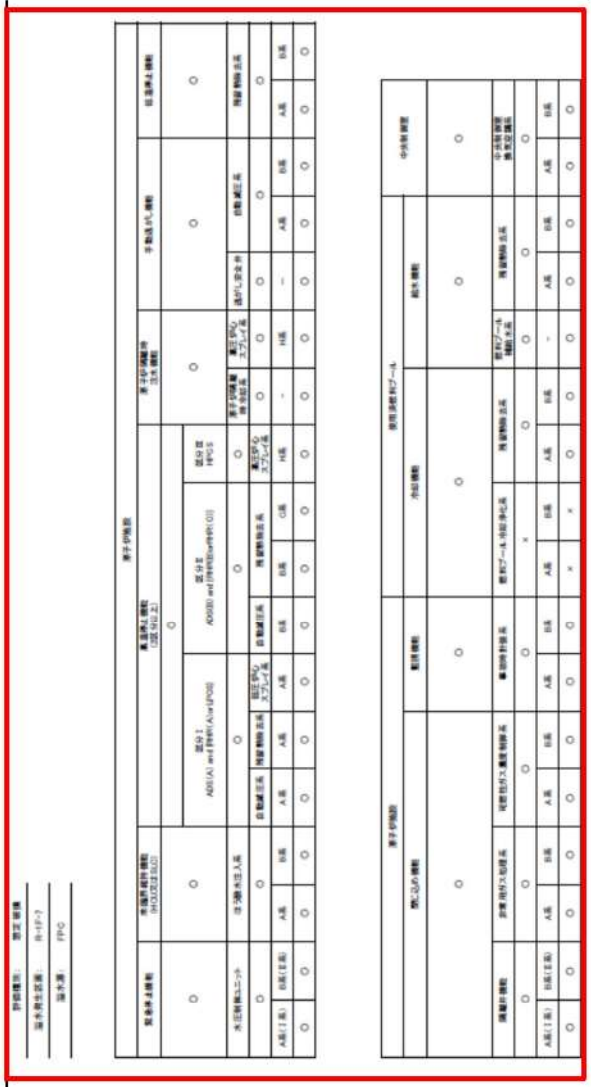
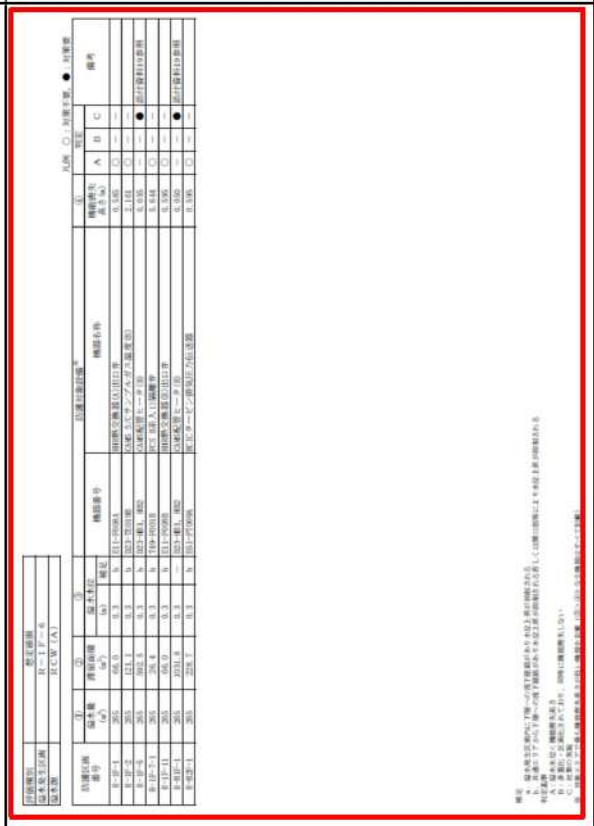
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

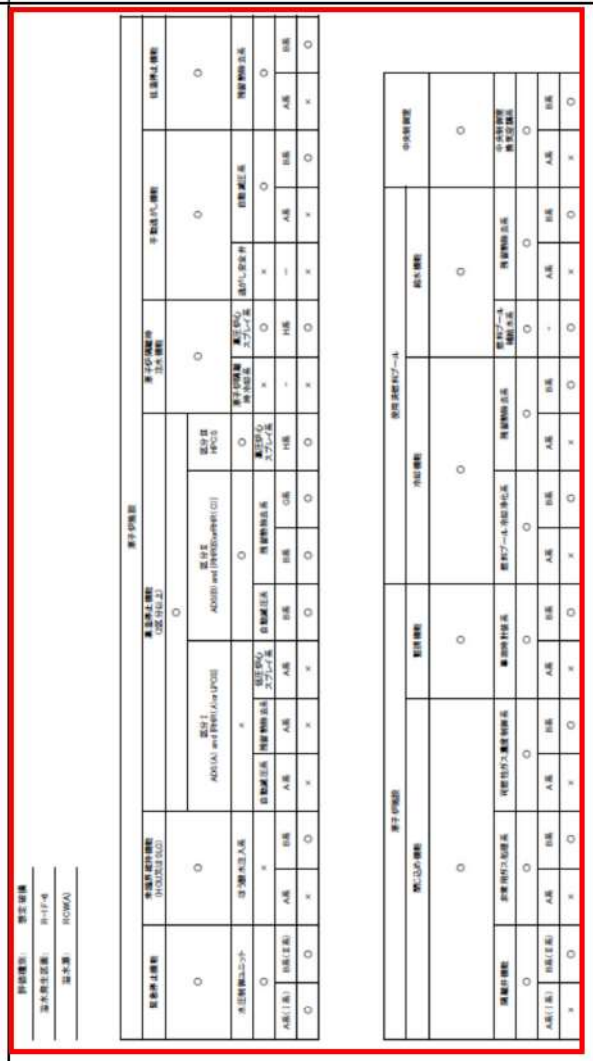
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

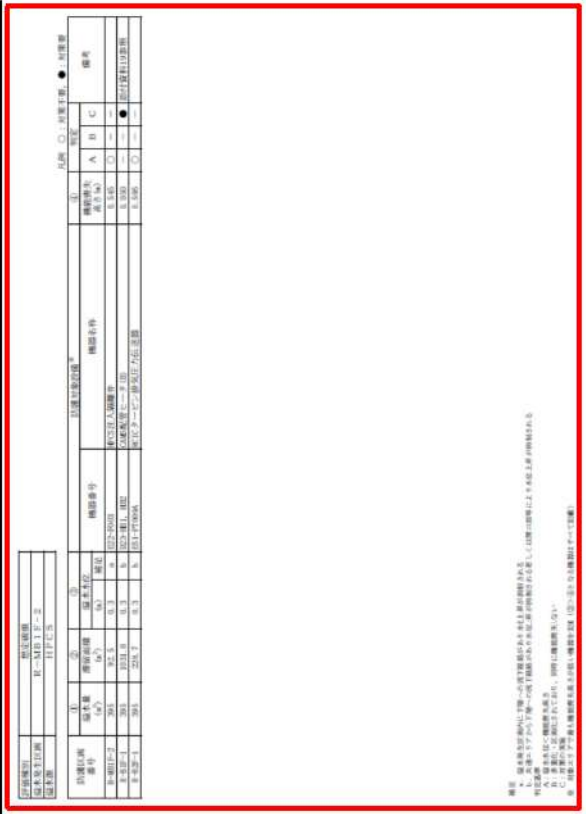
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

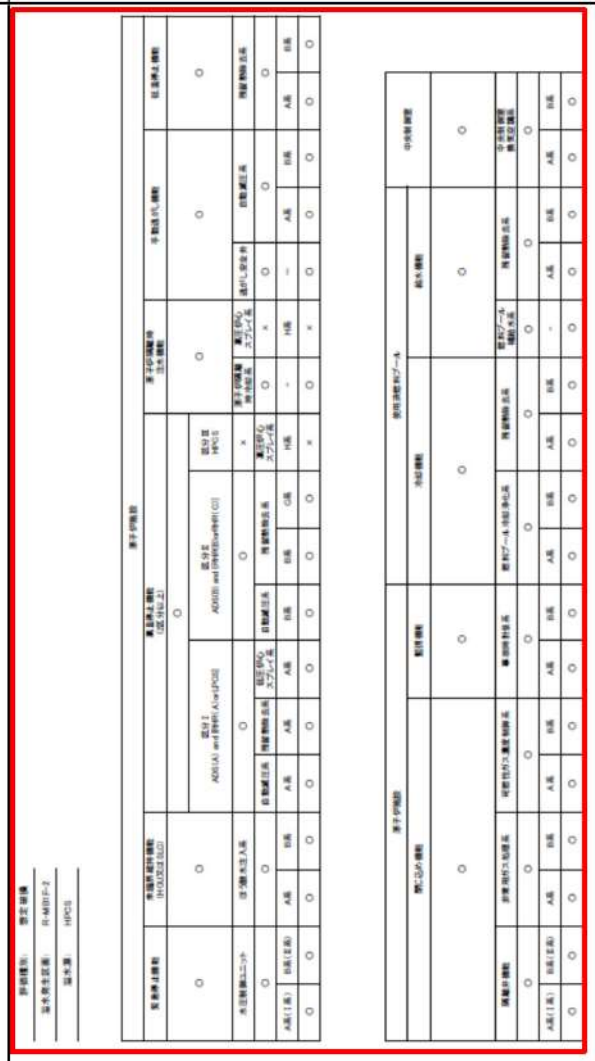
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

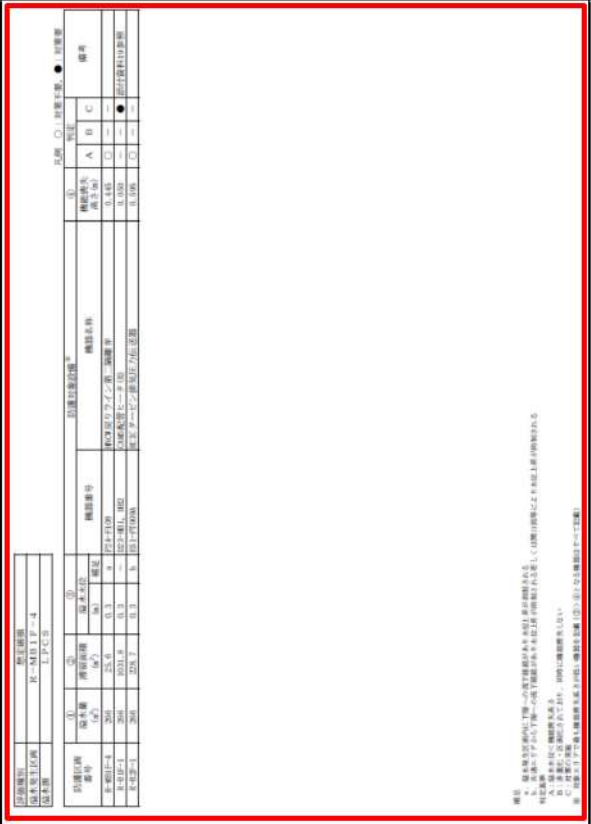
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

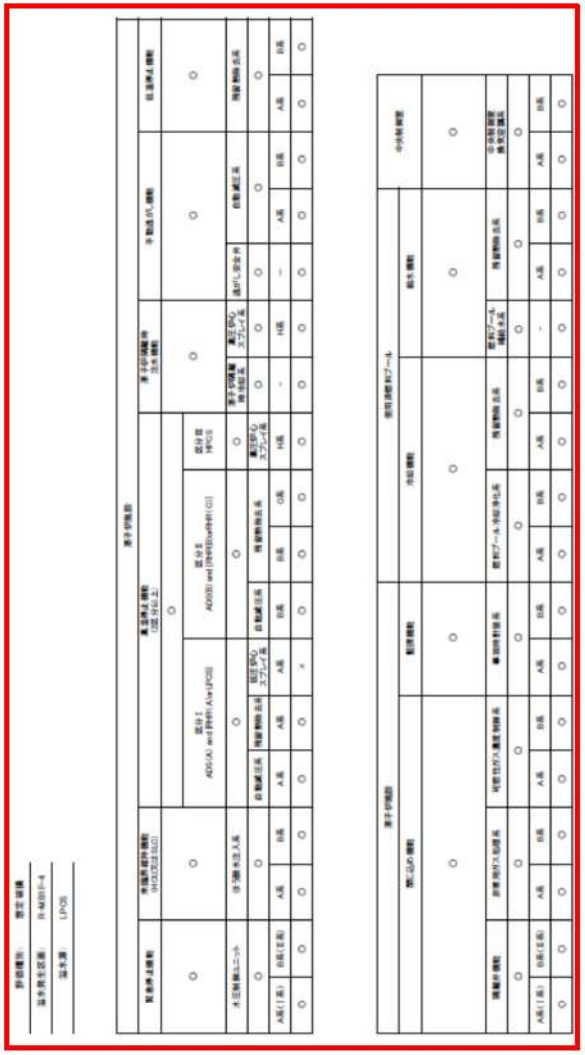
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

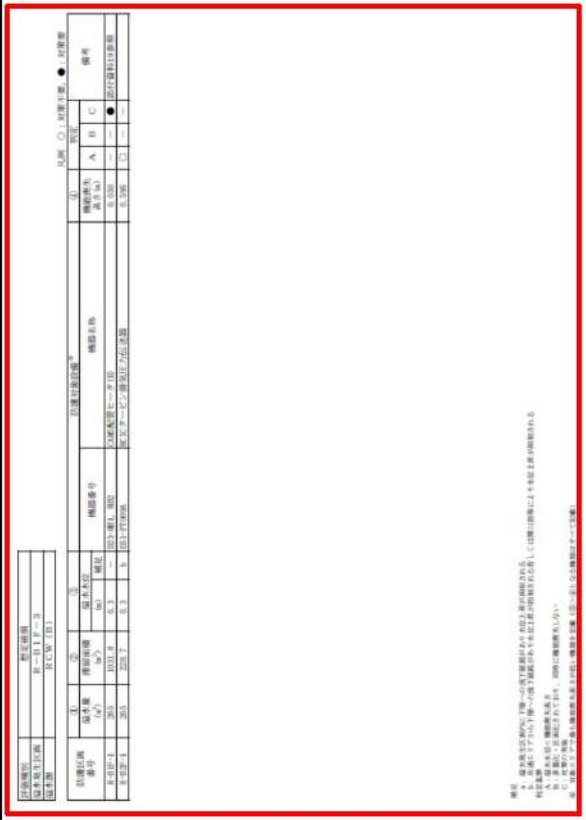
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

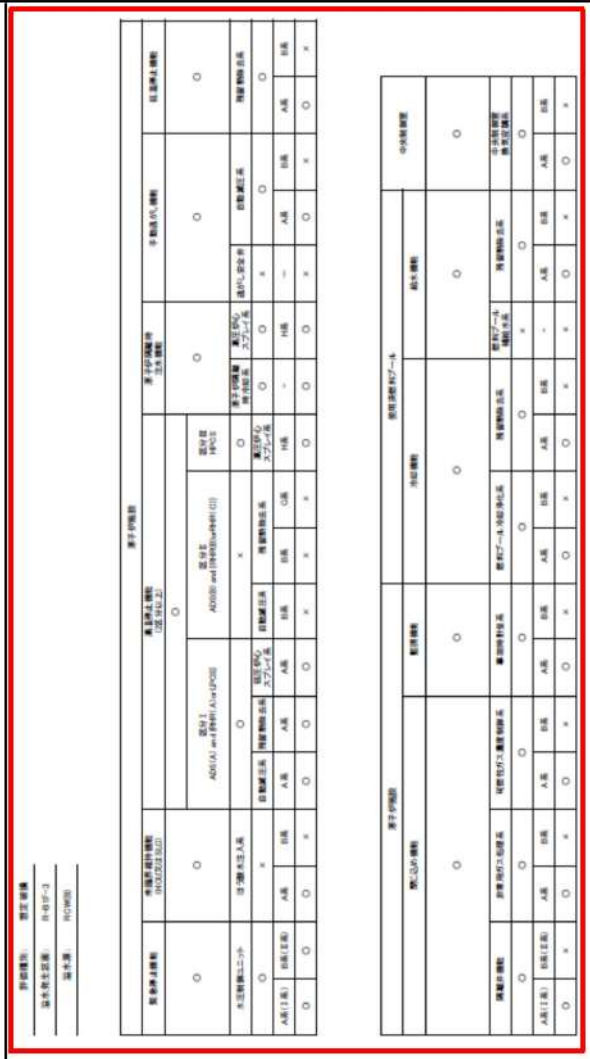
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

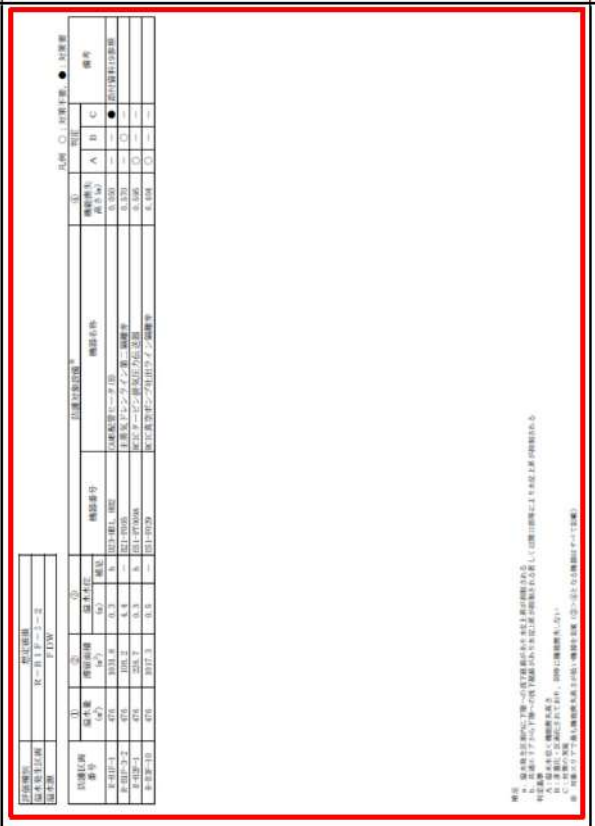
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

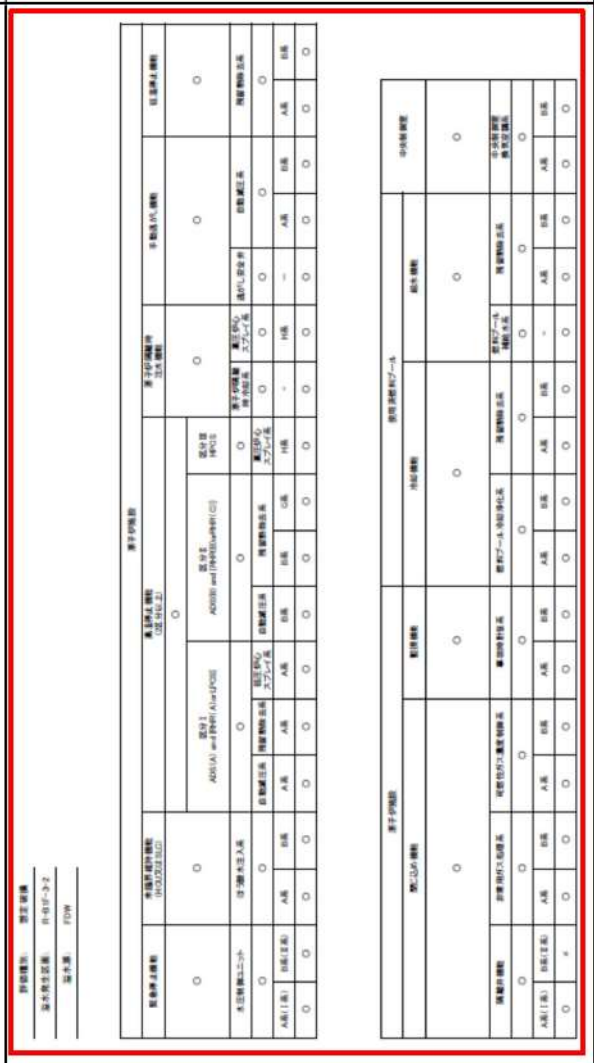
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

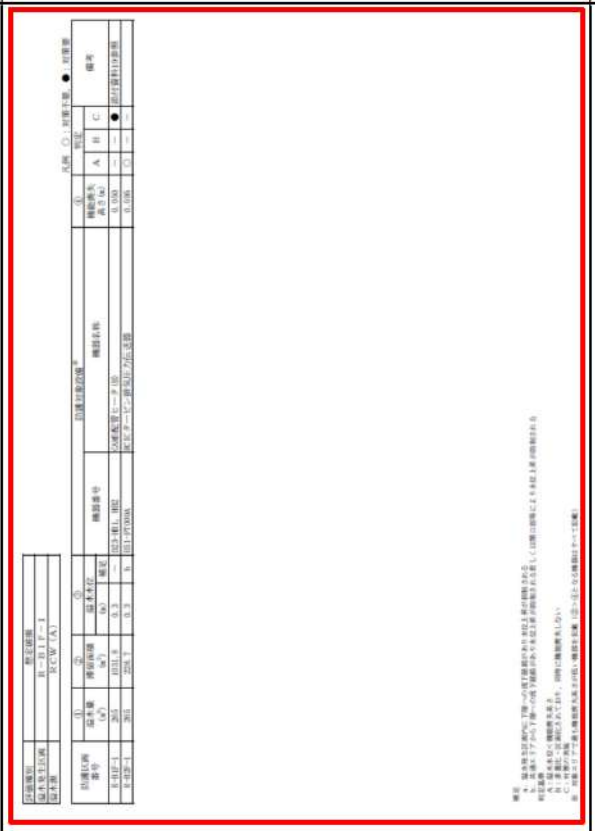
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

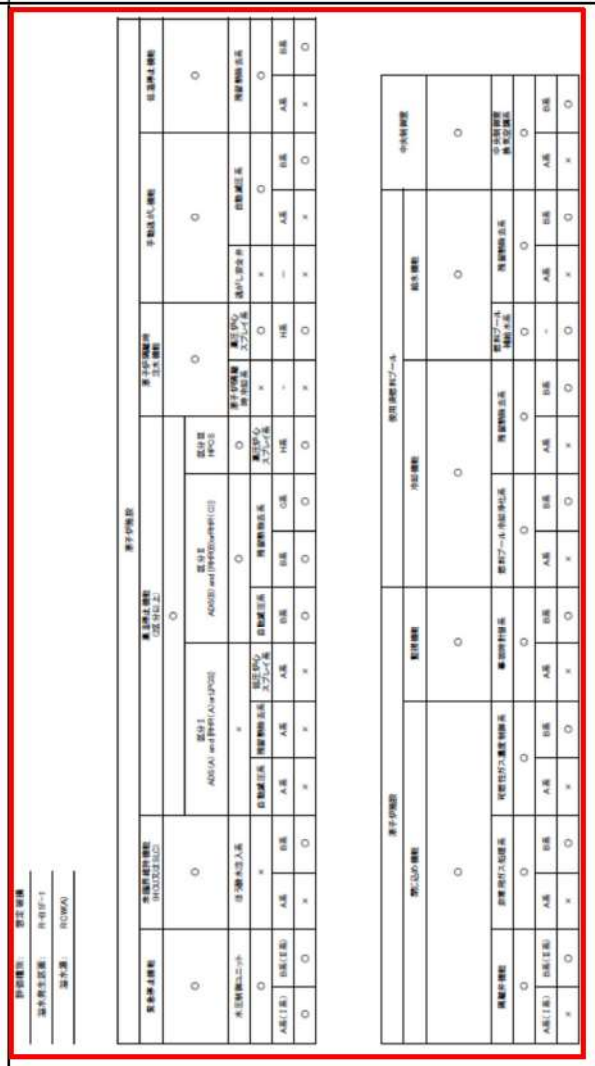
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

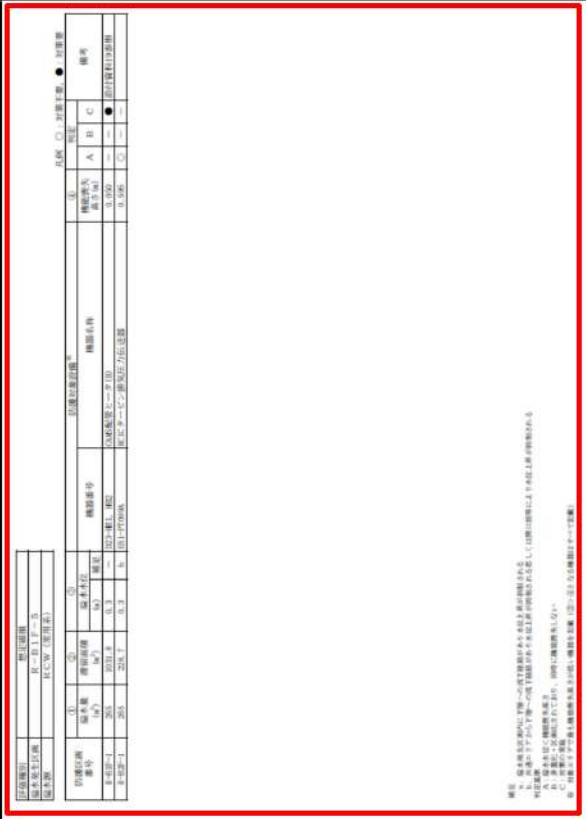
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

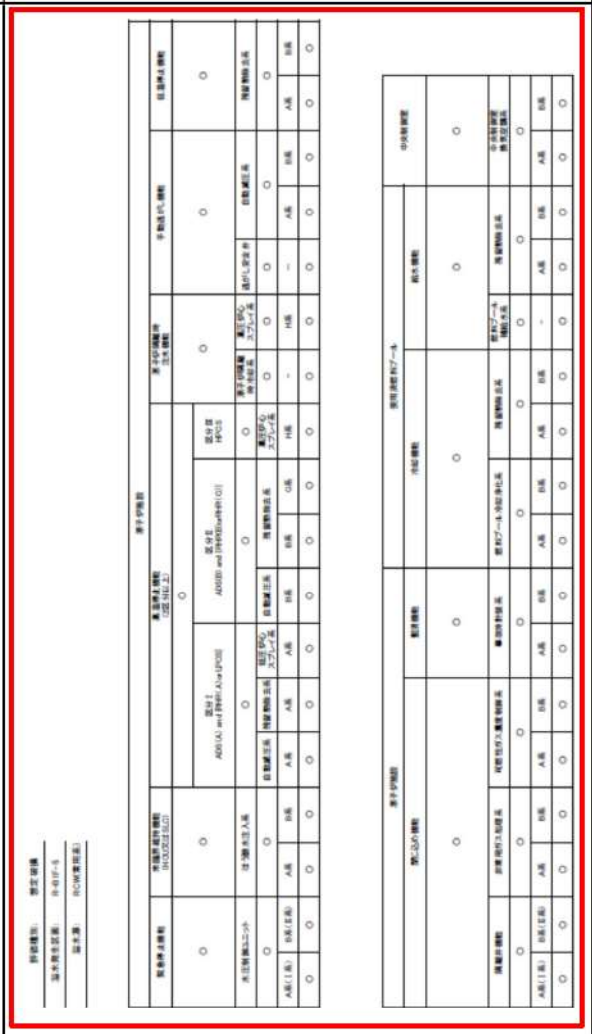
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

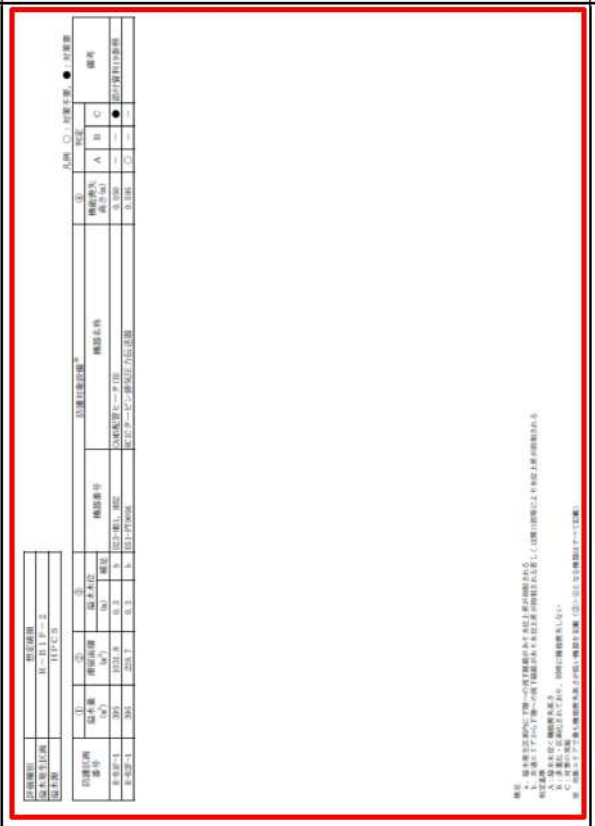
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

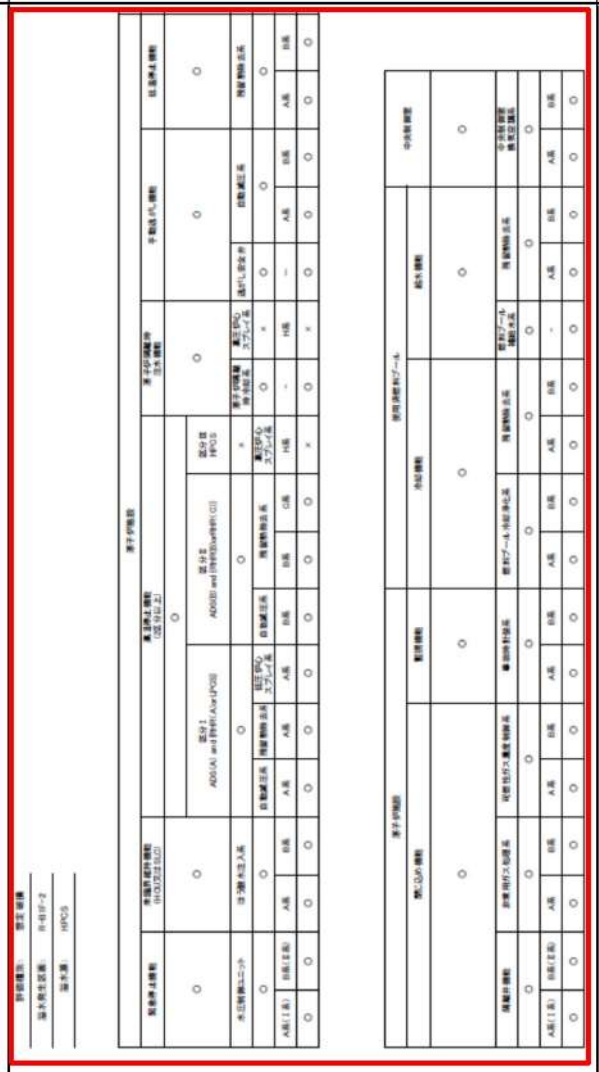
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

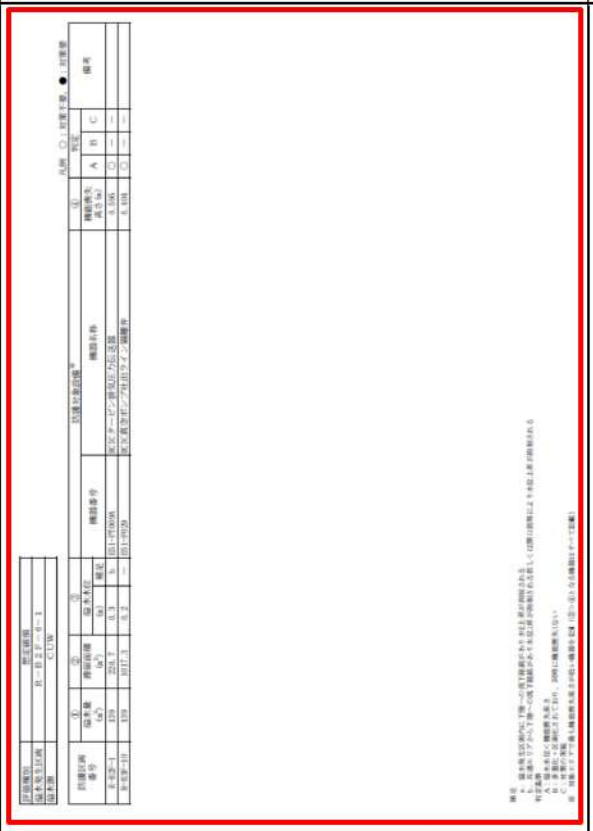
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

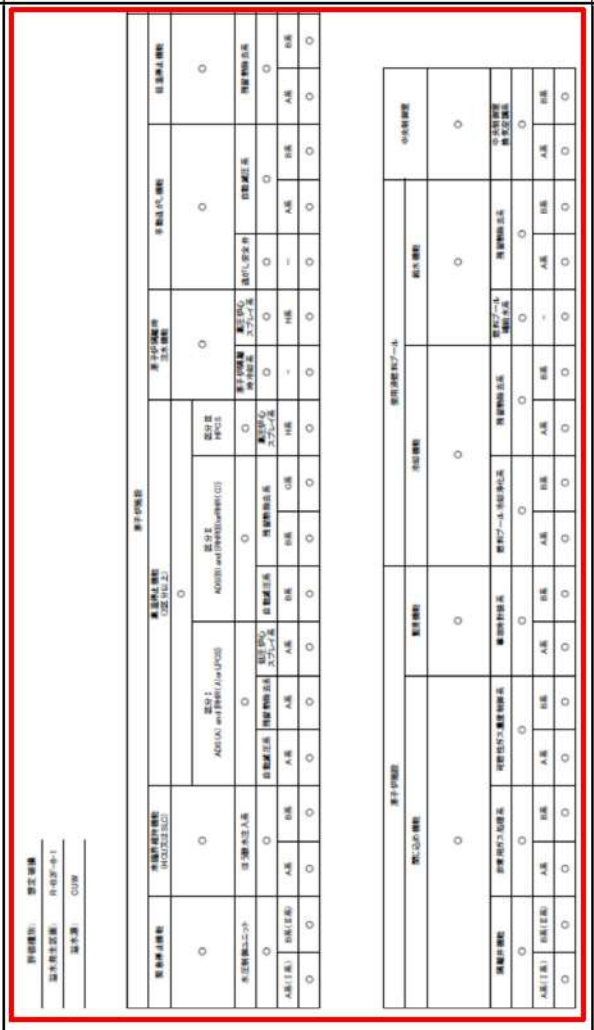
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

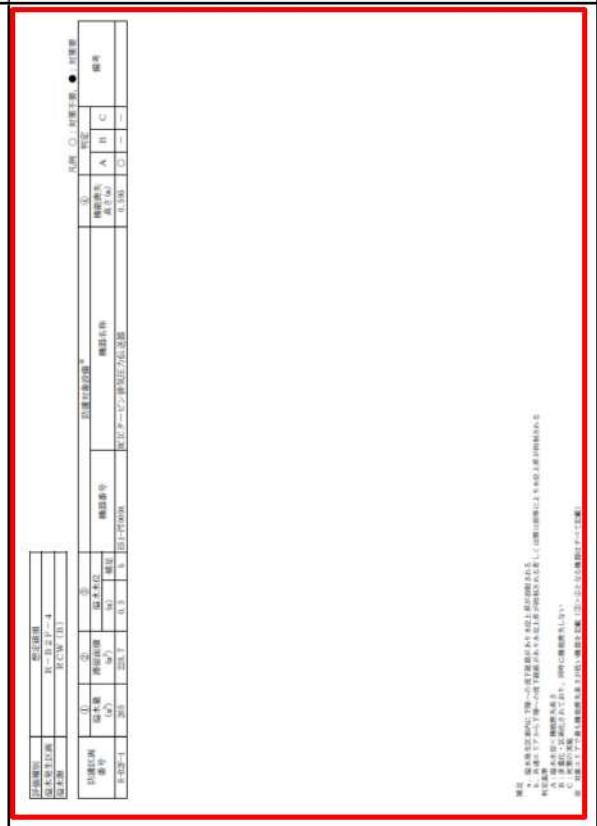
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

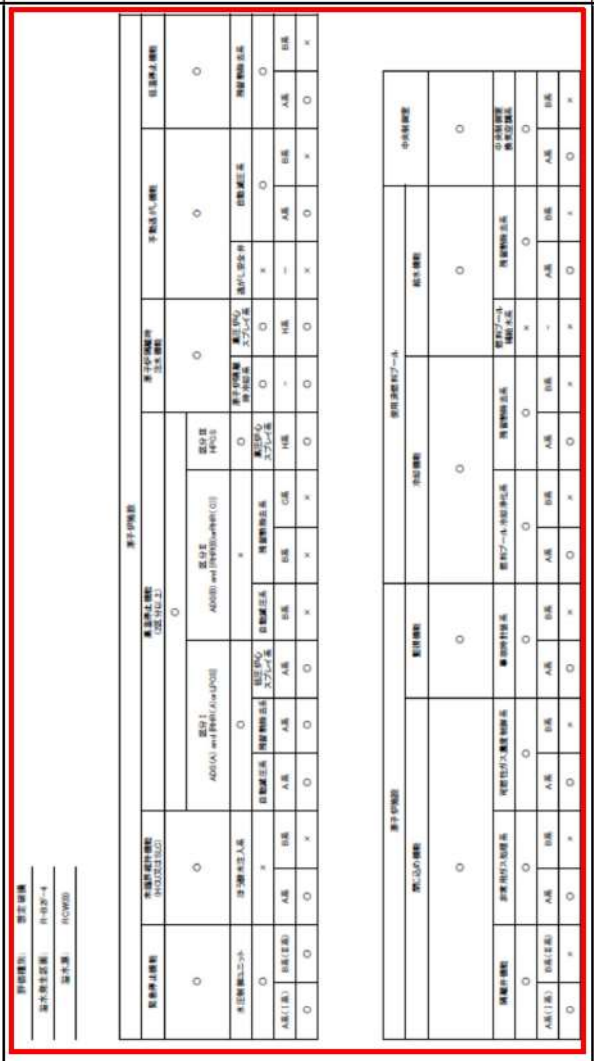
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

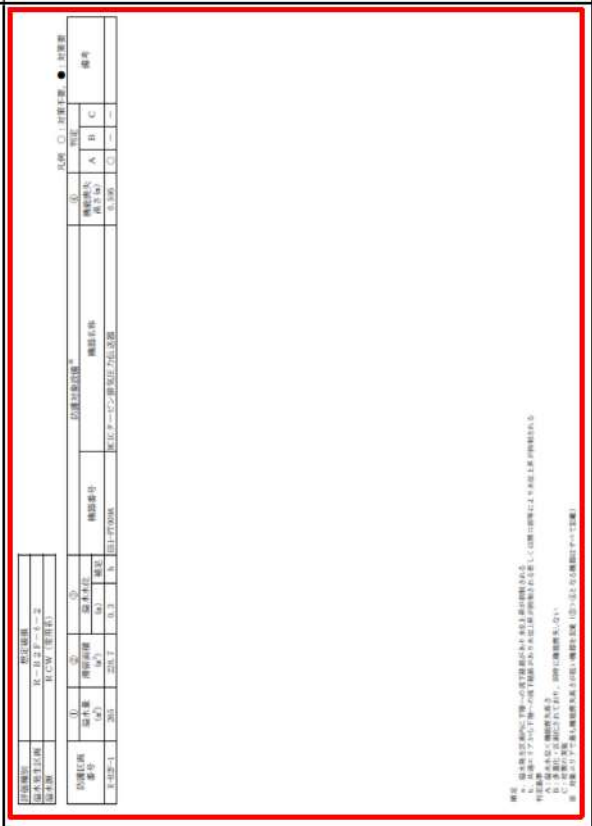
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

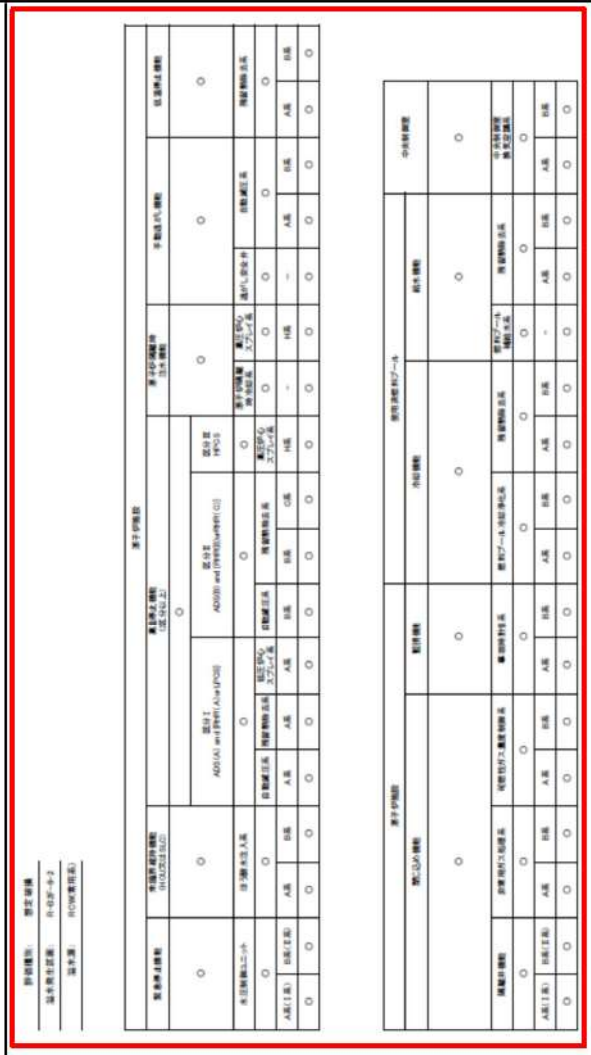
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

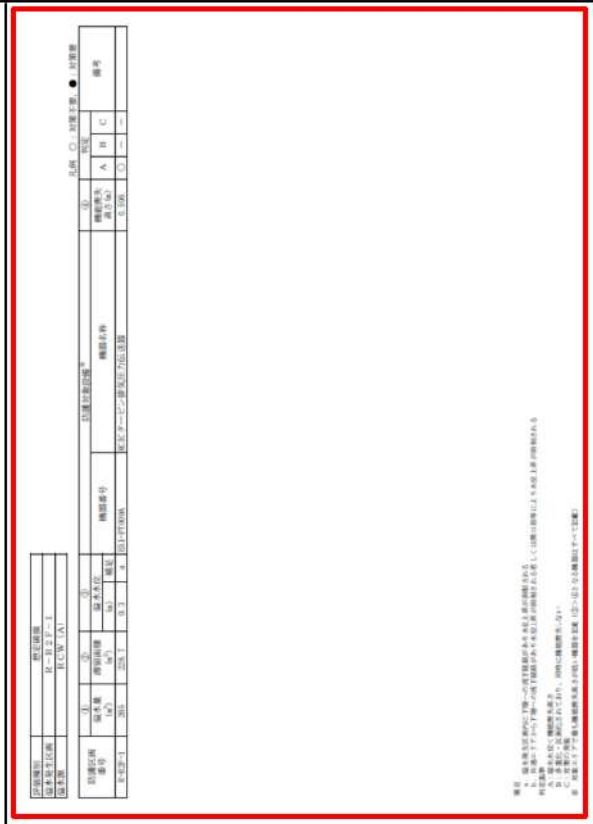
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

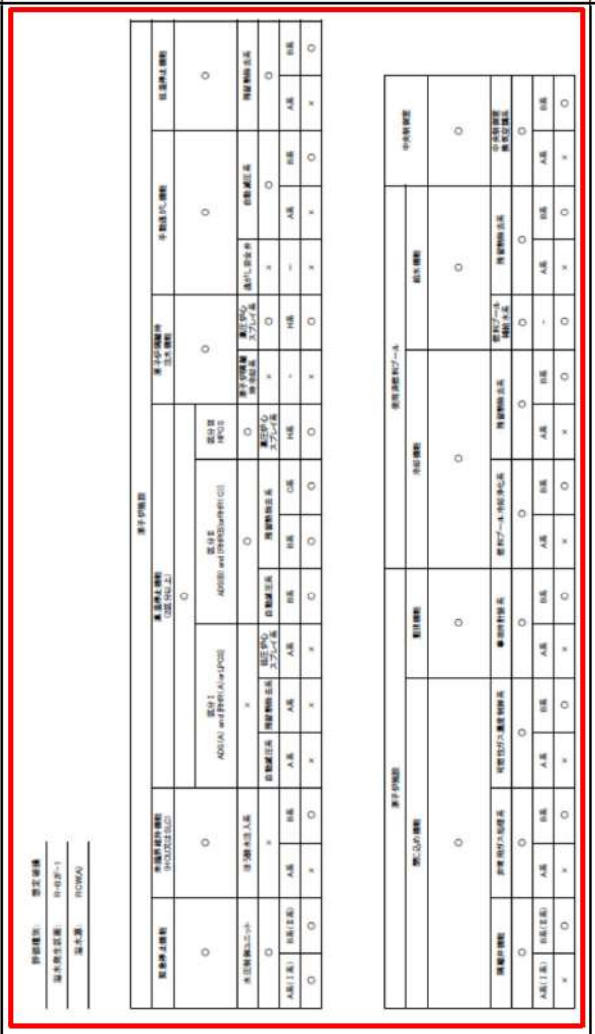
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

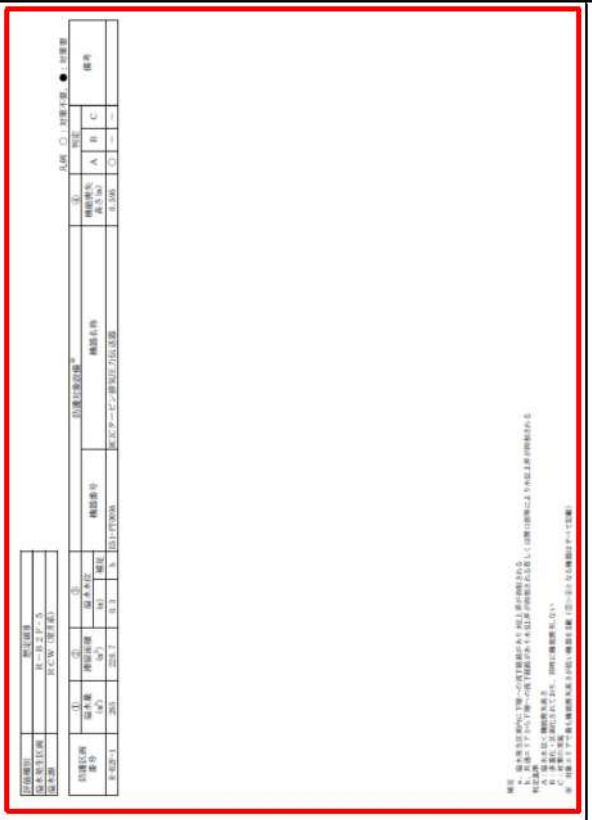
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

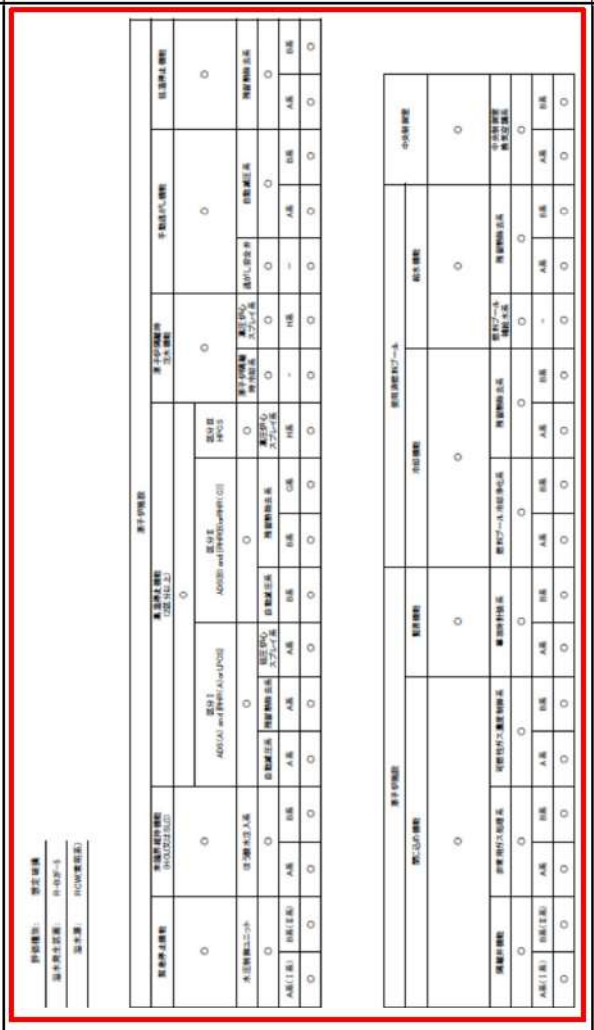
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

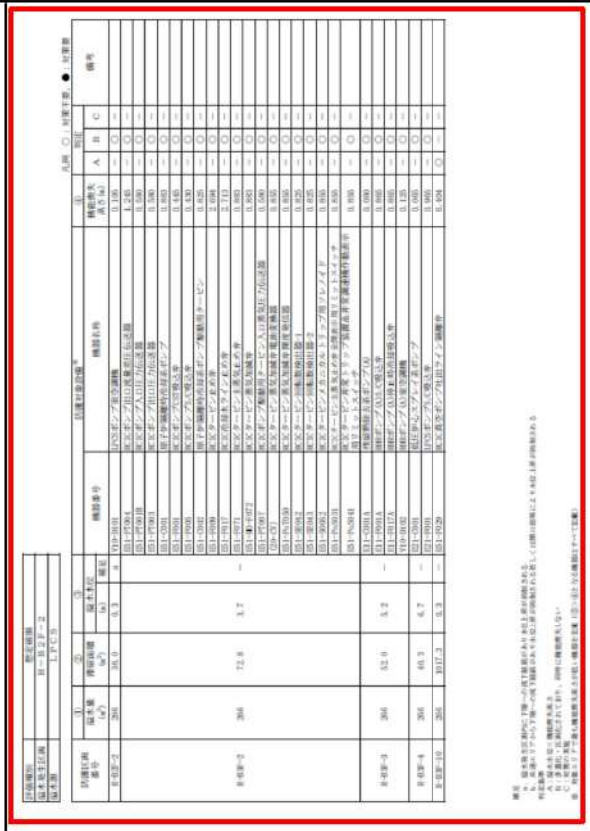
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

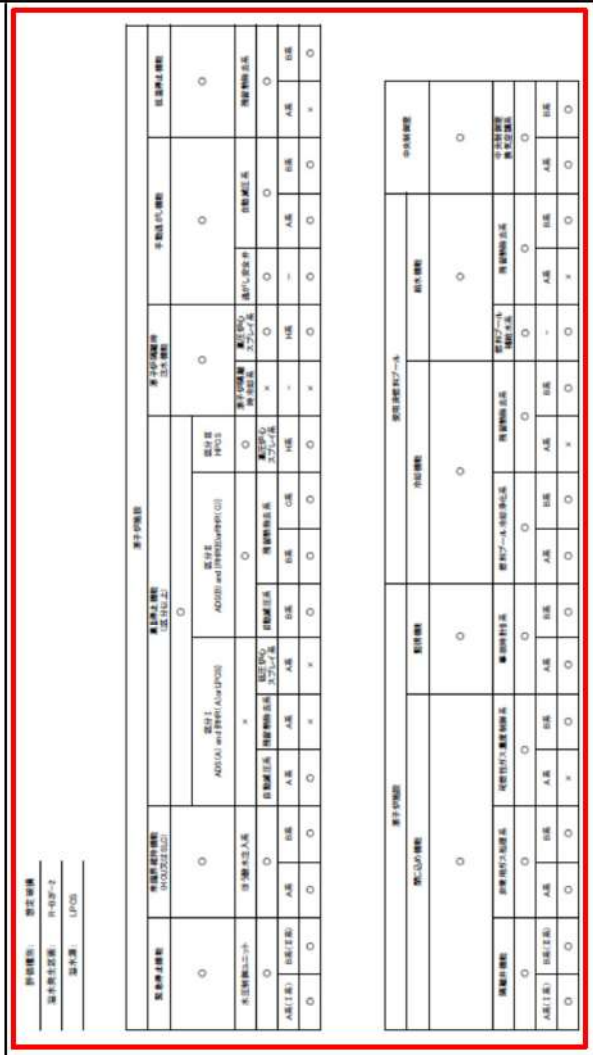
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

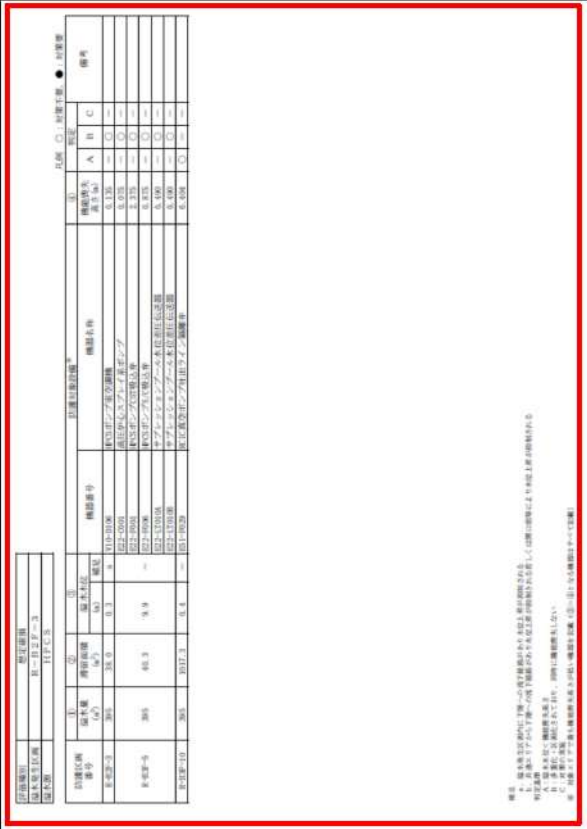
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

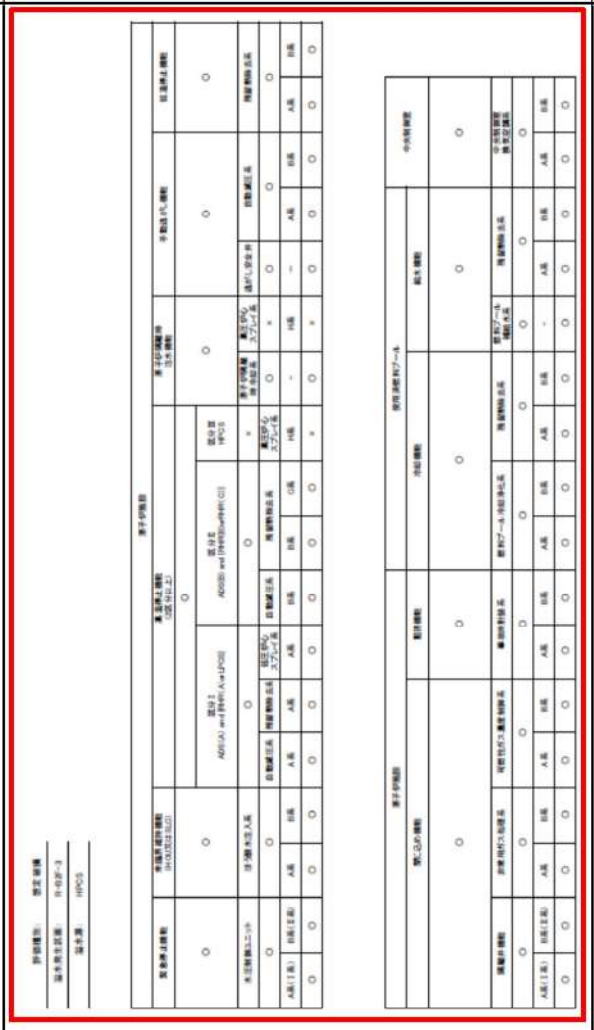
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

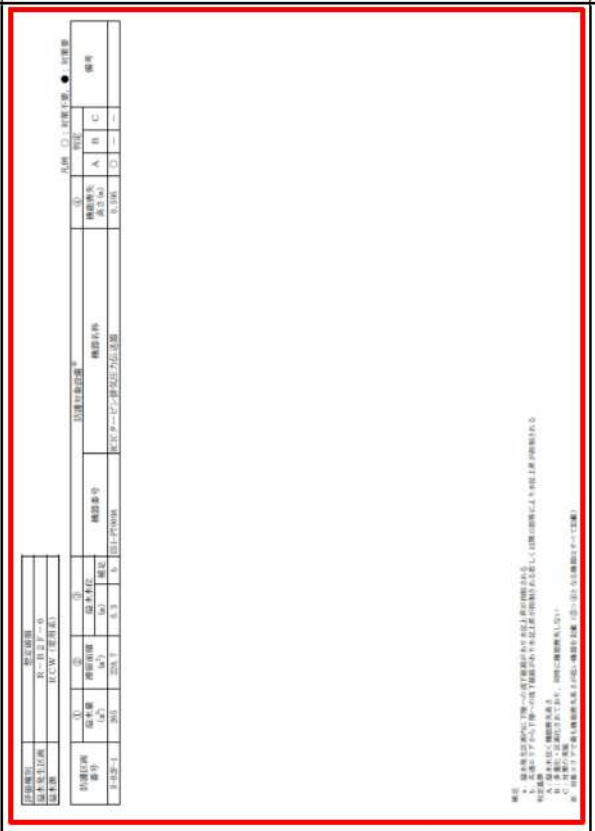
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

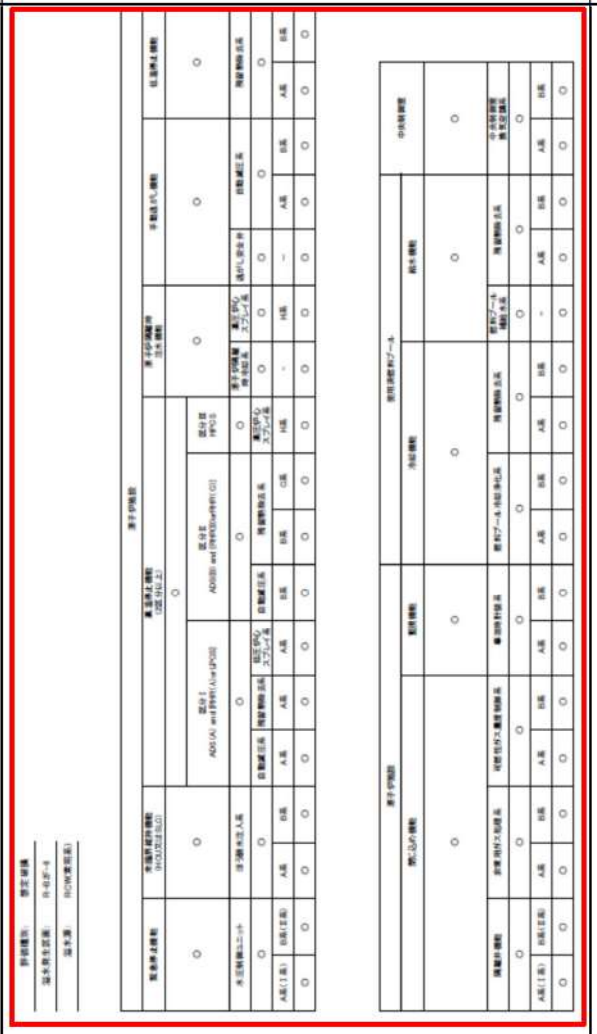
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

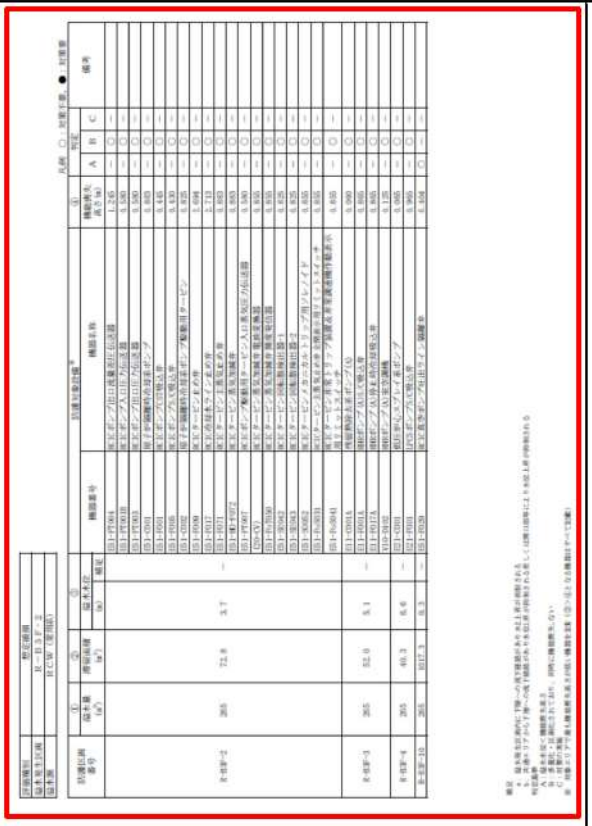
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

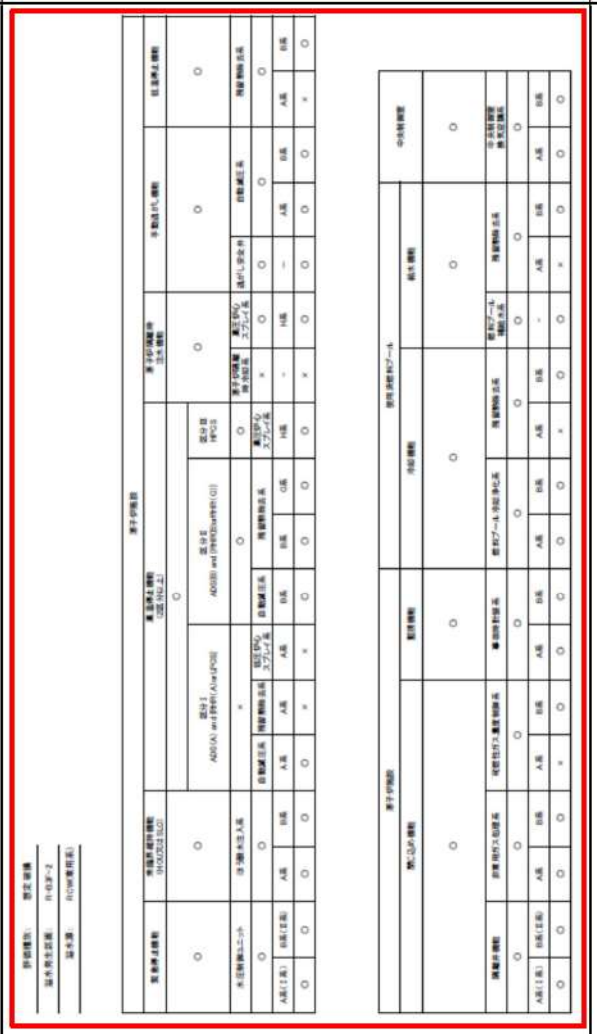
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

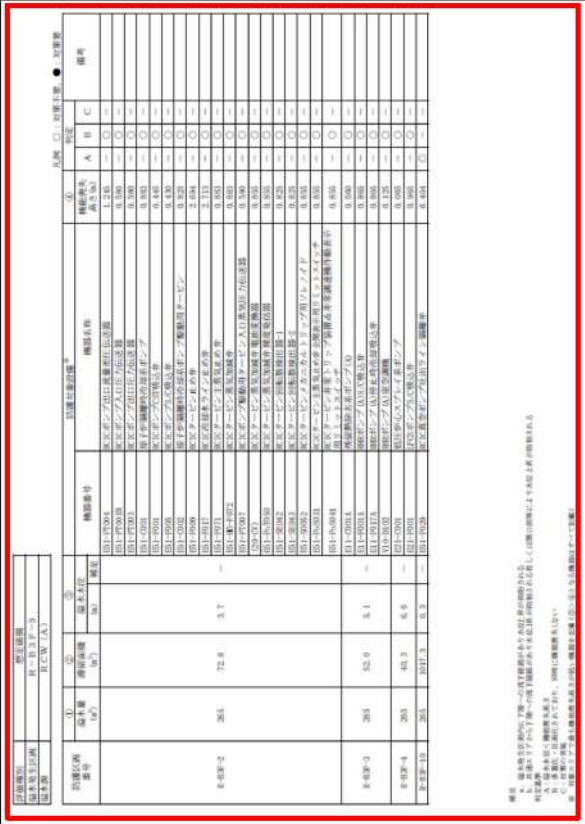
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

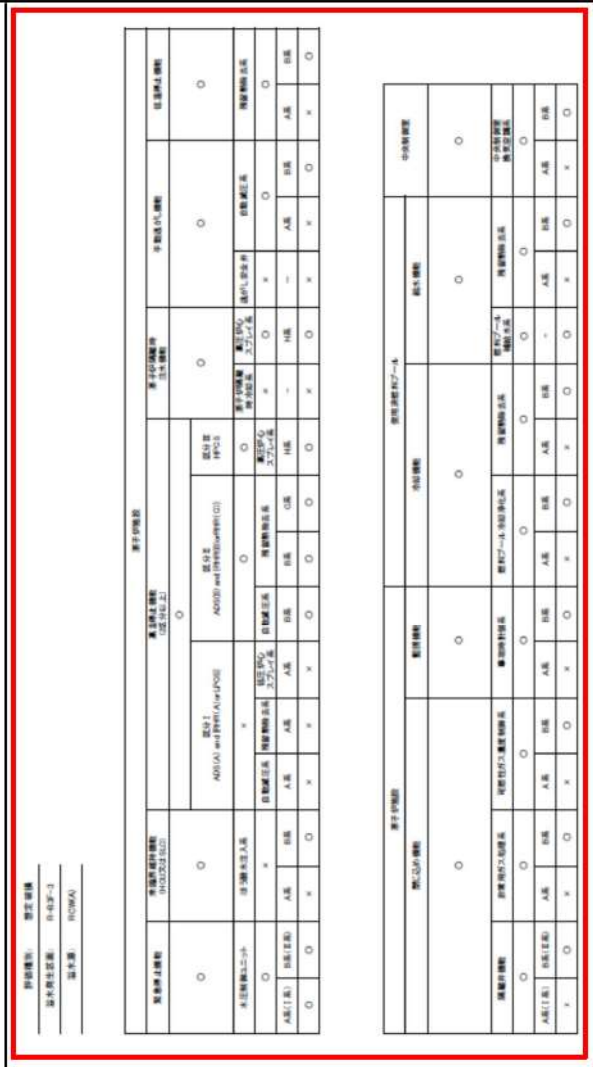
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

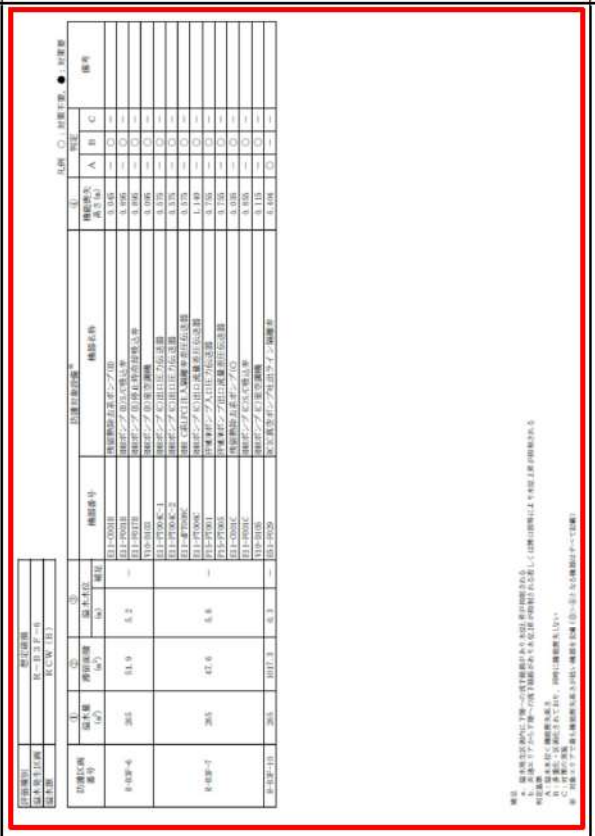
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

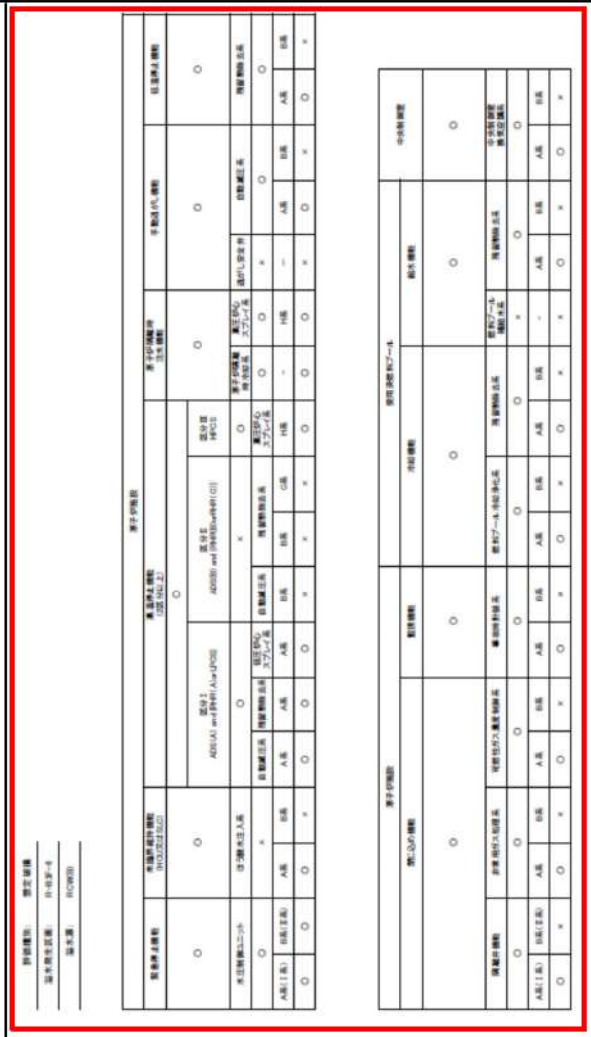
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

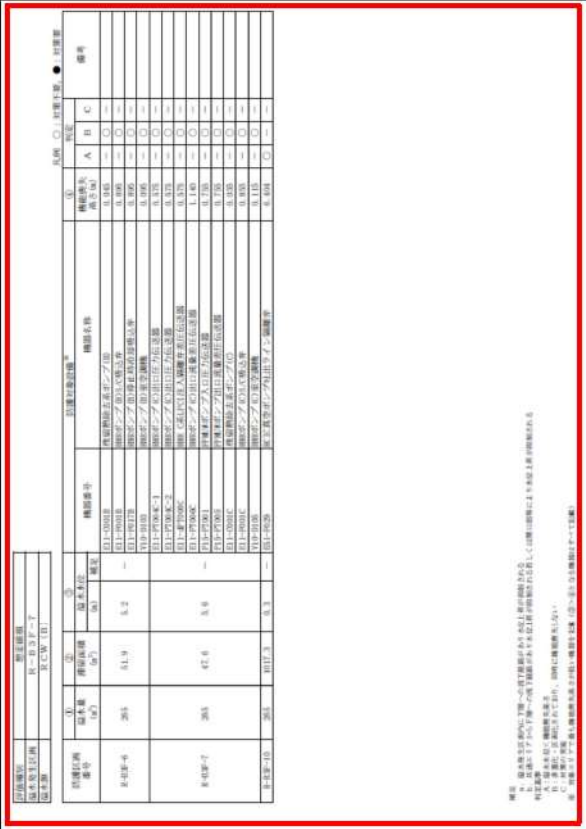
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

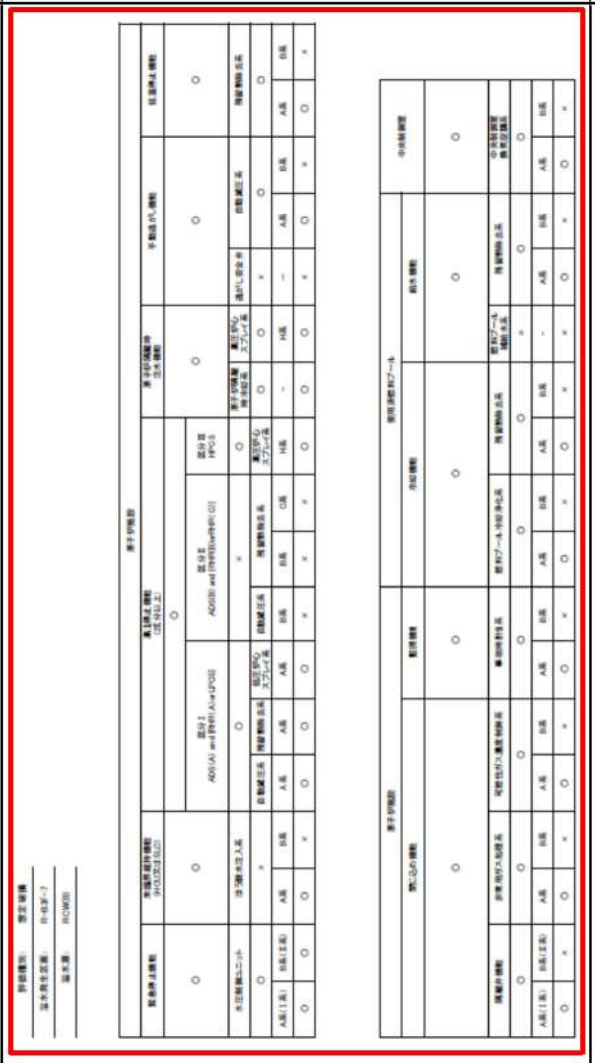
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

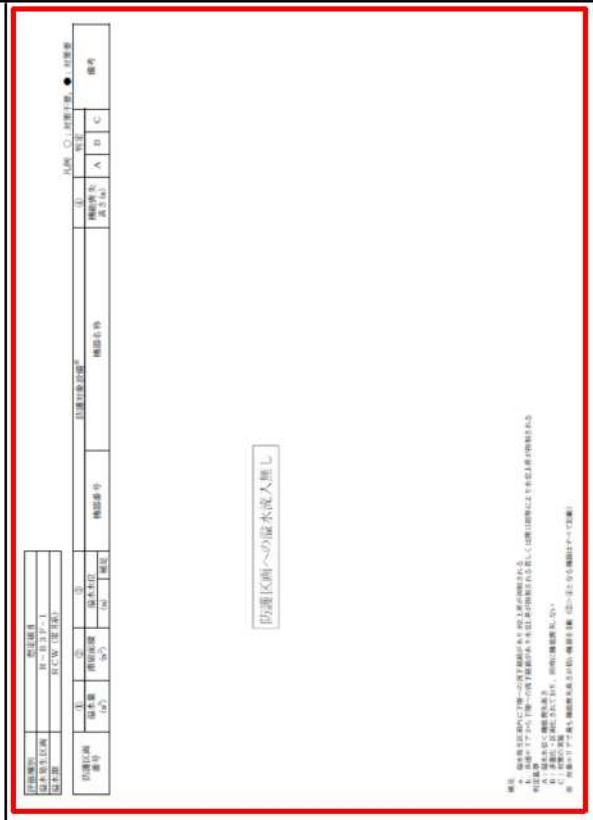
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

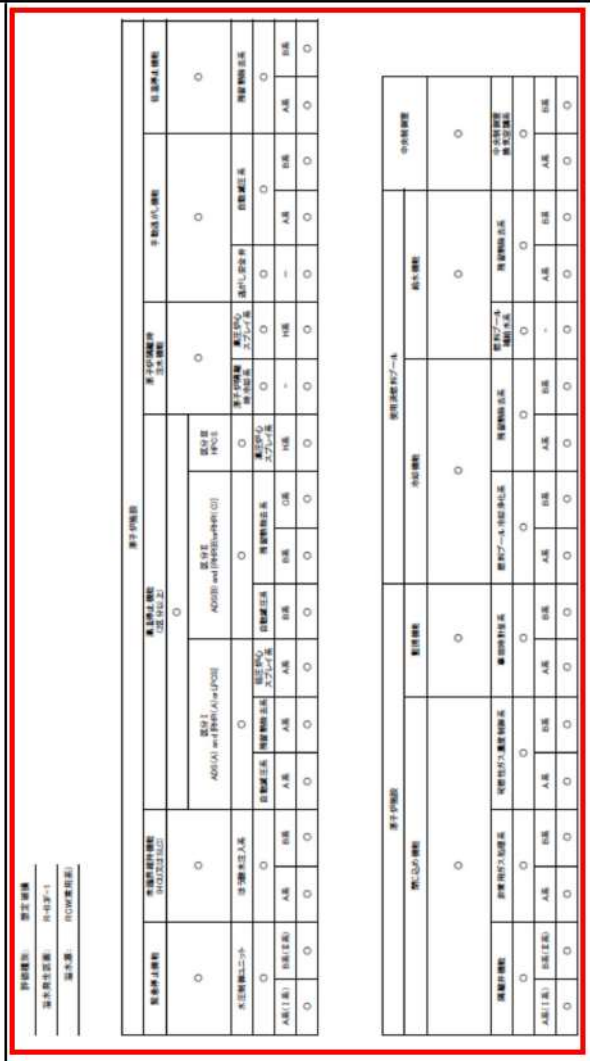
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への流水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

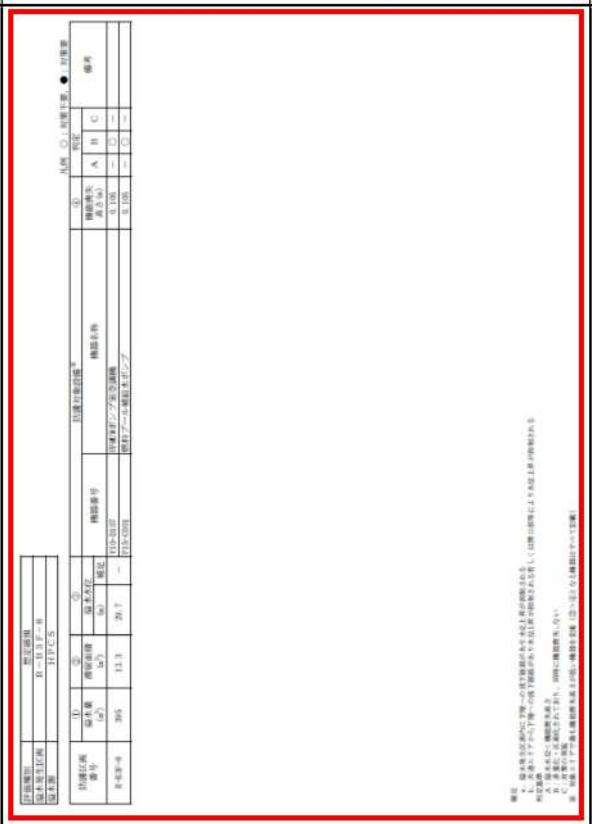
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

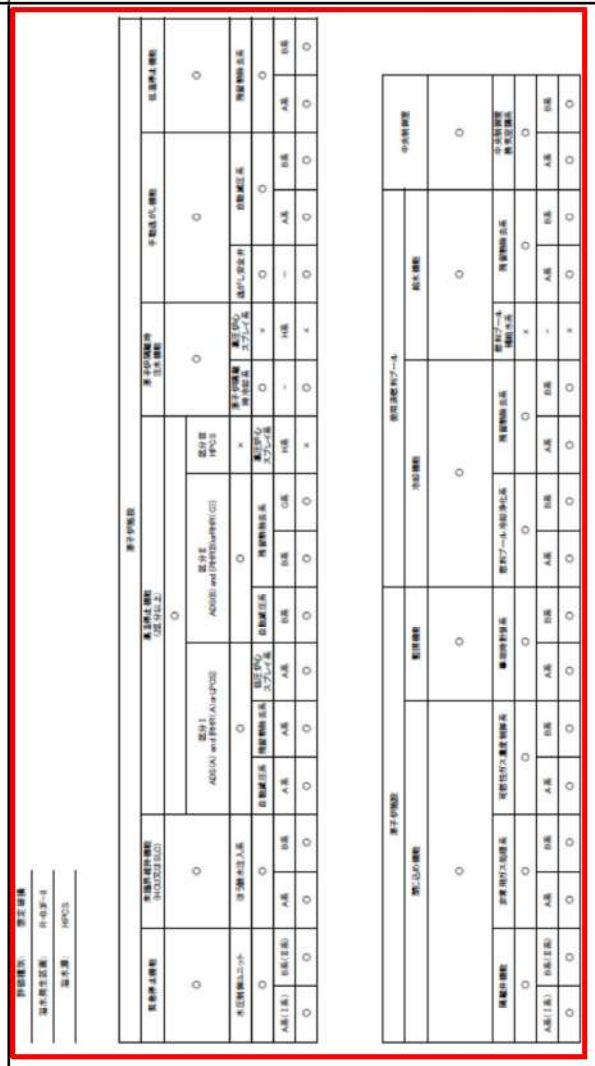
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

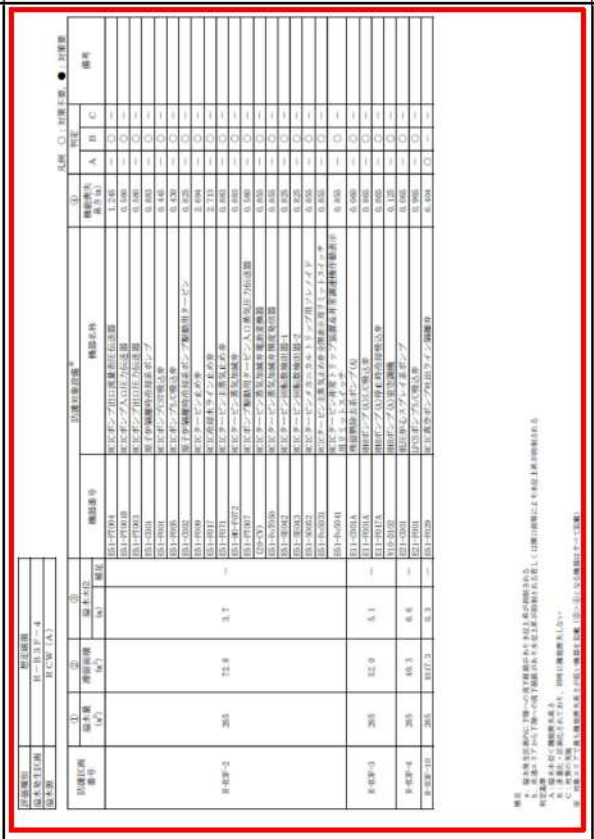
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

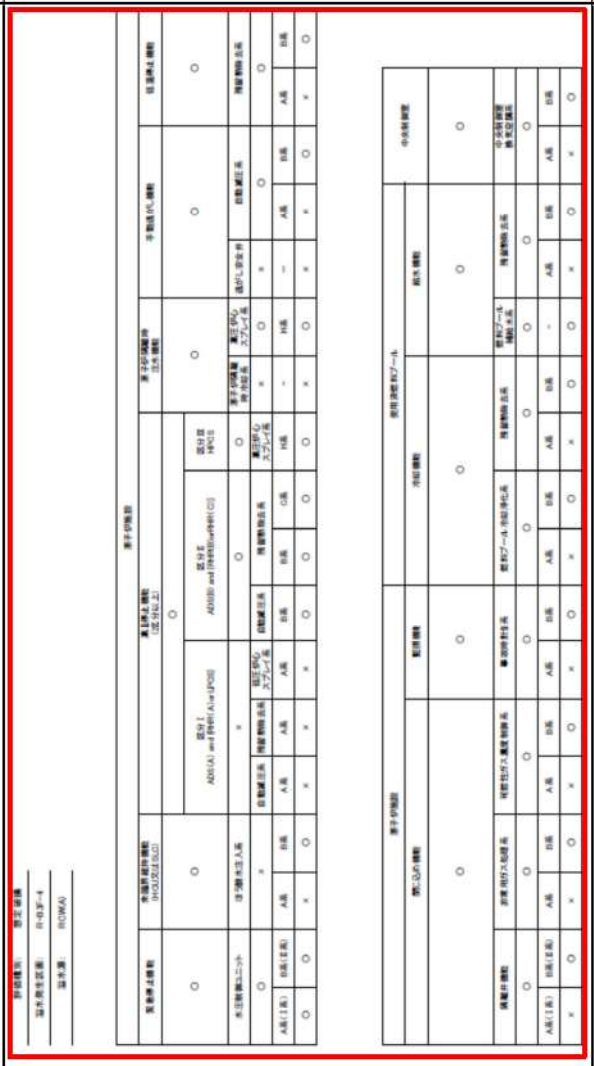
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

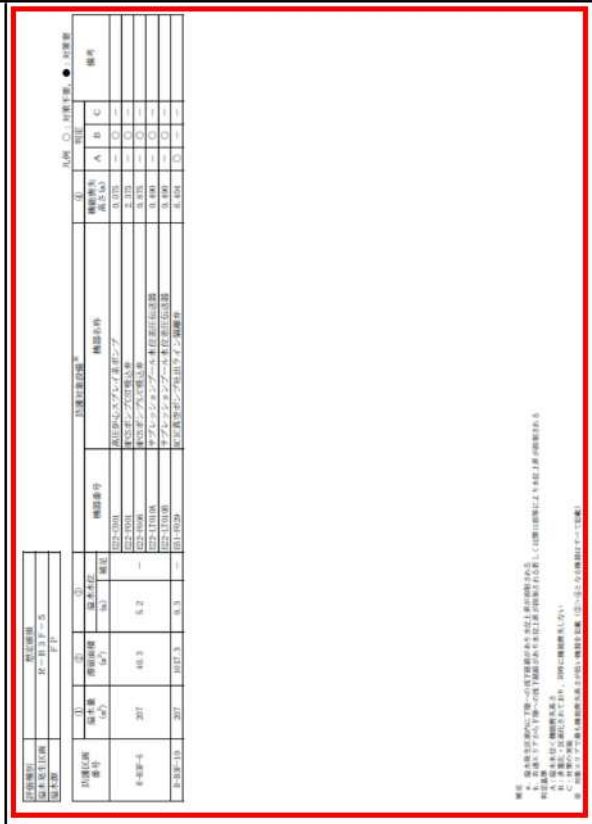
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

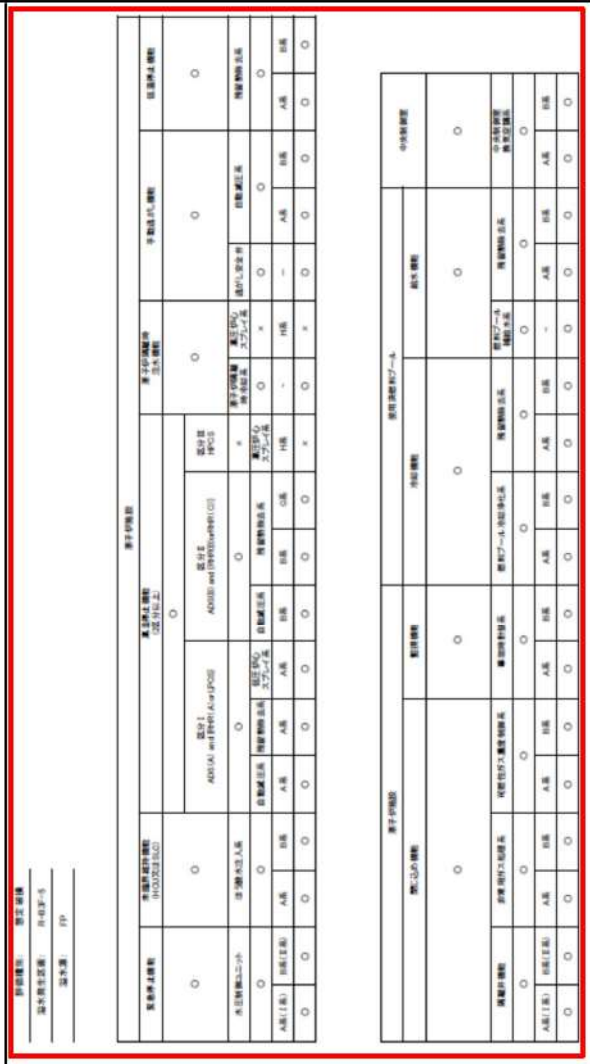
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

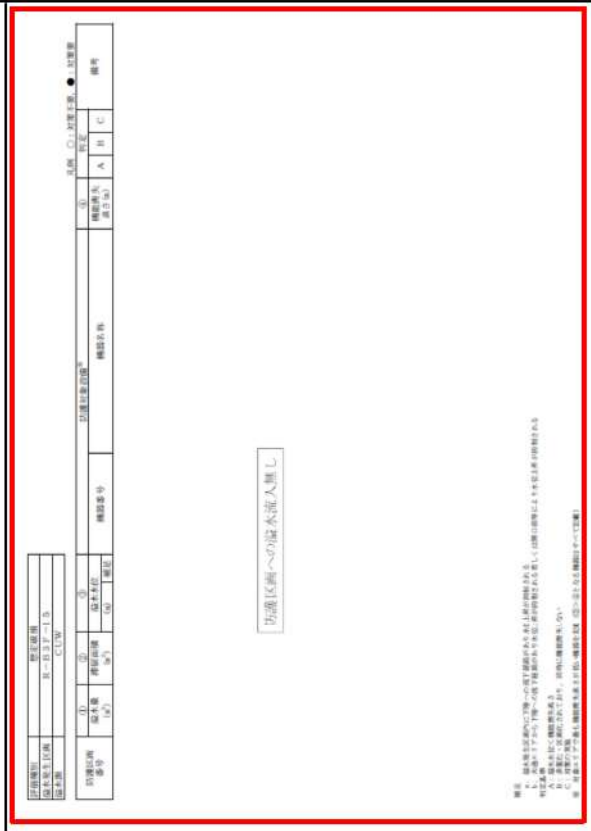
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

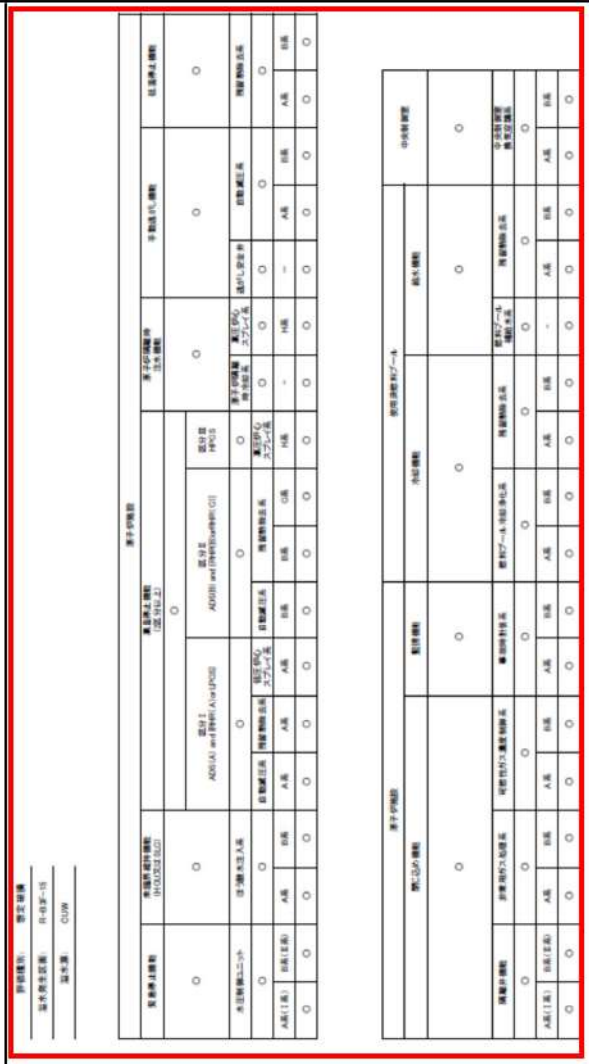
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

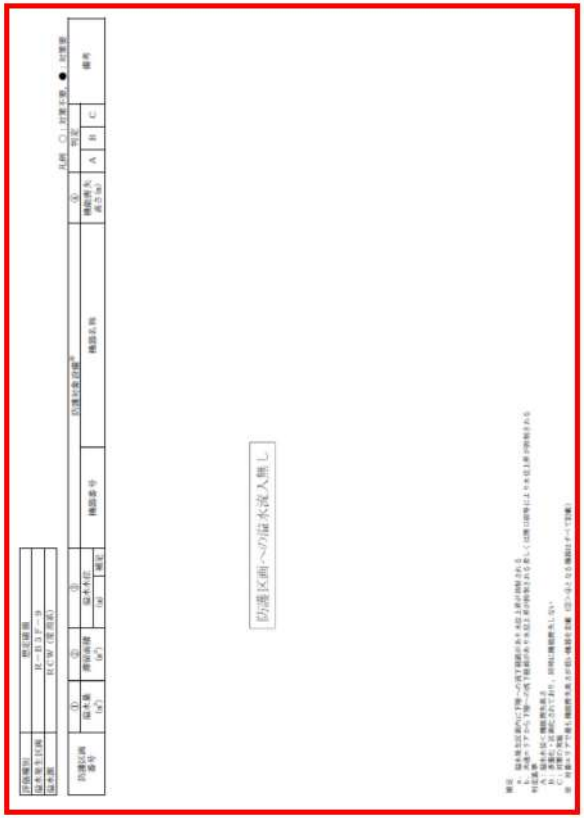
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

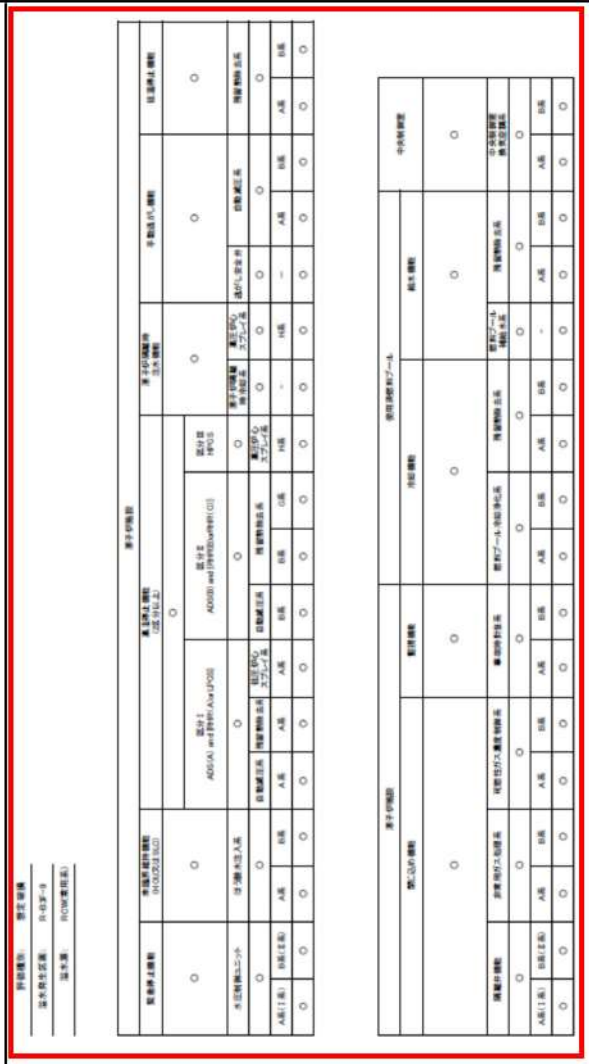
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

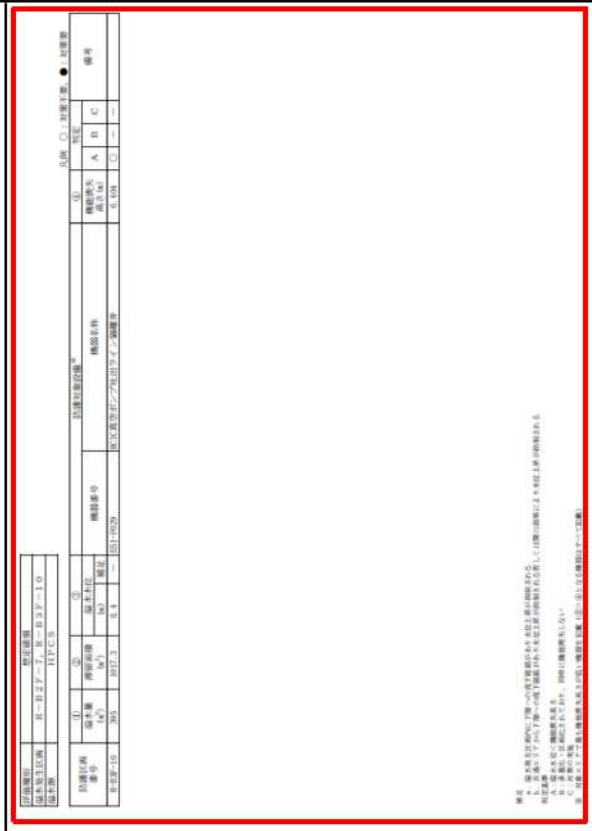
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

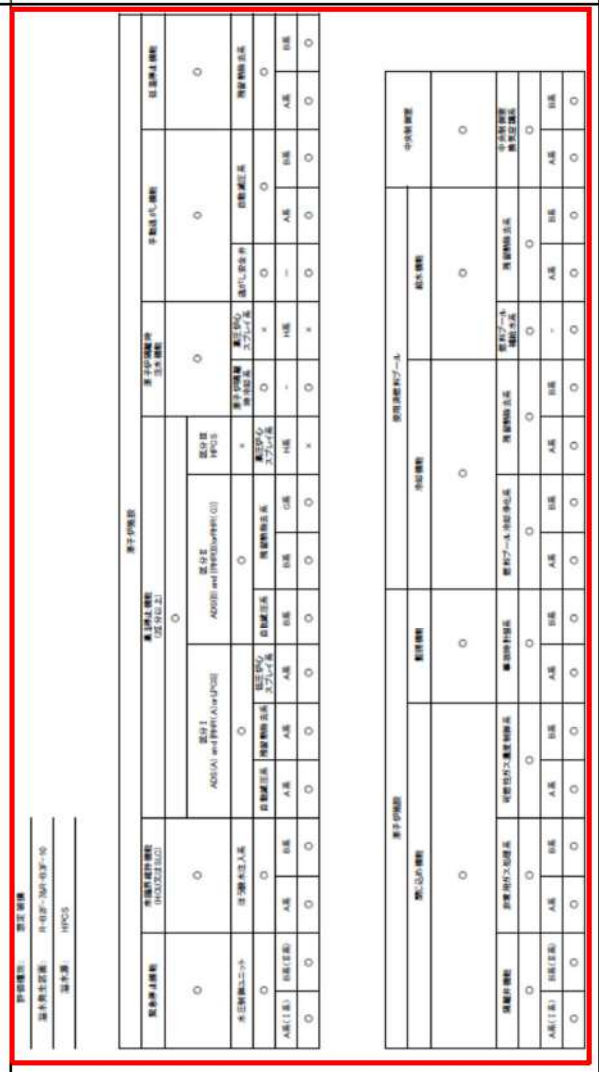
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

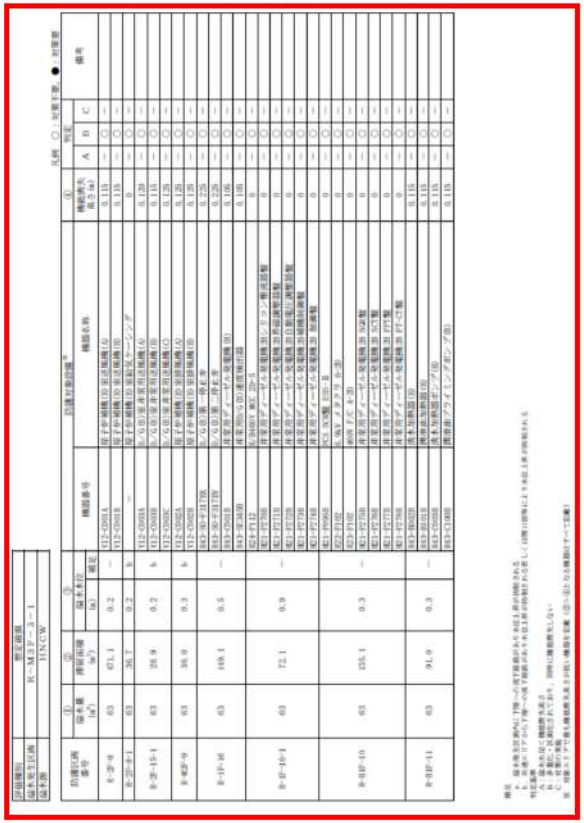
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

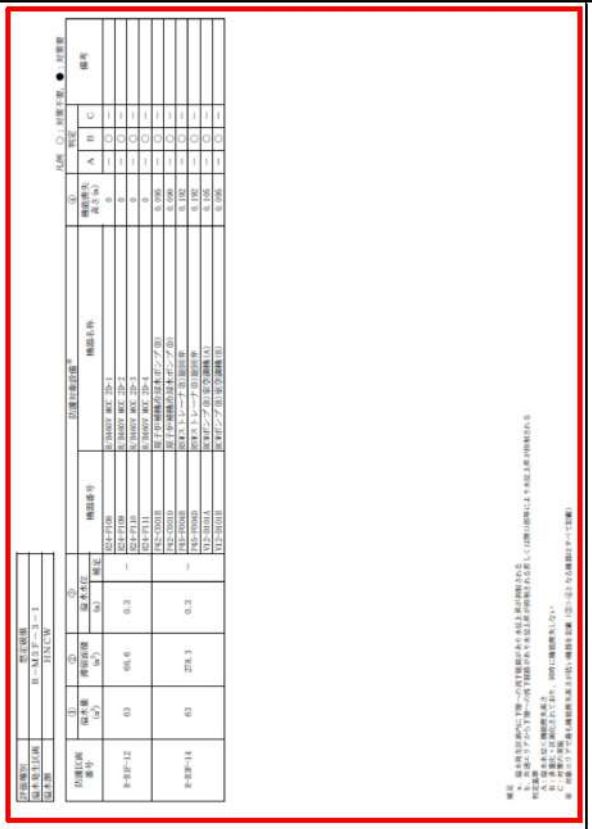
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

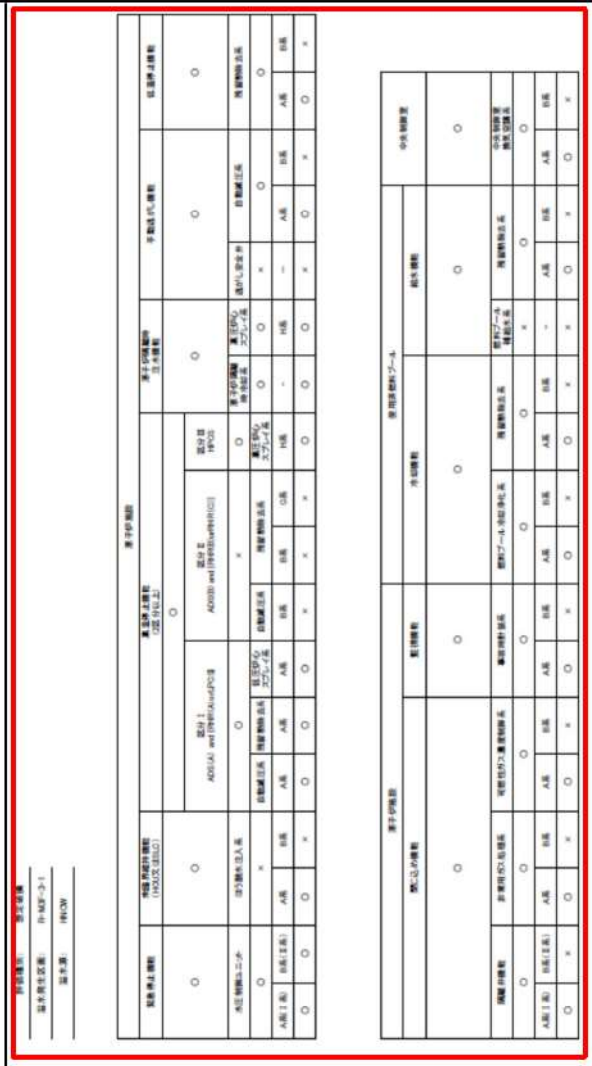
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

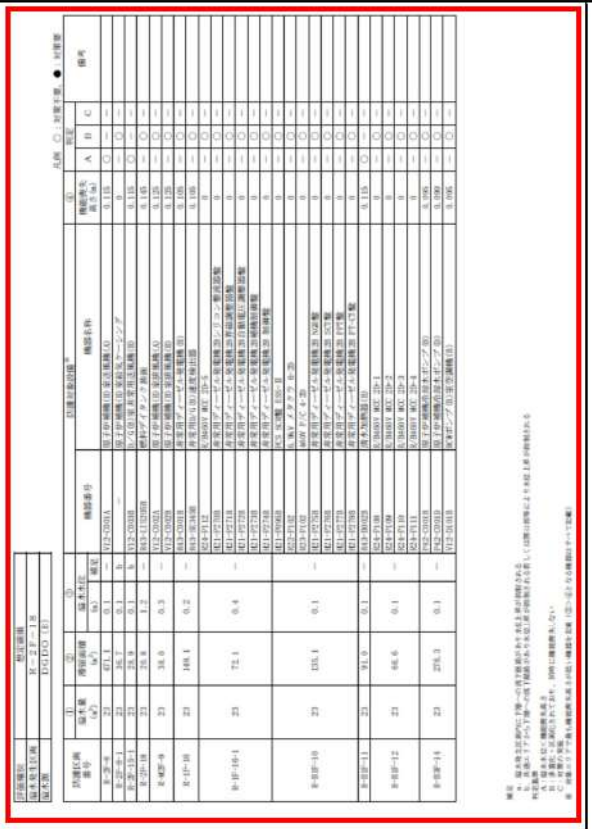
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

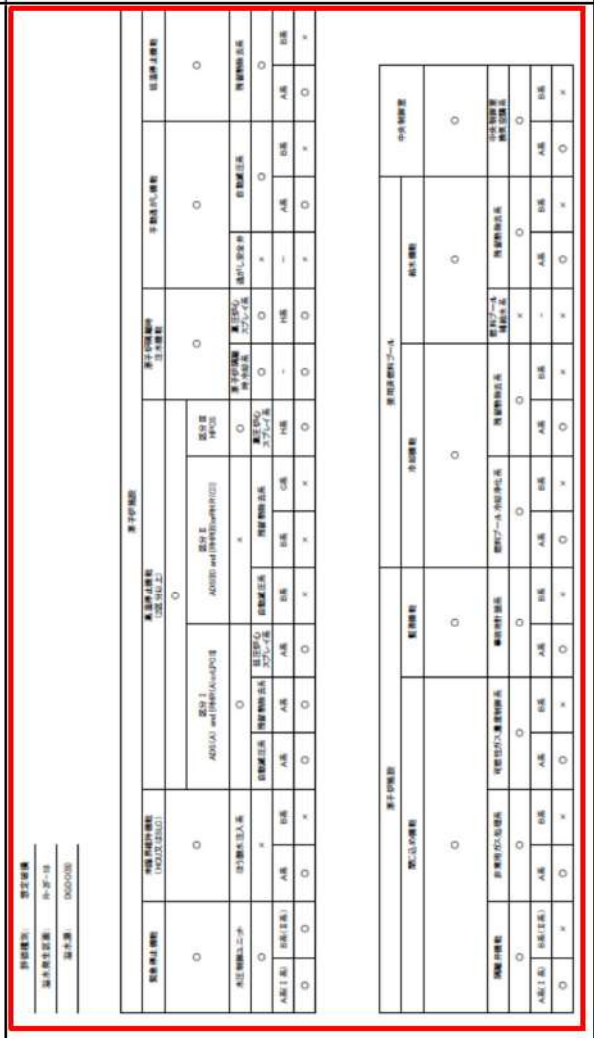
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

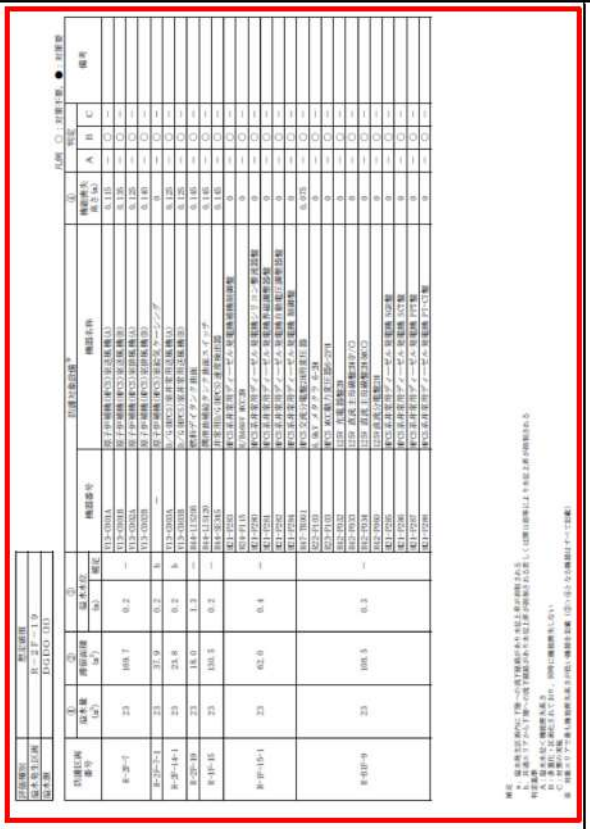
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

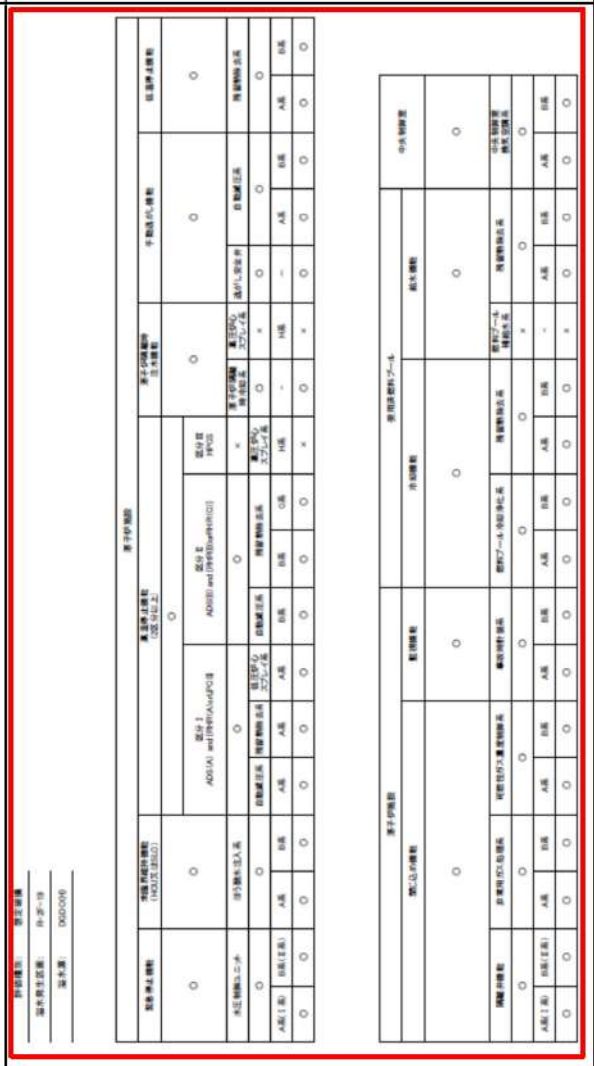
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

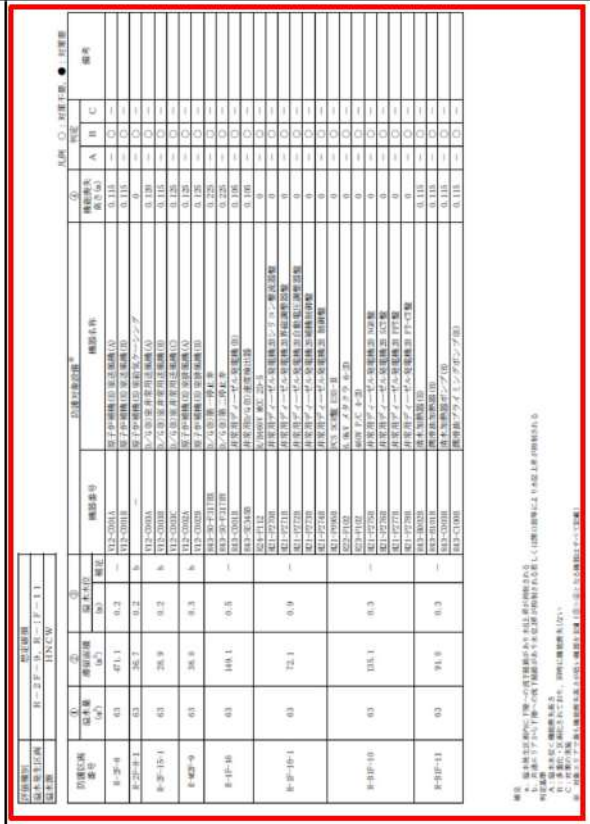
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

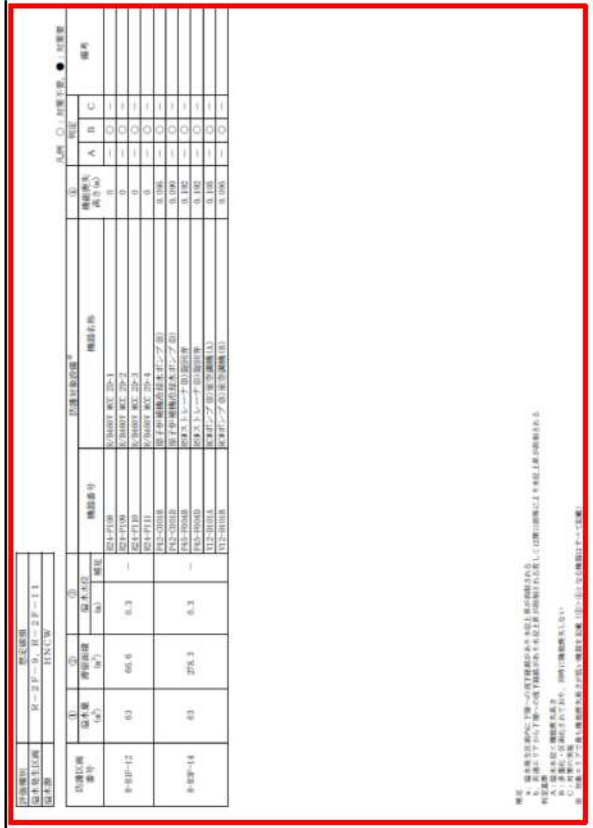
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

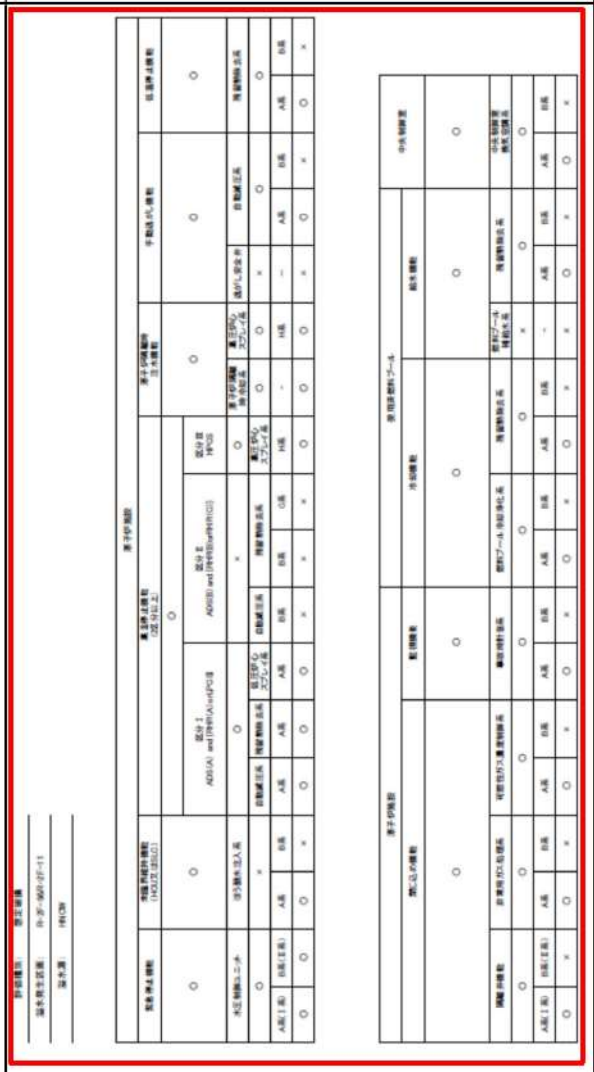
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

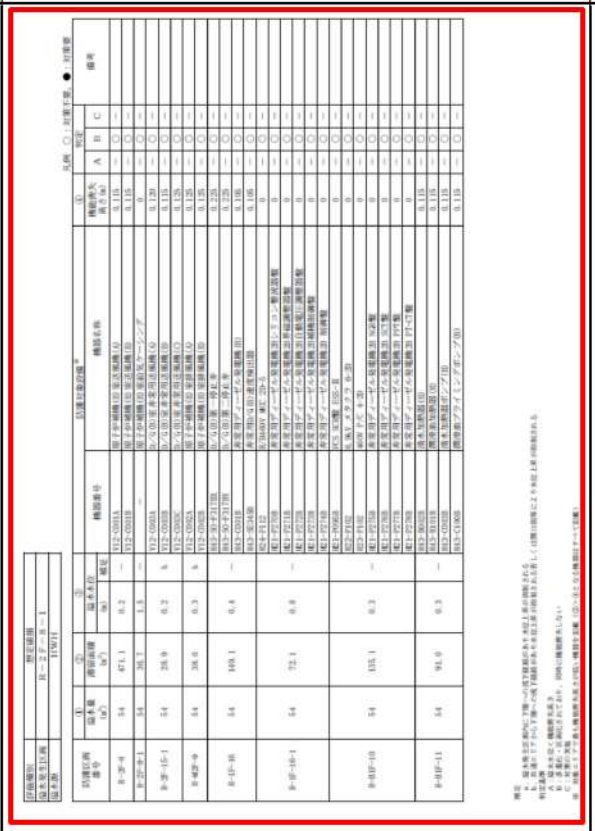
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

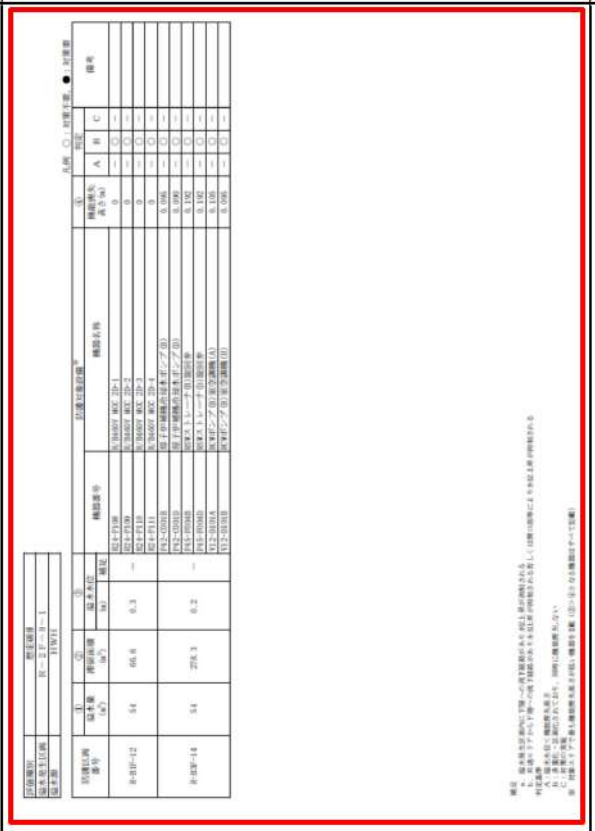
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

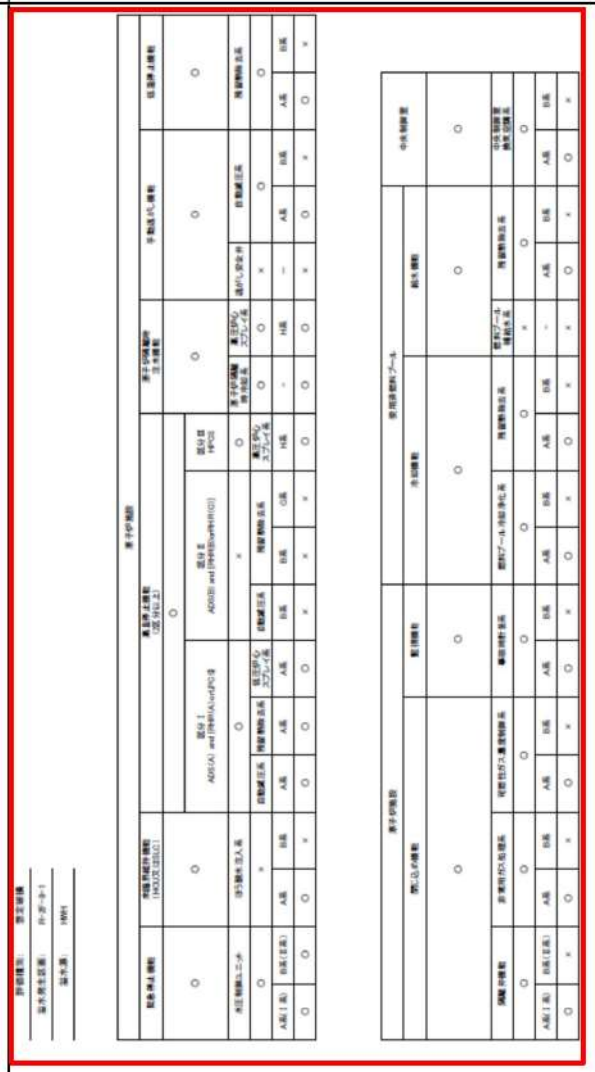
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

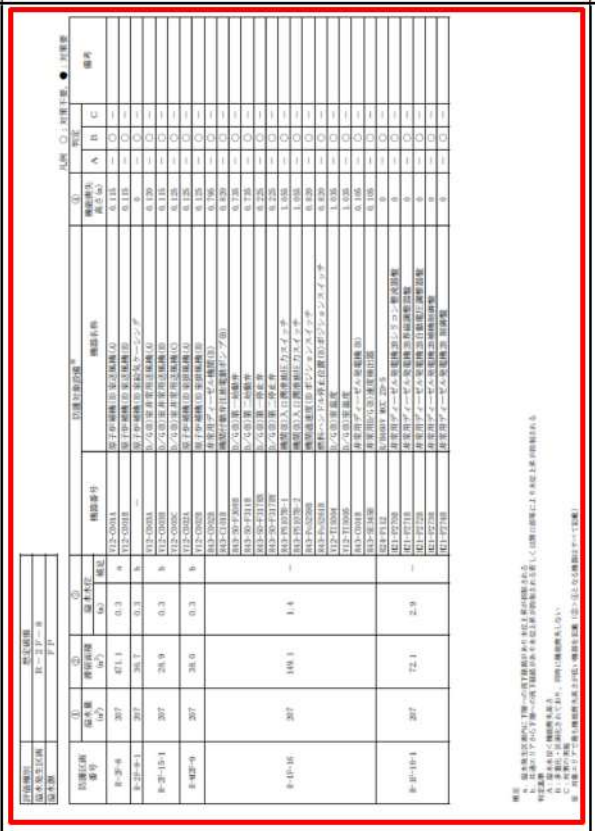
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

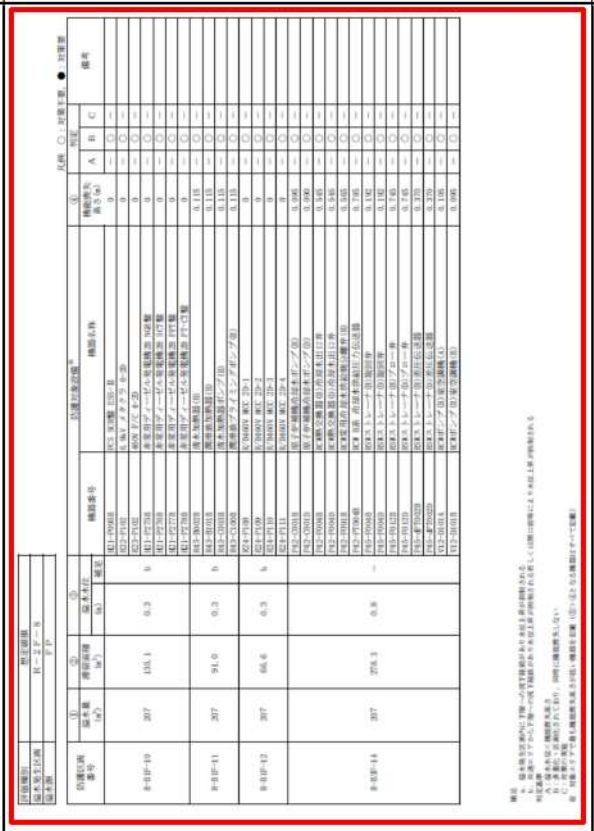
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

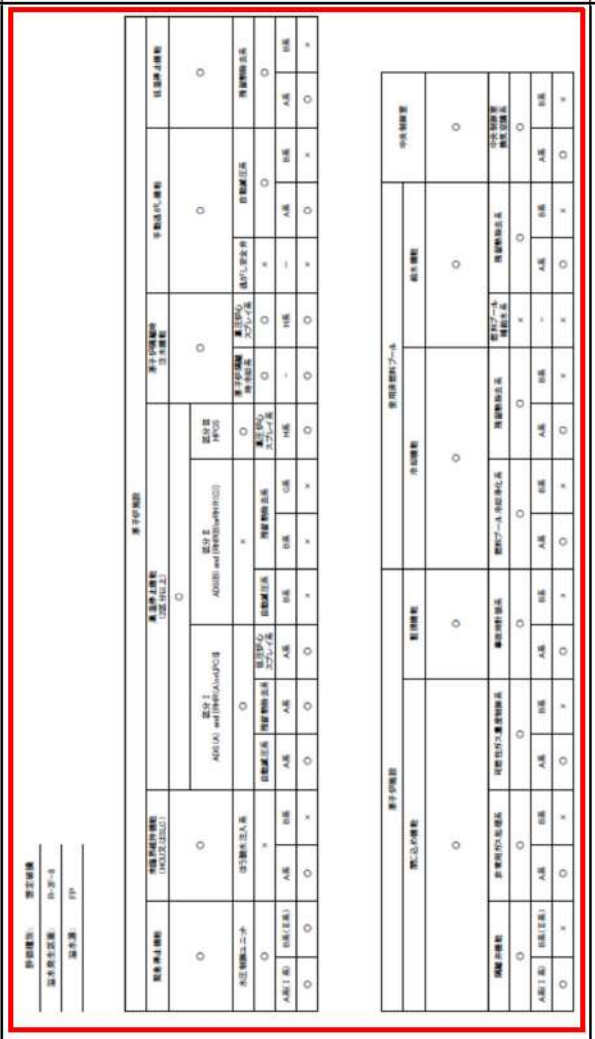
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

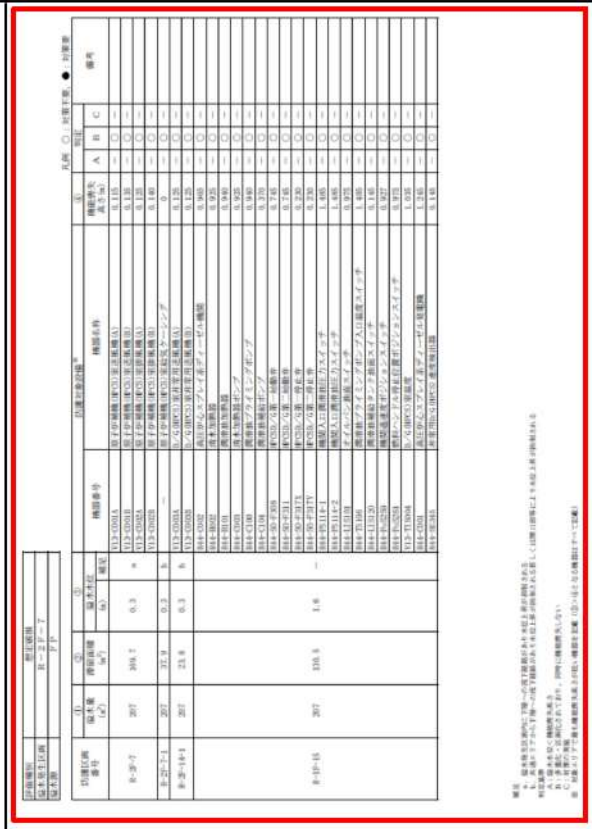
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

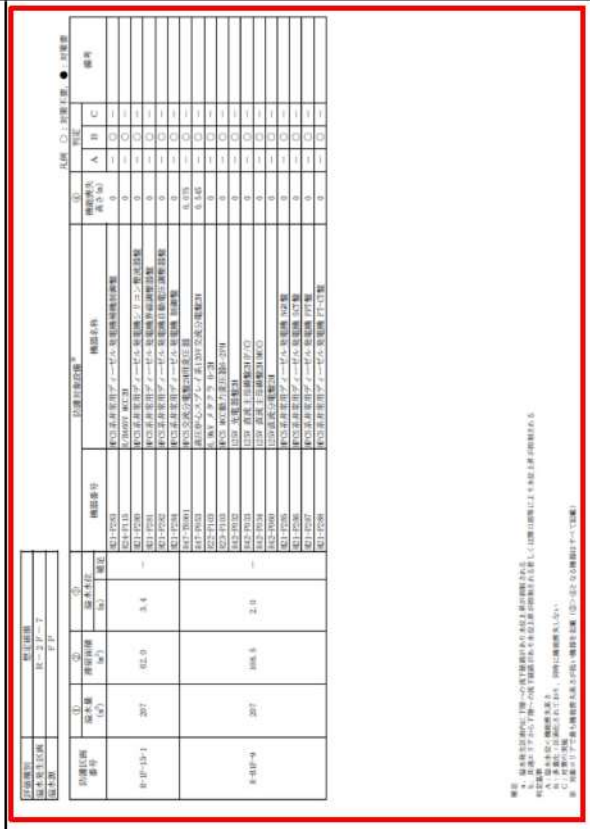
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

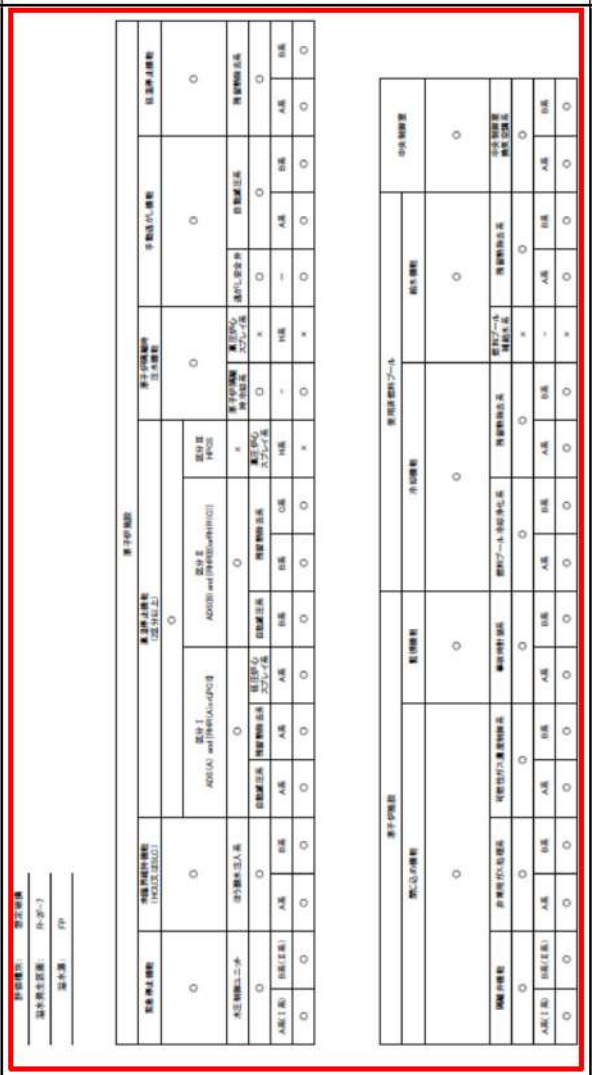
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

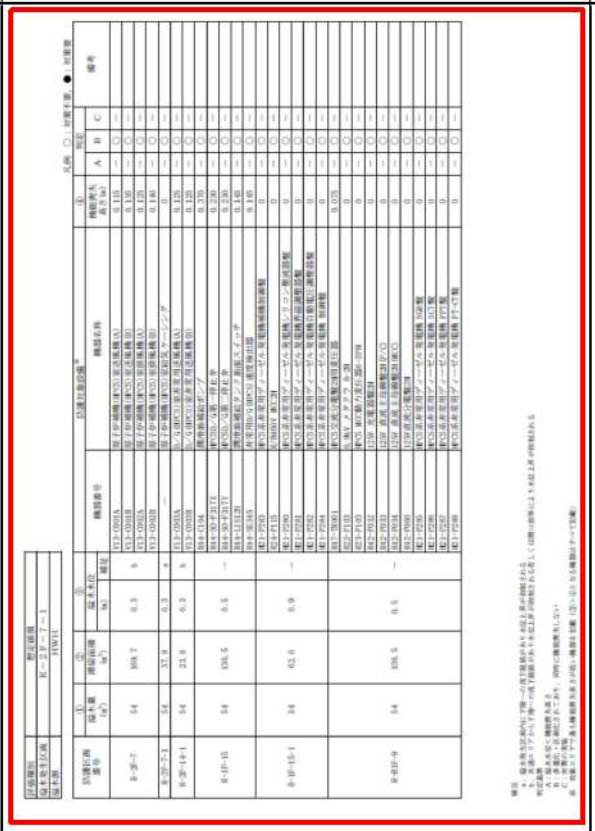
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			

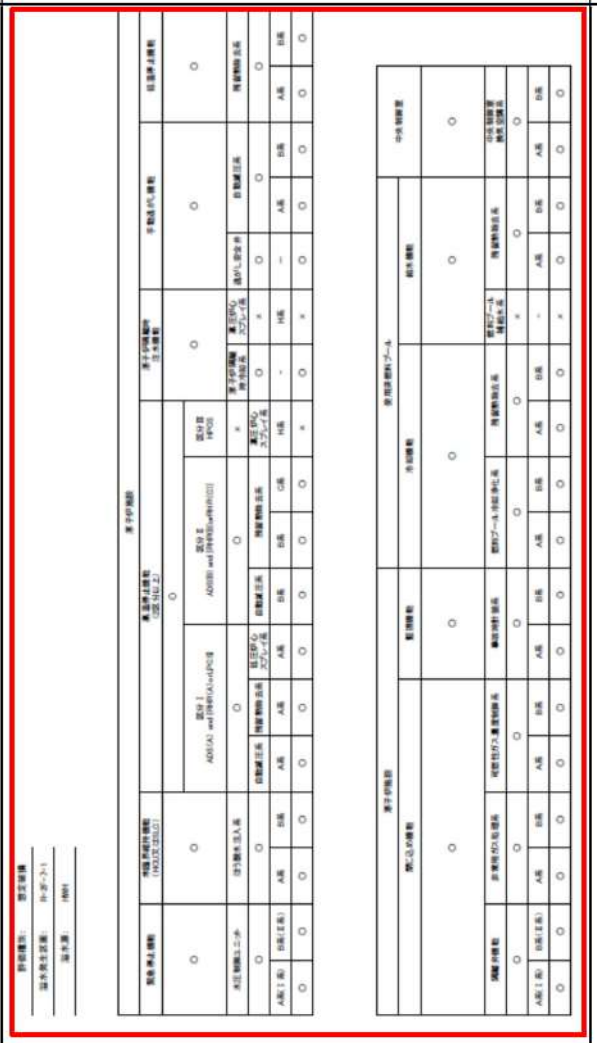
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

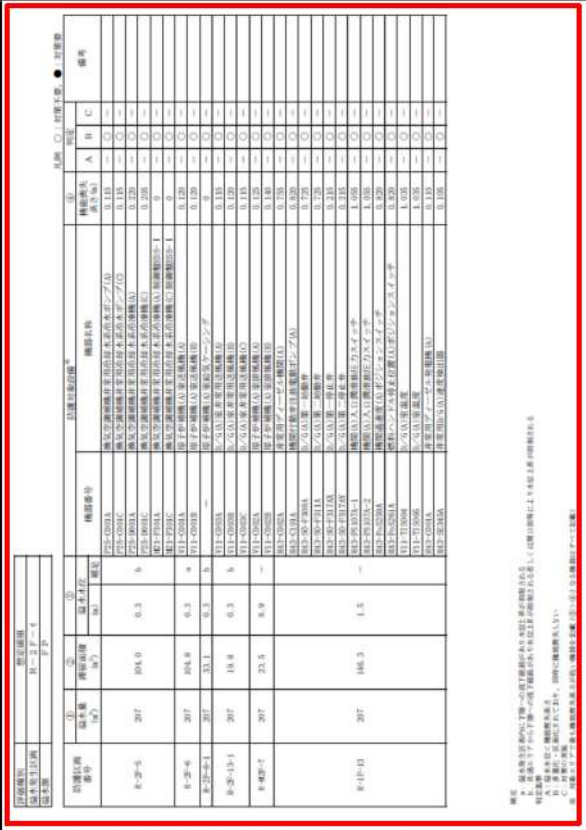
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

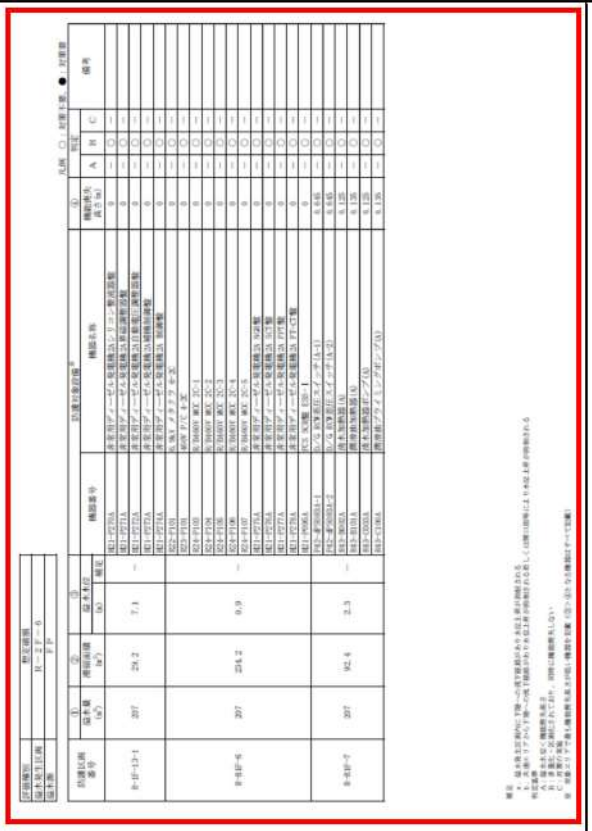
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

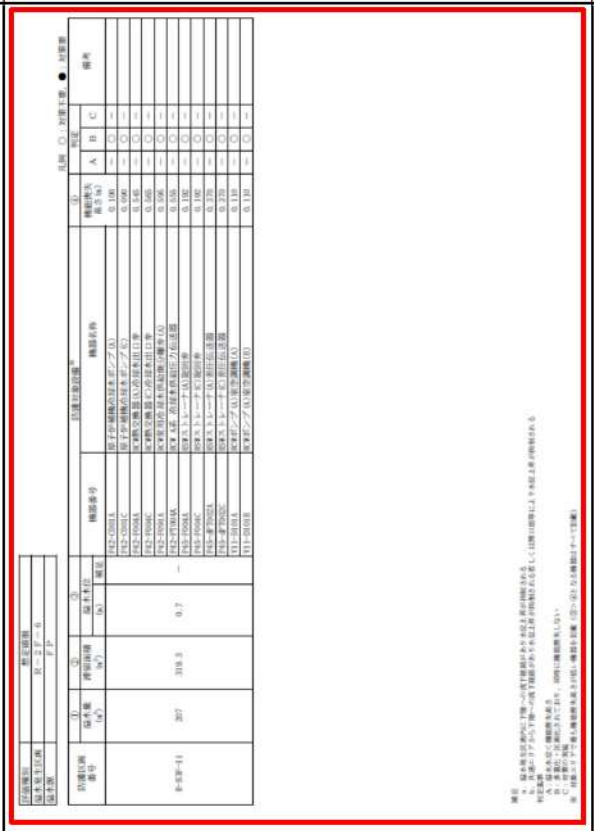
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

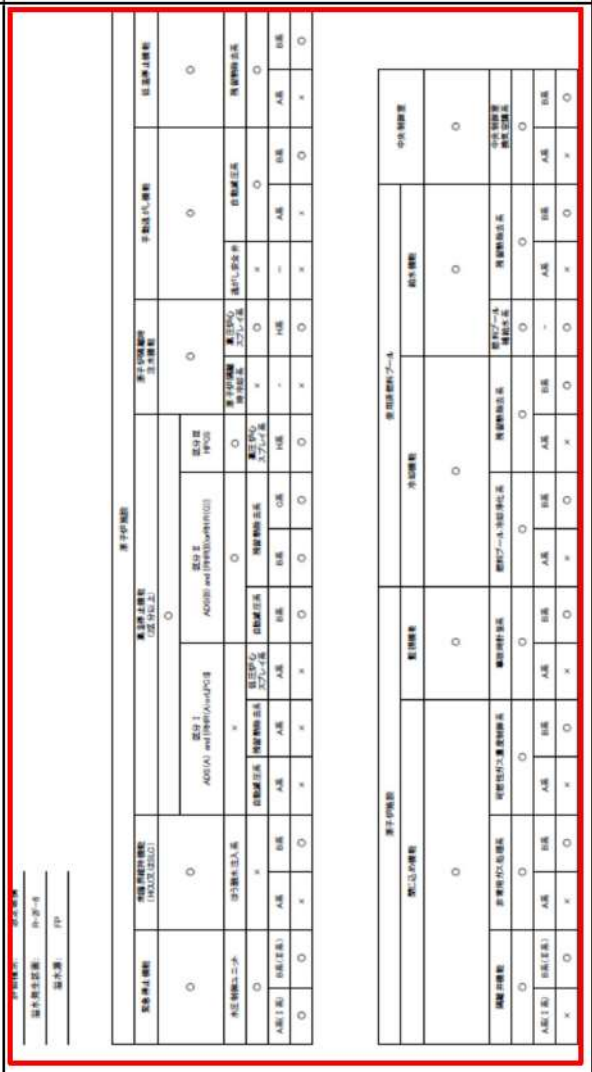
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

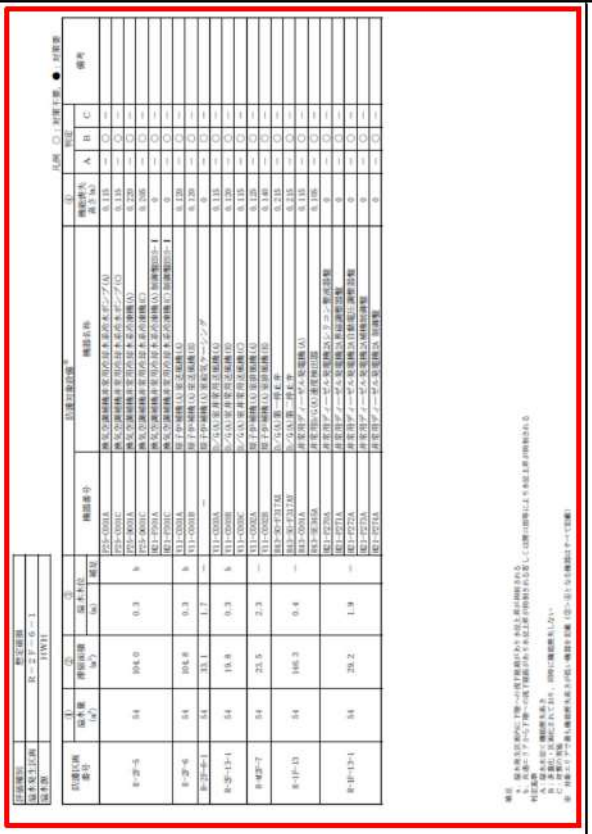
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

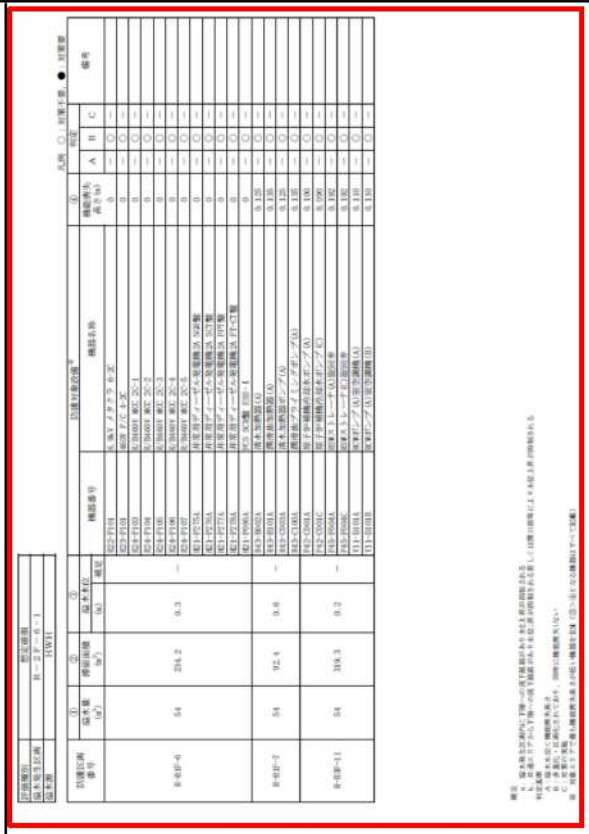
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

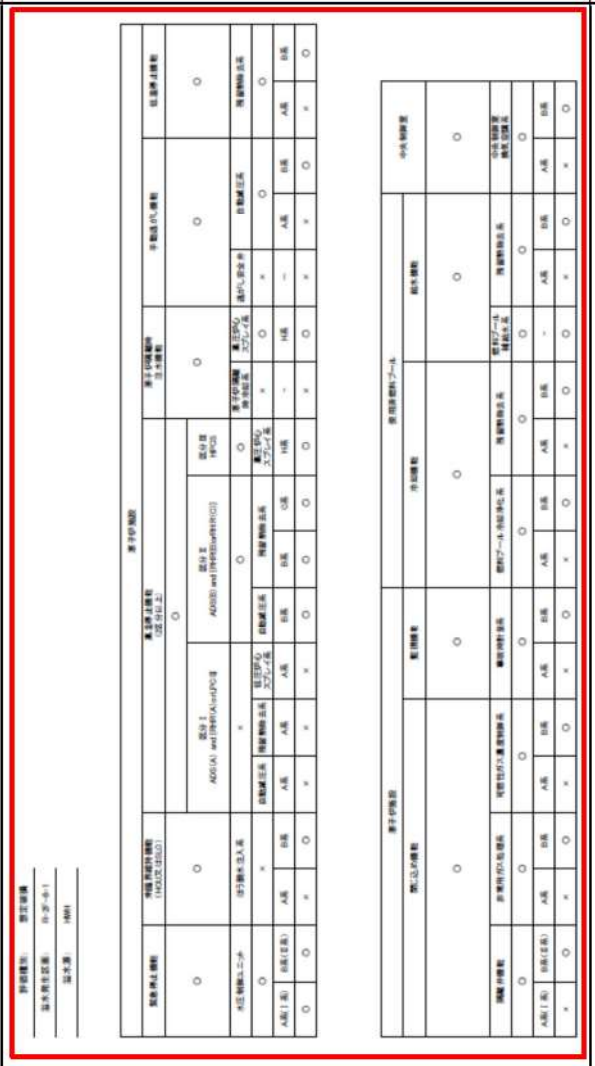
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

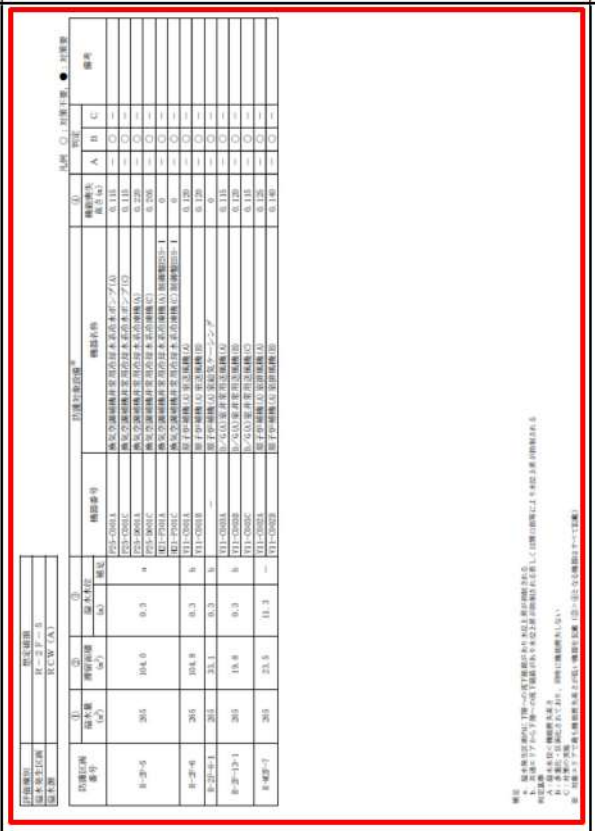
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

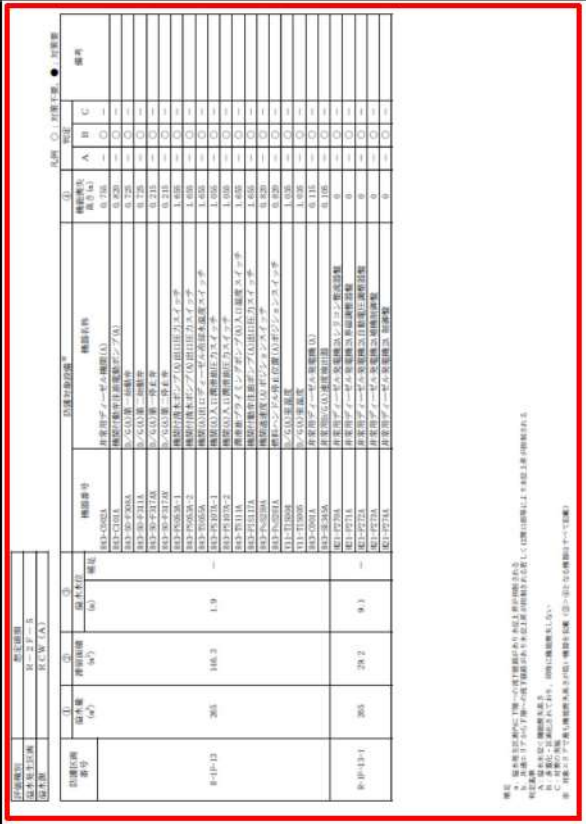
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

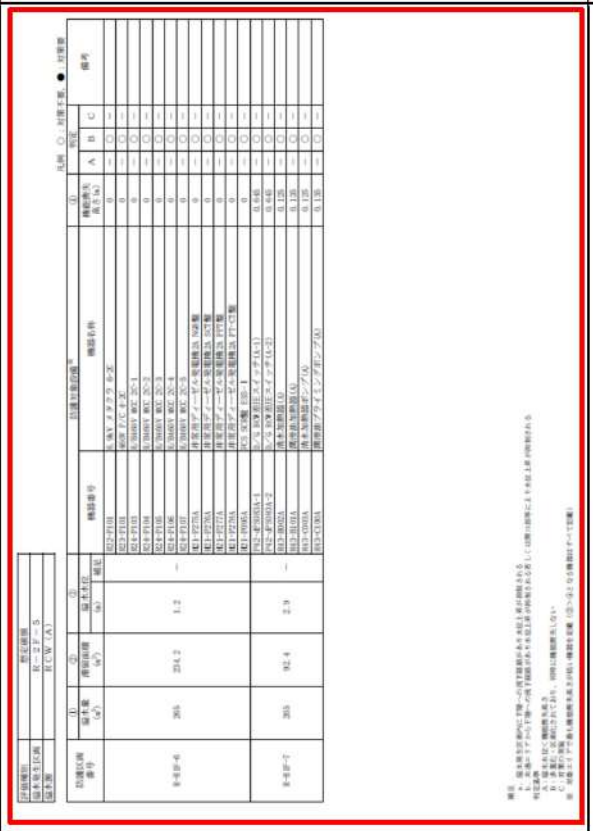
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

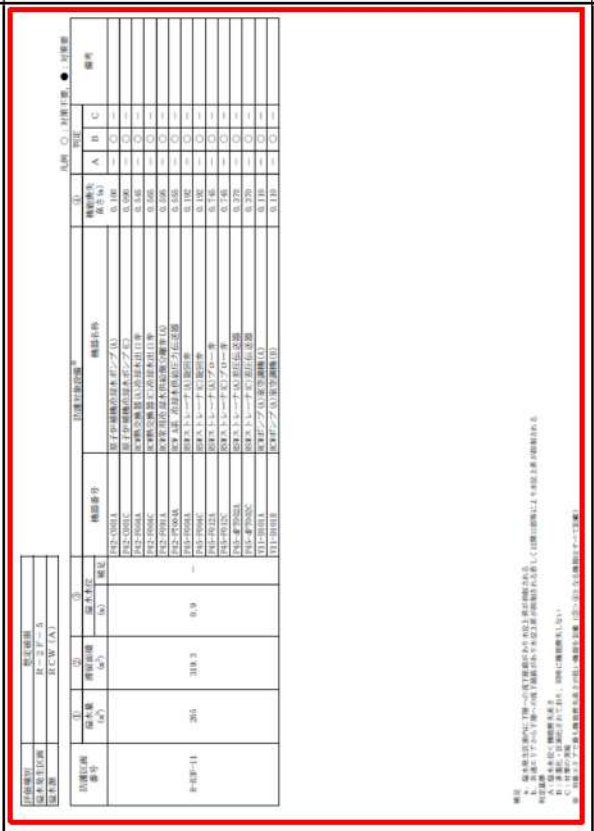
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

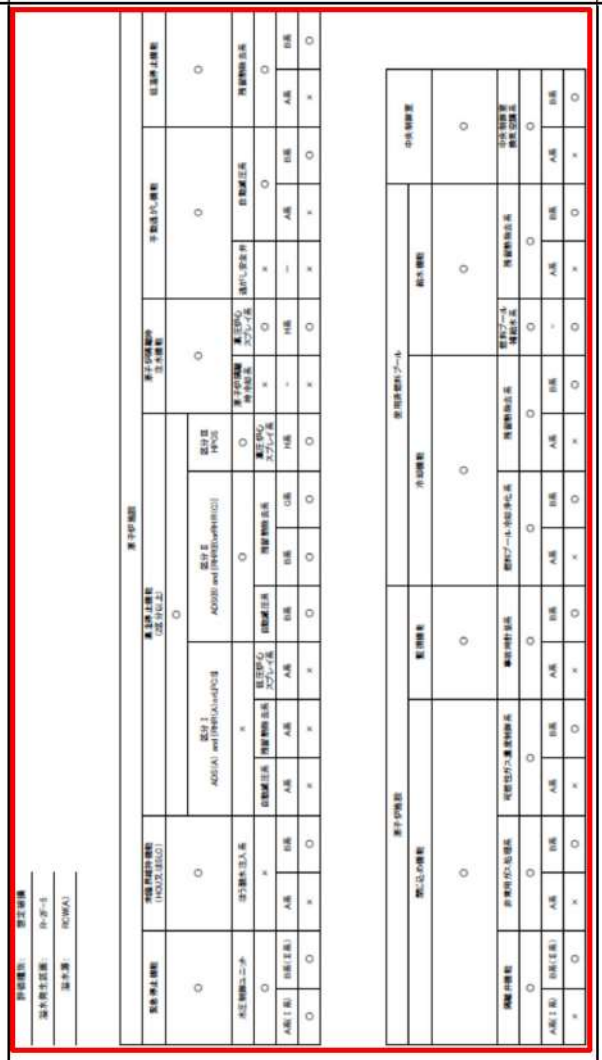
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

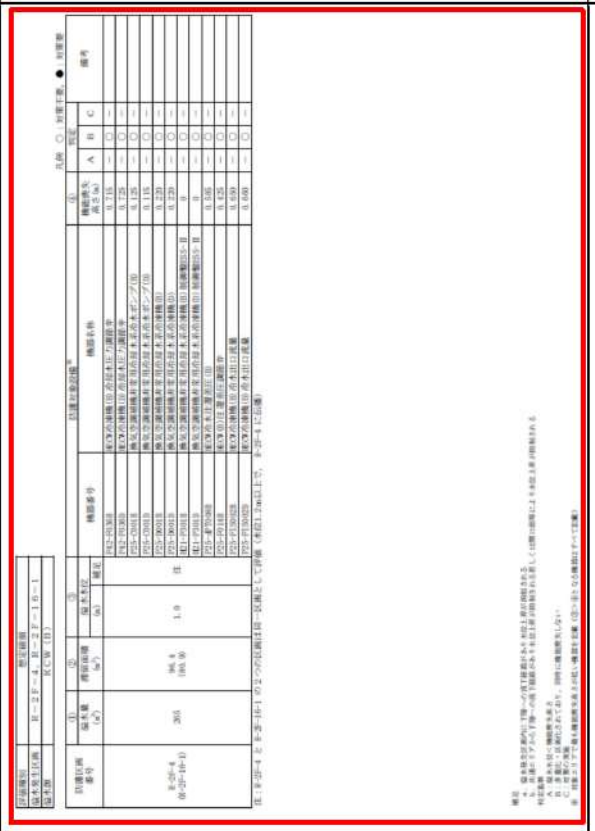
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

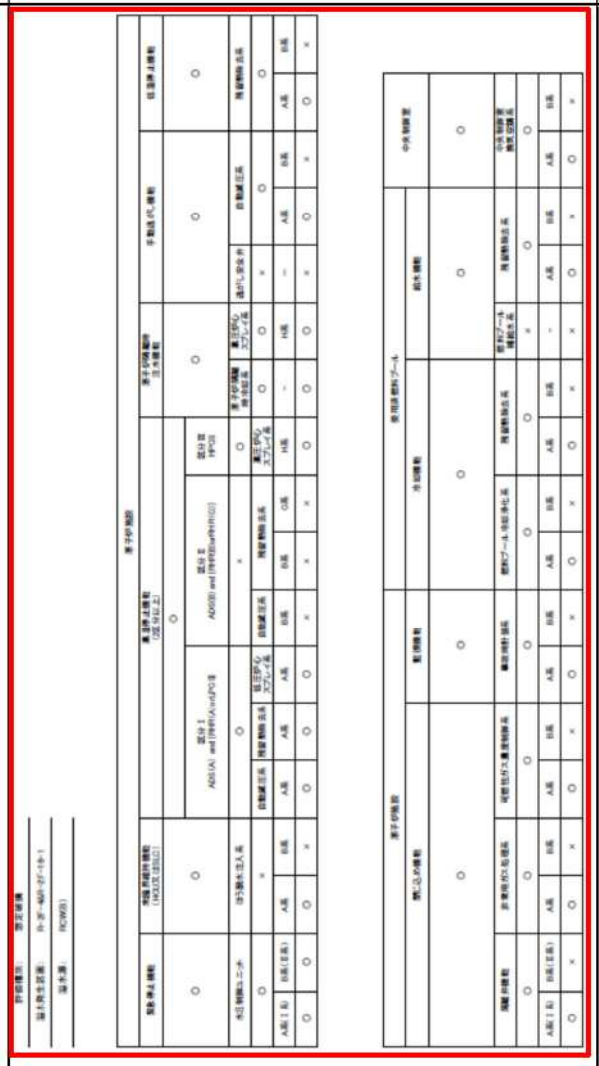
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

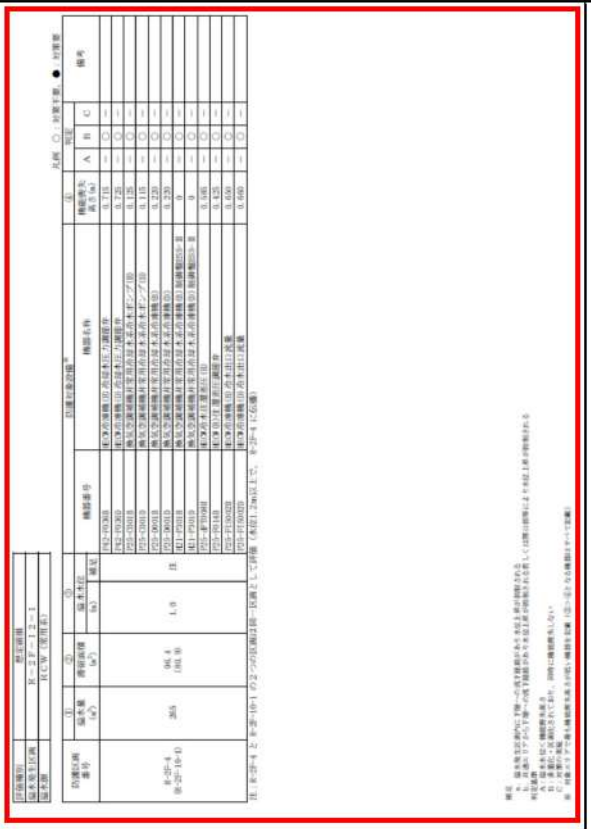
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

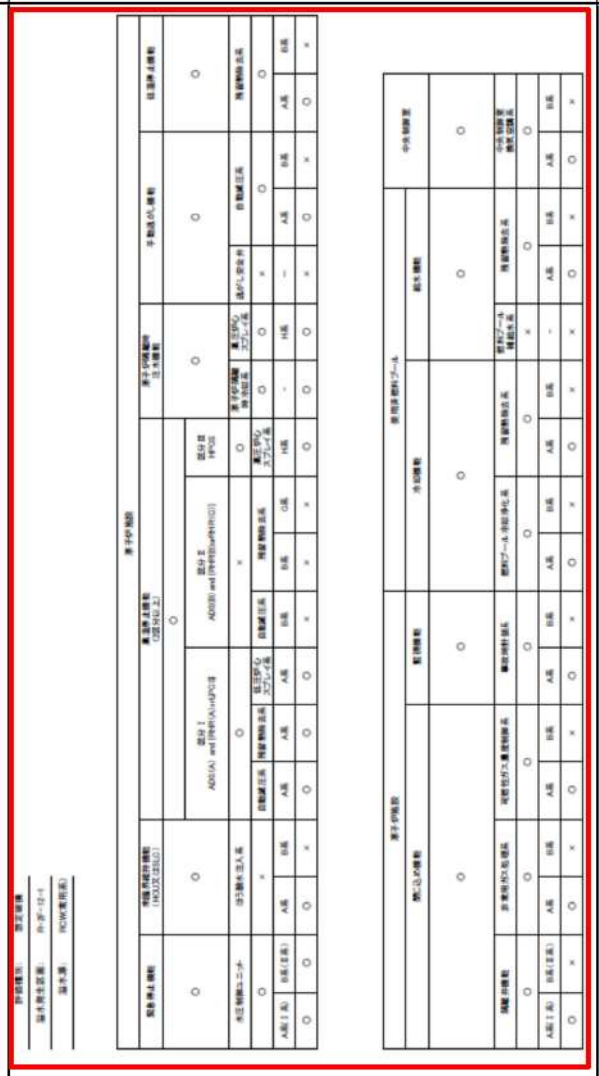
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

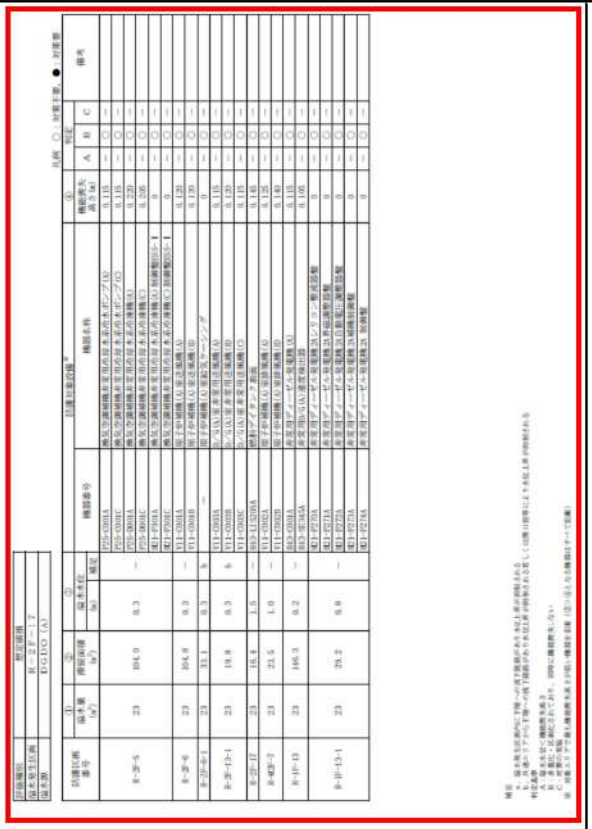
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

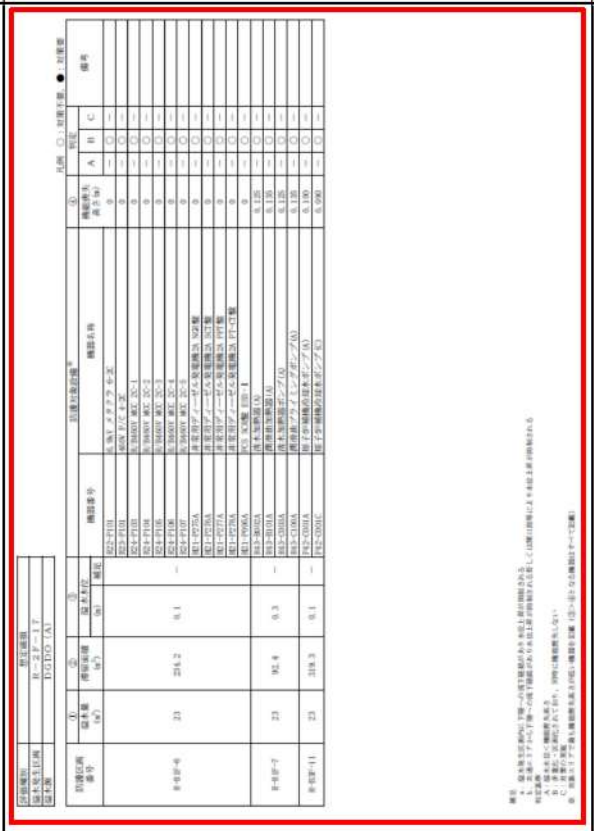
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

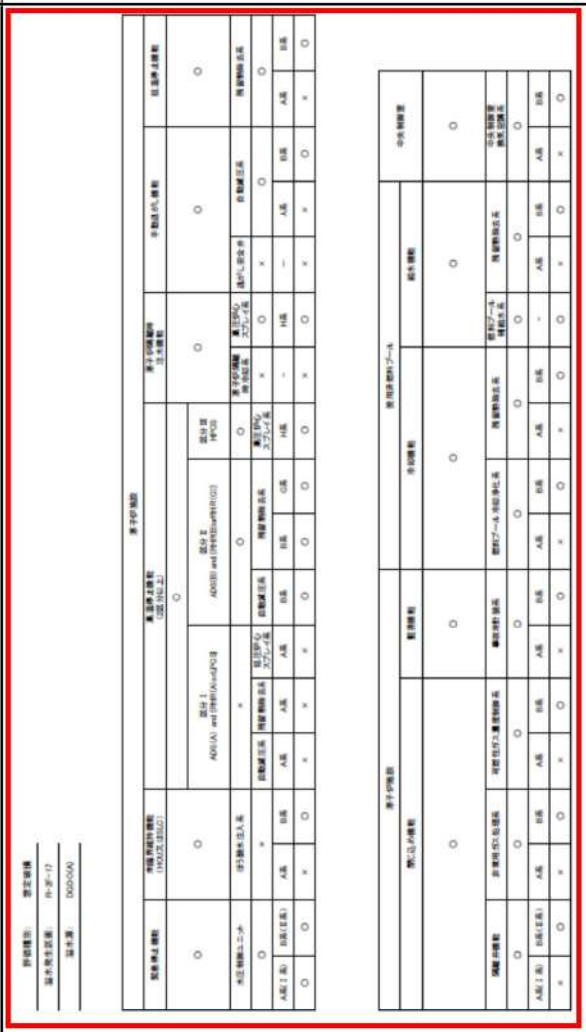
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

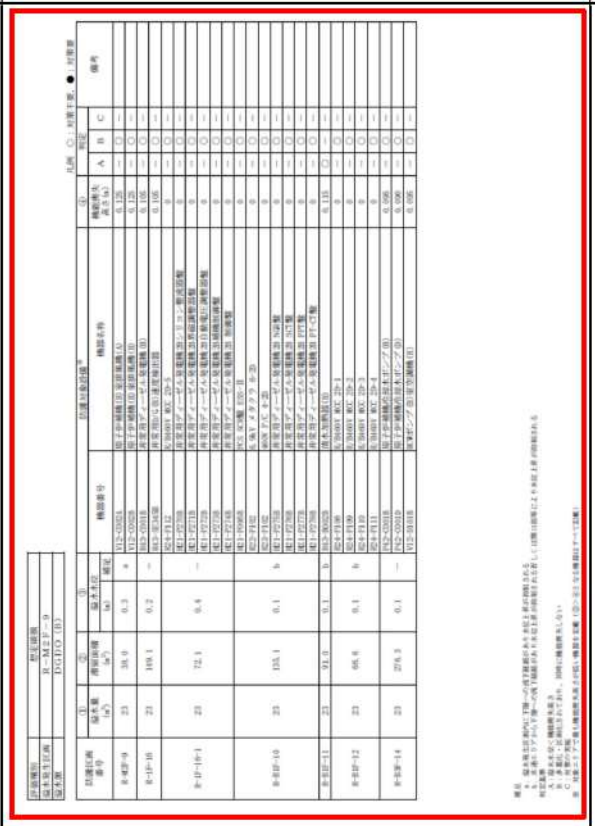
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

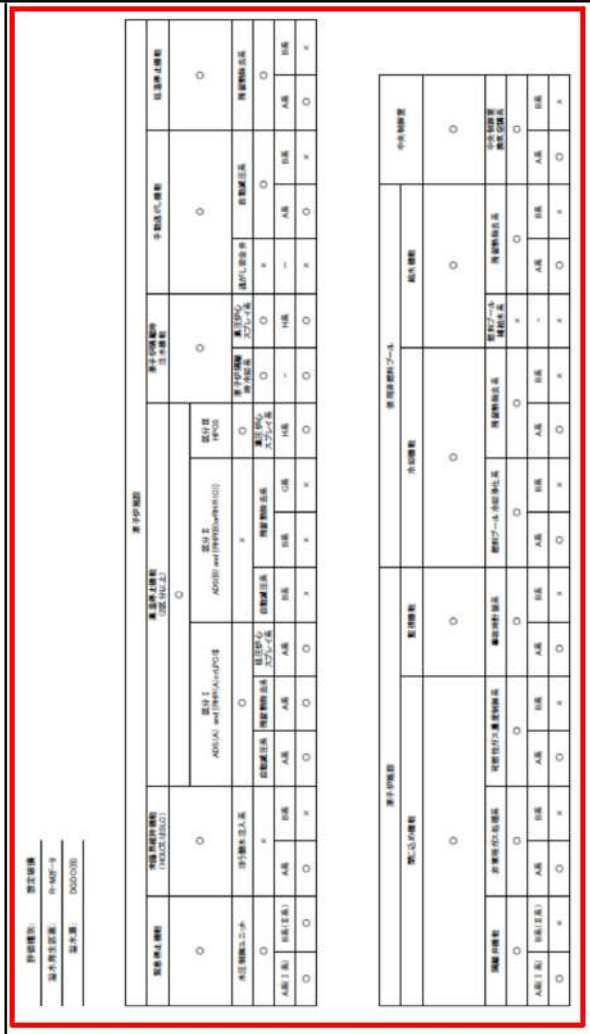
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

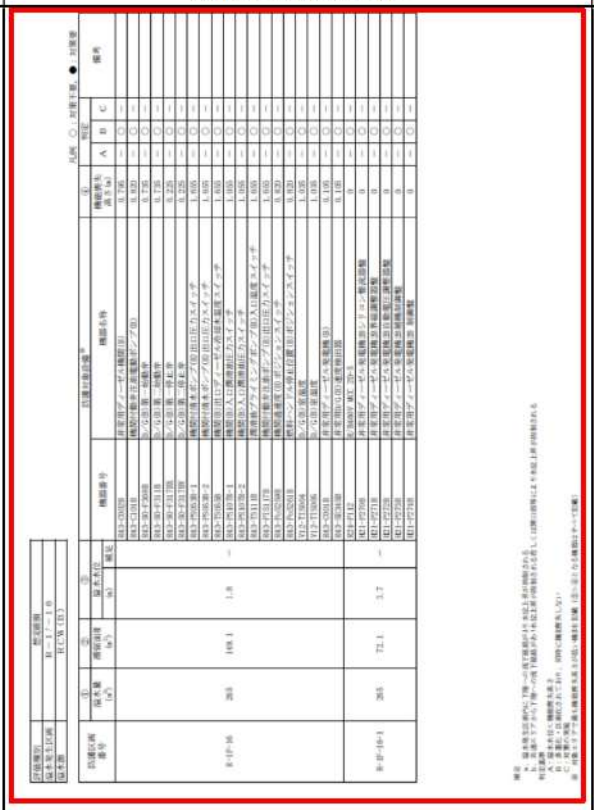
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

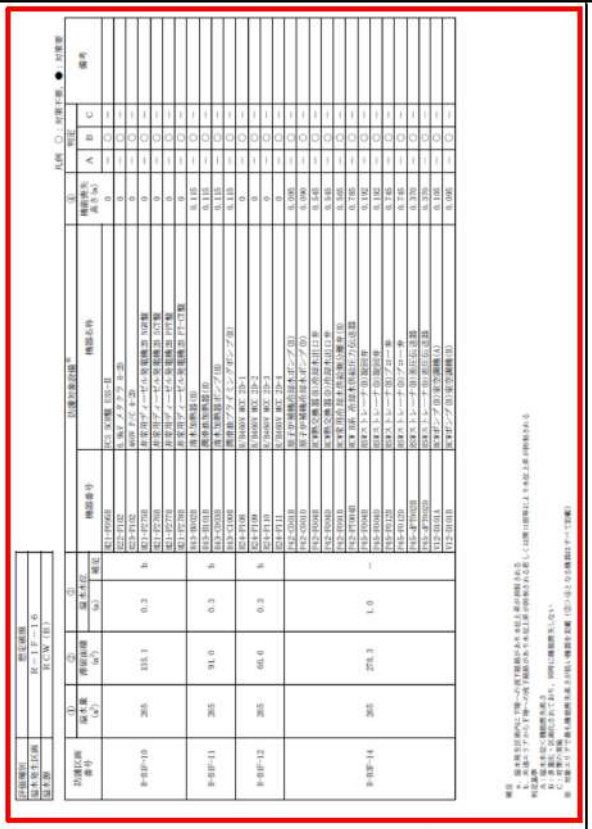
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

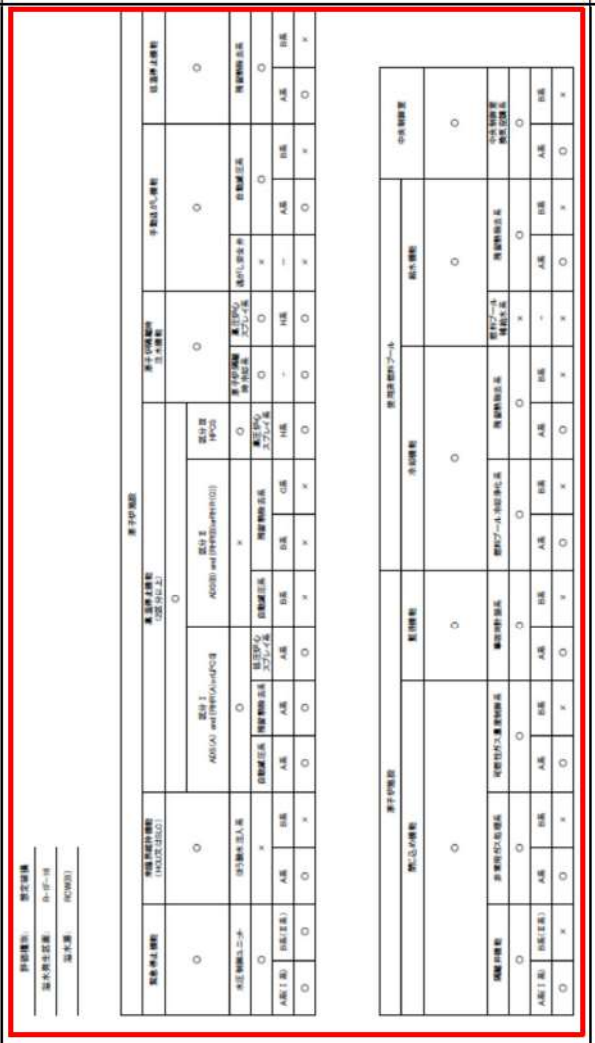
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

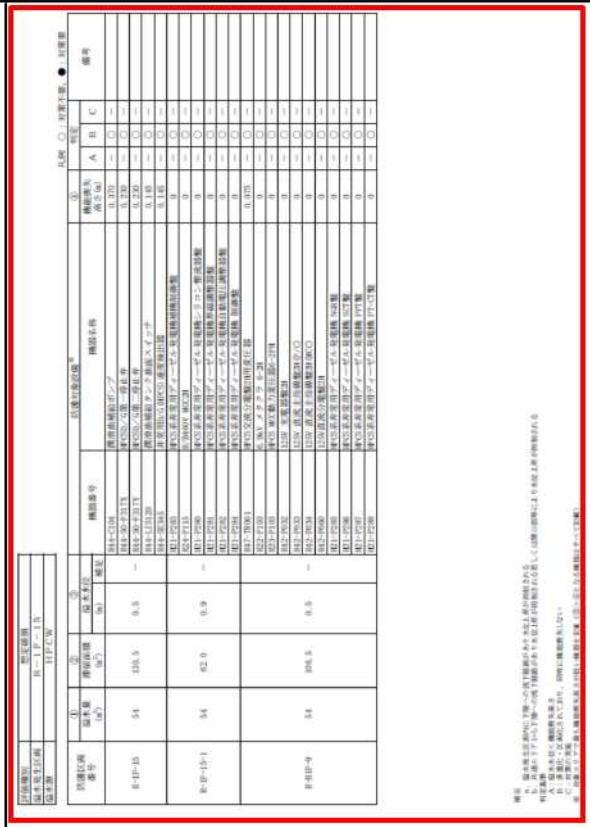
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

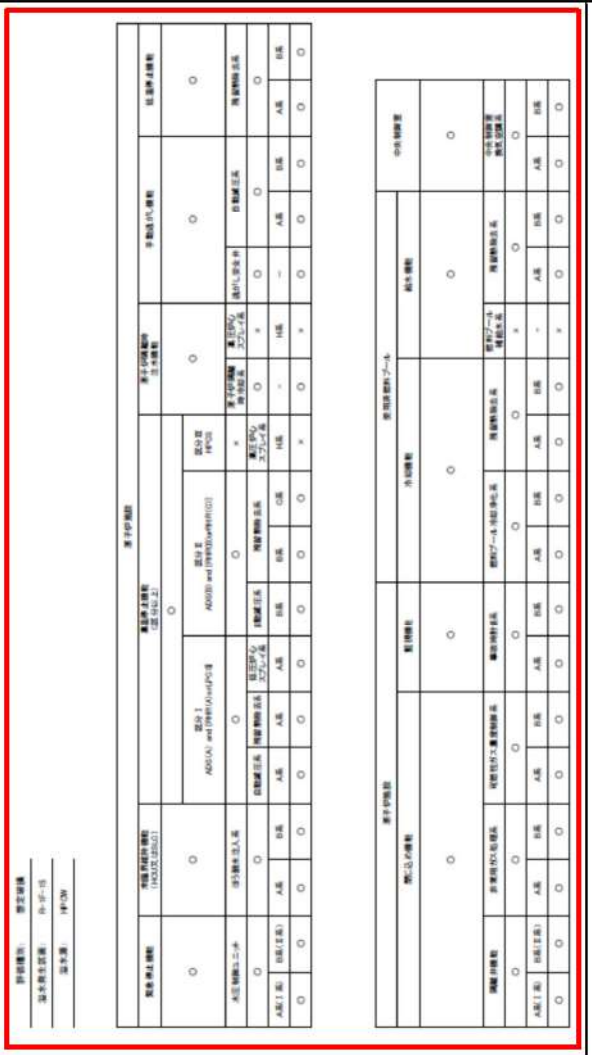
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

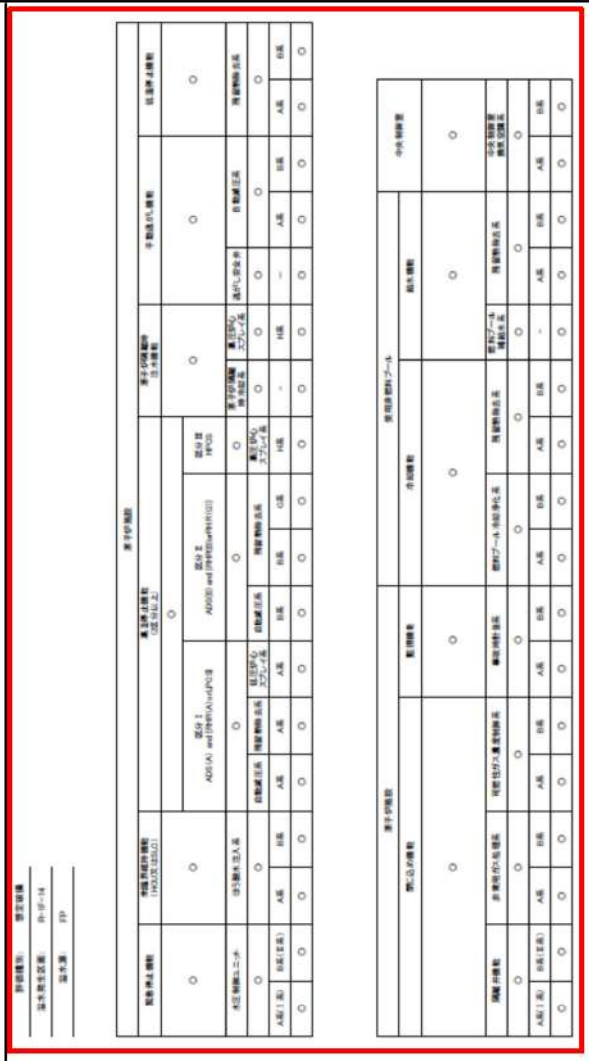
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

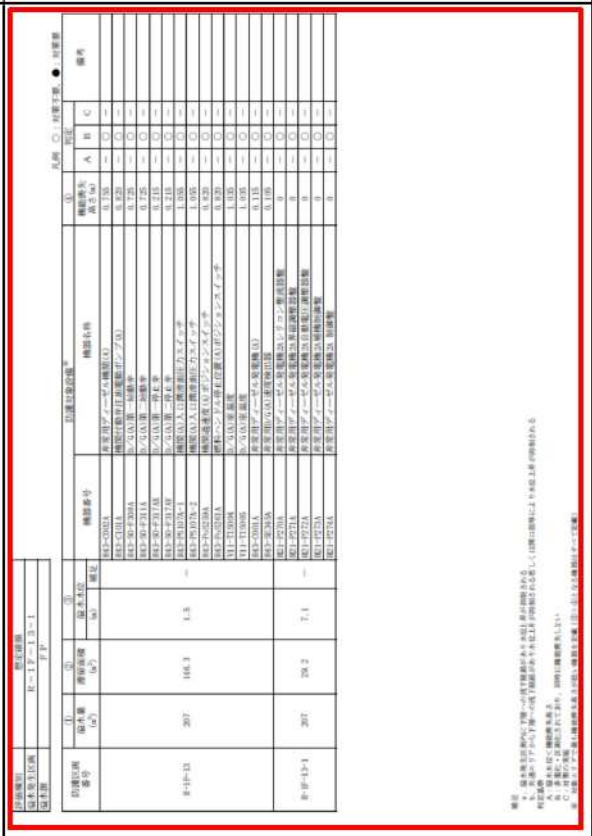
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

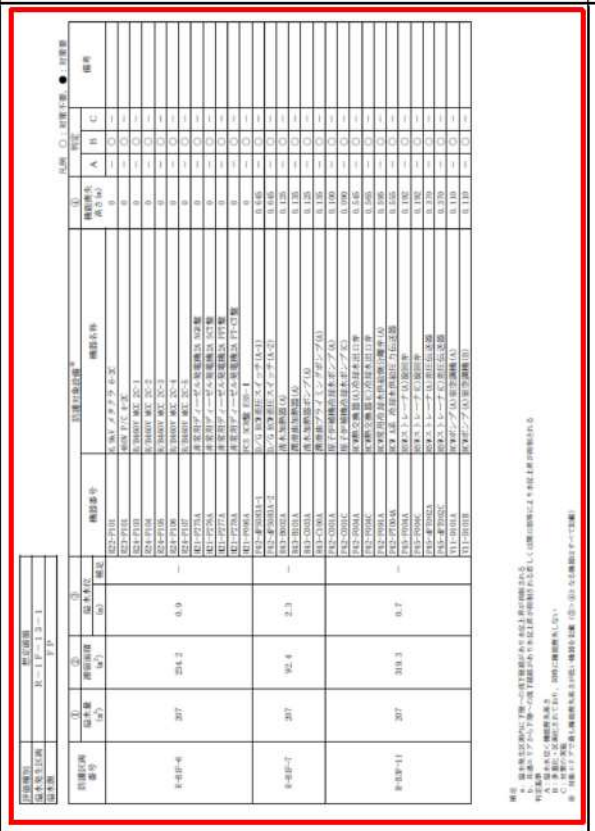
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

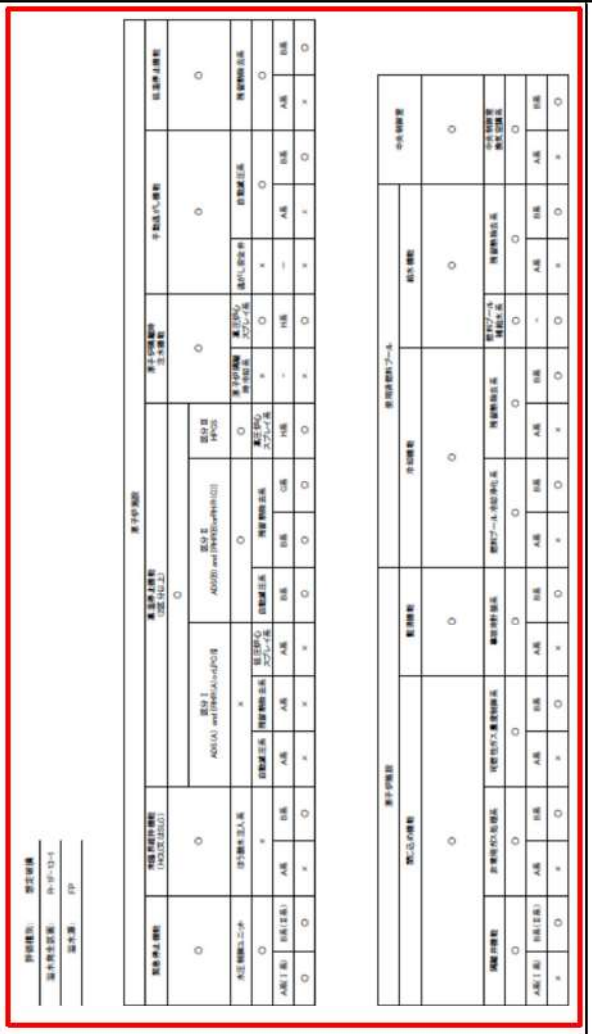
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

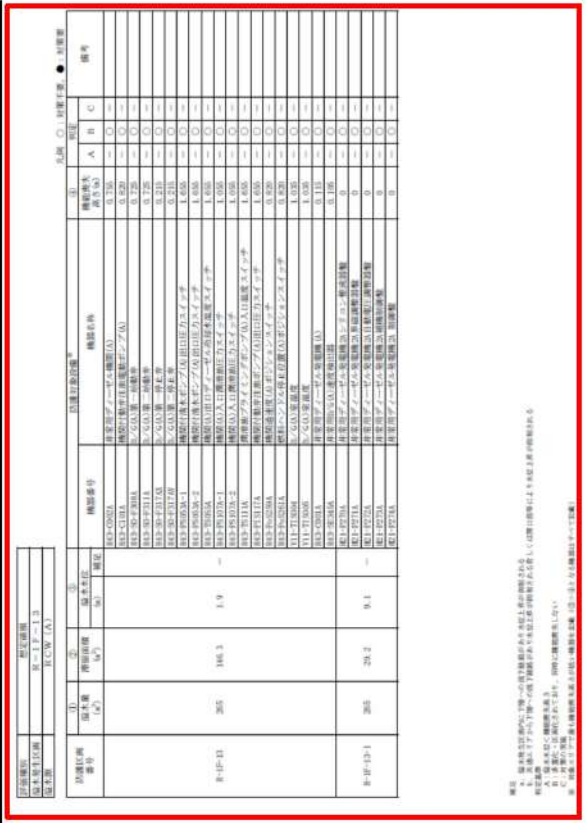
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

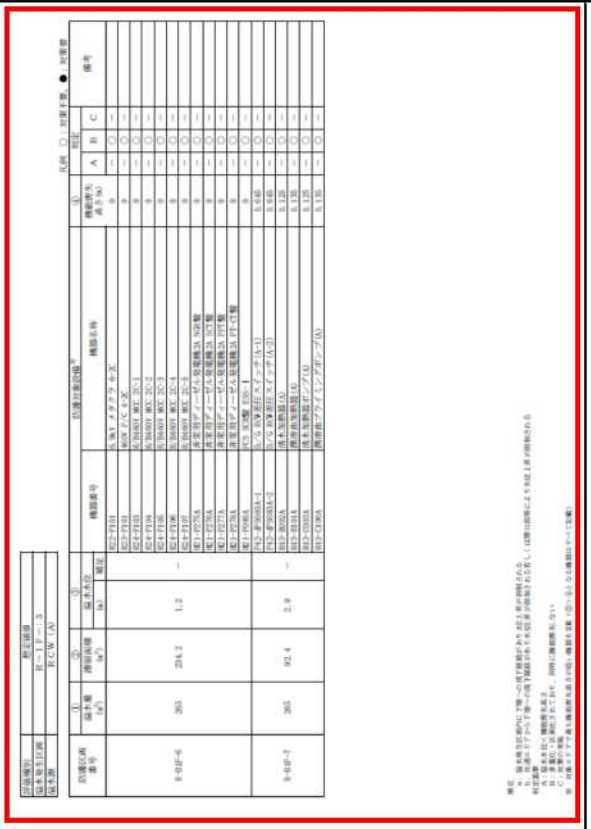
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

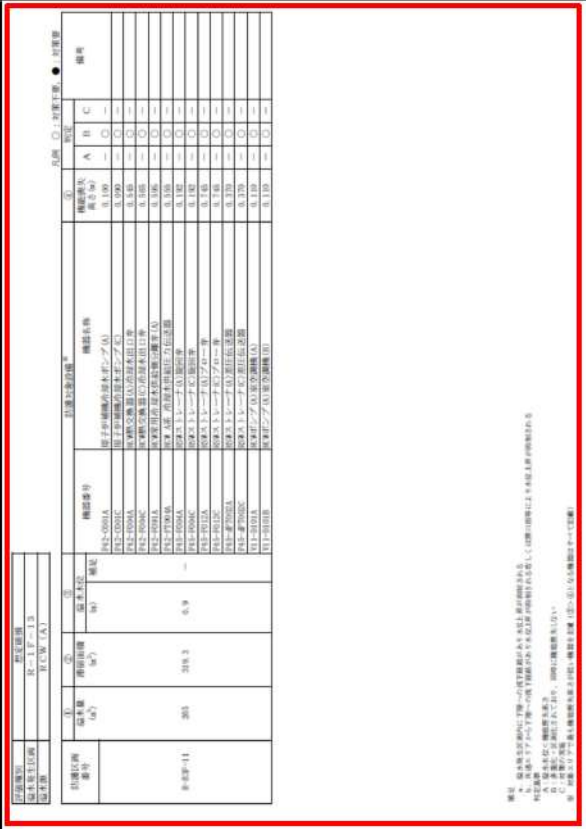
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

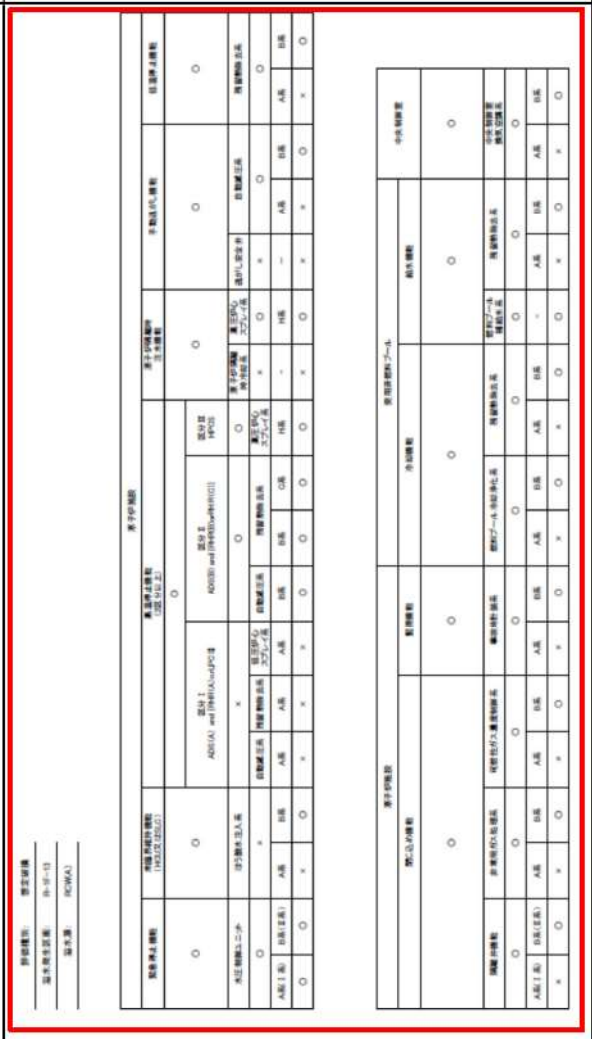
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

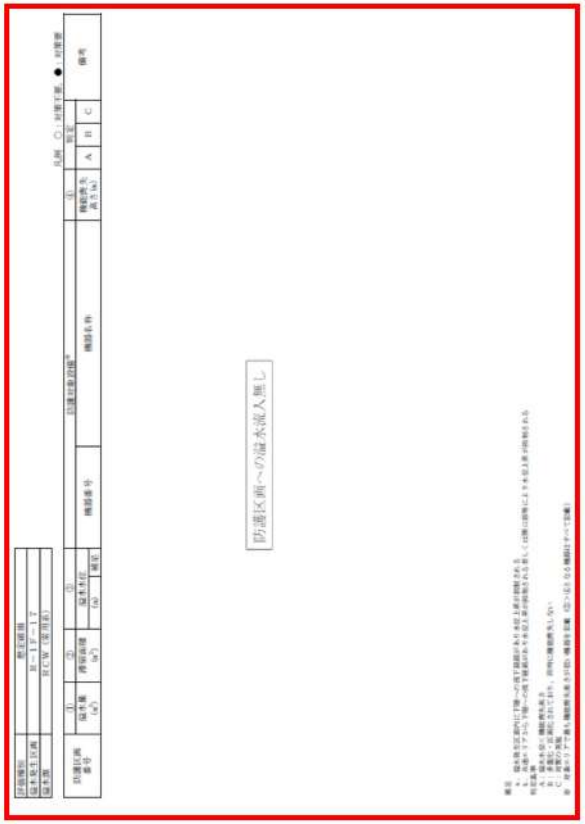
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

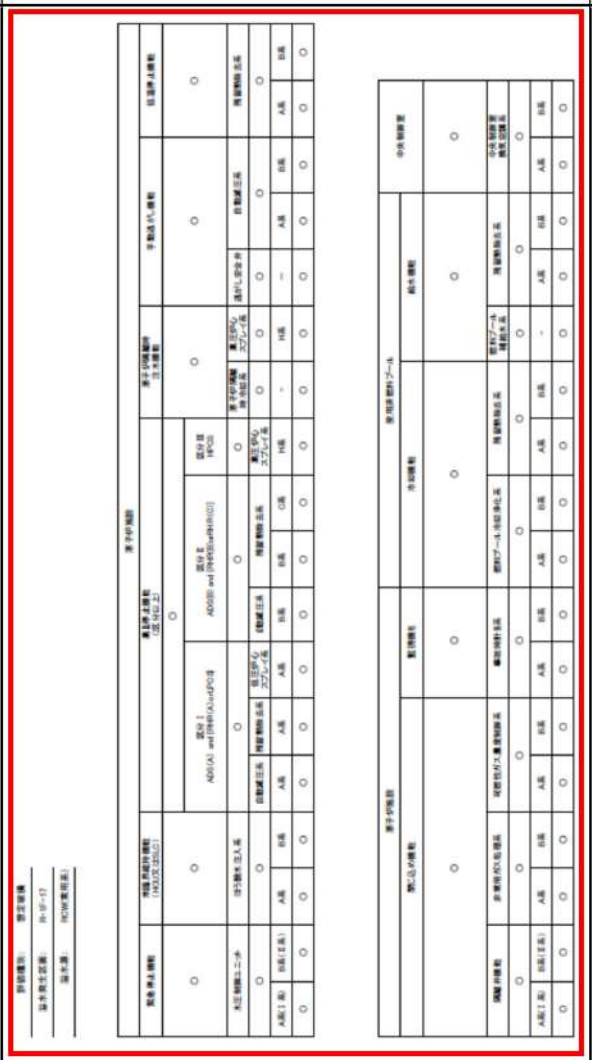
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

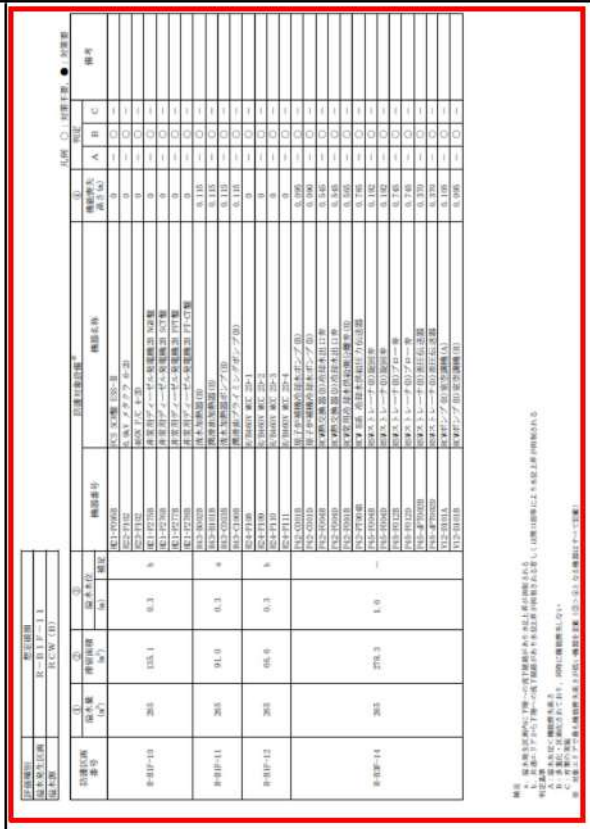
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

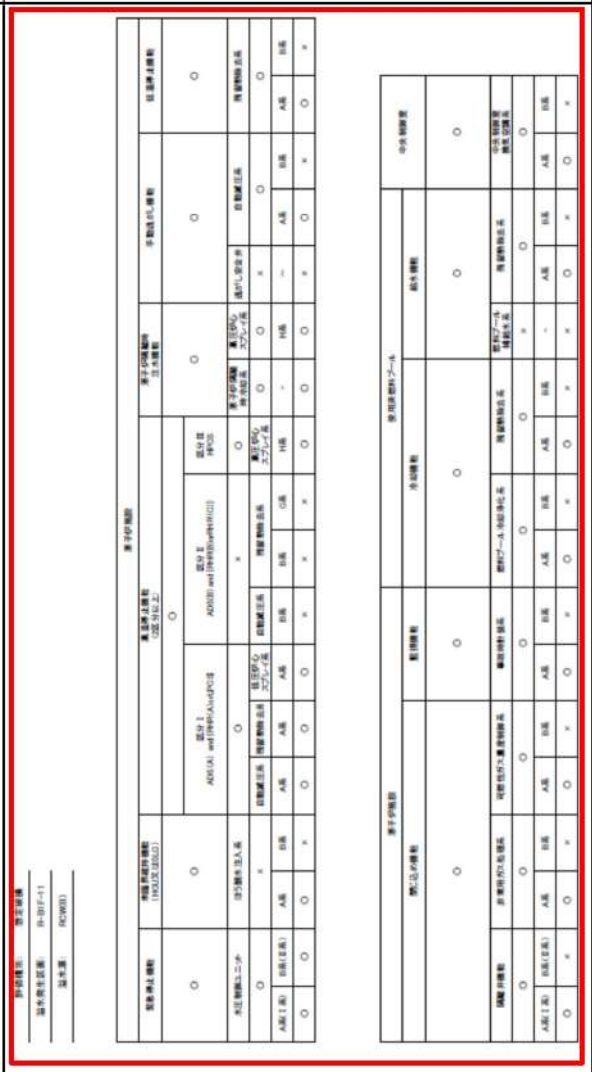
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

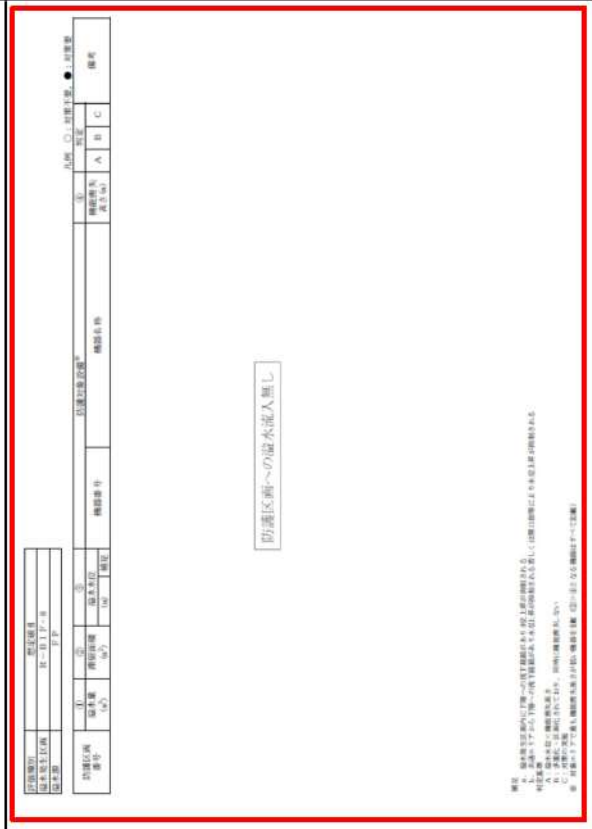
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

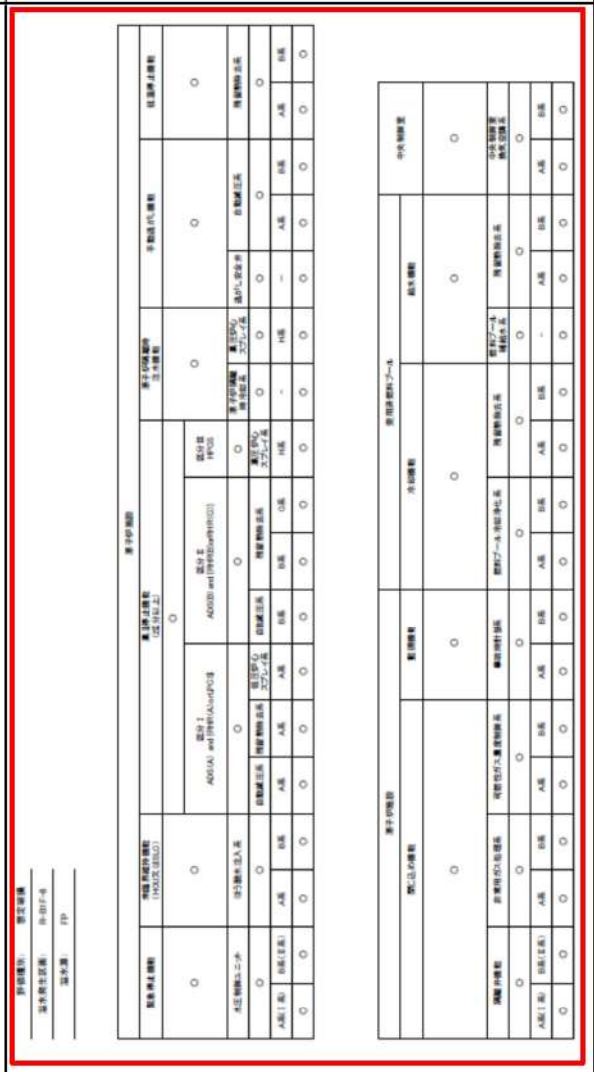
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画～の溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

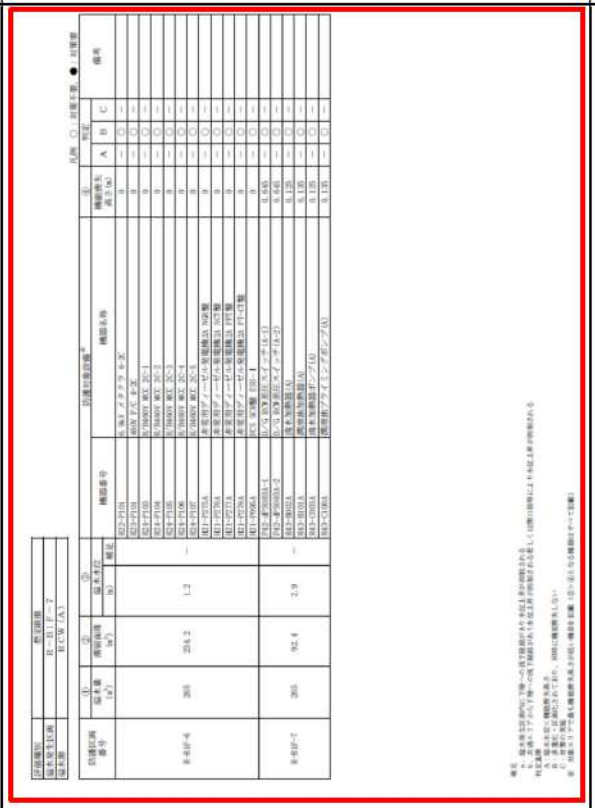
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

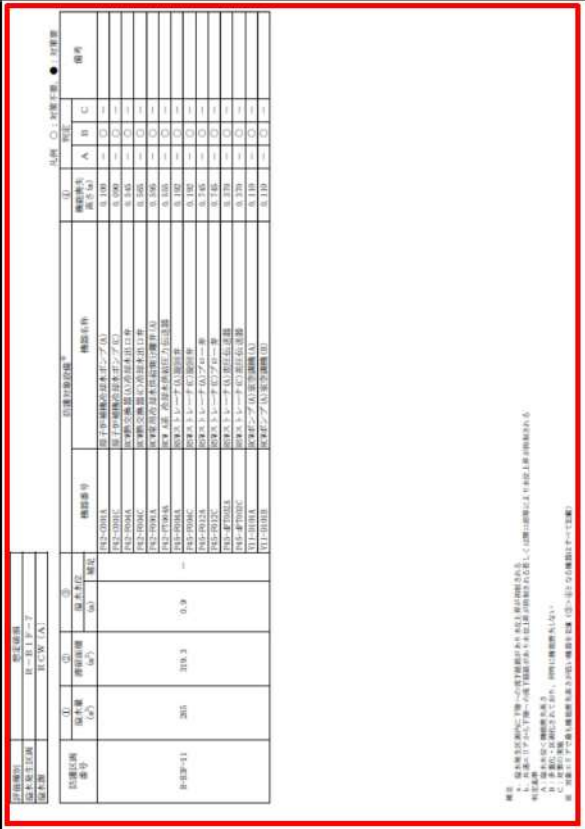
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

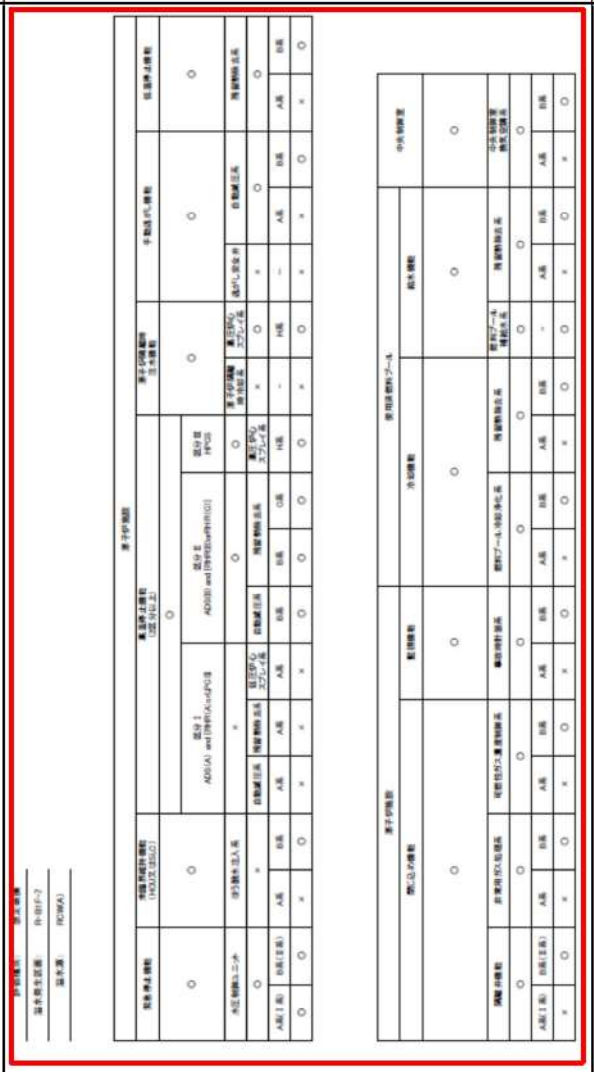
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

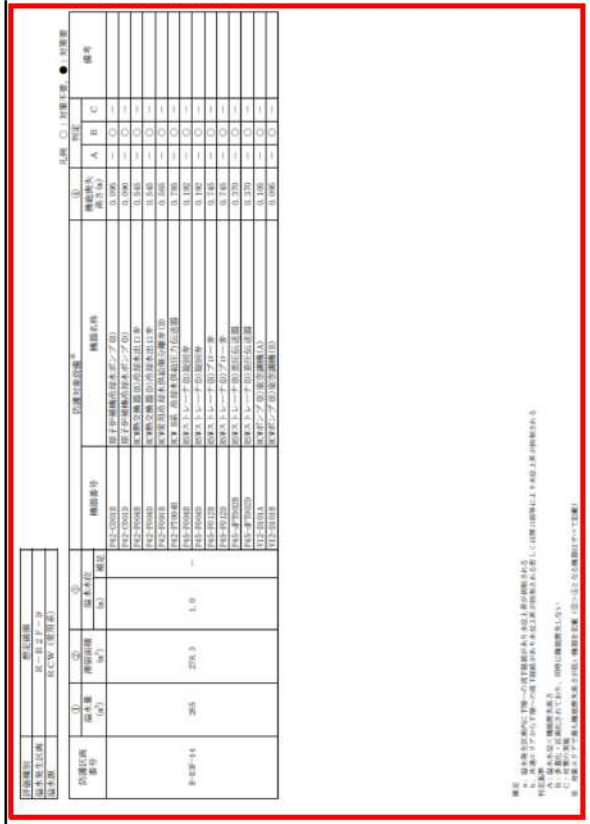
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

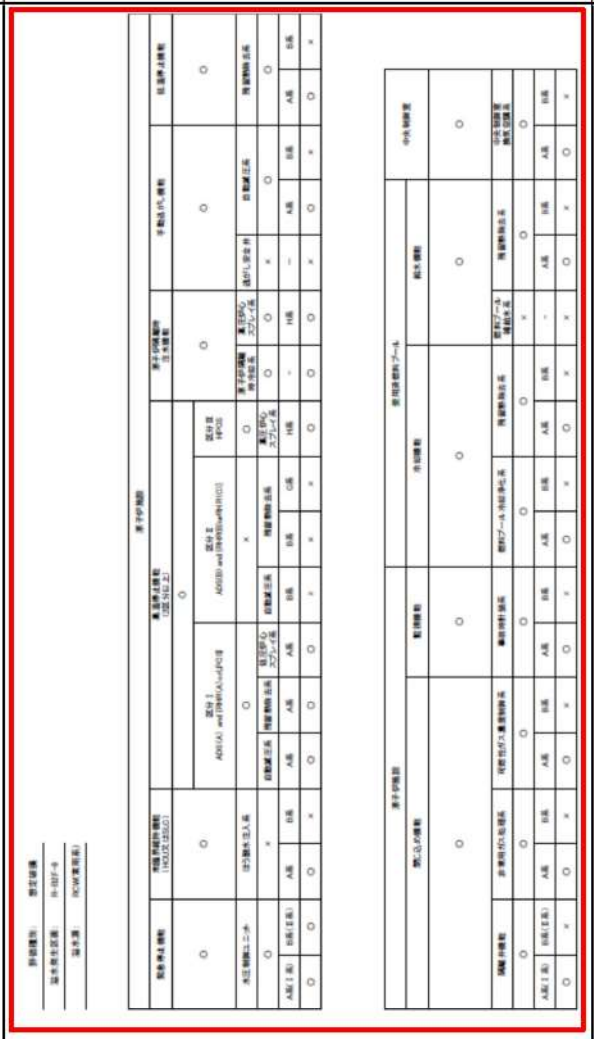
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

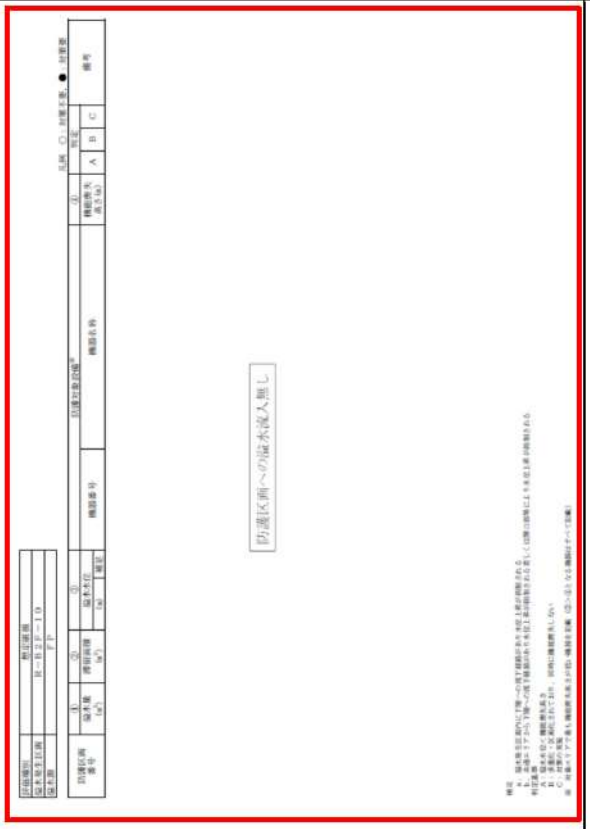
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

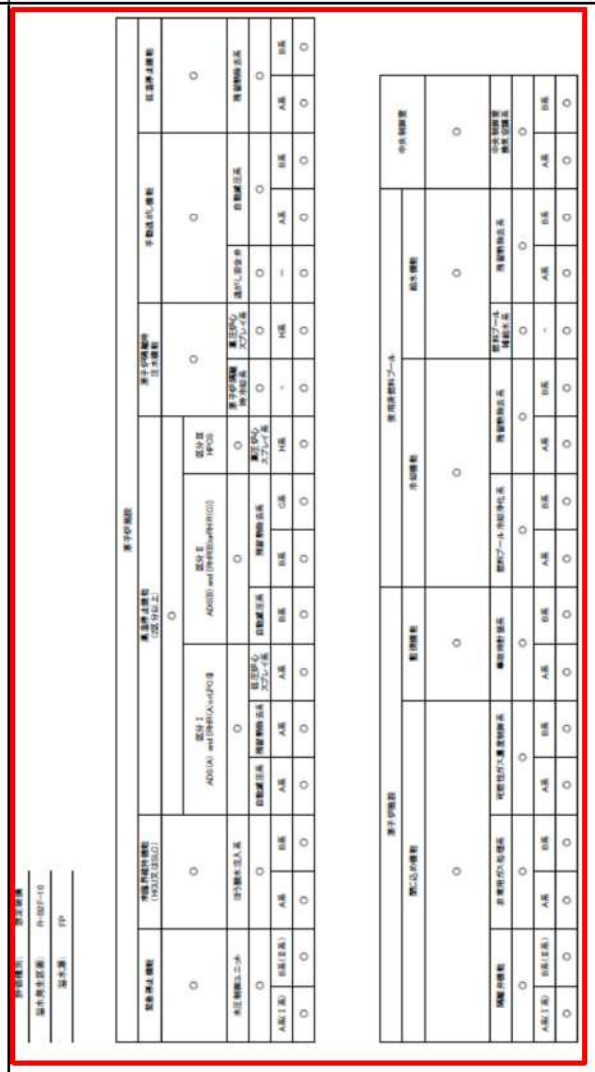
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

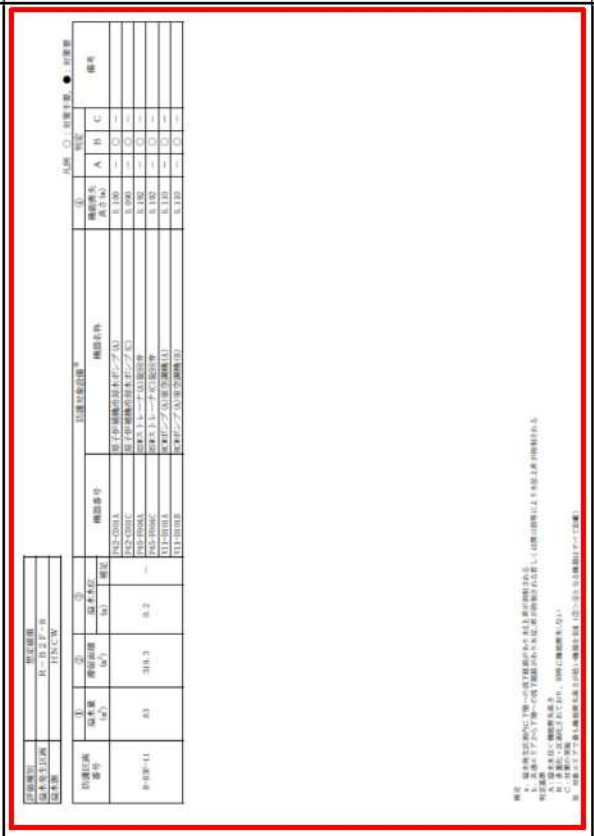
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

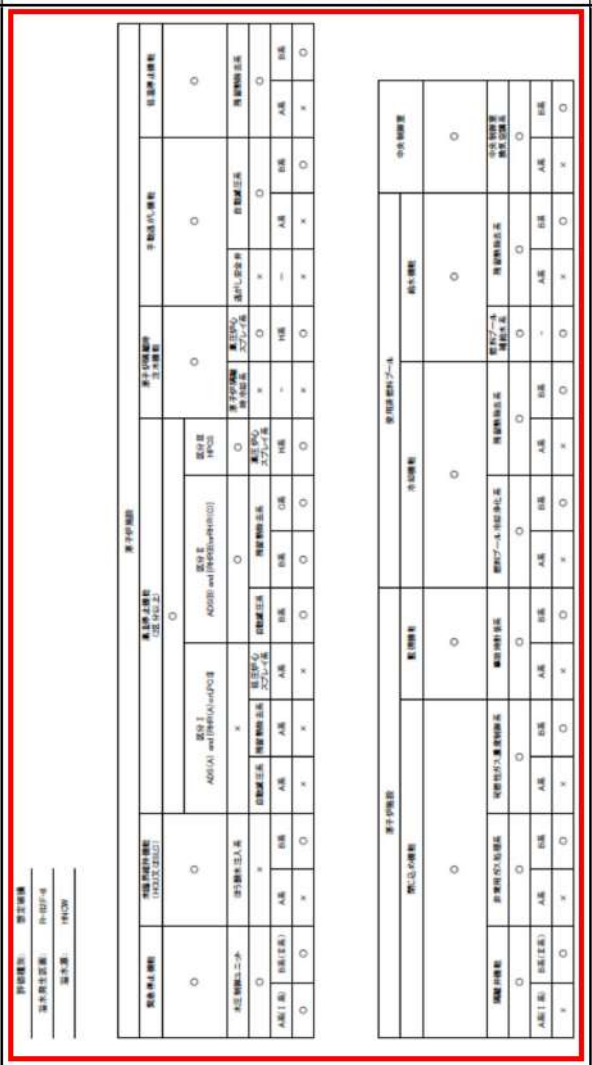
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

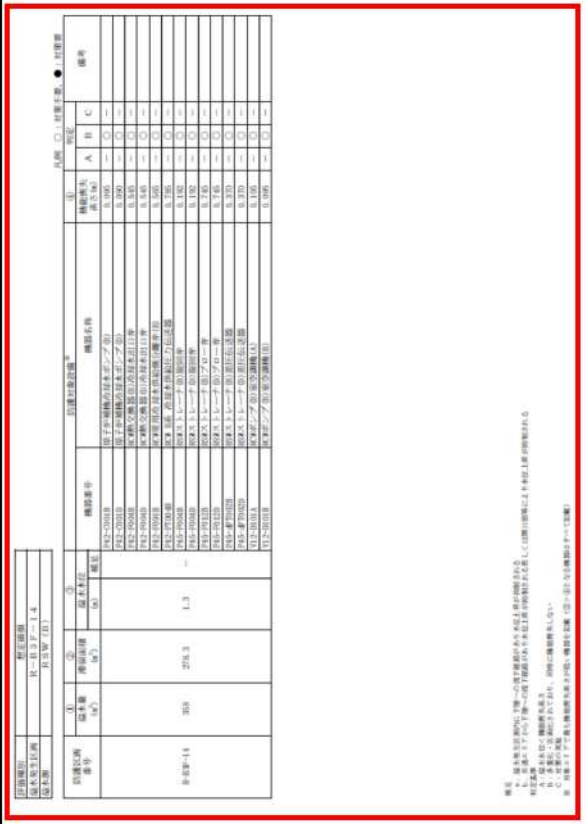
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

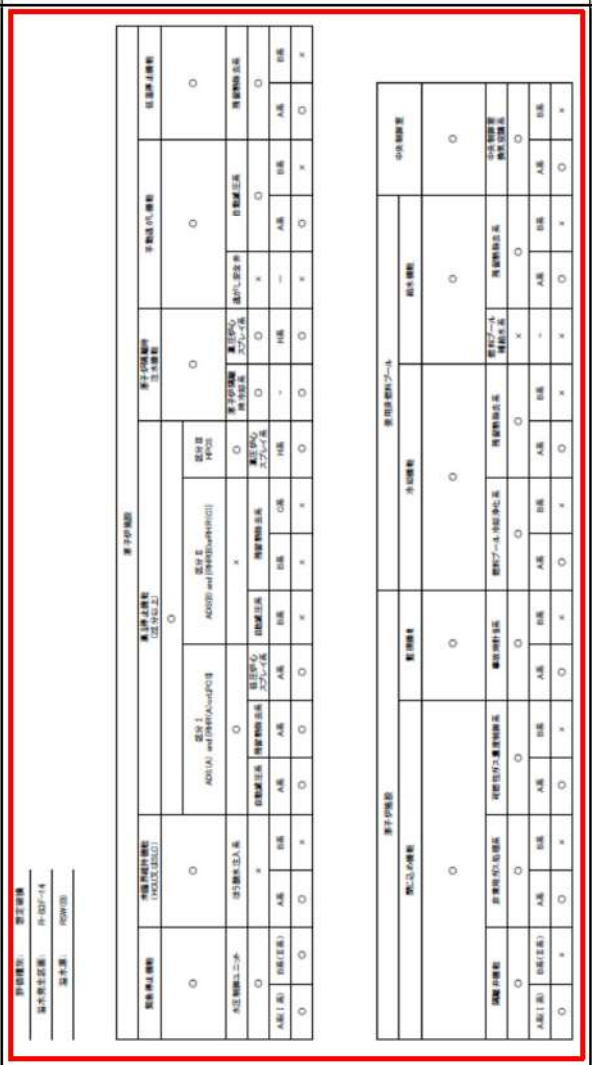
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

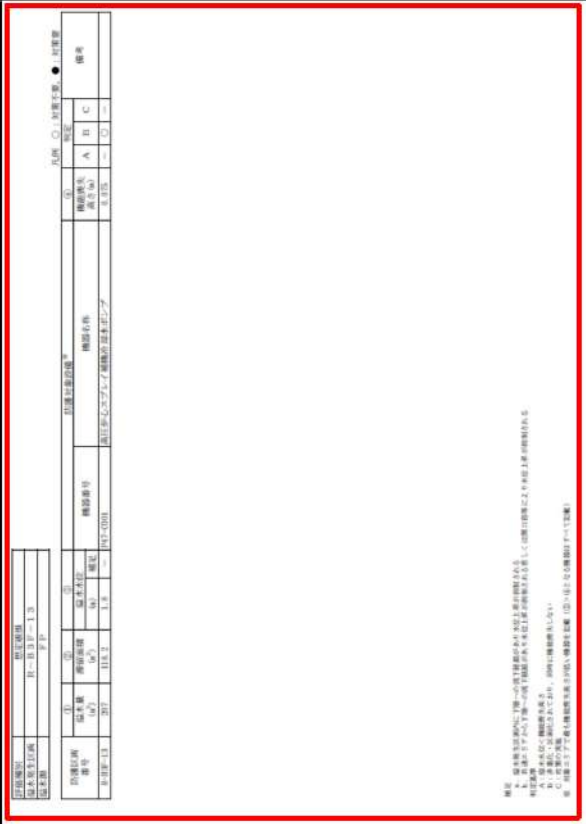
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

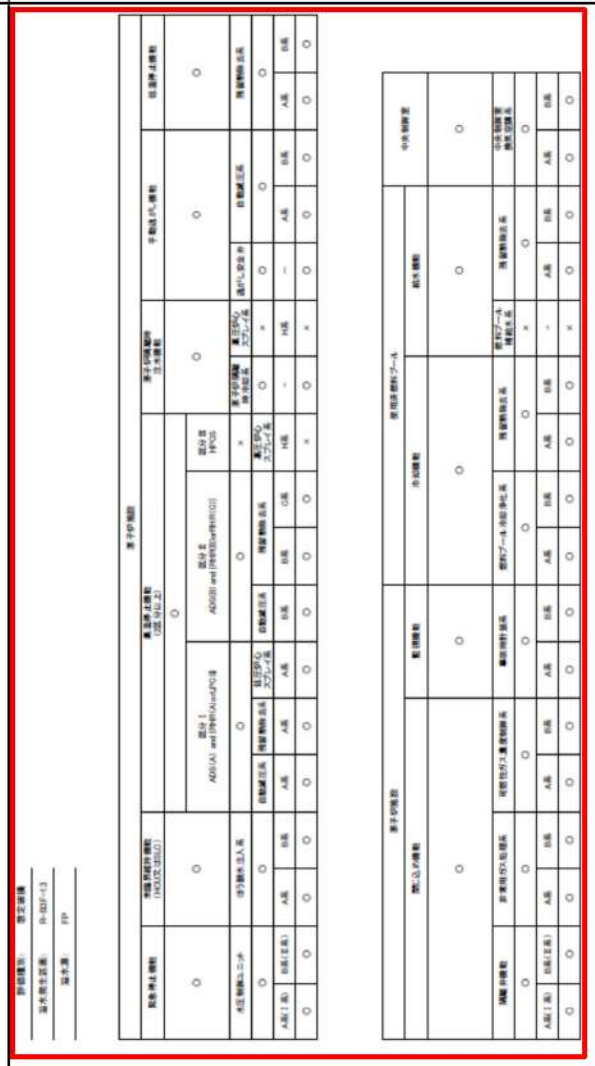
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

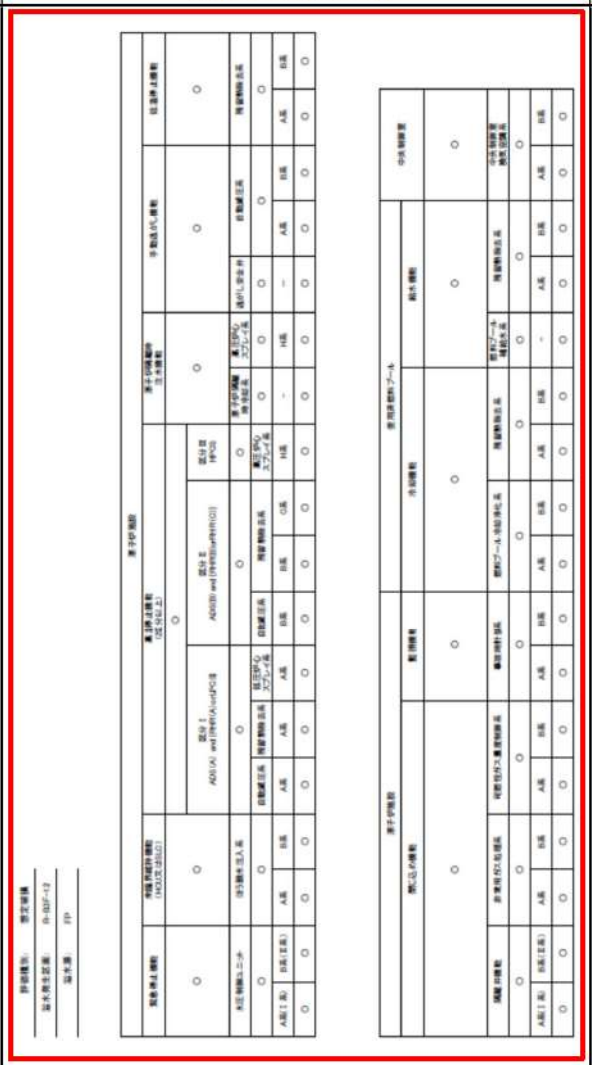
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	防護区画への溢水浸入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

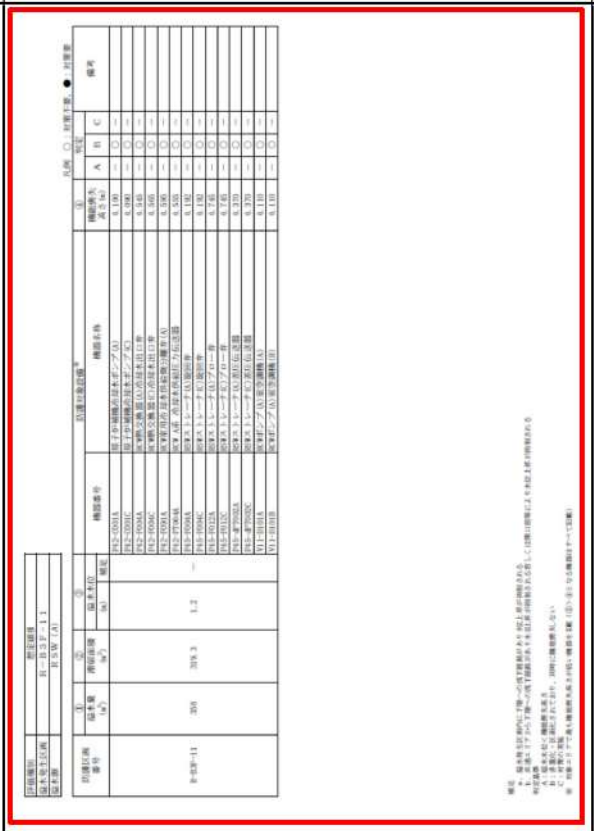
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

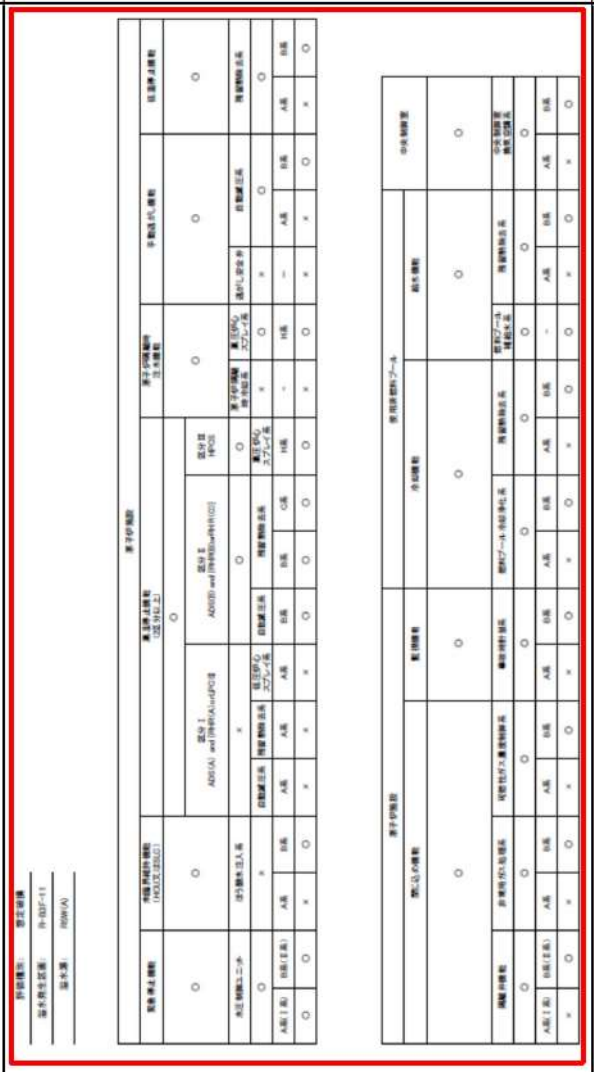
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

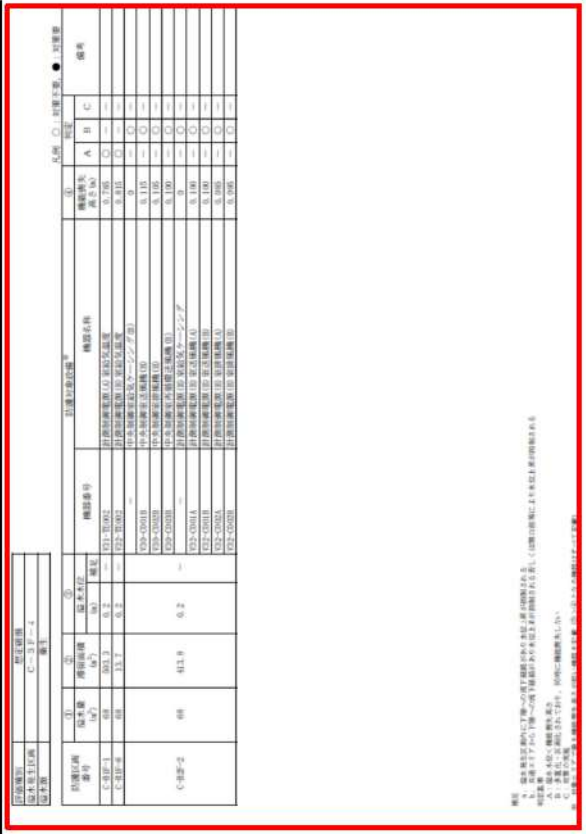
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

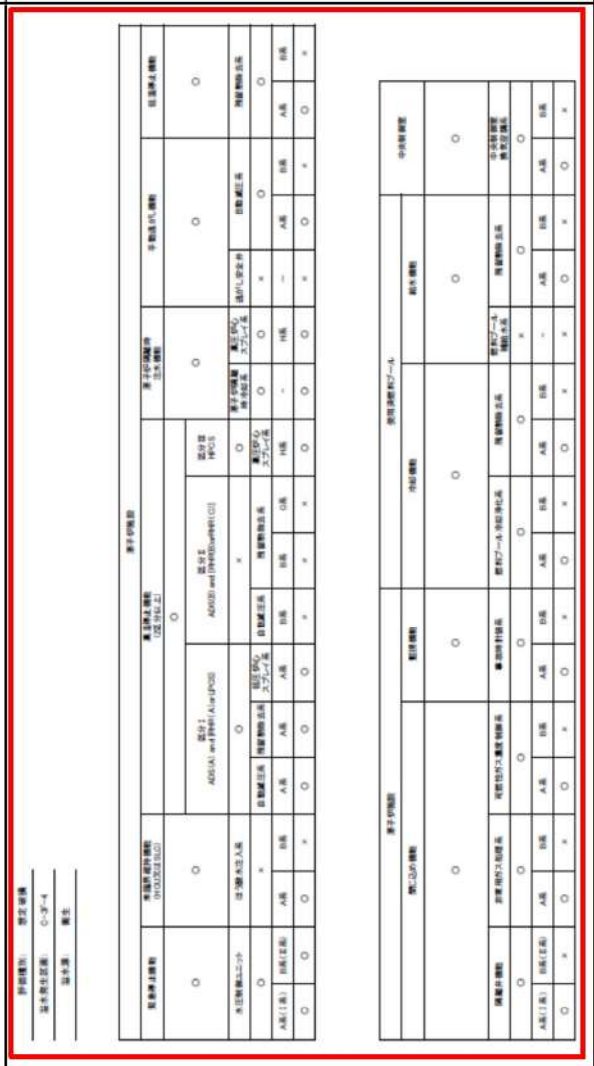
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

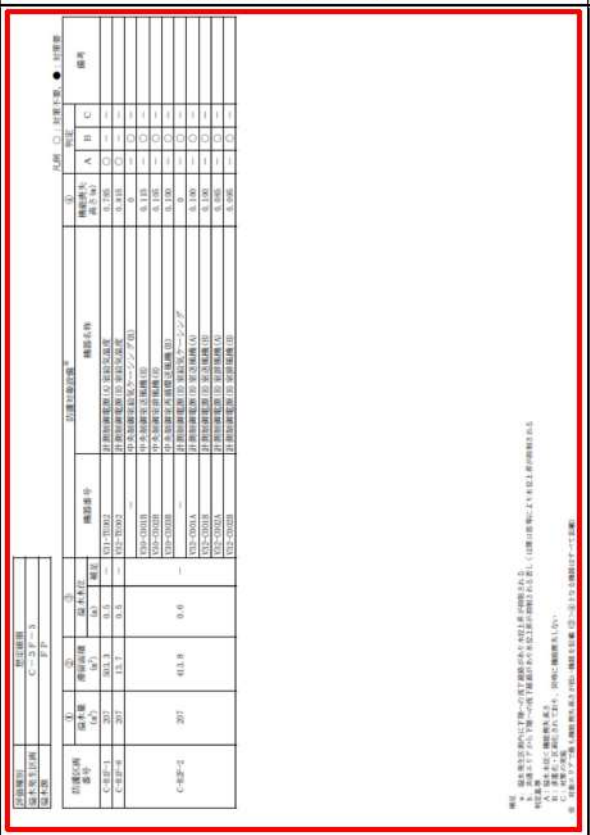
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

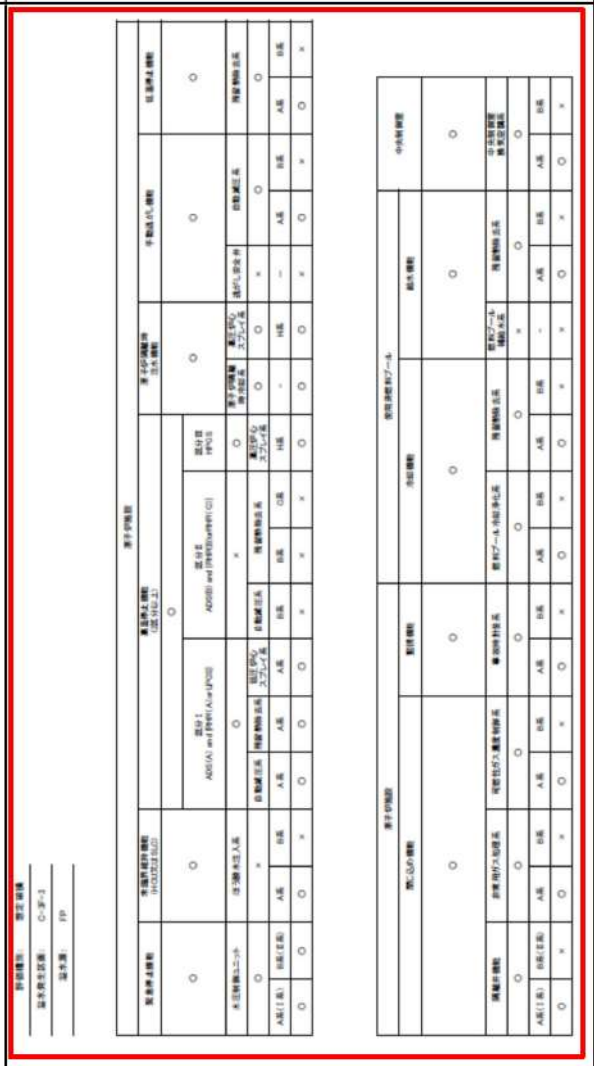
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

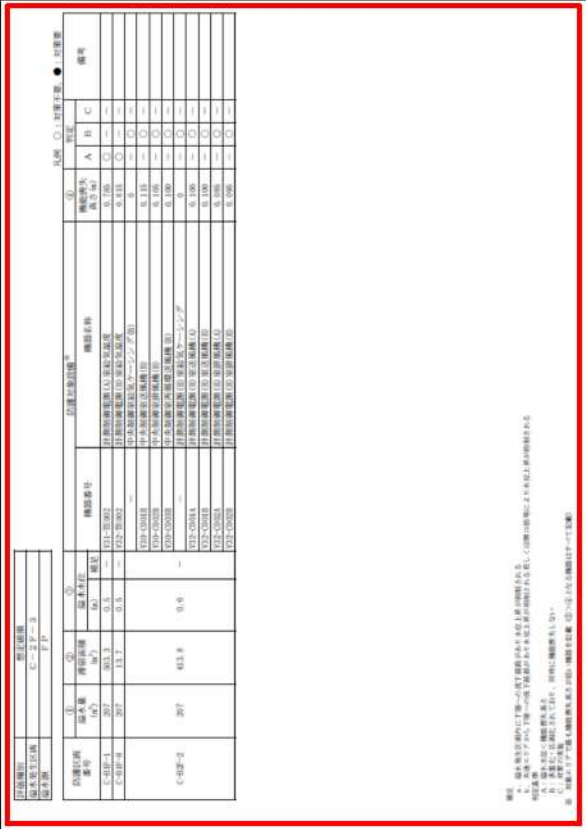
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

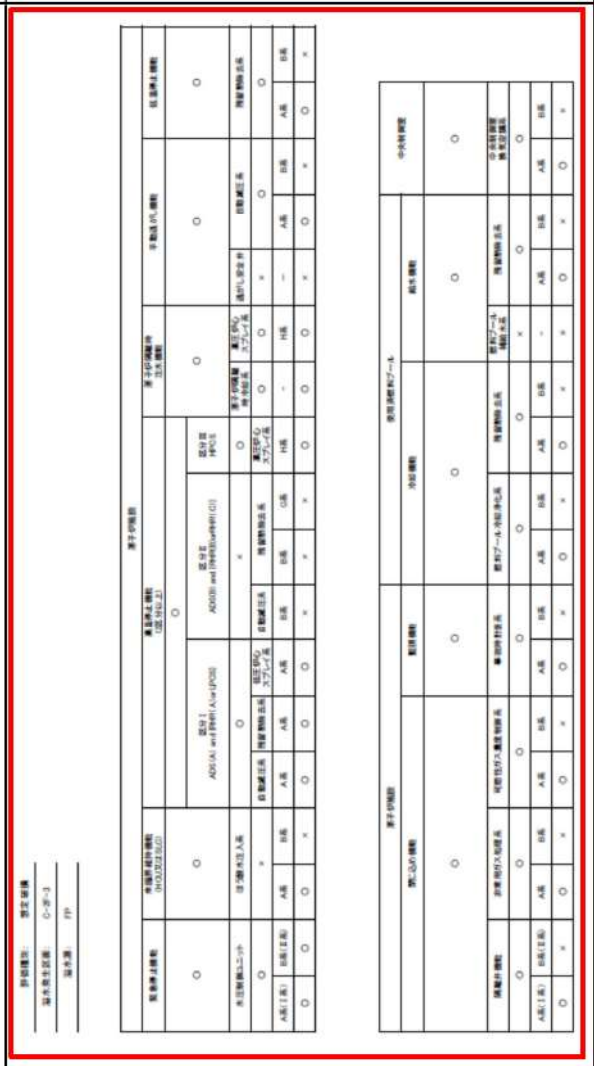
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

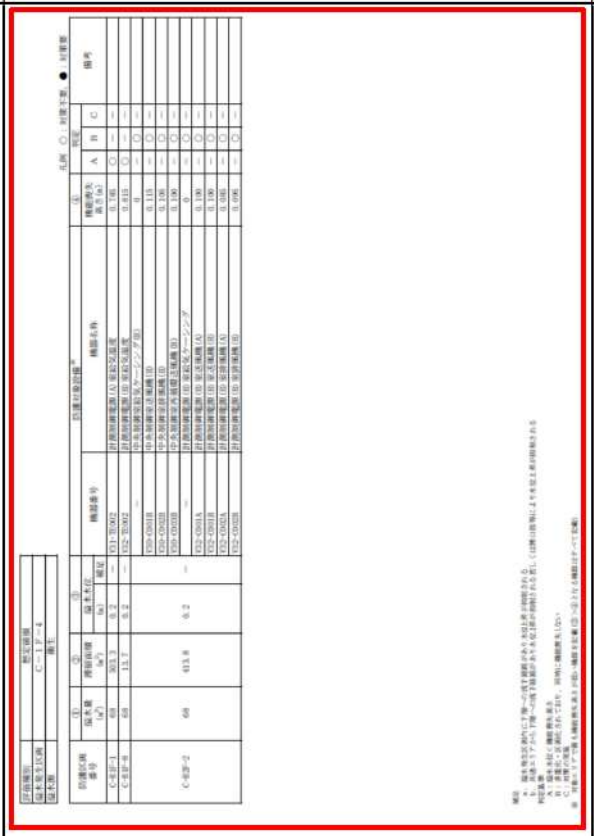
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

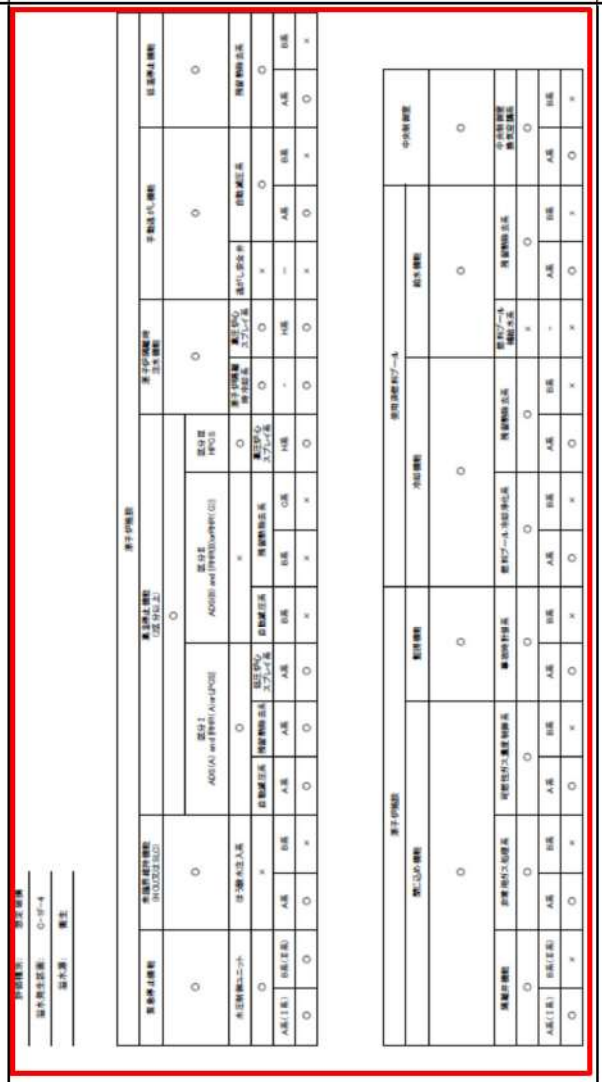
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

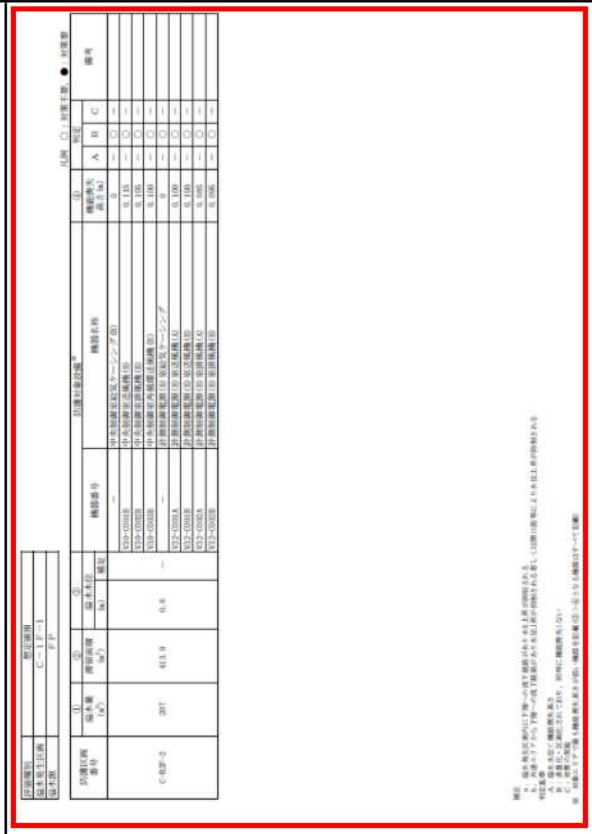
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

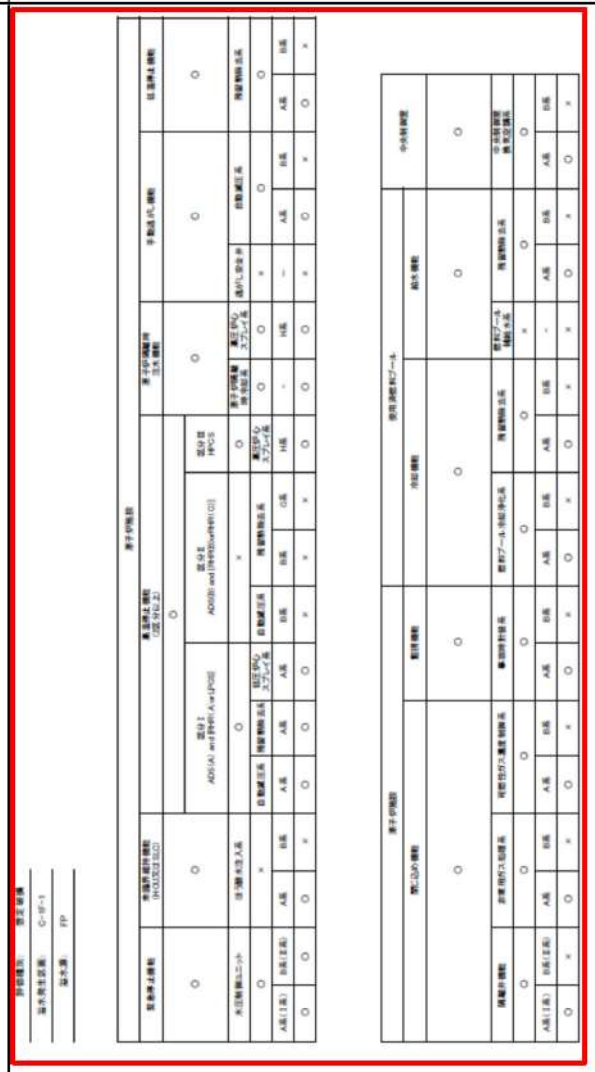
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

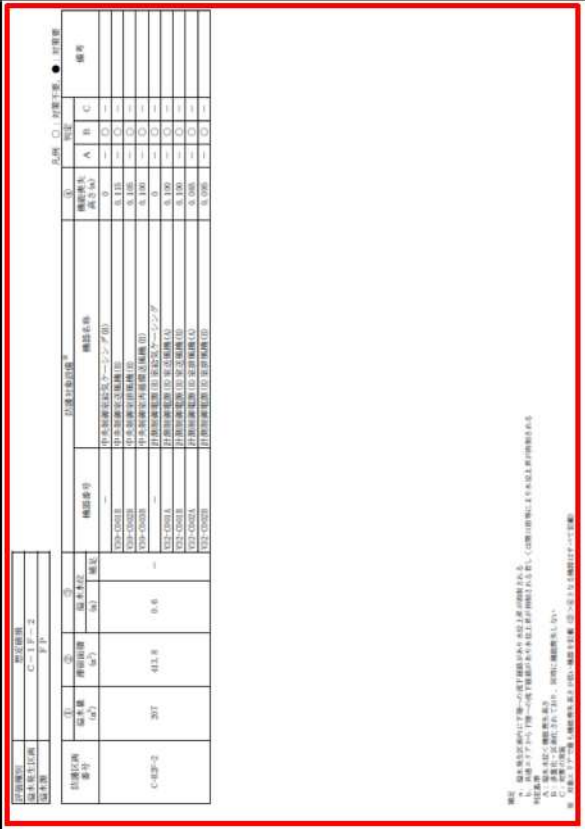
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

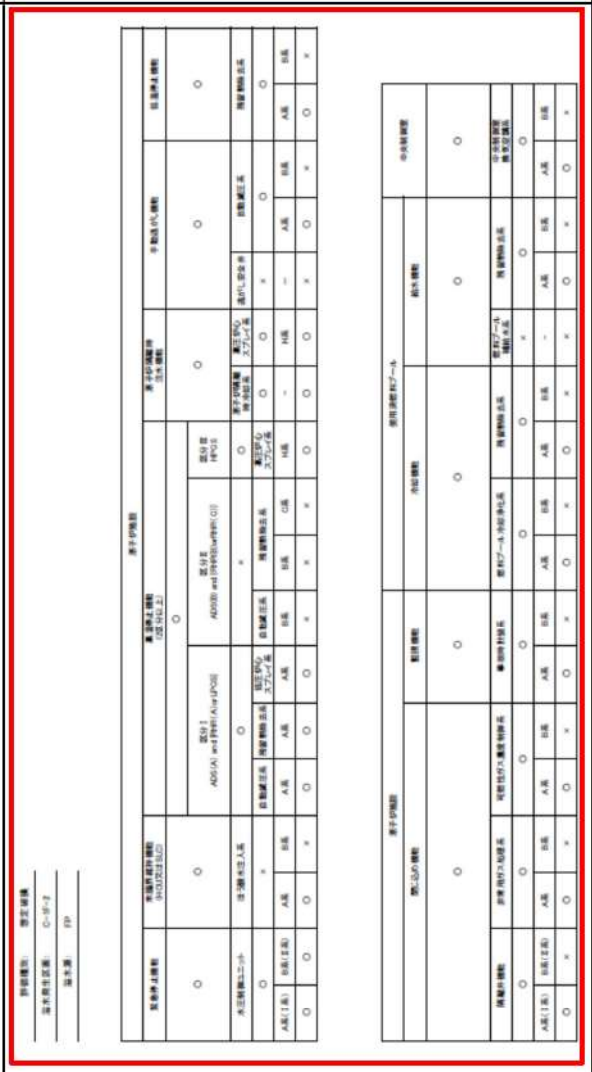
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

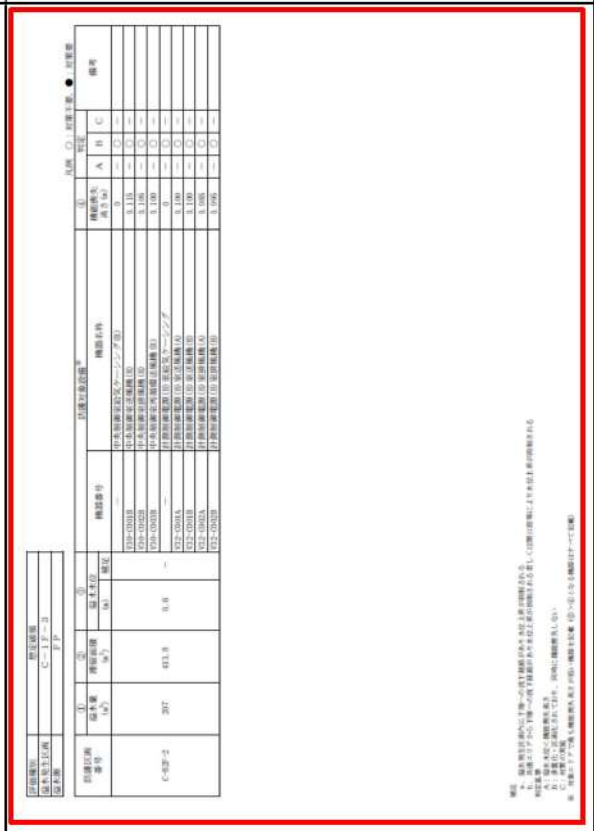
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

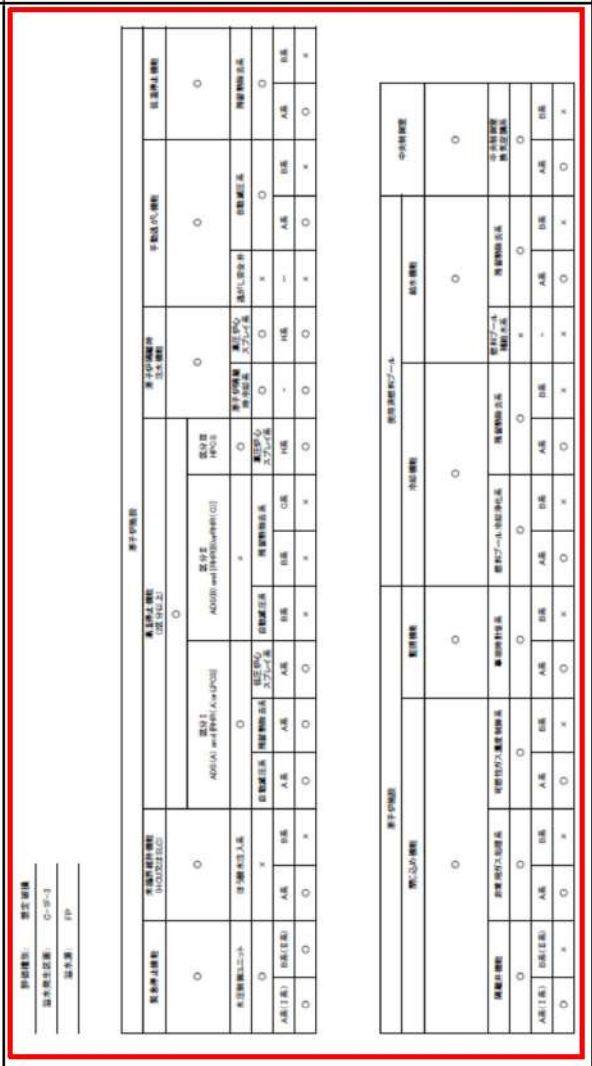
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

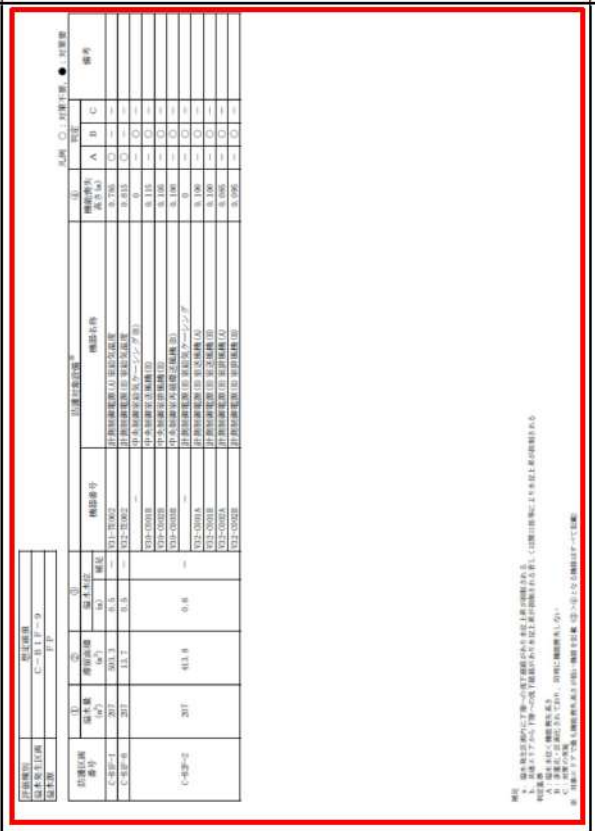
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

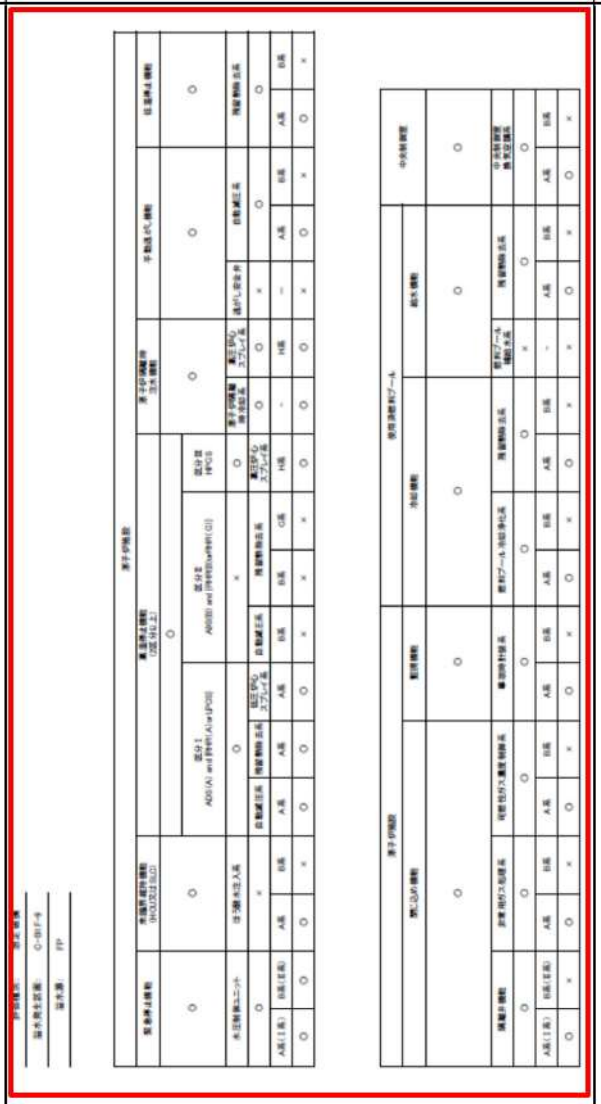
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

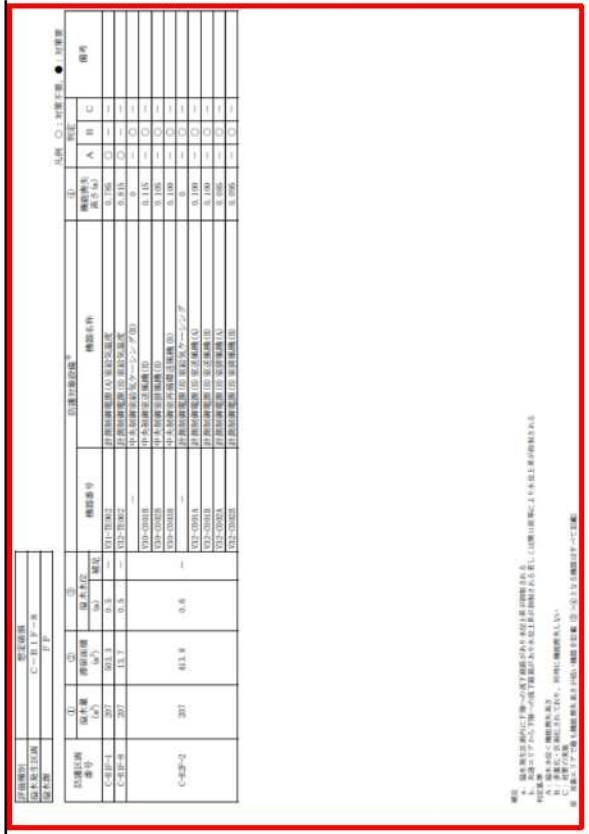
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

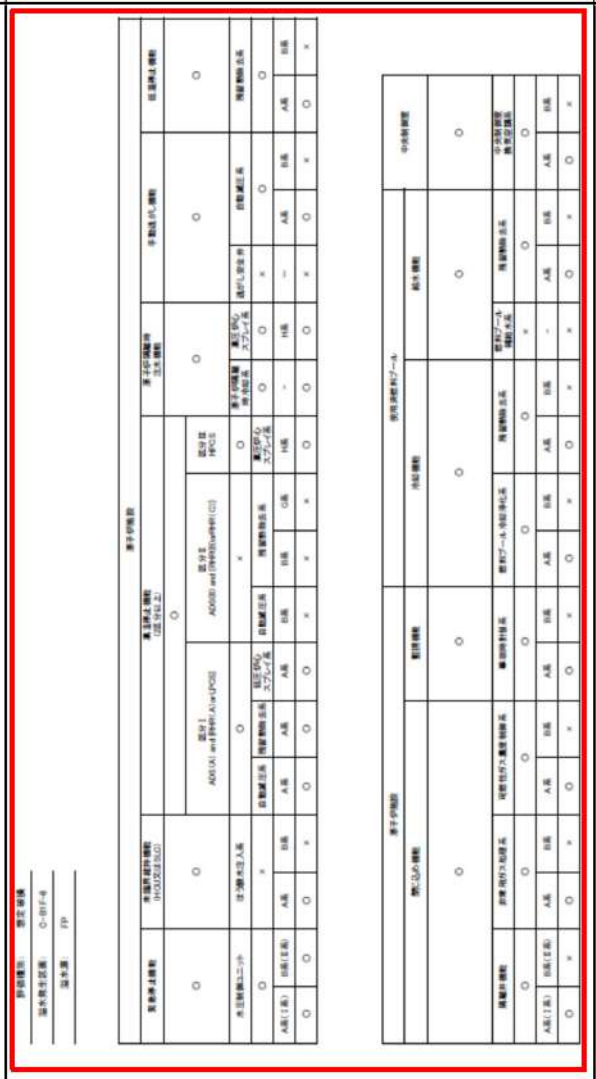
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

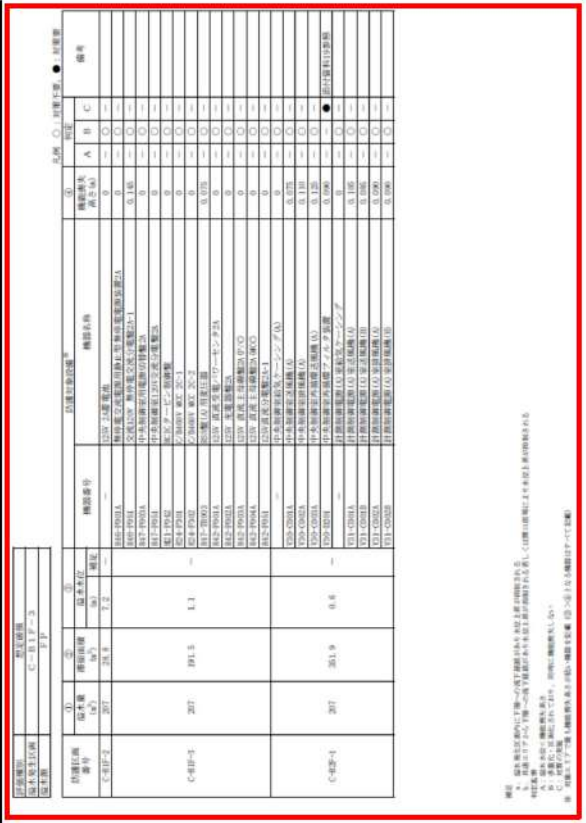
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

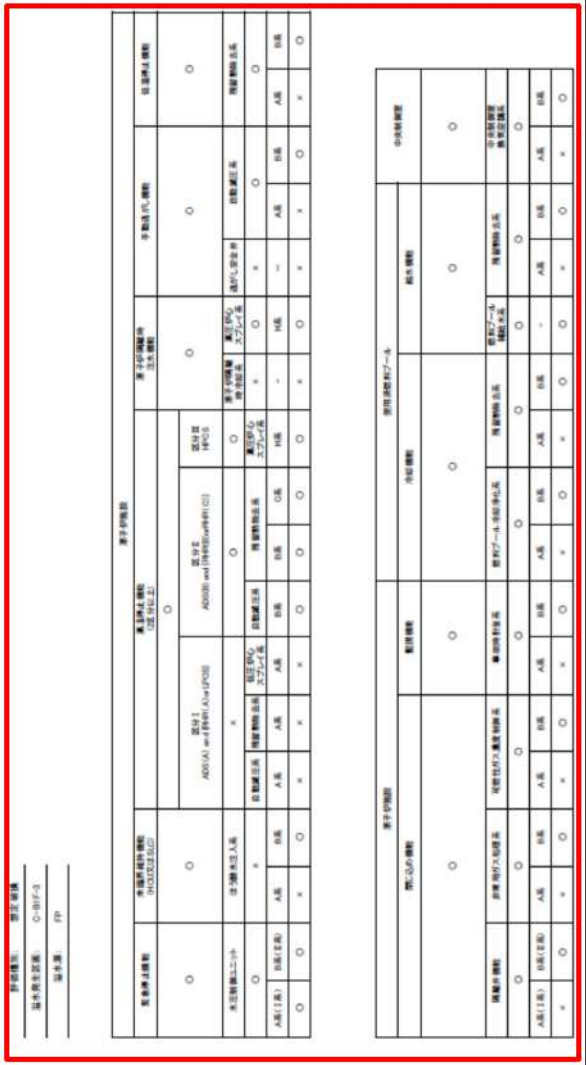
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

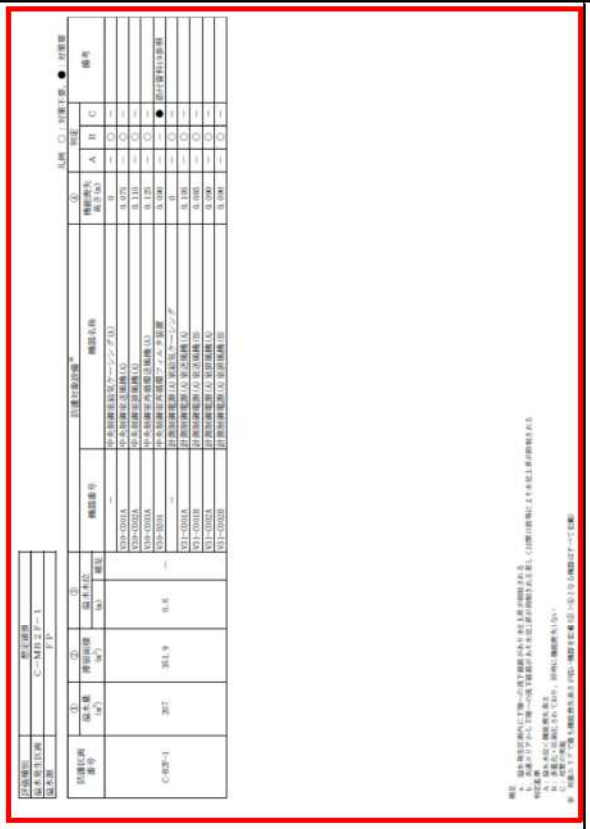
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

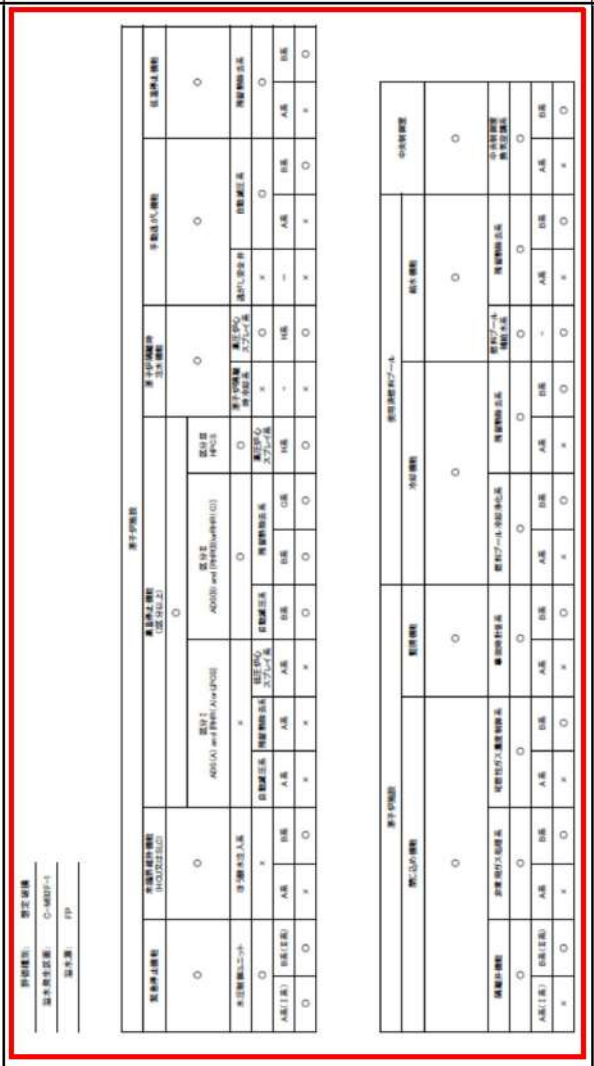
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

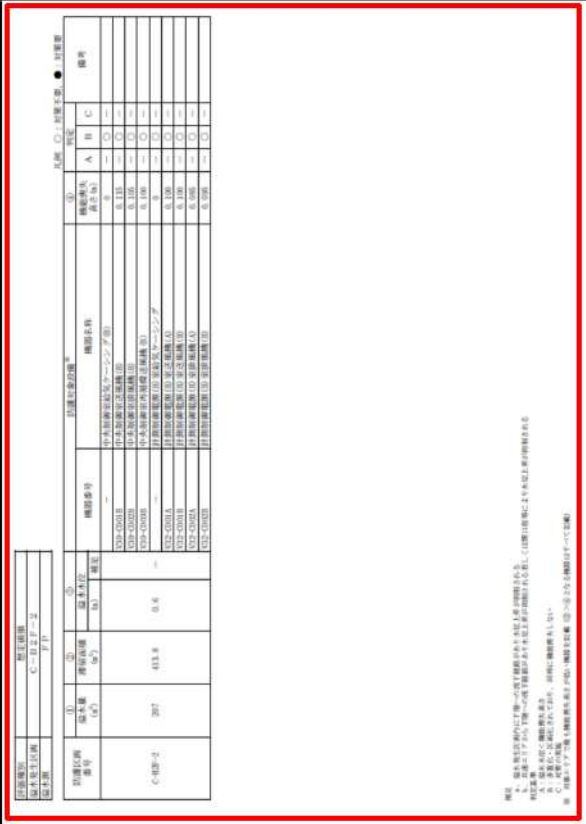
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

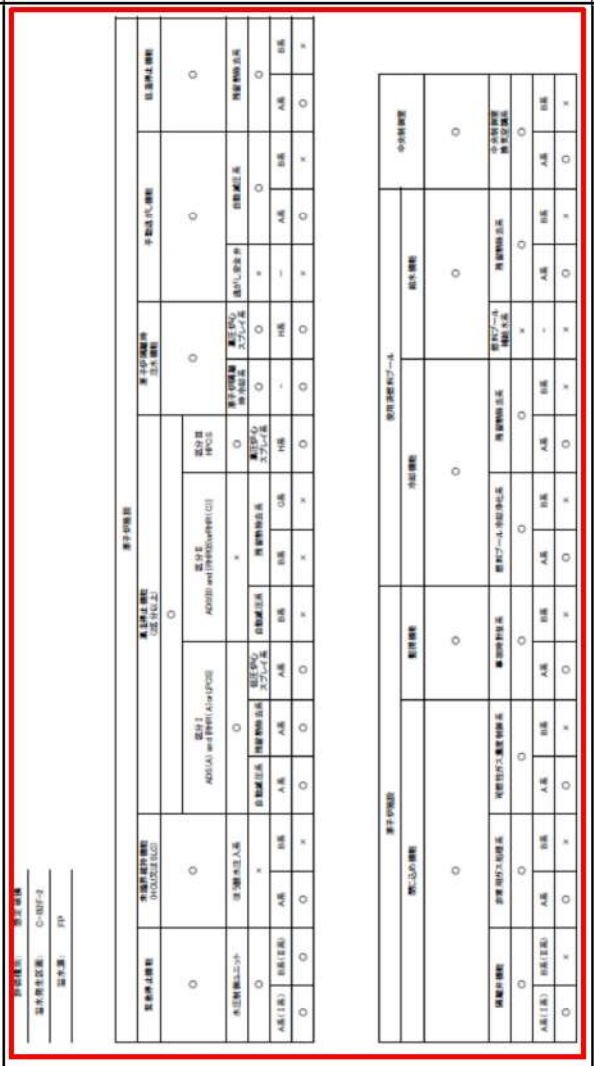
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

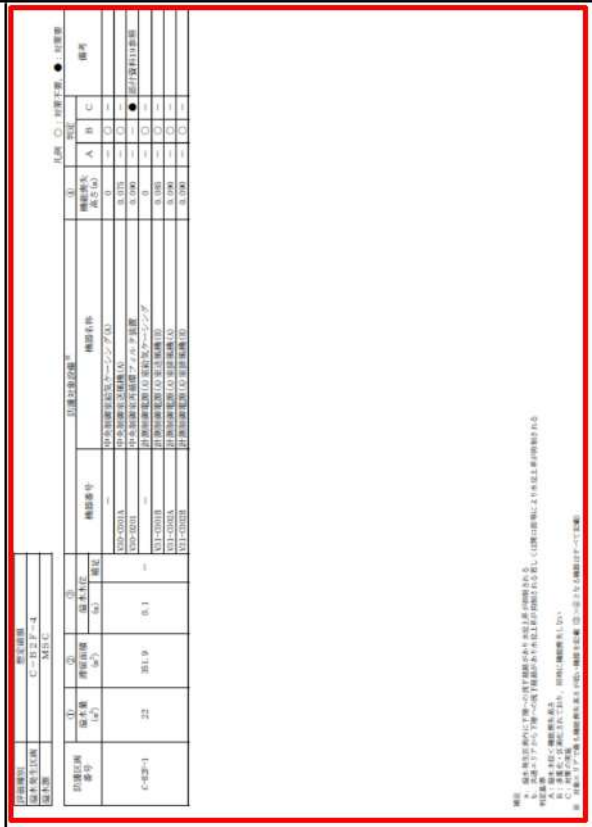
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

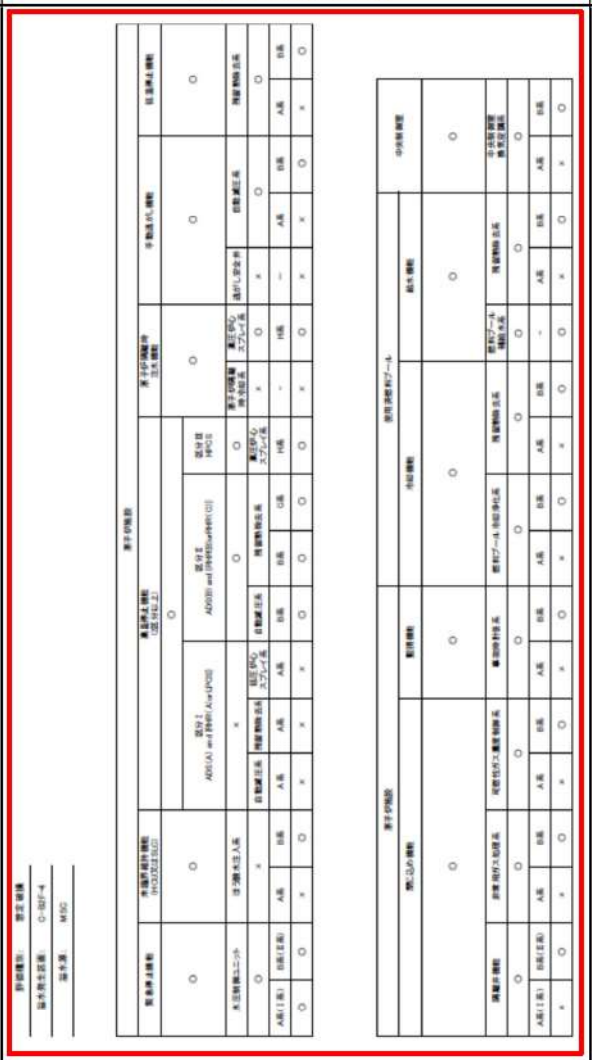
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

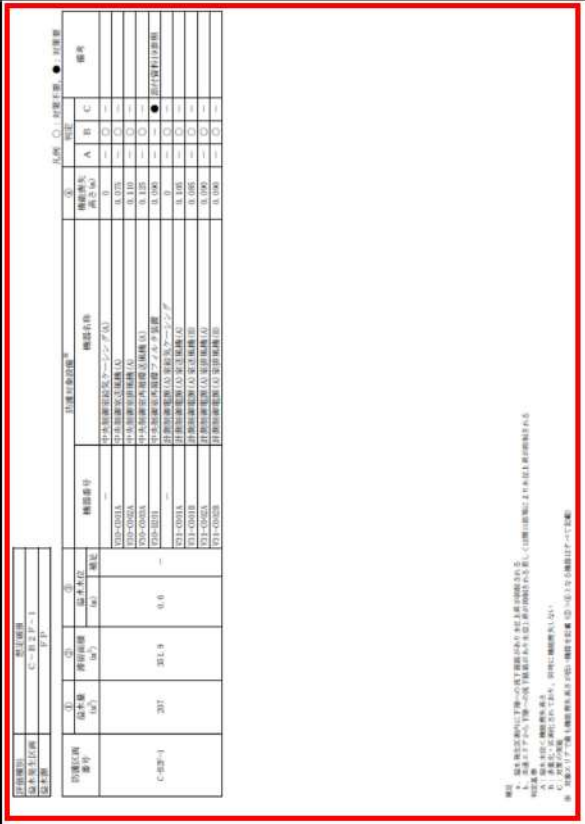
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

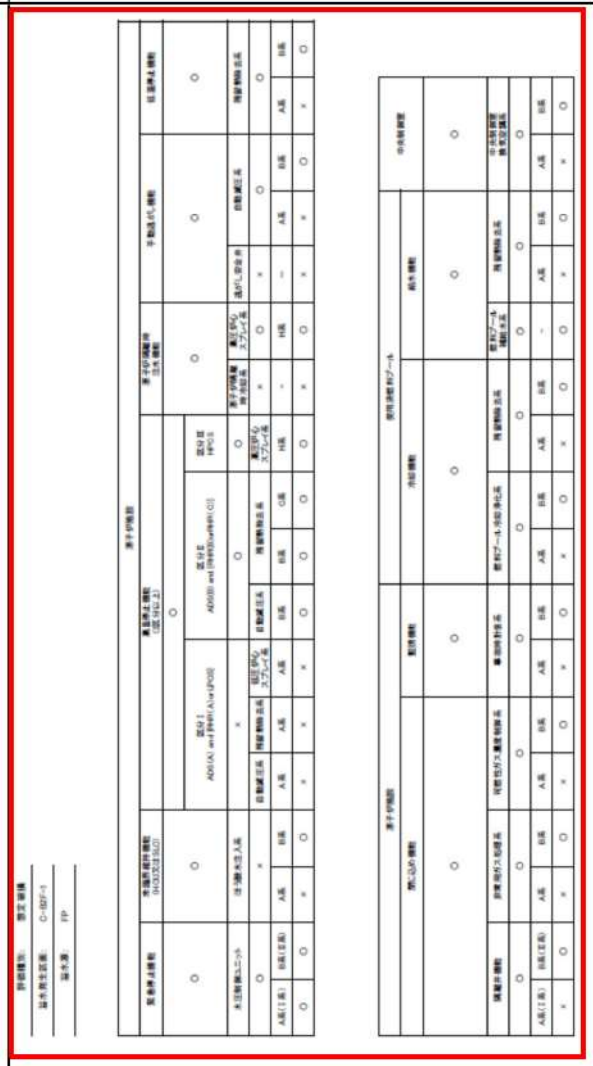
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

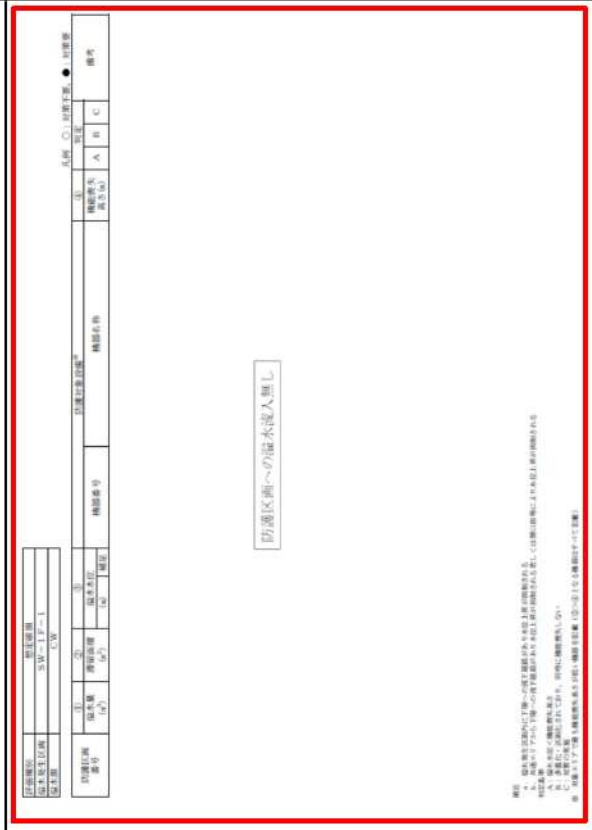
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

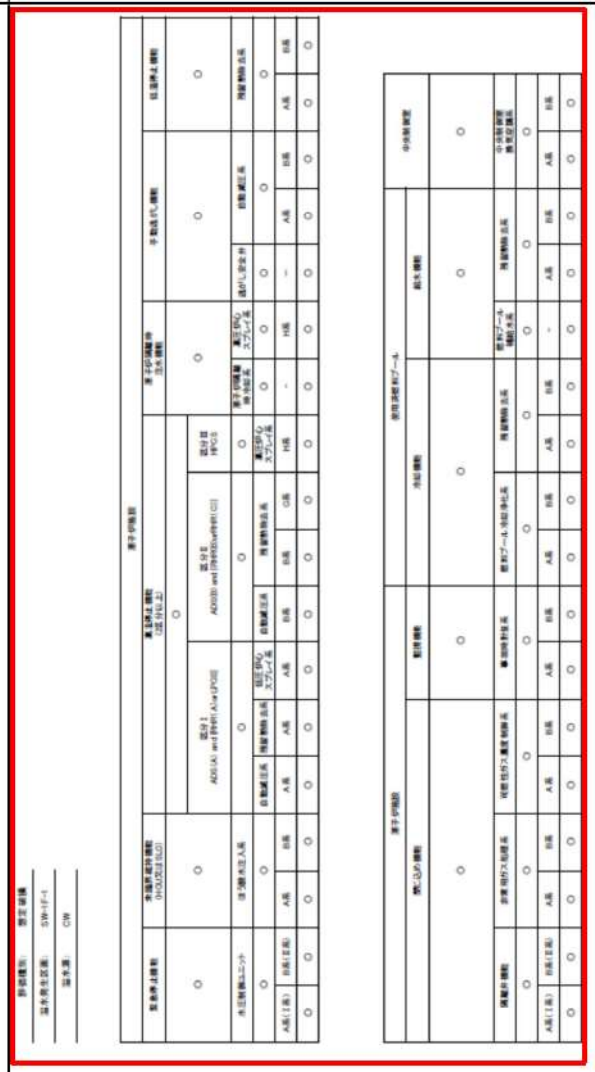
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

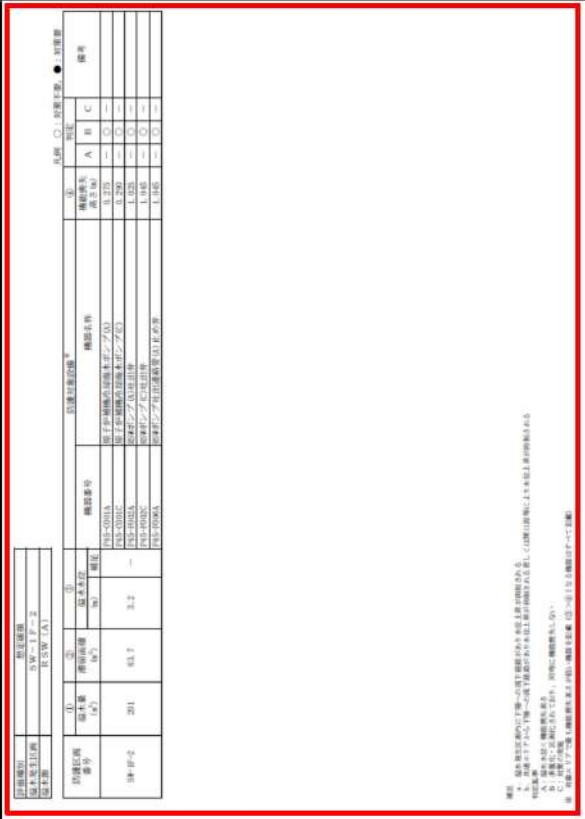
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

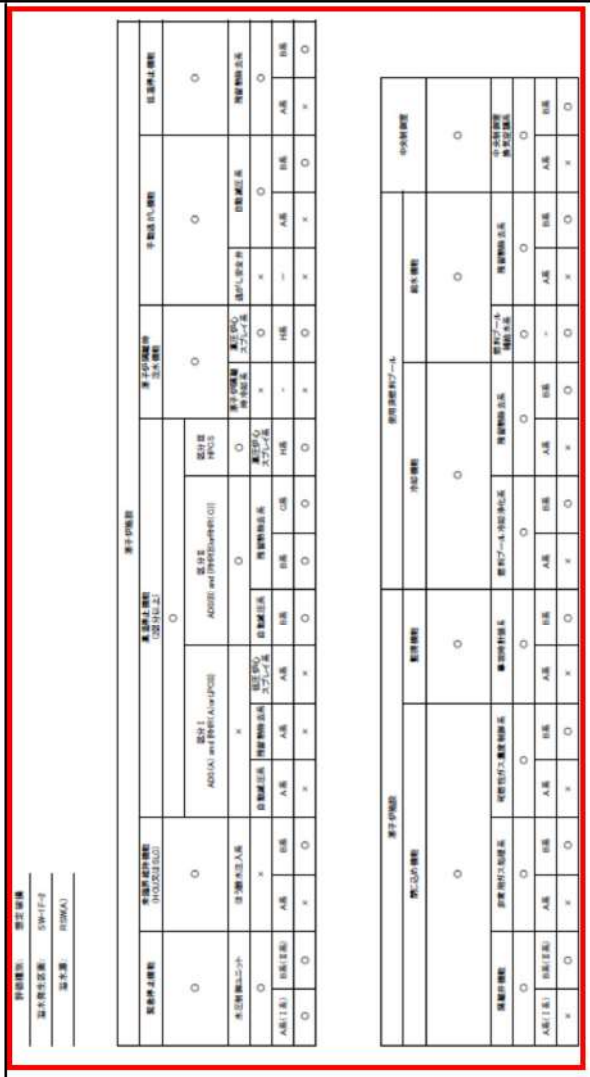
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

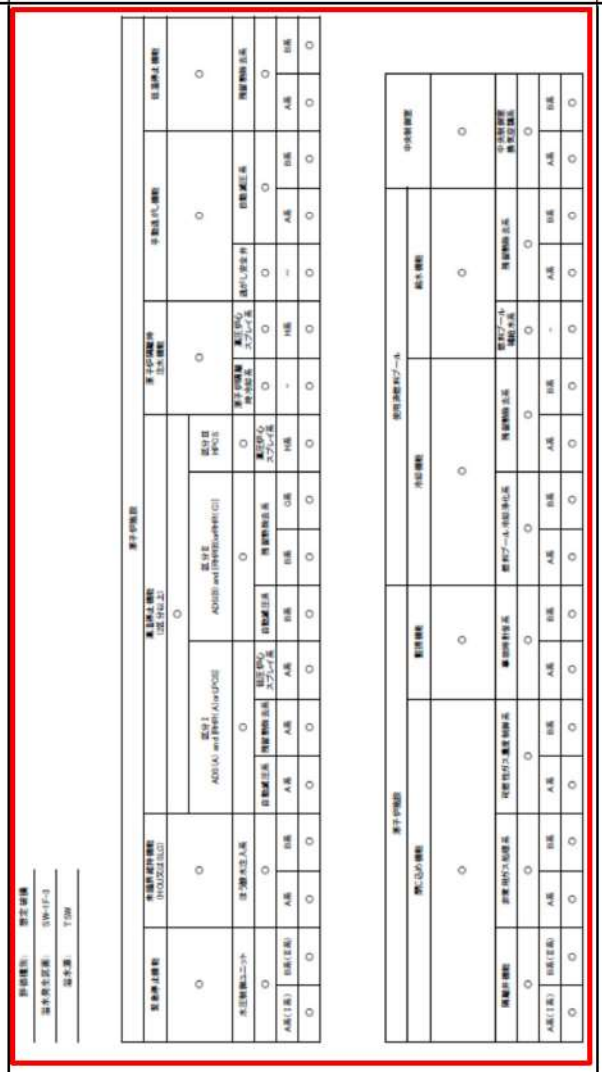
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

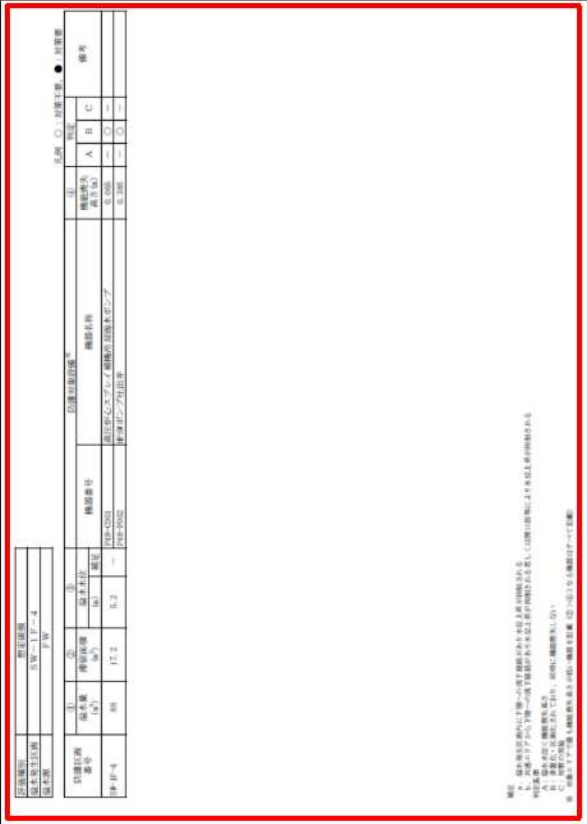
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

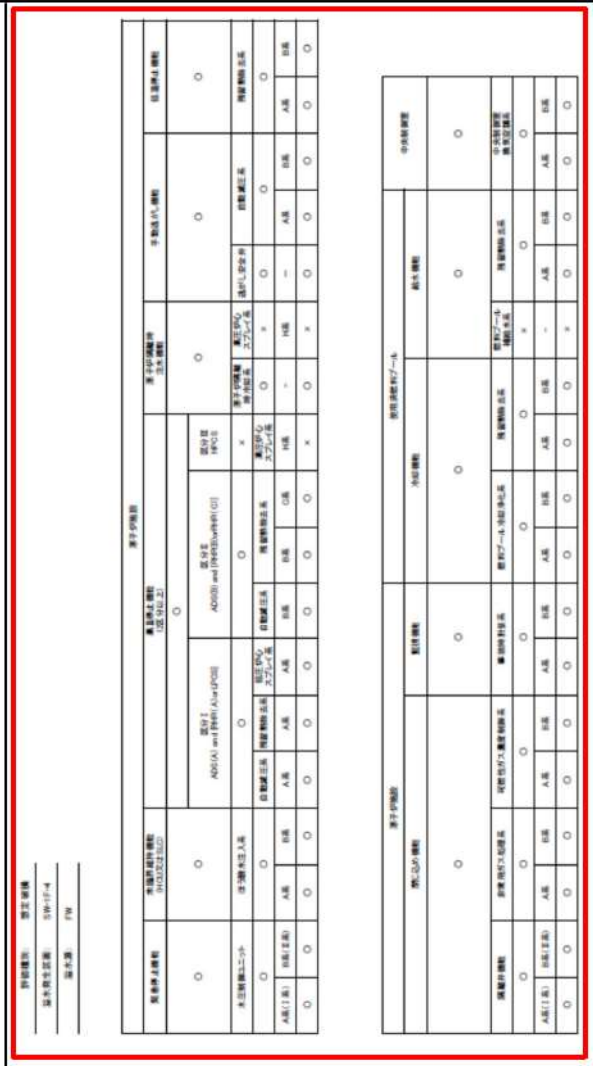
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

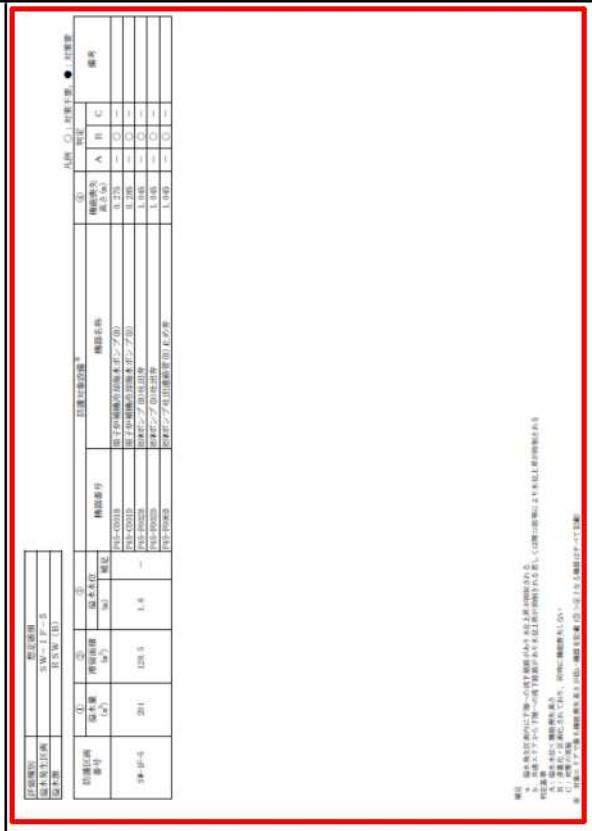
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

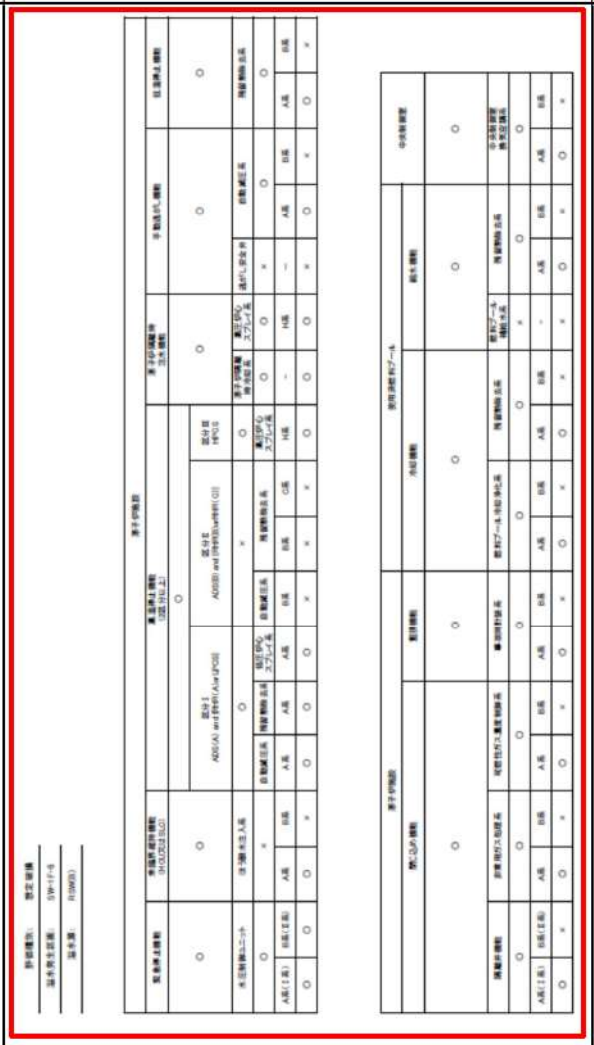
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

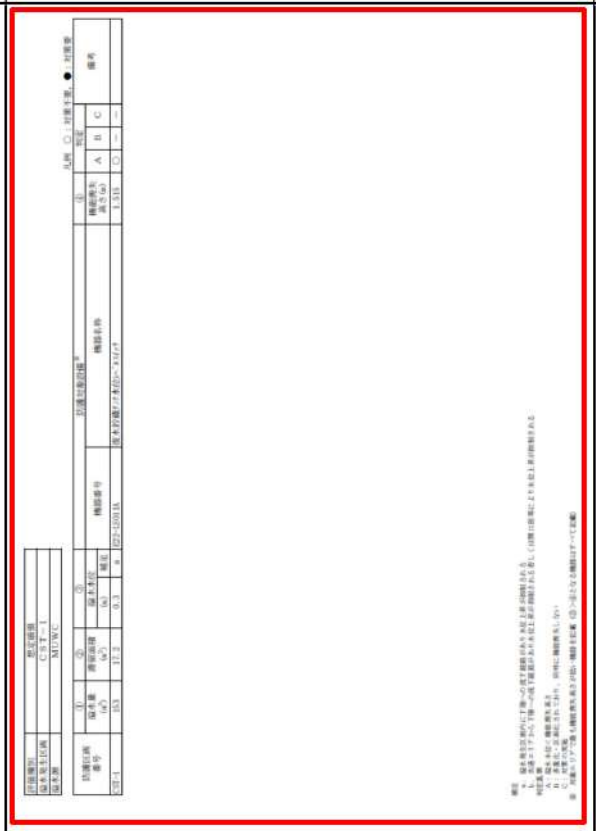
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

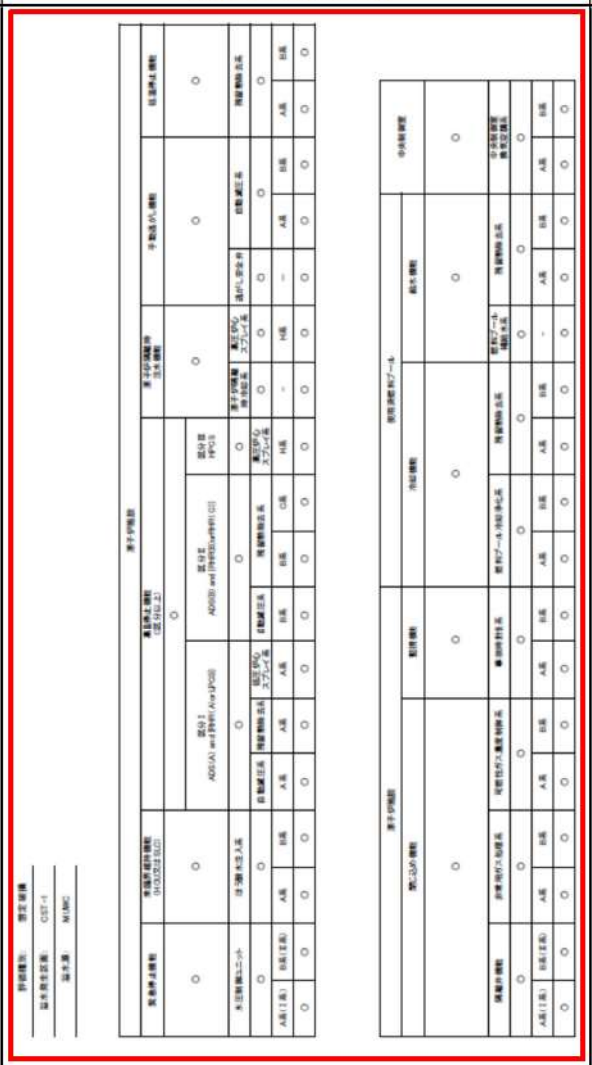
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

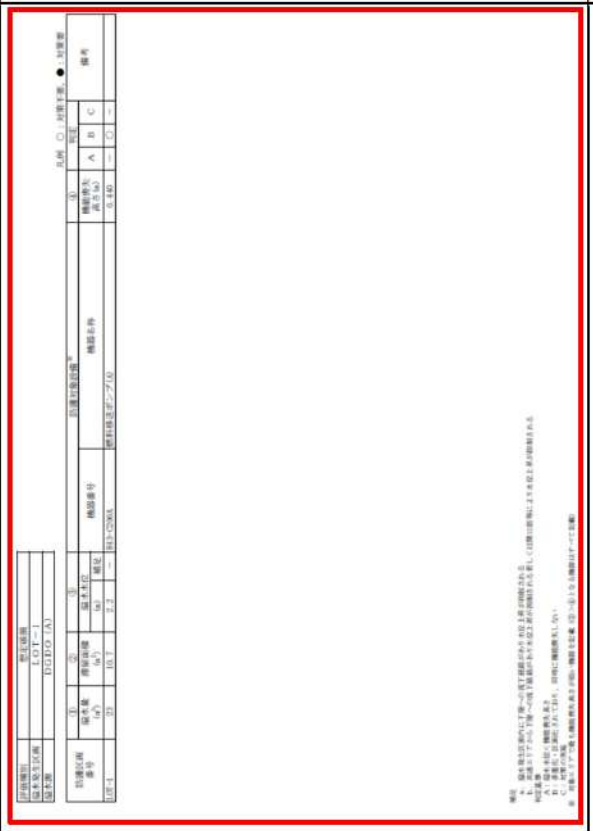
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

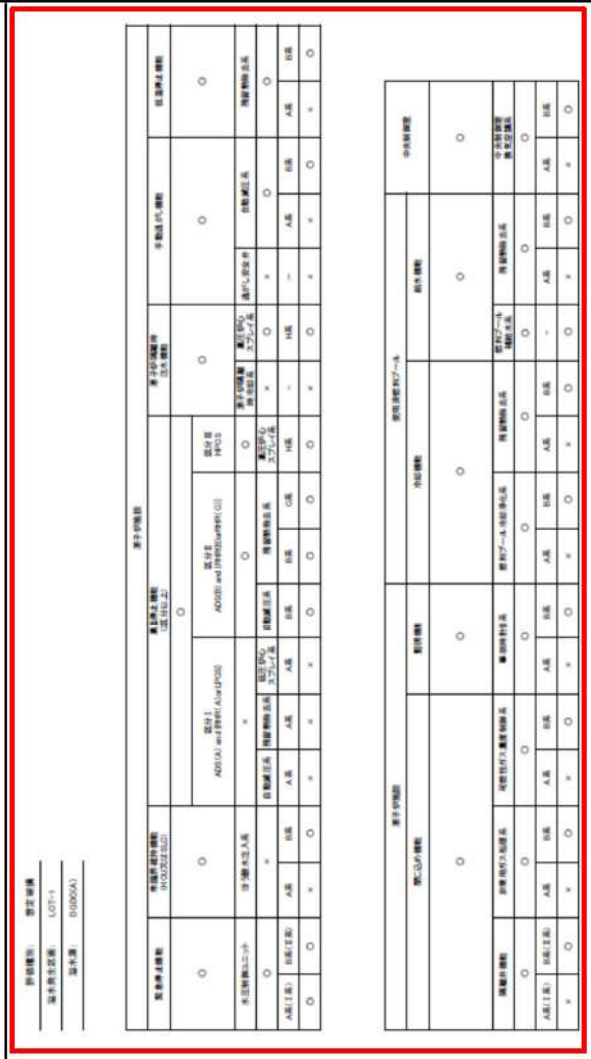
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

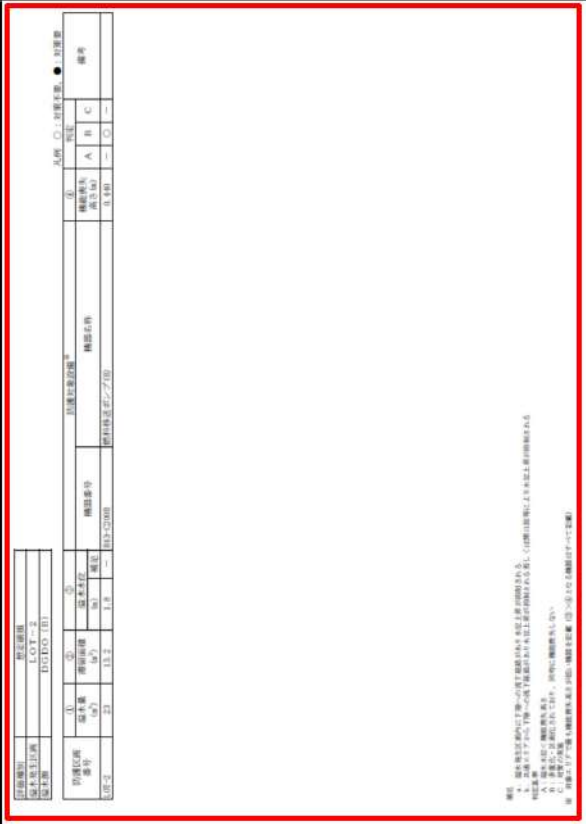
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

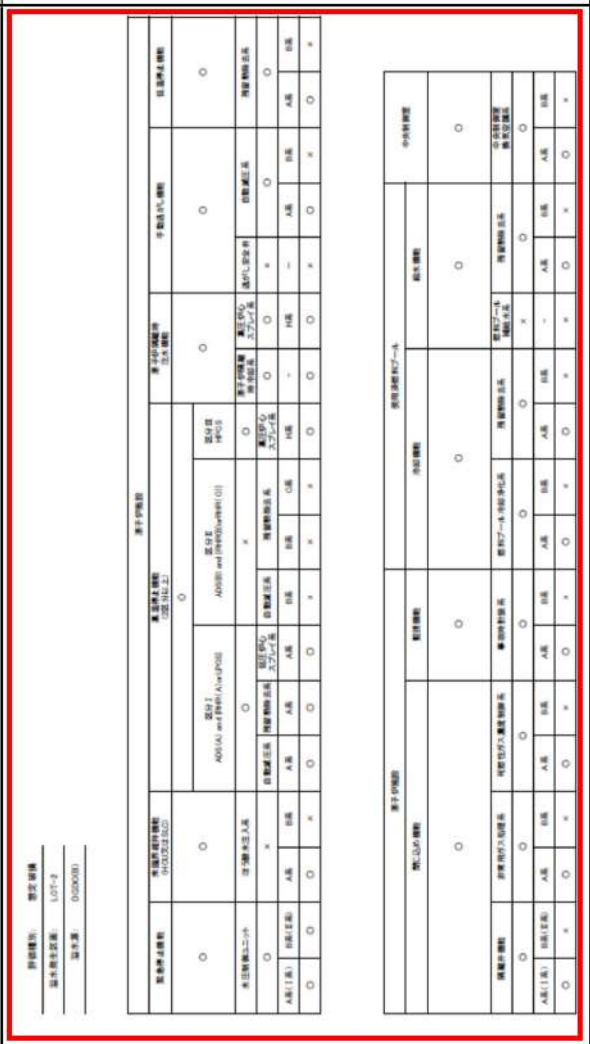
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

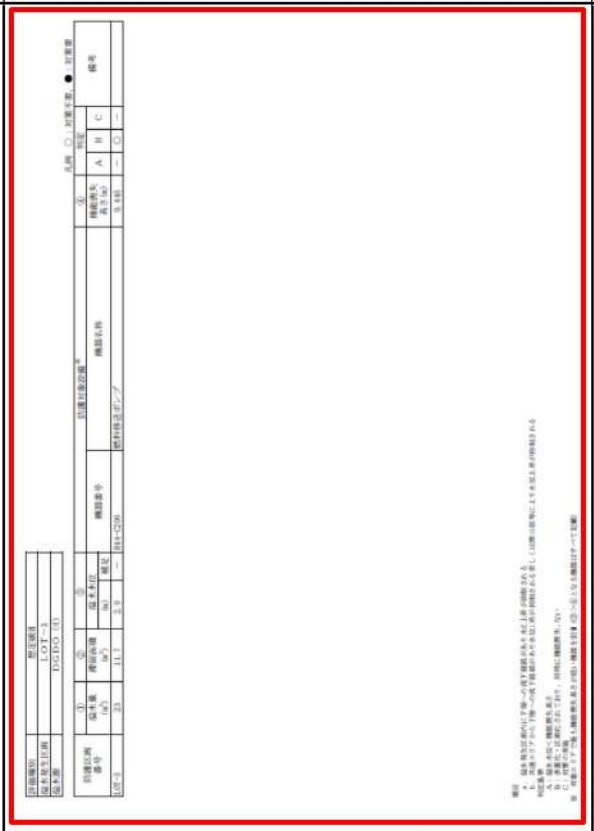
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

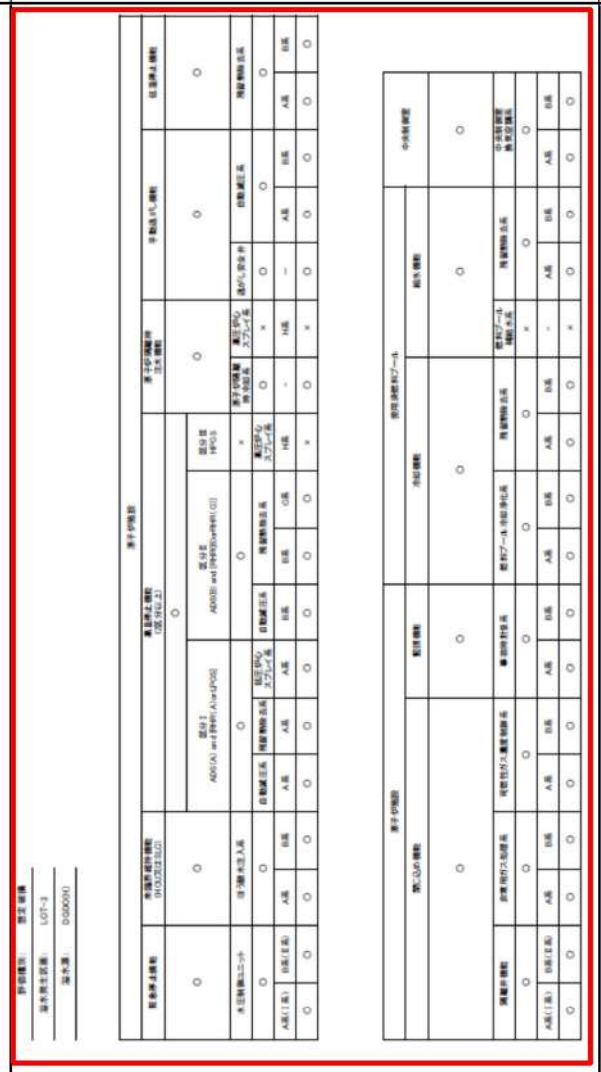
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

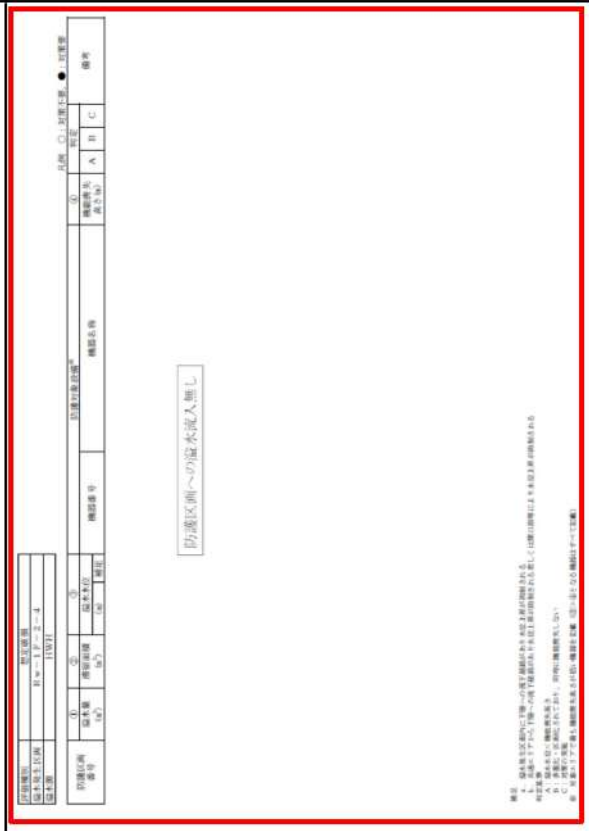
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

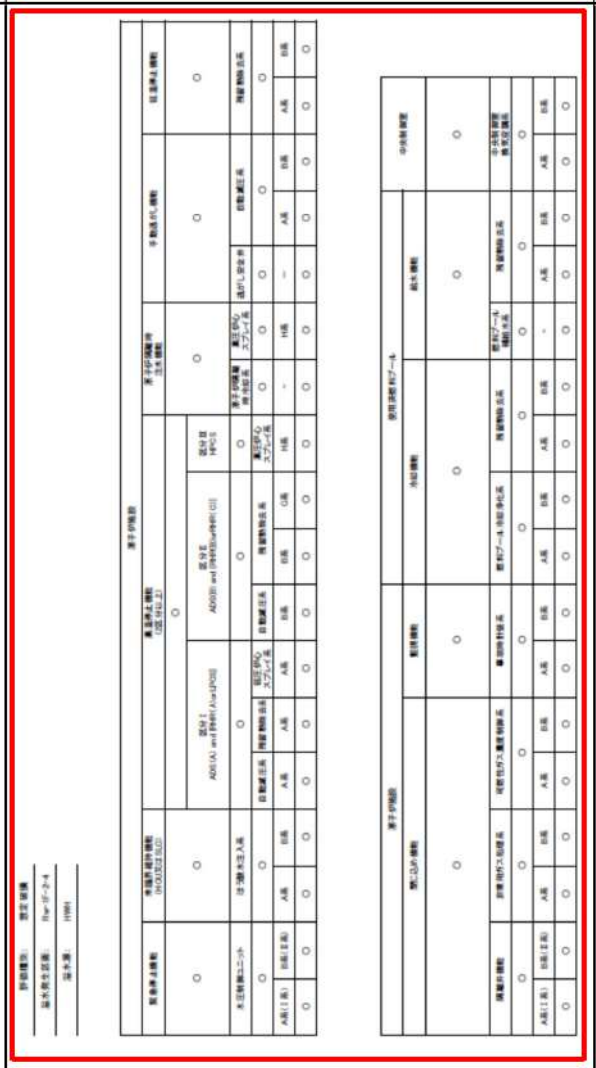
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 防護区画への溢水流入無し		【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

添付資料 1.4.1-3

想定破損による溢水影響評価（被水影響評価）

３号炉被水防護対象設備リスト（1／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	③	－	
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ	③	－	
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B（3V-MS-570A, B）	⑤	－	JP55
補助給水系	3タービン動補助給水ポンプ起動盤A, B（3TDF-A, B）	③	－	
補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量（3FT-3716, 3726, 3736, 3746）	⑥	－	IP67
補助給水系	3復水ピット水位Ⅲ, Ⅳ（3LT-3760, 3761）	⑥	－	IP67
補助給水系	3復水ピット	－	－	
化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	③	－	JP44
化学体積制御系	3C充てんポンプ	③	－	JP44
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤（3CSC）	－	○	
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助盤（3CSAC）	－	○	
化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ現場操作箱（3LB-5, 6, 7, 8）	②	－	
化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側補給弁A, B（3LCV-121D, E）	⑥	－	JP55
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	⑥	－	JP44
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作箱（3LB-9, 10）	③	－	
化学体積制御系	3充てんライン止め弁（3V-CS-155）	⑥	－	JP55
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め弁（3LCV-121B）	②	－	JP55
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め弁（3LCV-121C）	②	－	JP55
化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給弁（3V-CS-573）	⑥	－	JP55
化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離弁（3V-CS-157）	⑥	－	JP55
化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁（3V-CS-312）	⑥	－	
化学体積制御系	3封水冷却器	－	－	

A:① 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
② 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。
③ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。
④ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
⑤ 上記①～④を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。
⑥ 上記①～⑤を満足しない場合は、被水防護対策を実施した。

B:○ 多重性又は多様性を有し各々が別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を損なわない

※:○ JP○○は、国際電気標準会議にて標準化される以前の保護等級であり、IP○○とほぼ同一の内容

女川原子力発電所２号炉

添付資料 20

想定破損による被水影響評価結果

表１ 想定破損による被水影響評価結果(1/22)

[illegible]

泊発電所３号炉

添付資料 18

被水影響評価結果

表１ 被水影響評価結果（1/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
補助給水系	3FWP1	3－タービン動補助給水ポンプ	×	○	○	－	×	×	○	－※1
補助給水系	3FWP2A	3A－電動補助給水ポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
補助給水系	3FWP2B	3B－電動補助給水ポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
補助給水系	3V-FW-582A	3A－補助給水ポンプ出口流量調節弁	○	○	○	○	－	－	－	－
補助給水系	3V-FW-582B	3B－補助給水ポンプ出口流量調節弁	○	○	○	×	×	×	○	－※1
補助給水系	3V-FW-582C	3C－補助給水ポンプ出口流量調節弁	○	○	○	○	－	－	－	－
主蒸気系	3V-MS-582A	3－タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	×	○	○	－	×	×	×	○
主蒸気系	3V-MS-582B	3－タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	×	○	○	－	×	×	×	○
補助給水系	3V-FW-589A	3A－補助給水隔離弁	×	○	○	－	×	○IP55	－	－
補助給水系	3V-FW-589B	3B－補助給水隔離弁	×	○	○	－	×	○IP55	－	－
補助給水系	3V-FW-589C	3C－補助給水隔離弁	×	○	○	－	×	○IP55	－	－
補助給水系	3LT-3750	3－補助給水ピット水位（I）	○	○	○	○	－	－	－	－
補助給水系	3LT-3751	3－補助給水ピット水位（II）	○	○	○	○	－	－	－	－
補助給水系	3FT-3766	3A－補助給水ライン流量（II）	○	○	○	×	×	×	×	○
補助給水系	3FT-3776	3B－補助給水ライン流量（III）	○	○	○	×	×	×	×	○
補助給水系	3FT-3786	3C－補助給水ライン流量（IV）	○	○	○	×	×	×	×	○
関連設備	3TDFA	3－タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンA	○	○	○	×	×	×	×	○
関連設備	3TDFB	3－タービン動補助給水ポンプ起動盤トレンB	○	○	○	×	×	×	×	○

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが、自主対策として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川・大飯】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

記載表現の相違

【女川】

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

大飯発電所3／4号炉

3号炉被水防護対象設備リスト（2／9）

系統	設備	A	B	備考※
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	—	—	
化学体積制御系	3封水ストレーナ	—	—	
化学体積制御系	3体積制御タンク	—	—	
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位（3LT-206, 208）	⑥	—	IP67
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	—	—	
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	—	—	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	—	○	JP44
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱（3LB-14, 15）	—	○	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量（3FT-601, 611）	—	○	IP67
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁（3FCV-601, 611）	—	○	JP55
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	—	—	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御盤（3IAC-A, B）	⑥	—	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	⑥	—	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器（3IAH1A, B）	—	—	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気だめ（3IAT1A, B）	—	—	
制御用空気系	3A･C, 3B･C制御用空気母管連絡弁（3V-IA-501A, B）	⑥	—	JP55
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止め弁（3V-IA-505A, B）	⑥	—	JP55
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔離弁（3V-IA-508A, B）	—	○	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧力（3PT-1800, 1810）	—	○	IP67
原子炉補機冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁（3V-CC-114A, B）	—	○	JP55
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージタンク水位Ⅲ, Ⅳ（3LT-1200, 1201）	②	—	IP67
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージタンク	—	—	

女川原子力発電所2号炉

表1 想定破損による被水影響評価結果(2/22)

[illegible]

泊発電所3号炉

表1 被水影響評価結果（2/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	3AFWA	3－補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンA	○	○	○	×	×	×	×	○
関連設備	3AFWB	3－補助給水ポンプ出口流量調節弁盤トレンB	○	○	○	×	×	×	×	○
化学体積制御系	3CSP2A	3A－ほう酸ポンプ	×	○	○	—	×	×	○	—※1
化学体積制御系	3CSP2B	3B－ほう酸ポンプ	×	○	○	—	×	×	○	—※1
化学体積制御系	3CSP1A	3A－充てんポンプ	○	○	○	○	—	—	—	—
化学体積制御系	3CSP1B	3B－充てんポンプ	○	○	○	○	—	—	—	—
化学体積制御系	3CSP1C	3C－充てんポンプ	○	○	○	○	—	—	—	—
化学体積制御系	3LCV-121B	3－体積制御タンク出口第1止め弁	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3LCV-121C	3－体積制御タンク出口第1止め弁	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3LCV-121D	3－充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3LCV-121E	3－充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3V-CS-541	3－緊急ほう酸注入弁	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3V-CS-177	3－充てんラインC/V外側隔離弁	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3V-CS-175	3－充てんラインC/V外側止め弁	×	○	○	—	×	×	×	○
化学体積制御系	3LT-206	3A－ほう酸タンク水位（Ⅰ）	○	○	○	×	×	×	×	○
化学体積制御系	3LT-208	3B－ほう酸タンク水位（Ⅱ）	○	○	○	×	×	×	×	○
余熱除去系	3RHP1A	3A－余熱除去ポンプ	○	○	○	○	—	—	—	—
余熱除去系	3RHP1B	3B－余熱除去ポンプ	○	○	○	○	—	—	—	—

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（3／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器	—	—	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	—	○	JP44
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱（3LB-20, 21, 22, 23）	—	○	
原子炉補機冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁（3V-CC-043A, B）	⑥	—	JP55
原子炉補機冷却系	3A・C, 3B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁（3V-CC-056A, B）	⑥	—	JP55
原子炉補機冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁（3号機側）（34V-CC-600, 601）	⑥	—	
原子炉補機冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁（3V-CC-178A, B）	—	○	JP55
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁（3V-CC-403）	⑥	—	
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁（3V-CC-429）	③	—	
原子炉補機冷却系	3-CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁（3V-CC-342）	⑥	—	
原子炉補機冷却系	3 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁（3V-CC-365）	③	—	
原子炉補機冷却系	3A・D, 3B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁（3V-CC-189A, B）	⑥	—	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁（3V-CC-198A, B, C, D）	⑥	—	
原子炉補機冷却系	3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁（3V-SW-570A, B）	—	○	JP55
原子炉補機冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ（3S-SW-01A, B, C, D）	—	—	
原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	⑤	—	JP44
原子炉補機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱（3LB-26, 27, 28, 29）	①	—	
電気盤	3主盤　（原子炉盤）（3MCB）	③	—	
電気盤	3原子炉補助盤（3RAB）	③	—	
電気盤	3原子炉安全保護計装盤Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ（3RPR-Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ）	③	—	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤（3RPL-A, B, C, D）	③	—	
電気盤	3安全保護シーケンス盤AG1, AG2, BG1, BG2（3SFS-A1, A2, B1, B2）	③	—	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(3/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか	防滴仕様を有しているか	対策実施
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	[illegible]	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	[illegible]	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	-	-

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（3/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有　高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
余熱除去系	3V-RH-056A	３Ａ－余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	○	○	×	—	×	×	○	—※1
余熱除去系	3V-RH-056B	３Ｂ－余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	○	○	×	—	×	×	○	—※1
余熱除去系	3FCV-601	３Ａ－余熱除去ポンプミニフロー弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3FCV-611	３Ｂ－余熱除去ポンプミニフロー弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3V-RH-055A	３Ａ－余熱除去ポンプ RWSP／再循環サンプ側入口弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3V-RH-055B	３Ｂ－余熱除去ポンプ RWSP／再循環サンプ側入口弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3V-RH-051A	３Ａ－余熱除去ポンプ RWSP 側入口弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3V-RH-051B	３Ｂ－余熱除去ポンプ RWSP 側入口弁	○	○	○	×	×	×	○	—※1
余熱除去系	3FT-601	３Ａ－余熱除去ポンプ出口流量（Ⅰ）	○	○	○	×	×	×	×	○
余熱除去系	3FT-611	３Ｂ－余熱除去ポンプ出口流量（Ⅱ）	○	○	○	×	×	×	×	○
制御用空気系	31AE1A	３Ａ－制御用空気圧縮機	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	31AE1B	３Ｂ－制御用空気圧縮機	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	3V-IA-501A	３Ａ－制御用空気Ｃヘッダ供給弁	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	3V-IA-501B	３Ｂ－制御用空気Ｃヘッダ供給弁	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	3V-IA-505A	３Ａ－制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	3V-IA-505B	３Ｂ－制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁	○	○	○	○	—	—	—	—
制御用空気系	3PT-1800	３Ａ－制御用空気ヘッダ圧力（Ⅲ）	○	○	○	×	×	×	×	○
制御用空気系	3PT-1810	３Ｂ－制御用空気ヘッダ圧力（Ⅳ）	○	○	○	×	×	×	×	○

注1：[illegible]

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（4／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
電気盤	3所内盤（3HSB）	③	－	
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS（3PRMS-Ⅲ、Ⅳ）	③	－	
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤（3RTS）	②	－	
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ソレノイド分電盤（3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4）	③	－	
電気盤	3A, 3Bドロッパ盤（3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP）	③	－	
電気盤	3A, 3B直流き電盤（3DMP-A, B）	③	－	
電気盤	3A, 3B直流分電盤（3DDP-A, B）	③	－	
電気盤	3A, 3B蓄電池	③	－	
電気盤	3A, 3B充電器盤（3BCP-A, B）	③	－	
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア（3MC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ（3PC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ（3RCC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤(1)～(3)（3IBC-A, B, C, D）	③	－	
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤（3IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2）	③	－	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤（3ISP-A, B, C, D）	③	－	
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤（3IBD-AC, BD）	③	－	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ（3GCC-A, B）	②	－	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	③	－	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	②	－	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤（3DGC-A, B）	③	－	
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	－	－	
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク	－	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(4/22)

[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（4/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	31APA	３Ａ－制御用空気圧縮機盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31APB	３Ｂ－制御用空気圧縮機盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31AWPA	３Ａ－制御用空気圧縮機容量調節盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31AWPB	３Ｂ－制御用空気圧縮機容量調節盤	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉補機冷却水系	3CCP1A	３Ａ－原子炉補機冷却水ポンプ	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3CCP1B	３Ｂ－原子炉補機冷却水ポンプ	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3CCP1C	３Ｃ－原子炉補機冷却水ポンプ	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3CCP1D	３Ｄ－原子炉補機冷却水ポンプ	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3V-CC-151A	３Ａ－使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁	○	○	○	×	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-151B	３Ｂ－使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁	○	○	○	×	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-351	３－BA，BD およびLDエバポ補機冷却水戻りライン第１止め弁	×	×	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-352	３－BA，BD およびLDエバポ補機冷却水戻りライン第２止め弁	×	×	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-177A	３Ａ－格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁	×	○	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-177B	３Ｂ－格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁	×	○	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-159A	３Ａ－使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁	○	○	○	×	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-159B	３Ｂ－使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁	○	○	○	×	×	×	×	○

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（5／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
格納容器スプレイ系	3格納容器圧力（広域）Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ（3PT-950, 951, 952, 953）	－	○	IP67
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	－	○	JP44
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱（3LB-18, 19）	－	○	
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ピット側入口止め弁（3V-CP-001A, B）	－	○	JP55
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁（3V-CP-003A, B）	－	○	JP55
格納容器スプレイ系	3A, 3B格納容器スプレイヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁（3V-CP-024A, B）	⑥	－	JP55
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁（3V-CP-054A, B）	②	－	JP55
格納容器スプレイ系	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁（3V-CP-056A, B）	②	－	JP55
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	－	○	JP44
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱（3LB-12, 13）	－	○	
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁（3V-SI-002A, B）	－	○	JP55
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁（3V-SI-015A, B）	－	○	JP55
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁（3V-SI-016A, B）	－	○	JP55
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁（3V-SI-093A, B）	－	○	JP55
安全注入系	3A, 3B余熱除去ポンプＲＷＳピット及び再循環サンプ側入口弁（3V-SI-096A, B）	－	○	JP55
安全注入系	3A高圧注入流量（Ⅰ），3B高圧注入流量（Ⅱ）（3FT-962, 963）	－	○	IP67
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ（3LT-1400, 1401, 1402, 1403）	⑥	－	IP67
安全注入系、燃料取替用水系	3燃料取替用水ピット	－	－	
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ	⑥	－	JP44
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ現場操作箱（3LB-33, 34）	⑥	－	
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット冷却器	－	－	
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット	－	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(5/22)

[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（5/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
原子炉補機冷却水系	3V-CC-055A	３－原子炉補機冷却水供給母管Ａ側連絡弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3V-CC-055B	３－原子炉補機冷却水供給母管Ｂ側連絡弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3V-CC-044A	３－原子炉補機冷却水戻り母管Ａ側連絡弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3V-CC-044B	３－原子炉補機冷却水戻り母管Ｂ側連絡弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却水系	3V-CC-117A	３Ａ－余熱除去冷却器補機冷却水出口弁	×	○	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-117B	３Ｂ－余熱除去冷却器補機冷却水出口弁	×	○	○	－	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3LT-1200	３－原子炉補機冷却水サージタンク水位（III）	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉補機冷却水系	3LT-1201	３－原子炉補機冷却水サージタンク水位（IV）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3RBIA	３Ａ－１次冷却材ポンプ母線計測盤	○	○	×	－	－	－	－	－※2
関連設備	3RBIB	３Ｂ－１次冷却材ポンプ母線計測盤	○	○	×	－	－	－	－	－※2
関連設備	3RBIC	３Ｃ－１次冷却材ポンプ母線計測盤	○	○	×	－	－	－	－	－※2
関連設備	3MC-A	３Ａ－6.6kV メタクラ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MC-B	３Ｂ－6.6kV メタクラ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3LVPA	３Ａ－換気空調系集中現場盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3LVPB	３Ｂ－換気空調系集中現場盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDA1	３－ソレノイド分電盤トレンA1	○	○	○	○	－	－	－	－

※1　多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。
※2　当該盤設置エリアは消火水放水が被水源となる可能性があるが，エリア内の火災源となる機器は盤本体のみであることから，火災発生時には防護対象設備は機能喪失しているため，消火水放水による被水対策は不要である。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（6／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
燃料ピット冷却浄化系	3A,3B使用済燃料ピットポンプ	③	－	
燃料ピット冷却浄化系	3A,3B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24,25)	③	－	
主蒸気系	3A,3B,3C,3D主蒸気逃がし弁 (3PCV-3610,3620,3630,3640)	⑤	－	IP56
主蒸気系	Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,3A,3B,3C,3D主蒸気圧力 (3PT-465,466,467,468,475,476,477,478,485,486,487,488,495,496,497,498)	⑥	－	IP67
主蒸気系	3A,3B,3C,3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A,B,C,D)	⑤	－	IP67
主蒸気系	3A,3B,3C,3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A,B,C,D　付属パネル)	⑥	－	
冷水系	3A,3B,3C,3D空調用冷凍機	⑥	－	
冷水系	3A,3B,3C,3D空調用冷水ポンプ	⑥	－	JP44
冷水系	3A,3B,3C,3D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-103,104,105,106)	⑥	－	
冷水系	3空調用冷水Ｎヘッダ供給，戻りライン止め弁 (3V-CH-032,033)	⑥	－	JP55
冷水系	3A,3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878,2879)	⑥	－	IP67
冷水系	34C,34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800,2801)	⑥	－	IP56
換気空調系	3換気空調盤 (3VB)	③	－	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101,102)	⑥	－	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A,B)	⑥	－	
換気空調系	3A,3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910,2911)	⑥	－	
換気空調系	3中央制御室温度(1),(2) (3TS-2908,2909)	③	－	IP66
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95,96)	⑥	－	
換気空調系	3A,3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A,B)	⑥	－	
換気空調系	3A,3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885,2886)	⑥	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(6/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	[illegible]	[illegible]	[illegible]	被水対策 ○：[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	×	○
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	○	－	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－
[illegible]	[illegible]	[illegible]	×	×	○[illegible]	－

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（6/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有　高エネ配管	評価対象区画の被水源の有無　耐震B,C機器・配管	評価対象区画の被水源の有無　消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	3SDA2	3－ソレノイド分電盤トレンA2	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDA3	3－ソレノイド分電盤トレンA3	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDA4	3－ソレノイド分電盤トレンA4	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDB1	3－ソレノイド分電盤トレンB1	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDB2	3－ソレノイド分電盤トレンB2	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDB3	3－ソレノイド分電盤トレンB3	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SDB4	3－ソレノイド分電盤トレンB4	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PCC-A1	3A1－パワーコントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PCC-A2	3A2－パワーコントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PCC-B1	3B1－パワーコントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PCC-B2	3B2－パワーコントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SFOA	安全系FDPプロセッサ盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SFMA	安全系FDPプロセッサ盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SFOB	安全系FDPプロセッサ盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SFMB	安全系FDPプロセッサ盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SMCA	3－安全系マルチプレクサ（トレンA）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SMCB	3－安全系マルチプレクサ（トレンB）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SLCA1	3－安全系現場制御監視盤（トレンAグループ1）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SLCA2	3－安全系現場制御監視盤（トレンAグループ2）	○	○	○	○	－	－	－	－

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（7／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定（3HC-2885, 2886）	⑥	－	
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	－	○	
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	－	○	
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱（34LB-13, 14, 20, 21）	－	○	
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B（3D-VS-532, 533）	⑥	－	
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA（3D-VS-536）	⑥	－	
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB（3D-VS-537）	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度（3TS-2817, 2818）	③	－	IP66
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	②	－	JP44
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱（3LB-90, 91）	②	－	
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B（3D-VS-431A, B）	⑥	－	
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)（3TS-2771, 2772, 2773, 2774）	⑥	－	IP66
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱（3LB-86, 87）	⑥	－	
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B（3D-VS-411A, B）	③	－	
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)（3TS-2741, 2742, 2743, 2744）	③	－	IP66
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	②	－	JP44
換気空調系	3A1・A2, 3B1・B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱（3LB-84, 85）	②	－	
換気空調系	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2（3D-VS-401A, B, 403A, B）	②	－	
換気空調系	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)（3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714）	②	－	
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	③	－	JP44
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱（3LB-82, 83）	②	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(7/22)

No.	系統・設備名称	機器番号	機器名称	[illegible]（○：[illegible]）	[illegible]（○：有 ×：無）	[illegible]（○：[illegible] ×：[illegible]）	[illegible]（○：有 ×：無）
1	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
2	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
3	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
5	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
6	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
7	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
8	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
9	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
10	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
11	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
12	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
13	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
14	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	－	○
15	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
16	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	－	○
17	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	－	○
18	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
19	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
20	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
21	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
22	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
23	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
24	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
25	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×
26	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
27	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	－	○	×
28	[illegible]	[illegible]	[illegible]	－	○[illegible]	×	×

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（7/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無（○：無 ×：有）高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無（○：無 ×：有）	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか（○：有 ×：無）	防滴仕様を有しているか（○：有 ×：無）	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか（○：機能喪失しない ×：機能喪失する）	被水防護対策（○：対策実施）
関連設備	3SLCA3	3－安全系現場制御監視盤（トレンAグループ3）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SLCB1	3－安全系現場制御監視盤（トレンBグループ1）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SLCB2	3－安全系現場制御監視盤（トレンBグループ2）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3SLCB3	3－安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MCB	運転コンソール	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3CMPLP	3－共通要因故障対策ＥＰ盤室操作盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3CMPPA	3Ａ－共通要因故障対策操作盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3CMPPB	3Ｂ－共通要因故障対策操作盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IVA	3Ａ－計装用インバータ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IVB	3Ｂ－計装用インバータ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IVC	3Ｃ－計装用インバータ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IVD	3Ｄ－計装用インバータ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ISPA	3Ａ－計装用交流電源切換器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ISPB	3Ｂ－計装用交流電源切換器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ISPC	3Ｃ－計装用交流電源切換器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ISPD	3Ｄ－計装用交流電源切換器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IDPA1	3Ａ1－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IDPA2	3Ａ2－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3IDPB1	3Ｂ1－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

３号炉被水防護対象設備リスト（8／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度(1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	－	○	IP66
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	－	○	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	③	－	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン 給気加熱コイル	⑥	－	
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	⑥	－	
換気空調系	3ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	②	－	IP66
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	⑥	－	
換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2874, 2875)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HCD-2889, 2890)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (3HCD-2891, 2892)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (3FS-2904, 2905)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定（3HC-2889, 2890）	⑥	－	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン (3VSF9A, B)	②	－	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	②	－	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	②	－	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ (3D-VS-104A, B)	⑥	－	
換気空調系	3A, 3Bアニュラス全量排気弁 (3V-VS-102A, B)	⑥	－	

女川原子力発電所２号炉

表１　想定破損による被水影響評価結果(8/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	対策箇所（設置箇所） ○：無 ×：有	防護対象設備の被水防護措置がなされていないもの ○：有 ×：無	防護仕様を有していないもの ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有すると結論付けたにもかかわらず、その機能を喪失しないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	31DPS2	31DPS2キャビネット内主母線	×	×	×	CDN3	－
関連設備	31DPC1	31DPC1キャビネット内主母線	×	×	×	CDN3	－
関連設備	31DPC2	31DPC2キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	31DPD1	31DPD1キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	31DPD2	31DPD2キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3MCC-A1	3MCC-A1キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3MCC-A2	3MCC-A2キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3MCC-B1	3MCC-B1キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3MCC-B2	3MCC-B2キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3ERT1	3ERT1キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3ERT2	3ERT2キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3ERT3	3ERT3キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3ERT4	3ERT4キャビネット内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3PI	3PI盤内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3PI1	3PI1盤内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3PI2	3PI2盤内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3PIV	3PIV盤内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3EPA	3EPA盤内主母線	×	×	×	－	－
関連設備	3EPB	3EPB盤内主母線	×	×	×	－	－

泊発電所３号炉

表１　被水影響評価結果（8/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護仕様を有していないもの ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有すると結論付けたにもかかわらず、その機能を喪失しないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	31DPS2	３Ｂ２－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31DPC1	３Ｃ１－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31DPC2	３Ｃ２－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31DPD1	３Ｄ１－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	31DPD2	３Ｄ２－計装用交流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MCC-A1	３Ａ１－原子炉コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MCC-A2	３Ａ２－原子炉コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MCC-B1	３Ｂ１－原子炉コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3MCC-B2	３Ｂ２－原子炉コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ERT1	３－原子炉トリップ遮断器盤（チャンネル I）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ERT2	３－原子炉トリップ遮断器盤（チャンネル II）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ERT3	３－原子炉トリップ遮断器盤（チャンネル III）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3ERT4	３－原子炉トリップ遮断器盤（チャンネル IV）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PI	３－原子炉安全保護盤（チャンネル I）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PI1	３－原子炉安全保護盤（チャンネル II）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PI2	３－原子炉安全保護盤（チャンネル III）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3PIV	３－原子炉安全保護盤（チャンネル IV）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3EPA	３－工学的安全施設作動盤（トレンA）	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3EPB	３－工学的安全施設作動盤（トレンB）	○	○	○	○	－	－	－	－

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

大飯発電所３／４号炉

3号炉被水防護対象設備リスト（9／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	3A,3Bアニュラス少量排気弁（3V-VS-103A,B）	⑥	−	

A:① 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
② 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。
③ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。
④ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
⑤ 上記①〜④を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。
⑥ 上記①〜⑤を満足しない場合は、被水防護対策を実施した。

B:○ 多重性又は多様性を有し各々が別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を損なわない

※:○ JP○○は、国際電気標準会議にて標準化される以前の保護等級であり、IP○○とほぼ同一の内容

女川原子力発電所2号炉

表1 想定破損による被水影響評価結果(9/22)

[illegible]

泊発電所3号炉

表1 被水影響評価結果（9/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
関連設備	3CPA	3A－充電器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3CPB	3B－充電器盤	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用所内電源系	3BATA	3A－蓄電池	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用所内電源系	3BATB	3B－蓄電池	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3EPA	3A－中央制御室外原子炉停止盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3EPB	3B－中央制御室外原子炉停止盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3DCA	3A－直流コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3DCB	3B－直流コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3DDPA	3A－補助建屋直流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3DDPB	3B－補助建屋直流分電盤	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉補機冷却海水系	3SWP1A	3A－原子炉補機冷却海水ポンプ	○	○	○	×	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3SWP1B	3B－原子炉補機冷却海水ポンプ	○	○	○	×	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3SWP1C	3C－原子炉補機冷却海水ポンプ	○	○	○	×	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3SWP1D	3D－原子炉補機冷却海水ポンプ	○	○	○	×	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3V-SW-571A	3A－原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3V-SW-571B	3B－原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
原子炉補機冷却海水系	3V-SW-571C	3C－原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが、自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉

4号炉被水防護対象設備リスト（1／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	③	―	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	③	―	
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動弁A, B（4V-MS-570A, B）	⑤	―	JP55
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ起動盤A, B（4TDF-A, B）	③	―	
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量（4FT-3716, 3726, 3736, 3746）	⑥	―	IP67
補助給水系	4復水ピット水位Ⅲ, Ⅳ（4LT-3760, 3761）	⑥	―	IP67
補助給水系	4復水ピット	―	―	
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	③	―	JP44
化学体積制御系	4C充てんポンプ	③	―	JP44
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤（4CSC）	―	○	
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助盤（4CSAC）	―	○	
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ現場操作箱（4LB-5, 6, 7, 8）	②	―	
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側補給弁A, B（4LCV-121D, E）	⑥	―	JP55
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	⑥	―	JP44
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作箱（4LB-9, 10）	③	―	
化学体積制御系	4充てんライン止め弁（4V-CS-155）	⑥	―	JP55
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め弁（4LCV-121B）	②	―	JP55
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め弁（4LCV-121C）	②	―	JP55
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補給弁（4V-CS-573）	⑥	―	JP55
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離弁（4V-CS-157）	⑥	―	JP55
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁（4V-CS-312）	⑥	―	
化学体積制御系	4封水冷却器	―	―	

女川原子力発電所2号炉

表1 想定破損による被水影響評価結果(10/22)

[illegible]

泊発電所3号炉

表1 被水影響評価結果（10/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
原子炉補機冷却海水系	3V-SW-571D	3D－原子炉補機冷却海水ポンプ出口止め弁	○	×	○	－	×	×	○	－※1
非常用電源系	3DGE2A	3A－ディーゼル発電機	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用電源系	3DGE2B	3B－ディーゼル発電機	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用電源系	3DGE1A	3A－ディーゼル機関	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用電源系	3DGE1B	3B－ディーゼル機関	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3GCC-A	3A－ディーゼル発電機コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
関連設備	3GCC-B	3B－ディーゼル発電機コントロールセンタ	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用電源系	3EGBA	3A－ディーゼル発電機制御盤	○	○	○	○	－	－	－	－
非常用電源系	3EGBB	3B－ディーゼル発電機制御盤	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3SIP1A	3A－高圧注入ポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3SIP1B	3B－高圧注入ポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-084A	3A－安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C／V外側隔離弁	○	○	×	－	×	×	○	－※1
高圧注入系	3V-SI-084B	3B－安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C／V外側隔離弁	○	○	×	－	×	×	○	－※1
高圧注入系	3V-SI-036A	3－ほう酸注入タンク出口C／V外側隔離弁A	×	○	○	－	×	×	×	○
高圧注入系	3V-SI-036B	3－ほう酸注入タンク出口C／V外側隔離弁B	×	○	○	－	×	×	×	○
高圧注入系	3V-SI-032A	3－ほう酸注入タンク入口弁A	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-032B	3－ほう酸注入タンク入口弁B	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-051	3－補助高圧注入ラインC/V外側隔離弁	×	○	○	－	×	×	×	○

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（2／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	—	—	
化学体積制御系	4封水ストレーナ	—	—	
化学体積制御系	4体積制御タンク	—	—	
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	⑥	—	IP67
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	—	—	
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	—	—	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	—	○	JP44
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4LB-14, 15)	—	○	
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	—	○	IP67
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	—	○	JP55
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	—	—	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (4IAC-A, B)	⑥	—	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	⑥	—	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAH1A, B)	—	—	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気だめ (4IAT1A, B)	—	—	
制御用空気系	4A・C, 4B・C制御用空気母管連絡弁 (4V-IA-501A, B)	⑥	—	JP55
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止め弁 (4V-IA-505A, B)	⑥	—	JP55
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔離弁 (4V-IA-508A, B)	—	○	
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧力 (4PT-1800, 1810)	—	○	IP67
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-114A, B)	—	○	JP55
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク水位Ⅲ, Ⅳ (4LT-1200, 1201)	②	—	IP67
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージタンク	—	—	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(11/22)

[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（11/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有 高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
高圧注入系	3V-SI-014A	3A－高圧注入ポンプ第１ミニフロー弁	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-014B	3B－高圧注入ポンプ第１ミニフロー弁	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-015A	3A－高圧注入ポンプ第２ミニフロー弁	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-015B	3B－高圧注入ポンプ第２ミニフロー弁	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-020A	3A－高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	○	○	○	×	×	×	○	－※1
高圧注入系	3V-SI-020B	3B－高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	○	○	○	×	×	×	○	－※1
高圧注入系	3V-SI-002A	3A－高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	○	○	○	○	－	－	－	－
高圧注入系	3V-SI-002B	3B－高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	○	○	○	○	－	－	－	－
使用済燃料ピット冷却系	3SFP1A	3A－使用済燃料ピットポンプ	○	○	×	－	×	×	○	－※1
使用済燃料ピット冷却系	3SFP1B	3B－使用済燃料ピットポンプ	○	○	×	－	×	×	○	－※1
燃料取替用水系	3LT-1400	3－燃料取替用水ピット水位（I）	×	○	○	－	×	×	×	○
燃料取替用水系	3LT-1401	3－燃料取替用水ピット水位（II）	×	○	○	－	×	×	×	○
燃料取替用水系	3RFP1A	3A－燃料取替用水ポンプ	×	○	○	－	×	×	×	○
燃料取替用水系	3RFP1B	3B－燃料取替用水ポンプ	×	○	○	－	×	×	×	○
主蒸気系	3V-MS-528A	3A－主蒸気隔離弁	×	○	○	－	×	○IP67	－	－
主蒸気系	3V-MS-528B	3B－主蒸気隔離弁	×	○	○	－	×	○IP67	－	－
主蒸気系	3V-MS-528C	3C－主蒸気隔離弁	×	○	○	－	×	○IP67	－	－
主蒸気系	3PCV-3610	3A－主蒸気逃がし弁	×	○	○	－	×	○IP14	－	－

※1　多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（3／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	－	－	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	－	○	JP44
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱（4LB-20, 21, 22, 23）	－	○	
原子炉補機冷却系	4A･C, 4B･C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁（4V-CC-043A, B）	⑥	－	JP55
原子炉補機冷却系	4A･C, 4B･C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁（4V-CC-056A, B）	⑥	－	JP55
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁（4号機側）（4V-CC-605, 606）	⑥	－	
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁（4V-CC-178A, B）	③	－	JP55
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-403）	⑥	－	
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁（4V-CC-429）	③	－	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁（4V-CC-342）	⑥	－	
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁（4V-CC-365）	③	－	
原子炉補機冷却系	4A･D, 4B･C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁（4V-CC-189A, B）	⑥	－	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁（4V-CC-198A, B, C, D）	⑥	－	
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁（4V-SW-570A, B）	－	○	JP55
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ（4S-SW-01A, B, C, D）	－	－	
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	⑤	－	JP44
原子炉補機冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱（4LB-26, 27, 28, 29）	①	－	
電気盤	4主盤（原子炉盤）（4MCB）	③	－	
電気盤	4原子炉補助盤（4RAB）	③	－	
電気盤	4原子炉安全保護計装盤Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ（4RPR-Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ）	③	－	
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤（4RPL-A, B, C, D）	③	－	
電気盤	4安全保護シーケンス盤AG1, AG2, BG1, BG2（4SFS-A1, A2, B1, B2）	③	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(12/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	対象設備 ○：対象	防護対象設備 ○：防護対象	被水影響評価結果 ○：影響なし ×：影響あり	対象区画の被水源の有無 ○：有 ×：有	蒸気配管	制御及び機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：有 ×：有	区画内の機器に対し被水防護措置がされているか ○：有 ×：無	防護仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有しており，それぞれの機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護 ○：対策実施
原子炉補機冷却系	2P-CC-0020	原子炉補機冷却水冷却器（A,B）	○	○	○	×	○	○	○	－	×	○IP44	－	－
原子炉補機冷却系	2P-CC-0042	原子炉補機冷却水冷却器（A,B）	○	○	○	×	○	○	○	－	×	○IP44	－	－
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0115	原子炉補機冷却水循環ポンプ（2）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0120	原子炉補機冷却水循環ポンプ（3）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0125	原子炉補機冷却水循環ポンプ	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	－	原子炉補機冷却水循環ポンプ ストレーナ	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0115	原子炉補機冷却水循環ポンプ（2）（予備）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0120	原子炉補機冷却水循環ポンプ（3）（予備）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0125	原子炉補機冷却水循環ポンプ（1）（予備）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0130	原子炉補機冷却水循環ポンプ	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0135	原子炉補機冷却水循環ポンプ ストレーナ	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0140	原子炉補機冷却水循環ポンプ（4）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0145	原子炉補機冷却水循環ポンプ（5）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0150	原子炉補機冷却水循環ポンプ（6）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0155	原子炉補機冷却水循環ポンプ（7）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0160	原子炉補機冷却水循環ポンプ（8）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0165	原子炉補機冷却水循環ポンプ（9）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0170	原子炉補機冷却水循環ポンプ（10）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0175	原子炉補機冷却水循環ポンプ（11）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0180	原子炉補機冷却水循環ポンプ（12）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0185	原子炉補機冷却水循環ポンプ（13）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0190	原子炉補機冷却水循環ポンプ（14）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0195	原子炉補機冷却水循環ポンプ（15）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0200	原子炉補機冷却水循環ポンプ（16）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉アンローディング機器	0/1-LT-0200	原子炉アンローディング機器	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉アンローディング機器	0/1-LT-0205	原子炉アンローディング機器	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉アンローディング機器	0/1-LT-0210	原子炉アンローディング機器（予備）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○
原子炉補機冷却系	1/2-CC-0411A	原子炉補機冷却水補給機器（A）	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（12/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	対象設備 ○：対象	防護対象設備 ○：防護対象	被水影響評価結果 ○：影響なし ×：影響あり	対象区画の被水源の有無 ○：有 ×：有	蒸気配管	制御及び機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：有 ×：有	区画内の機器に対し被水防護措置がされているか ○：有 ×：無	防護仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有しており，それぞれの機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護 ○：対策実施
主蒸気系	3PCV-3020	3Ｂ－主蒸気逃がし弁	－	－	－	×	○	○	○	－	×	○IP44	－	－
主蒸気系	3PCV-3030	3Ｃ－主蒸気逃がし弁	－	－	－	×	○	○	○	－	×	○IP44	－	－
主蒸気系	3PT-465	3Ａ－主蒸気ライン圧力（I）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
主蒸気系	3PT-466	3Ａ－主蒸気ライン圧力（II）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-467	3Ａ－主蒸気ライン圧力（III）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-468	3Ａ－主蒸気ライン圧力（IV）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-475	3Ｂ－主蒸気ライン圧力（I）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-476	3Ｂ－主蒸気ライン圧力（II）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-477	3Ｂ－主蒸気ライン圧力（III）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-478	3Ｂ－主蒸気ライン圧力（IV）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-485	3Ｃ－主蒸気ライン圧力（I）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-486	3Ｃ－主蒸気ライン圧力（II）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-487	3Ｃ－主蒸気ライン圧力（III）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3PT-488	3Ｃ－主蒸気ライン圧力（IV）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
主蒸気系	3V-MS-526A	3Ａ－主蒸気隔離弁（付属ください）	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－
主蒸気系	3V-MS-526B	3Ｂ－主蒸気隔離弁（付属ください）	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－
主蒸気系	3V-MS-526C	3Ｃ－主蒸気隔離弁（付属ください）	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－
主蒸気系	3PCV-3010	3Ａ－主蒸気逃がし弁（付属ください）	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○IP44	－	－
主蒸気系	3PCV-3020	3Ｂ－主蒸気逃がし弁（付属ください）	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○IP44	－	－

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（4／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
電気盤	4所内盤 （4HSB）	③	－	
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS（4PRMS-Ⅲ、Ⅳ）	③	－	
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 （4RTS）	②	－	
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ソレノイド分電盤（4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4）	③	－	
電気盤	4A, 4Bドロッパ盤 （4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP）	③	－	
電気盤	4A, 4B直流き電盤 （4DMP-A, B）	③	－	
電気盤	4A, 4B直流分電盤 （4DDP-A, B）	③	－	
電気盤	4A, 4B蓄電池	③	－	
電気盤	4A, 4B充電器盤 （4BCP-A, B）	③	－	
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクラッドスイッチギア （4MC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ （4PC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ （4RCC-A1, A2, B1, B2）	③	－	
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤(1)～(3) （4IBC-A, B, C, D）	③	－	
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤（4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2）	③	－	
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤 （4ISP-A, B, C, D）	③	－	
電気盤	4AC, 4BD計装用後備分電盤 （4IBD-AC, BD）	③	－	
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンタ （4GCC-A, B）	②	－	
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関	③	－	
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機	②	－	
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤 （4DGC-A, B）	③	－	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器	－	－	
格納容器スプレイ系	4よう素除去薬品タンク	－	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(13/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水防護措置の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護仕様を有していないか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
			高エネ配管	耐震Sクラス機器・配管	消火水放水					
主蒸気系	3PCV-3630	3Cー主蒸気逃がし弁(付属ベネル)	×	○	○	－	×	○IP54	－	－
換気空調系	3VSP21A	3Aー中央制御室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP21B	3Bー中央制御室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP20A	3Aー中央制御室循環ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP20B	3Bー中央制御室循環ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-403A	3Aー中央制御室給気ファン出口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-403B	3Bー中央制御室給気ファン出口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-404A	3Aー中央制御室循環ファン入口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-404B	3Bー中央制御室循環ファン入口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3MUD-2836	3Aー中央制御室循環系量調節ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3MUD-2837	3Bー中央制御室循環系量調節ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3TS-2846	3ー中央制御室内空気温度（2）	○	○	○	－	○	－	－	－
換気空調系	3TS-2847	3ー中央制御室内空気温度（3）	○	○	○	－	○	－	－	－
換気空調系	3MK-2836	3Aー中央制御室循環系量調節ダンパ充量設定器	×	○	○	－	×	○IP54相当	－	－
換気空調系	3MK-2837	3Bー中央制御室循環系量調節ダンパ充量設定器	×	○	○	－	×	○IP54相当	－	－
換気空調系	3VSP27A	3Aー安全補機開閉装置給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP27B	3Bー安全補機開閉装置給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP31A	3Aー蓄電池室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（13/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水防護措置の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護仕様を有していないか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
			高エネ配管	耐震Sクラス機器・配管	消火水放水					
主蒸気系	3PCV-3630	3Cー主蒸気逃がし弁(付属ベネル)	×	○	○	－	×	○IP54	－	－
換気空調系	3VSP21A	3Aー中央制御室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP21B	3Bー中央制御室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP20A	3Aー中央制御室循環ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP20B	3Bー中央制御室循環ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-403A	3Aー中央制御室給気ファン出口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-403B	3Bー中央制御室給気ファン出口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-404A	3Aー中央制御室循環ファン入口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3D-VS-404B	3Bー中央制御室循環ファン入口ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3MUD-2836	3Aー中央制御室循環系量調節ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3MUD-2837	3Bー中央制御室循環系量調節ダンパ	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3TS-2846	3ー中央制御室内空気温度（2）	○	○	○	－	○	－	－	－
換気空調系	3TS-2847	3ー中央制御室内空気温度（3）	○	○	○	－	○	－	－	－
換気空調系	3MK-2836	3Aー中央制御室循環系量調節ダンパ充量設定器	×	○	○	－	×	○IP54相当	－	－
換気空調系	3MK-2837	3Bー中央制御室循環系量調節ダンパ充量設定器	×	○	○	－	×	○IP54相当	－	－
換気空調系	3VSP27A	3Aー安全補機開閉装置給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP27B	3Bー安全補機開閉装置給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○
換気空調系	3VSP31A	3Aー蓄電池室給気ファン	×	○	○	－	×	×	×	○

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

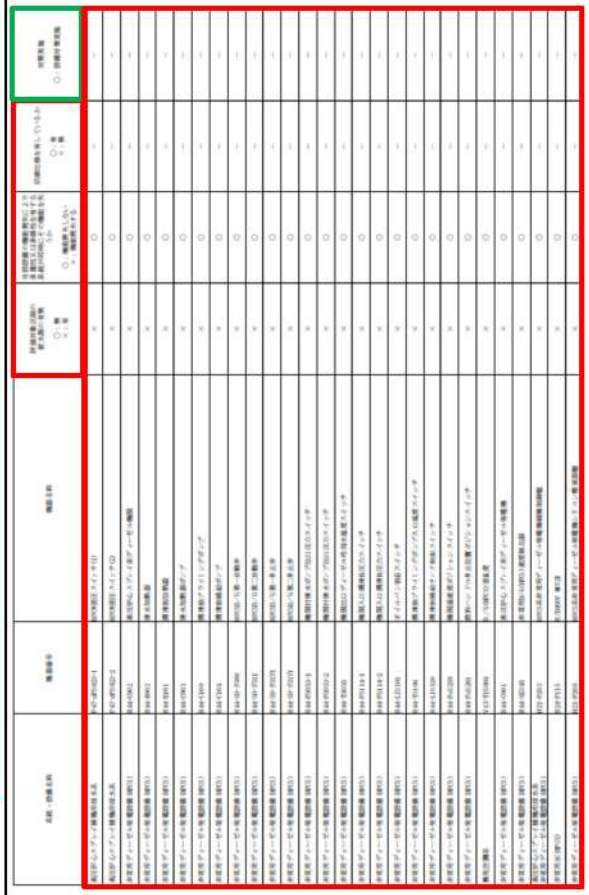
大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（5／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
格納容器スプレイ系	4格納容器圧力（広域）Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ（4PT-950, 951, 952, 953）	－	○	IP67
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ	－	○	JP44
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ現場操作箱（4LB-18, 19）	－	○	
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ピット側入口止め弁（4V-CP-001A, B）	③	－	JP55
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁（4V-CP-003A, B）	－	○	JP55
格納容器スプレイ系	4A, 4B格納容器スプレイヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁（4V-CP-024A, B）	⑥	－	JP55
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁（4V-CP-054A, B）	②	－	JP55
格納容器スプレイ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁（4V-CP-056A, B）	③	－	JP55
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ	－	○	JP44
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ現場操作箱（4LB-12, 13）	－	○	
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁（4V-SI-002A, B）	－	○	JP55
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁（4V-SI-015A, B）	－	○	JP55
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁（4V-SI-016A, B）	－	○	JP55
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁（4V-SI-093A, B）	－	○	JP55
安全注入系	4A, 4B余熱除去ポンプＲＷＳピット及び再循環サンプ側入口弁（4V-SI-096A, B）	－	○	JP55
安全注入系	4A高圧注入流量（Ⅰ），4B高圧注入流量（Ⅱ）（4FT-962, 963）	－	○	IP67
安全注入系	4燃料取替用水ピット水位Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ（4LT-1400, 1401, 1402, 1403）	⑥	－	IP67
安全注入系，燃料取替用水系	4燃料取替用水ピット	－	－	
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ	⑥	－	JP44
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱（4LB-33, 34）	⑥	－	
燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピット冷却器	－	－	
燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピット	－	－	

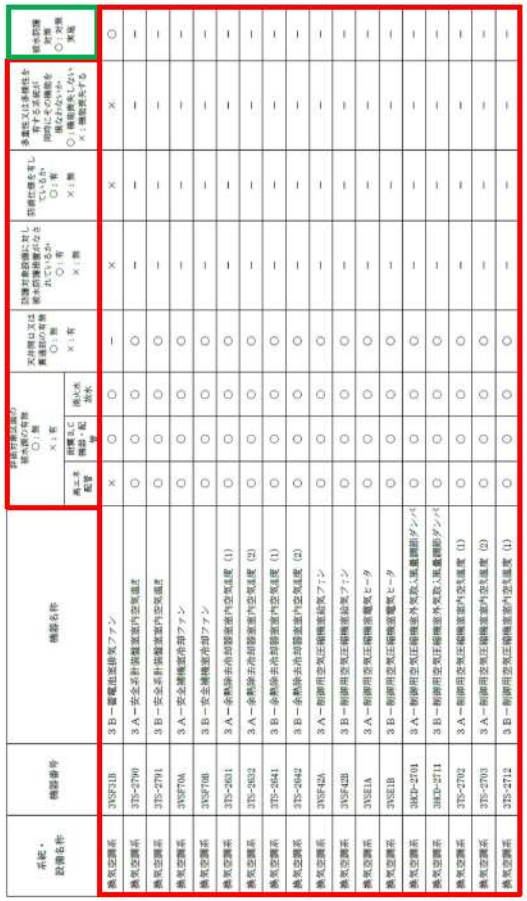
女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(14/22)



泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（14/22）



相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（6／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ	③	－	
燃料ピット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱（4LB-24, 25）	②	－	
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気逃がし弁（4PCV-3610, 3620, 3630, 3640）	⑤	－	IP56
主蒸気系	Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力（4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498）	⑥	－	IP67
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁（4V-MS-533A, B, C, D）	⑤	－	IP67
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁（4V-MS-533A, B, C, D　付属パネル）	⑥	－	
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機	⑥	－	
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ	⑥	－	JP44
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱（4LB-103, 104, 105, 106）	⑥	－	
冷水系	4空調用冷水Ｎヘッダ供給，戻りライン止め弁（4V-CH-032, 033）	⑥	－	JP55
冷水系	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁（4TCV-2878, 2879）	⑥	－	IP56
冷水系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁（34TCV-2798, 2799）	⑥	－	IP56
換気空調系	4換気空調盤（4VB）	③	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱（4LB-101, 102）	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ（4D-VS-603A, B）	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量（4FS-2910, 2911）	⑥	－	
換気空調系	4中央制御室温度(1), (2)（4TS-2908, 2909）	③	－	IP66
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン	②	－	JP44
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱（4LB-95, 96）	②	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン入口ダンパ（4D-VS-604A, B）	②	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環流量調節ダンパ（4HCD-2885, 2886）	②	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(15/22)

系統・設備名称	機器等	機器名称	被水源の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護措置を有していない場合 ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわない ○：有 ×：無	被水防護 ○：不要 ×：要
			蒸気・水配管	起動盤B,C 機器・配管	消火水放水					
換気空調系	3TS-2713	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（2）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2910	3Ａ－制御用空気圧縮機室内空気温度（5）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2911	3Ａ－制御用空気圧縮機室内空気温度（6）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2920	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（5）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2921	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（6）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3MK-2701	3Ａ－制御用空気圧縮機外気取入風量調節ダンパ 流量設定器	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3MK-2711	3Ｂ－制御用空気圧縮機外気取入風量調節ダンパ 流量設定器	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20A	3Ａ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20B	3Ｂ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20C	3Ｃ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20D	3Ｄ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3MKD-2741	3Ａ－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3MKD-2742	3Ｂ－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2747	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（1）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2748	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（2）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2751	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（3）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2752	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（4）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2749	3Ｂ－ディーゼル発電機室内空気温度（1）	○	○	○	○	×	×	×	×

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（15/22）

系統・設備名称	機器等	機器名称	被水源の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護措置を有していない場合 ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわない ○：有 ×：無	被水防護 ○：不要 ×：要
			蒸気・水配管	起動盤B,C 機器・配管	消火水放水					
換気空調系	3TS-2713	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（2）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2910	3Ａ－制御用空気圧縮機室内空気温度（5）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2911	3Ａ－制御用空気圧縮機室内空気温度（6）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2920	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（5）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2921	3Ｂ－制御用空気圧縮機室内空気温度（6）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3MK-2701	3Ａ－制御用空気圧縮機外気取入風量調節ダンパ 流量設定器	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3MK-2711	3Ｂ－制御用空気圧縮機外気取入風量調節ダンパ 流量設定器	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20A	3Ａ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20B	3Ｂ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20C	3Ｃ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSF20D	3Ｄ－ディーゼル発電機室給気ファン	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3MKD-2741	3Ａ－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3MKD-2742	3Ｂ－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ	○	○	×	×	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2747	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（1）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2748	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（2）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2751	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（3）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2752	3Ａ－ディーゼル発電機室内空気温度（4）	○	○	○	○	×	×	×	×
換気空調系	3TS-2749	3Ｂ－ディーゼル発電機室内空気温度（1）	○	○	○	○	×	×	×	×

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（7／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ダンパ流量設定（4HC-2885, 2886）	②	－	
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	－	○	
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	－	○	
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱（34LB-13, 14, 20, 21）	－	○	
換気空調系	4安全系電気盤室給気止めダンパA, B（4D-VS-532, 533）	⑥	－	
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパA（4D-VS-536）	⑥	－	
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパB（4D-VS-537）	⑥	－	IP56
換気空調系	4A, 4B安全補機開閉器室温度（4TS-2817, 2818）	③	－	IP66
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	②	－	JP44
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱（4LB-90, 91）	②	－	
換気空調系	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B（4D-VS-431A, B）	⑥	－	
換気空調系	4制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)（4TS-2771, 2772, 2773, 2774）	⑥	－	IP66
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン	⑥	－	JP44
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱（4LB-86, 87）	⑥	－	
換気空調系	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B（4D-VS-411A, B）	③	－	
換気空調系	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1), (2)（4TS-2741, 2742, 2743, 2744）	－	○	IP66
換気空調系	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル発電機室給気ファン	②	－	JP44
換気空調系	4A1･A2, 4B1･B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱（4LB-84, 85）	②	－	
換気空調系	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1. B2（4D-VS-401A, B, 403A, B）	③	－	
換気空調系	4A, 4Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)（4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714）	－	○	
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン	－	○	JP44
換気空調系	4A, 4B安全補機室冷却ファン現場操作箱（4LB-82, 83）	－	○	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(16/22)

手続・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有				不浸漬口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護仕様を満たしているか ○：有 ×：無	防護対象設備が防滴仕様であることの確認 ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を喪失しないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水影響 ○：有 ×：無
			高エネ配管	蒸気・配管	消火水放水							
換気空調系	3B-2750	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（2）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3B-2753	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（3）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3B-2754	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（4）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3HC-2741	3A－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ操作設定値	○	○	×		×	×	×	×	×	×
換気空調系	3HC-2742	3B－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ操作設定値	○	○	×		×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSE2A	3A－原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2B	3B－原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2A	3A－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2B	3B－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2C	3C－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2D	3D－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2913	3A－制御用空気圧縮機室電気ヒータ（3VSE1A）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2923	3B－制御用空気圧縮機室電気ヒータ（3VSE1B）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2933	3A－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2A）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2937	3B－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2B）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2953	3C－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2C）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2957	3D－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2D）	×	○	○		○	×	○	○	×	×

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（16/22）

手続・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有				不浸漬口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防護仕様を満たしているか ○：有 ×：無	防護対象設備が防滴仕様であることの確認 ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を喪失しないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水影響 ○：有 ×：無
			高エネ配管	蒸気・配管	消火水放水							
換気空調系	3TS-2750	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（2）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2753	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（3）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2754	3B－ディーゼル発電機室内空気温度（4）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3HC-2741	3A－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ操作設定値	○	○	×		×	×	×	×	×	×
換気空調系	3HC-2742	3B－ディーゼル発電機室外気取入風量調節ダンパ操作設定値	○	○	×		×	×	×	×	×	×
換気空調系	3VSE2A	3A－原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2B	3B－原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2A	3A－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2B	3B－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2C	3C－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3VSE2D	3D－非管理区域空調機器室電気ヒータ	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2913	3A－制御用空気圧縮機室電気ヒータ（3VSE1A）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2923	3B－制御用空気圧縮機室電気ヒータ（3VSE1B）	○	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2933	3A－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2A）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2937	3B－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2B）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2953	3C－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2C）	×	○	○		○	×	○	○	×	×
換気空調系	3TS-2957	3D－非管理区域空調機器室電気ヒータ（3VSE2D）	×	○	○		○	×	○	○	×	×

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（8／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	4A, 4B安全補機室温度(1), (2) (4TS-2680, 2681, 2690, 2691)	－	○	IP66
換気空調系	4A, 4B安全補機室排気ダンパ (4D-VS-105A, B)	－	○	
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン	⑥	－	IP44
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (4LB-77, 78)	③	－	
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室空調ファン 給気加熱コイル	⑥	－	
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	③	－	
換気空調系	4Bほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	③	－	IP66
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LB-97, 98)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2874, 2875)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2889, 2890)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HCD-2891, 2892)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定（4HC-2889, 2890）	⑥	－	
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン (4VSF9A, B)	②	－	
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	②	－	
換気空調系	4A, 4Bアニュラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	②	－	
換気空調系	4A, 4Bアニュラス戻りダンパ (4D-VS-104A, B)	⑥	－	
換気空調系	4A, 4Bアニュラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	②	－	

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(17/22)

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様をもっているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を喪失しないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
			蒸気配管	消火水放水	消火ガス放出・配管					
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（17/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様をもっているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を喪失しない ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
			蒸気配管	消火水放水	消火ガス放出・配管					
換気空調系	3TS-2973	3Ａ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度センサ（3VSE9A）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2983	3Ｂ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度センサ（3VSE9B）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2970	3Ａ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度（1）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2971	3Ａ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度（2）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2980	3Ｂ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度（1）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2981	3Ｂ－原子炉補機冷却水ポンプ室温度（2）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2930	3Ａ－非管理区域空調機器室温度（1）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2931	3Ａ－非管理区域空調機器室温度（2）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2950	3Ｃ－非管理区域空調機器室温度（1）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2951	3Ｃ－非管理区域空調機器室温度（2）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2934	3Ｂ－非管理区域空調機器室温度（1）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2935	3Ｂ－非管理区域空調機器室温度（2）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2954	3Ｄ－非管理区域空調機器室温度（1）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3TS-2955	3Ｄ－非管理区域空調機器室温度（2）	×	○	○	－	×	×	○	○
換気空調系	3VSF40A	3Ａ－電動補助給水ポンプ室給気ファン	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3VSF40B	3Ｂ－電動補助給水ポンプ室給気ファン	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3HCD-2879	3Ａ－電動補助給水ポンプ室外気取入量調節ダンパ	○	○	○	○	－	－	－	－

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

４号炉被水防護対象設備リスト（9／9）

系統	設　　備	A	B	備考※
換気空調系	4A, 4Bアニュラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	②	－	

A:① 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されている場合は、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
② 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されていない場合は、天井面に開口部又は貫通部が存在しないこと。
③ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、かつ、天井面に開口部又は貫通部が存在する場合は、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていること。
④ 評価対象区画に流体を内包する機器が設置されておらず、天井面に開口部又は貫通部が存在し、かつ、当該開口部及び貫通部に密封処理等の流出防止対策がなされていない場合にあっては、防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること。
⑤ 上記①～④を満足しない場合は、防護対象設備が防滴仕様であること。
⑥ 上記①～⑤を満足しない場合は、被水防護対策を実施した。

B:○ 多重性又は多様性を有し各々が別区画に設置している防護対象設備で、同時にその機能を損なわない

※:○ JP○○は、国際電気標準会議にて標準化される以前の保護等級であり、IP○○とほぼ同一の内容

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(18/22)

系統，設備名称	機器番号	機器名称	対象機器の被水源の有無 ○：無 ×：有		天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象区画に対し被水防護措置がなされている ○：有 ×：無	防護仕様を有している ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有すため機能を損なわない ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護 ○：対策実施
			蒸ユニット配管	封構及び機器・配管	消火水放水				
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（18/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	対象機器の被水源の有無 ○：無 ×：有			天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象区画に対し被水防護措置がなされている ○：有 ×：無	防護仕様を有している ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有すため機能を損なわない ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護 ○：対策実施
			蒸ユニット配管	封構及び機器・配管	消火水放水					
換気空調系	3HD-2680	3Ｂ－電動補助給水ポンプ室外気取入蒸発調節ダンパ	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2671	3Ａ－電動補助給水ポンプ室温内空気温度（1）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2672	3Ａ－電動補助給水ポンプ室室内空気温度（2）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2681	3Ｂ－電動補助給水ポンプ室温内空気温度（1）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3TS-2682	3Ｂ－電動補助給水ポンプ室室内空気温度（2）	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3HE-2670	3Ａ－電動補助給水ポンプ室外気取入蒸発調節ダンパ	○	○	○	○	－	－	－	－
換気空調系	3HE-2680	3Ｂ－電動補助給水ポンプ室外気取入蒸発調節ダンパ（現象設定値）	○	○	○	○	－	－	－	－
空調用冷水系	3CBP1A	3Ａ－空調用冷水ポンプ	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBP1B	3Ｂ－空調用冷水ポンプ	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBP1C	3Ｃ－空調用冷水ポンプ	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBP1D	3Ｄ－空調用冷水ポンプ	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBE1A	3Ａ－空調用冷凍機	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBE1B	3Ｂ－空調用冷凍機	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBE1C	3Ｃ－空調用冷凍機	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3CBE1D	3Ｄ－空調用冷凍機	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3V-CH-012A	3－空調用冷水Ａ母管入口隔離弁	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3V-CH-012B	3－空調用冷水Ｂ母管入口隔離弁	○	×	○	－	×	×	－※1	－※1
空調用冷水系	3V-CH-012C	3－空調用冷水Ｃ母管入口隔離弁	○	×	○	－	×	×	×	○

※1：多重性・多様性を有す系統が別区画にその機能を損なわないと判定されるが，自主判定として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(19/22)

[illegible]

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（19/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無 ○：無 ×：有　高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
空調用冷水系	3V-CH-013	３－空調用冷水Ｃ母管出口隔離弁	○	×	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3TCV-2774	３Ａ－安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3TCV-2775	３Ｂ－安全補機開閉器室給気ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3TCV-2827	３Ａ－中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3TCV-2828	３Ｂ－中央制御室給気ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
関連設備	3VCPA	３Ａ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	－※1
関連設備	3VCPB	３Ｂ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	－※1
関連設備	3VCPC	３Ｃ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	－※1
関連設備	3VCPD	３Ｄ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	－※1
化学体積制御系	3V-CS-225	３－１次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V外側隔離弁	×	○	○	－	×	×	×	○
主給水系	3V-FW-538A	３Ａ－主給水隔離弁	○	○	○	○	－	○IP55	－	－
主給水系	3V-FW-538B	３Ｂ－主給水隔離弁	○	○	○	○	－	○IP55	－	－
主給水系	3V-FW-538C	３Ｃ－主給水隔離弁	○	○	○	○	－	○IP55	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3CPP1A	３Ａ－格納容器スプレイポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3CPP1B	３Ｂ－格納容器スプレイポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3V-CP-013A	３Ａ－格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	×	○	○	－	×	×	×	○

※1　多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(20/22)

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（20/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	被水源の有無 高エネ配管	被水源の有無 耐震B,C機器・配管	被水源の有無 他水源	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされていること ○：有 ×：無	防滴仕様を有していること ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時に その機能を失わないこと ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
空調用冷水系	3V-CP-013	3－空調用冷水ＣＶ貫出口隔離弁	○	×	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3VCV-2774	3Ａ－安全補機開閉器室冷水ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3VCV-2775	3Ｂ－安全補機開閉器室冷水ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3VCV-2827	3Ａ－中央制御室冷水ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
空調用冷水系	3VCV-2828	3Ｂ－中央制御室冷水ユニット冷水温度制御弁	×	○	○	－	×	×	×	○
開連設備	3VCPA	3Ａ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	—※1
開連設備	3VCPB	3Ｂ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	—※1
開連設備	3VCPC	3Ｃ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	—※1
開連設備	3VCPD	3Ｄ－空調用冷凍機盤	○	×	○	－	×	×	○	—※1
化学体積制御系	3V-CS-225	3－１次冷却材ポンプ封水戻りラインＣＶ外側隔離弁	×	○	○	－	×	×	○	○
主給水系	3V-FW-538A	3Ａ－主給水隔離弁	○	○	○	－	－	○IP55	－	－
主給水系	3V-FW-538B	3Ｂ－主給水隔離弁	○	○	○	－	－	○IP55	－	－
主給水系	3V-FW-538C	3Ｃ－主給水隔離弁	○	○	○	－	－	○IP55	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3CPP1A	3Ａ－格納容器スプレイポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3CPP1B	3Ｂ－格納容器スプレイポンプ	○	○	○	○	－	－	－	－
原子炉格納容器スプレイ系	3V-CS-013A	3Ａ－格納容器スプレイ水超過出ＣＶ外側隔離弁	×	○	○	－	×	×	×	○

※1 多重性・多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないと判定されるが，自主対応として被水防護対策を実施。

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表１ 想定破損による被水影響評価結果(21/22) [illegible]	表１ 被水影響評価結果（21/22）（下表）	【女川】 記載方針の相違 泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。 設計方針の相違 ・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。 ・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。 記載表現の相違

表１ 被水影響評価結果（21/22）

系統・設備名称	機器番号	機器名称	評価対象区画の被水源の有無（○：無 ×：有）高エネ配管	耐震B,C機器・配管	消火水放水	天井開口又は貫通部の有無 ○：無 ×：有	防護対象設備に対し被水防護措置がなされているか ○：有 ×：無	防滴仕様を有しているか ○：有 ×：無	多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を損なわないか ○：機能喪失しない ×：機能喪失する	被水防護対策 ○：対策実施
原子炉補機冷却水系	3V-CC-503	３－１次冷却材ポンプ補機冷却水入口C/V外側隔離弁	×	○	○	−	×	×	×	○
原子炉補機冷却水系	3V-CC-528	３－１次冷却材ポンプ補機冷却水出口C/V外側隔離弁	×	○	○	−	×	×	×	○
制御用空気系	3V-IA-510A	３Ａ－制御用空気C/V外側隔離弁	○	○	○	×	×	×	×	○
制御用空気系	3V-IA-510B	３Ｂ－制御用空気C/V外側隔離弁	○	○	○	×	×	×	×	○
換気空調系	3VSP9A	３Ａ－アニュラス空気浄化ファン	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3VSP9B	３Ｂ－アニュラス空気浄化ファン	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3D-VS-101A	３Ａ－アニュラス排気ダンパ	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3D-VS-101B	３Ｂ－アニュラス排気ダンパ	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3PCD-2373	３Ａ－アニュラス戻りダンパ	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3PCD-2393	３Ｂ－アニュラス戻りダンパ	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3HC-2373	３Ａ－アニュラス戻りダンパ流量設定器	○	○	×	−	×	○IPX4相当	−	−
換気空調系	3HC-2393	３Ｂ－アニュラス戻りダンパ流量設定器	○	○	×	−	×	○IPX4相当	−	−
換気空調系	3V-VS-102A	３Ａ－アニュラス全量排気弁	○	○	×	−	×	×	×	○
換気空調系	3V-VS-102B	３Ｂ－アニュラス全量排気弁	○	○	×	−	×	×	×	○
換気空調系	3V-VS-103A	３Ａ－アニュラス少量排気弁	○	○	×	−	×	×	×	○
換気空調系	3V-VS-103B	３Ｂ－アニュラス少量排気弁	○	○	×	−	×	×	×	○
換気空調系	3TS-2633	３Ａ－格納容器スプレイポンプ室室内空気温度 (1)	○	○	○	○	−	−	−	−
換気空調系	3TS-2634	３Ａ－格納容器スプレイポンプ室室内空気温度 (2)	○	○	○	○	−	−	−	−

注1：[illegible]

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による被水影響評価結果(22/22)

泊発電所３号炉

表１ 被水影響評価結果（22/22）

相違理由

【女川】

記載方針の相違

泊は想定破損のみではなく，地震起因及び消火水放水による被水影響も考慮して評価を実施しているため，表題に「想定破損による」とは記載していない。

設計方針の相違

・泊では，溢水評価ガイドに記載されている被水影響評価の確認項目の順番に従い，被水源（開口部を含）の有無の確認（ガイド：①～③）防護対象設備に対する被水防護措置の有無の確認（ガイド：④），防護対象設備が防滴仕様であることの確認（ガイド：⑤）を実施し，最後に多重性又は多様性による判定を行う評価フローとしている。

・また，被水源を高エネ配管，耐震B,Cクラス機器及び配管，消火水放水に分類し，天井開口又は貫通部の有無についても表に記載している。

記載表現の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
添付資料 1.4.1-4	添付資料 22	添付資料 19	【女川】 記載方針の相違 泊の蒸気影響評価は，熱流体解析コードを用いた蒸気拡散解析を実施しているため，評価実績のある大飯の添付資料，補足資料と比較した上で相違理由を明確にする。 （大飯審査実績の反映） 資料構成は，女川実績を反映する。
想定破損による溢水影響評価（蒸気影響評価）	想定破損による蒸気影響評価結果	想定破損による蒸気影響評価結果	【大飯】 記載方針の相違 大飯の添付資料1.4.1-4「1.～4.(4)」については，蒸気影響評価の確認，評価についての記載であるため，ここでの大飯の記載は省略し，補足説明資料17の比較表にて相違理由を明確にした。
添付資料 1.4.1-4「1.～4.(4)」は省略			
(5) 蒸気評価配管の想定破損による環境影響の解析結果について 蒸気評価配管の想定破損に伴う蒸気漏えい及びその緩和対策を考慮した環境への影響は、GOTHIC コードによる蒸気拡散解析の結果から防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できていることを確認しているため問題ない。（別紙 4） 評価結果のうち系統別最高温度区画を表 2、3 に示す。		蒸気評価配管の想定破損に伴う蒸気漏えい及びその緩和対策を考慮した環境への影響は，GOTHIC コードによる蒸気拡散解析の結果から防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限できていることを確認しているため問題ない。（補足説明資料 20） 評価結果のうち系統別最高温度区画を表 1 に示す。	【大飯】 記載表現の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

表２ 系統別最高温度区画の評価結果（３号炉）

対象範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定※1
抽出配管	3 充てんライン格納容器隔離弁（3V-CS-157）他	遠隔手動	95℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○
補助蒸気供給配管	3A 中央制御室空調ファン他	自動	102℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○
蒸気発生器ブローダウンサンプル配管	3A 制御用空気供給母管圧力（3PT-1800）他	遠隔手動	95℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○

※1　耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について 120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。

表３ 系統別最高温度区画の評価結果（４号炉）

対象範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定※1
抽出配管	4 充てんライン格納容器隔離弁（4V-CS-157）他	遠隔手動	95℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○
補助蒸気供給配管	4A 中央制御室空調ファン他	自動	95℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが、温度センサで検知し、自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○
蒸気発生器ブローダウンサンプル配管	4A 制御用空気供給母管圧力（4PT-1800）他	遠隔手動	95℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり、温度センサや系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○

※1　耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて、すべての防護対象設備について 120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。

女川原子力発電所２号炉

表１ 想定破損による蒸気影響評価結果と対策一覧

防護対象設備が存在する建屋・区域	溢水防護区画内の蒸気源有無	溢水防護区画外からの流入有無	耐蒸気仕様の有無	判定	補足（※）
原子炉建屋 原子炉棟 （二次格納施設内）	主蒸気系 給水系 原子炉隔離時冷却系 原子炉冷却材浄化系 加熱蒸気系	有 （加熱蒸気系）	有 （一部無し）	○※	原エネルギー配管の破断を考慮した設計 A ① 耐環境仕様 ② ブローアウトパネルの設置 A 加熱蒸気系（加熱蒸気復水戻り系を一部含む）に対しては，以下の対策を実施 ① 想定破損以外の適用（応力評価の実施） A 耐蒸気仕様となっていない設備については，設備対策を実施 （図１参照）
原子炉建屋 原子炉棟 （二次格納施設内）	無	有 （加熱蒸気系）	無	○※	独立した区分の空調エリアである A 原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設内）の貫通部には気密シールが施されているため，原子炉建屋原子炉棟（二次格納施設内）へ伝播しない A
制御建屋	無	有 （加熱蒸気系）	無	○※	加熱蒸気系に対しては，以下の対策を実施 ① 想定破損以外の適用（応力評価の実施） （図２参照）
復水貯蔵タンクエリア	加熱蒸気系	無	無	○※	復水貯蔵タンク水位計が機能喪失するが，多重化された系統が同時にその機能を失わない A
排水ポンプエリア	無	無	無	○	—
軽油タンクエリア	無	無	無	○	—
原子炉建屋付属棟 （廃棄物処理エリア （非管理区域））	無	無	無	○	—

泊発電所３号炉

表１　系統別最高温度区画の評価結果

対象範囲	防護対象設備	隔離	最大温度	影響評価	判定※1
化学体積制御系（抽出配管）（CVCS 抽出ライン）	3－充てんライン C/V 外側止め弁（3V-CS-175）他	遠隔手動	107℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は比較的穏やかであり，温度検出器や系統パラメータを踏まえて中央制御室から遠隔隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○
補助蒸気系（ASS）	3－BA，WD および LD エバポ補機冷却水戻りライン第１止め弁（3V-CC-351）他	自動	97℃	蒸気漏えいによる環境温度の変化は急であるが，温度検出器で検知し，自動隔離することで防護区画を防護対象設備の確認済耐環境温度以下に制限することができる。	○

※1　耐蒸気性能試験及び直接噴射による影響評価にて，すべての防護対象設備について 120℃の耐蒸気性能を有することを確認している。

相違理由

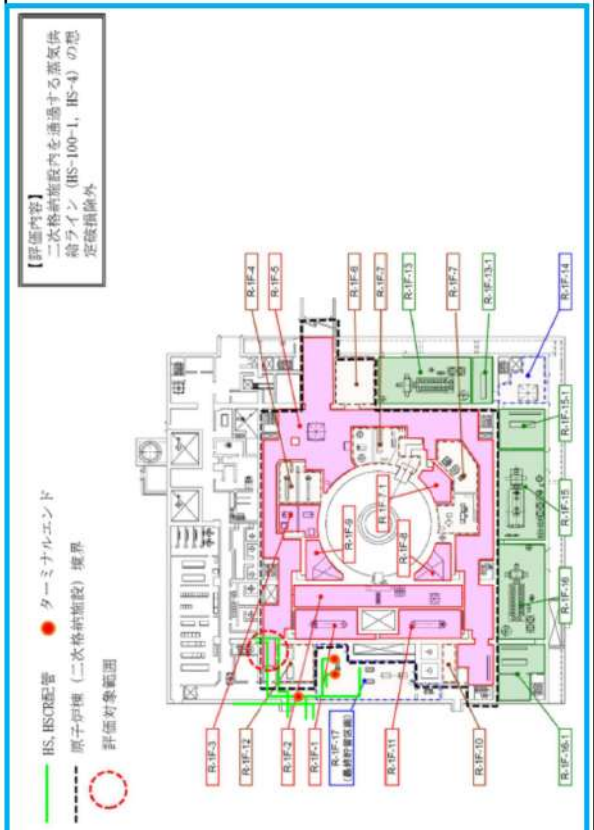
【大飯】
設計方針の相違
プラント設計の相違

【女川】
記載方針の相違
女川では判定にあたって設計で考慮している事項や防護対象設備側の対策等を補足に記載しているが，泊では熱流体解析コードを用いた蒸気拡散解析による防護区画内の温度と防護対象設備の確認済耐環境温度との比較により判断していることから，対策一覧は記載しない。（大飯と同様）

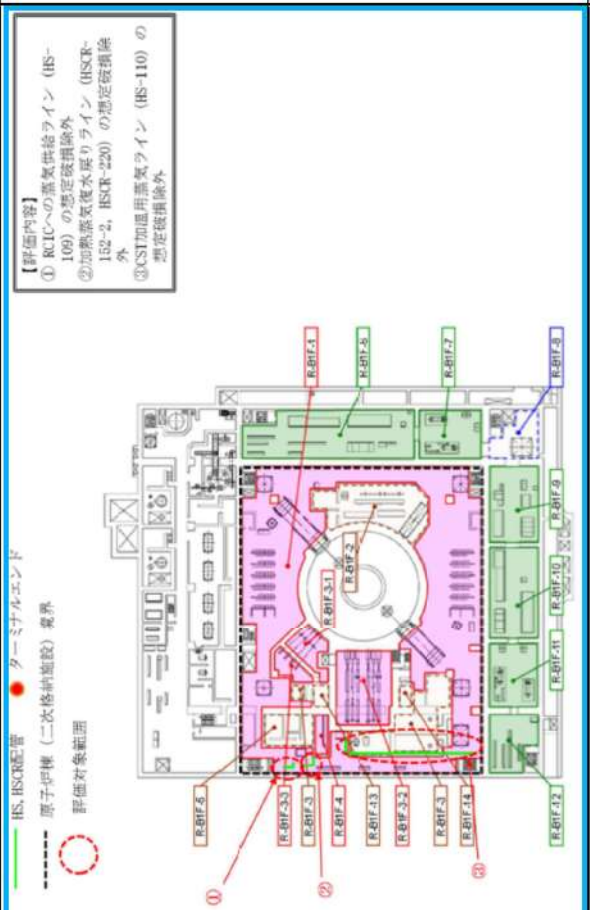
【大飯】
設計方針の相違
プラント設計の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

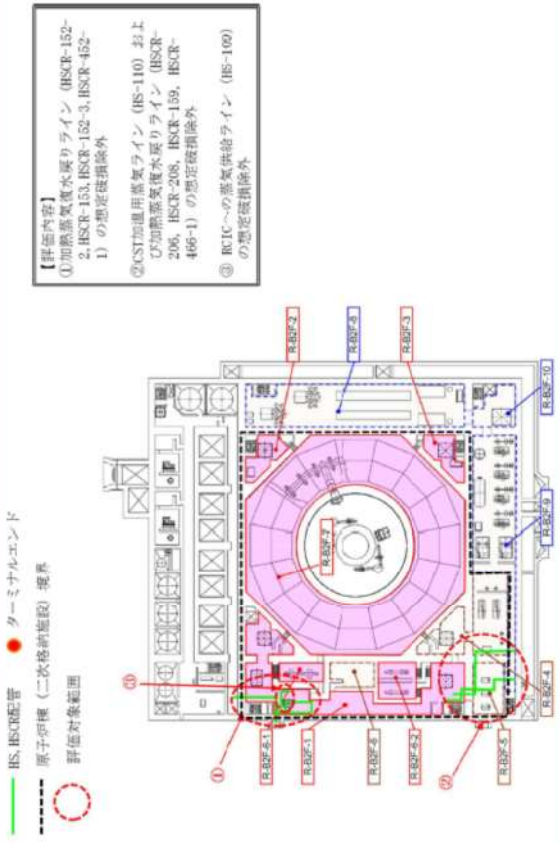
大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 図１ 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価(1/4)		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

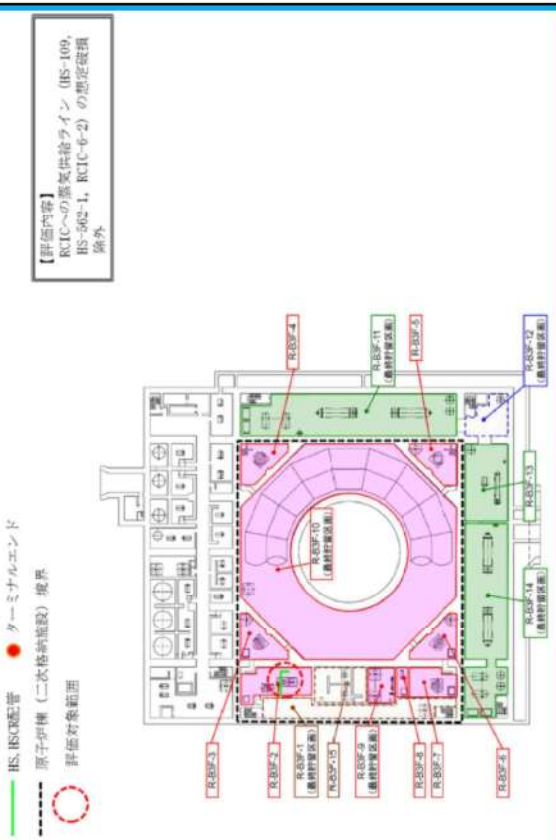
大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 図１ 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価(2/4)		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

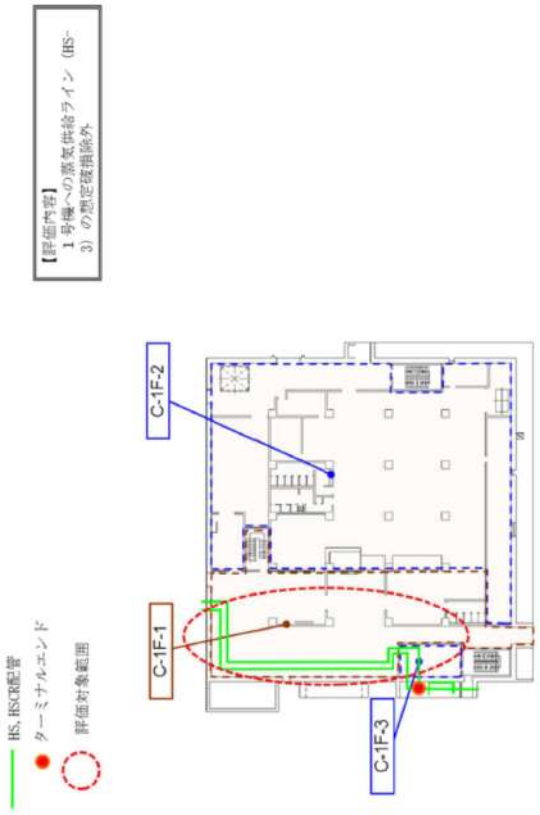
大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 図１ 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価(3/4)		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 図１ 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価(4/4)		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

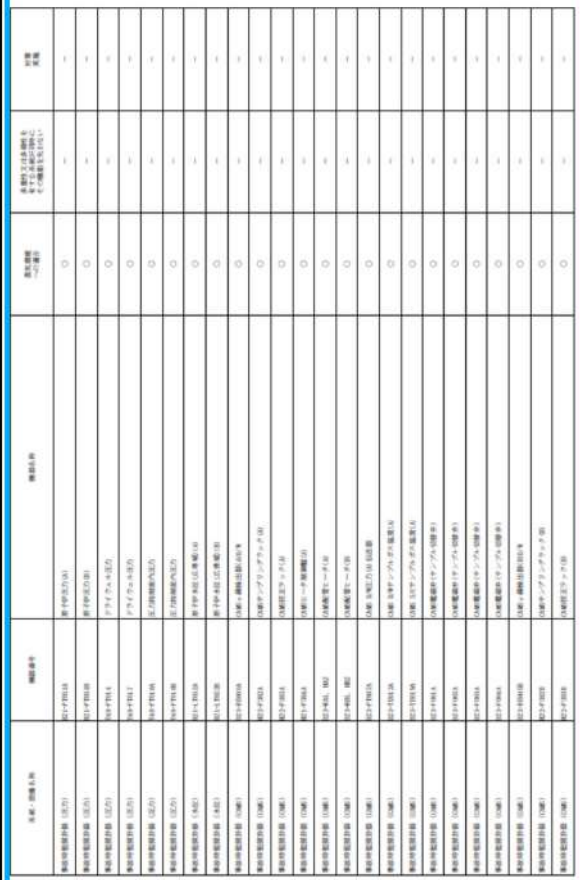
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	 図２ 制御建屋における蒸気影響評価		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (1/13) 		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

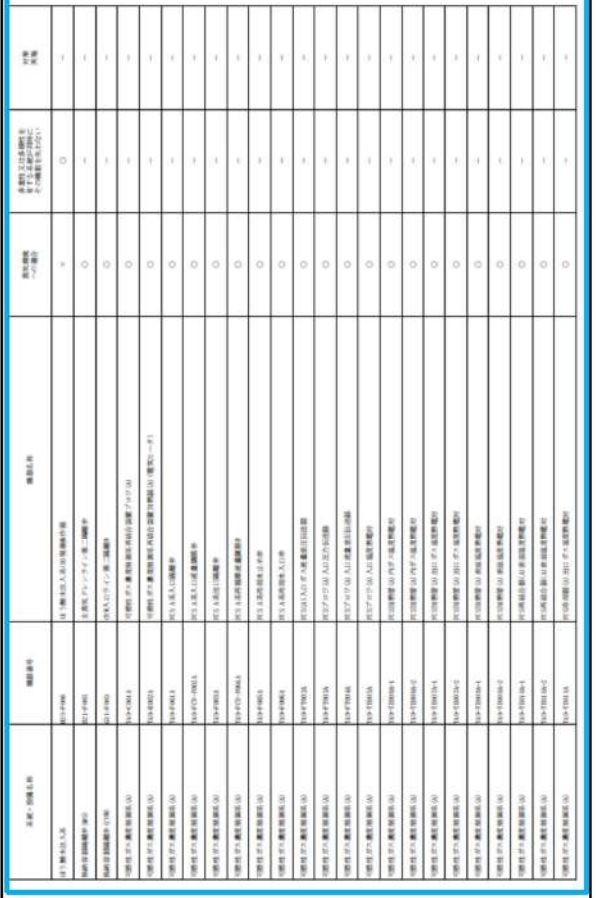
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (2/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

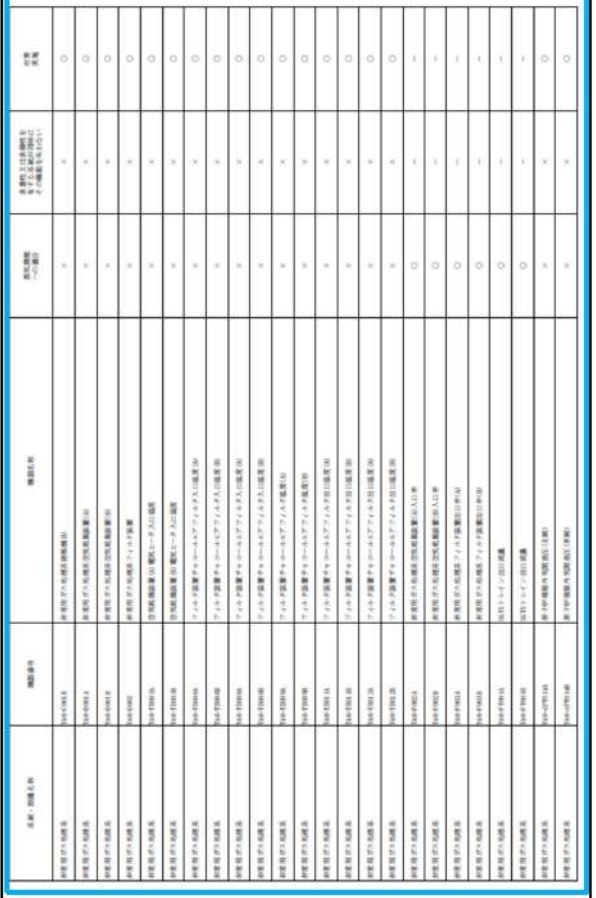
大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (3/13) 		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (4/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (5/13) 		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (6/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (7/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (8/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (9/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (10/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (11/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (12/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
	表２ 想定破損による蒸気影響評価結果（二次格納施設内） (13/13) [illegible]		【女川】 記載方針の相違 ・大飯審査実績の反映

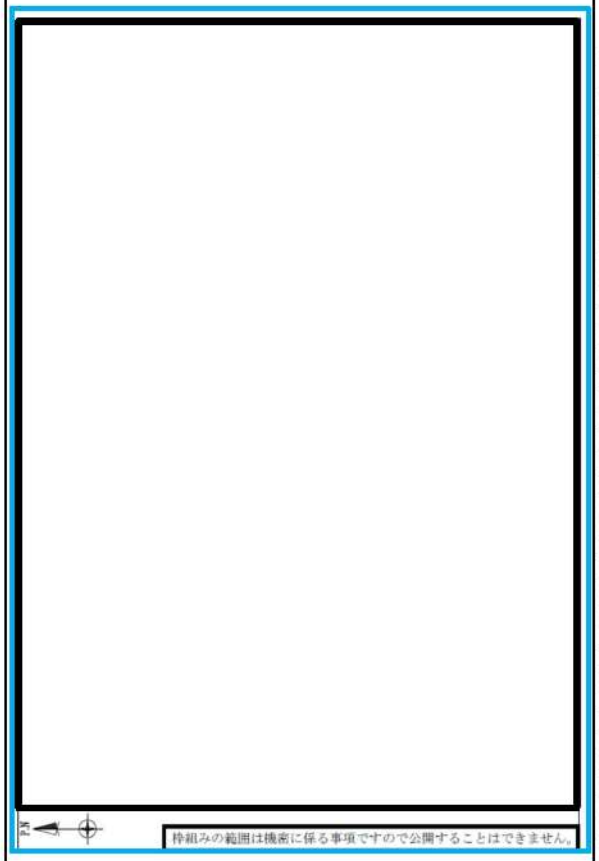
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

添付資料 1.4.2-1

消火活動に係る時間設定の考え方



女川原子力発電所２号炉

添付資料 24

消火水の放水による溢水影響評価対象区画

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（1/5）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量(m³)
R-3F-1	有	屋内消火栓	54
R-3F-3-1	有	屋内消火栓	54
R-3F-3-2	有	屋内消火栓	54
R-3F-7	有	屋内消火栓	54
R-2F-1-1	無（消火器）	－	－
R-2F-1-2	無（消火器）	－	－
R-2F-1-3	無（消火器）	－	－
R-2F-2	有	屋内消火栓	54
R-2F-2-1	無（消火器）	－	－
R-2F-2-2	有	屋内消火栓	54
R-2F-2-3	有	屋内消火栓	54
R-2F-2-4	無（消火器）	－	－
R-2F-2-5	無（消火器）	－	－
R-2F-2-6	無（消火器）	－	－
R-2F-3	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-3-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-M2F-1	有	屋内消火栓	54
R-M2F-2	無（消火器）	－	－
R-M2F-3	有	屋内消火栓	54
R-M2F-5	無（消火器）	－	－
R-M2F-6	無（消火器）	－	－
R-1F-1	無（消火器）	－	－
R-1F-2	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-3	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-4	有	屋内消火栓	54
R-1F-5	有	屋内消火栓	54
R-1F-6	無（消火器）	－	－
R-1F-7	有	屋内消火栓	54
R-1F-7-1	無（消火器）	－	－
R-1F-8	無（消火器）	－	－
R-1F-9	無（消火器）	－	－
R-1F-10	有	屋内消火栓	54
R-1F-11	無（消火器）	－	－
R-1F-12	有	屋内消火栓	54
R-MB1F-1	無（消火器）	－	－
R-MB1F-2	無（固定式消火設備等）	－	－
R-MB1F-3	無（消火器）	－	－

【島根２号炉】2.3.2 消火水の放水による溢水（抜粋）
p9 条-9

消火設備等のうち，消火栓からの放水量については，３時間の放水により想定される溢水量を基本とするが，火災源が小さい場合においては，日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて溢水量を設定する。

泊発電所３号炉

添付資料 20

消火水の放水による溢水影響評価対象区画

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（1/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3RB-A-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-A-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-B-1	有	屋内消火栓	9
3RB-B-2	有	屋内消火栓	9
3RB-B-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-B-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-C-1	有	屋内消火栓	9
3RB-C-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-C-3	有	屋内消火栓	9
3RB-C-4	有	屋内消火栓	9
3RB-C-5	有	屋内消火栓	9
3RB-C-6	有	屋内消火栓	9
3RB-C-51	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-C-52	有	屋内消火栓	9
3RB-C-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-C-N51	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-C-N52	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-3	無（ガス消火設備等）	－	－

相違理由

【女川】
記載表現の相違

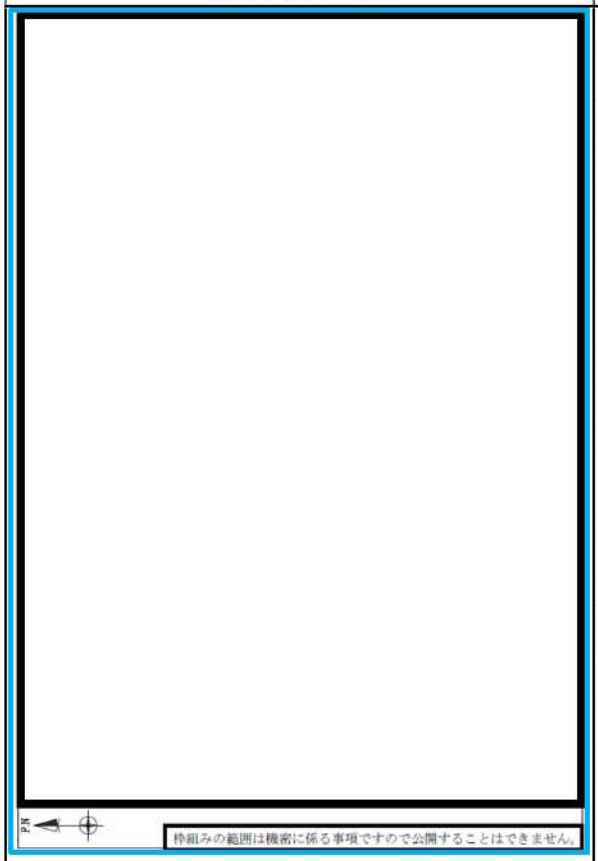
【女川】
設計方針の相違
泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。
（先行PWR，島根と同様）

【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（2/5）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量(m³)
R-MB1F-4	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-1	有	屋内消火栓	54
R-B1F-2	有	屋内消火栓	54
R-B1F-3	有	屋内消火栓	54
R-B1F-3-1	無（消火器）	－	－
R-B1F-3-2	有	屋内消火栓	54
R-B1F-3-3	無（消火器）	－	－
R-B1F-4	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-5	有	屋内消火栓	54
R-B1F-13	無（消火器）	－	－
R-B1F-14	無（消火器）	－	－
R-B2F-1	有	屋内消火栓	54
R-B2F-2	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B2F-3	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B2F-4	有	屋内消火栓	54
R-B2F-5	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B2F-6	無（消火器）	－	－
R-B2F-6-1	有	屋内消火栓	54
R-B2F-6-2	有	屋内消火栓	54
R-B2F-7	有	屋内消火栓	54
R-B3F-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-2	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-3	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-4	有	屋内消火栓	54
R-B3F-5	有	屋内消火栓	54
R-B3F-6	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-7	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-8	有	屋内消火栓	54
R-B3F-9	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B3F-10	有	屋内消火栓	54
R-B3F-15	有	屋内消火栓	54
R-3F-2	無（消火器）	－	－
R-3F-4	無（消火器）	－	－
R-3F-5	無（消火器）	－	－
R-M3F-3-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-4	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-5	無（固定式消火設備等）	－	－

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（2/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3RB-D-51	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-52	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-53	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-54	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-N51	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-D-N52	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-E-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-E-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-E-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-3	有	屋内消火栓	54
3RB-F-4	有	屋内消火栓	54
3RB-F-5	有	屋内消火栓	54
3RB-F-6	有	屋内消火栓	54
3RB-F-7	有	屋内消火栓	54
3RB-F-N1	有	屋内消火栓	9

相違理由

【女川】
記載表現の相違

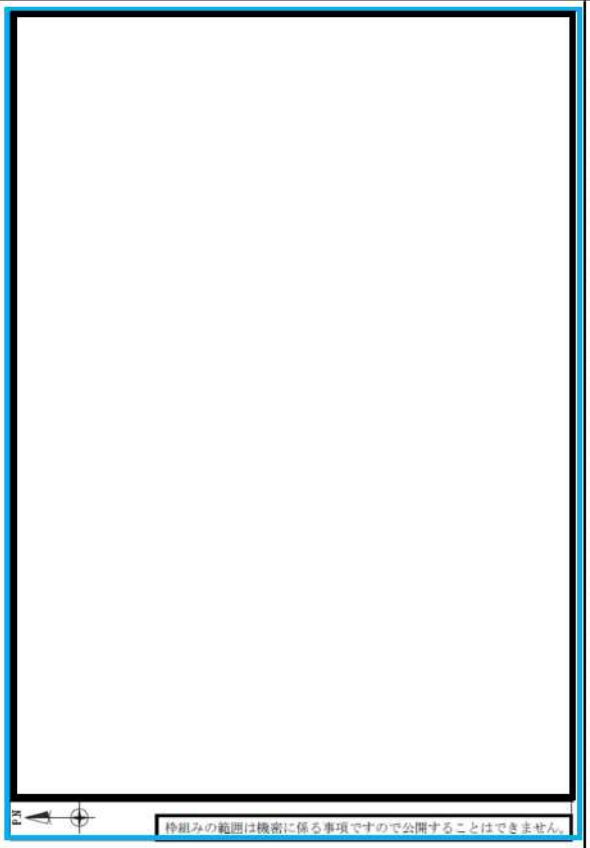
【女川】
設計方針の相違
泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。
（先行PWR，島根と同様）

【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（3/5）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
R-2F-6	無（消火器）	－	－
R-2F-6-1	有	屋内消火栓	54
R-2F-6-2	有	屋内消火栓	54
R-2F-7	無（消火器）	－	－
R-2F-7-1	有	屋内消火栓	54
R-2F-8	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-8-1	有	屋内消火栓	54
R-2F-8-2	有	屋内消火栓	54
R-2F-9	有	屋内消火栓	54
R-2F-11	有	屋内消火栓	54
R-2F-12-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-13-1	無（消火器）	－	－
R-2F-14-1	無（消火器）	－	－
R-2F-15-1	無（消火器）	－	－
R-2F-16-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-17	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-18	無（固定式消火設備等）	－	－
R-2F-19	無（固定式消火設備等）	－	－
R-M2F-7	有	屋内消火栓	54
R-M2F-8	無（固定式消火設備等）	－	－
R-M2F-9	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-13	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-13-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-14	無（消火器）	－	－
R-1F-15	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-15-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-16	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-16-1	無（固定式消火設備等）	－	－
R-1F-17	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-6	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-7	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-8	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-9	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-10	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-11	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B1F-12	無（固定式消火設備等）	－	－
R-B2F-8	無（固定式消火設備等）	－	－

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（3/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3RB-F-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N4	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N5	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N6	有	屋内消火栓	18
3RB-F-N7	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N8	有	屋内消火栓	9
3RB-F-N9	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-F-N10	有	屋内消火栓	9
3RB-F-N51	有	屋内消火栓	9
3RB-G-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-G-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-G-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-G-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-G-5	有	屋内消火栓	54
3RB-G-6	有	屋内消火栓	54
3RB-G-7	有	屋内消火栓	54
3RB-G-8	有	屋内消火栓	54
3RB-G-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-G-N1	無（ガス消火設備等）	－	－

相違理由

【女川】
記載表現の相違

【女川】
設計方針の相違
泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。
（先行PWR，島根と同様）

【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

[redacted]

PS

枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

女川原子力発電所２号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（4/5）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量(m³)
R-B2F-9	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-10	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B3F-11	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B3F-12	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B3F-13	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B3F-14	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-2	有	屋内消火栓	54
C-3F-3	有	屋内消火栓	54
C-3F-4	有	屋内消火栓	54
C-2F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-2F-2	無（固定式消火設備等）	-	-
C-2F-3	有	屋内消火栓	54
C-2F-4	無（固定式消火設備等）	-	-
C-2F-5	有	屋内消火栓	54
C-1F-1	有	屋内消火栓	54
C-1F-2	有	屋内消火栓	54
C-1F-3	有	屋内消火栓	54
C-1F-4	有	屋内消火栓	54
C-MB1F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-2	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-3	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-4	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-5	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-6-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-7	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B1F-8	無（消火器）	-	-
C-B1F-9	有	屋内消火栓	54
C-MB2F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B2F-1	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B2F-2	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B2F-3	有	屋内消火栓	54
C-B2F-4	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B2F-5	無（固定式消火設備等）	-	-
C-B2F-6	有	屋内消火栓	54
SW-1F-1	有	屋外消火栓	141

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（4/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3RB-G-N2	有	屋内消火栓	9
3RB-H-1	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-2	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-3	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-4	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-5	有	屋内消火栓	54
3RB-H-6	有	屋内消火栓	54
3RB-H-7	有	屋内消火栓	54
3RB-H-8	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-9	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-10	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-11	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N1	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N2	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N3	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N4	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N5	有	屋内消火栓	9
3RB-H-N6	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N7	無（ガス消火設備等）	—	—
3RB-H-N8	無（ガス消火設備等）	—	—

相違理由

【女川】

記載表現の相違

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

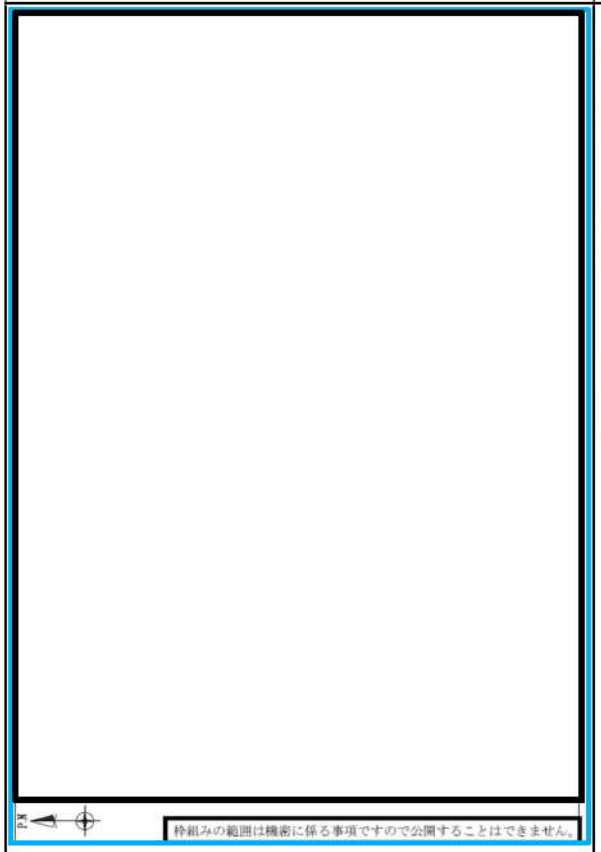
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（5/5）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
SW-1F-2	有	屋外消火栓	141
SW-1F-3	有	屋外消火栓	141
SW-1F-4	有	屋外消火栓	141
SW-1F-5	有	屋外消火栓	141
CST-1	無（消火器）	－	－
CST-2	無（消火器）	－	－
CST-3	無（消火器）	－	－
CST-4	無（消火器）	－	－
CST-5	無（消火器）	－	－
LOT-1	無（消火器）	－	－
LOT-2	無（消火器）	－	－
LOT-3	無（消火器）	－	－
Rw-1F-2-1	無（消火器）	－	－
Rw-1F-2-2	無（固定式消火設備等）	－	－
Rw-1F-2-3	無（固定式消火設備等）	－	－
Rw-1F-2-4	有	屋内消火栓	54

（注）本表で示す消火活動に伴う溢水の有無については，現状の基本設計段階にて想定しているものであり，詳細設計段階にて消火手段に変更が生じた場合は，適宜反映を行う。

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（5/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3RB-H-N9	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-H-N10	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-H-N11	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-H-N12	有	屋内消火栓	9
3RB-J-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-J-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-J-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N4	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N5	無（ガス消火設備等）	－	－
3RB-K-N6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-B-1	無（消火器）	－	－
3AB-B-N51	有	屋内消火栓	54
3AB-B-N52	有	屋内消火栓	54
3AB-C-1	有	屋内消火栓	9
3AB-C-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-C-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-C-N1	有	屋内消火栓	9

相違理由

【女川】
記載表現の相違

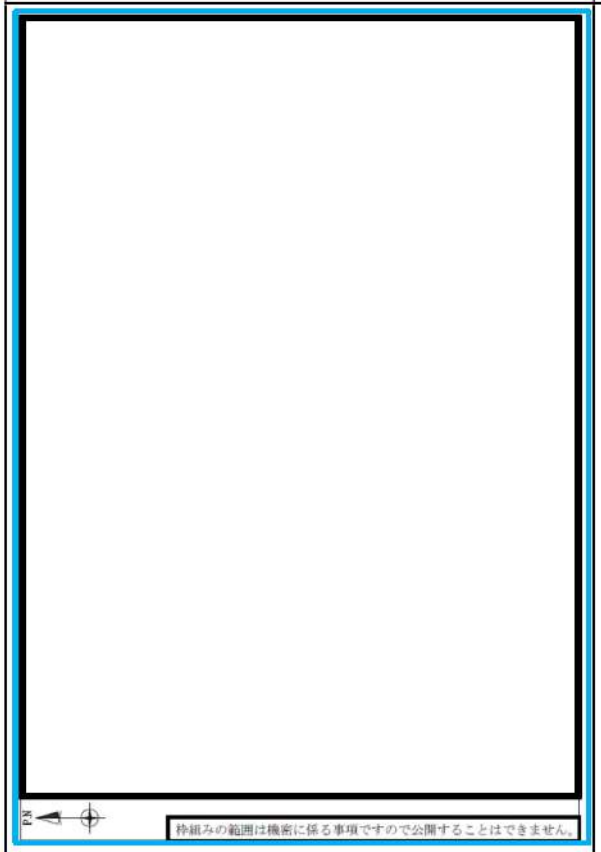
【女川】
設計方針の相違
泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。
（先行PWR，島根と同様）

【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（6/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-C-N2	有	屋内消火栓	9
3AB-C-N3	有	屋内消火栓	9
3AB-C-N4	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N5	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N6	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N7	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N8	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N9	有	屋内消火栓	54
3AB-C-N10	有	屋内消火栓	54
3AB-D-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-3	有	屋内消火栓	18
3AB-D-4	有	屋内消火栓	18
3AB-D-5	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-7	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-8	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-51	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-52	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-53	無（ガス消火設備等）	－	－

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

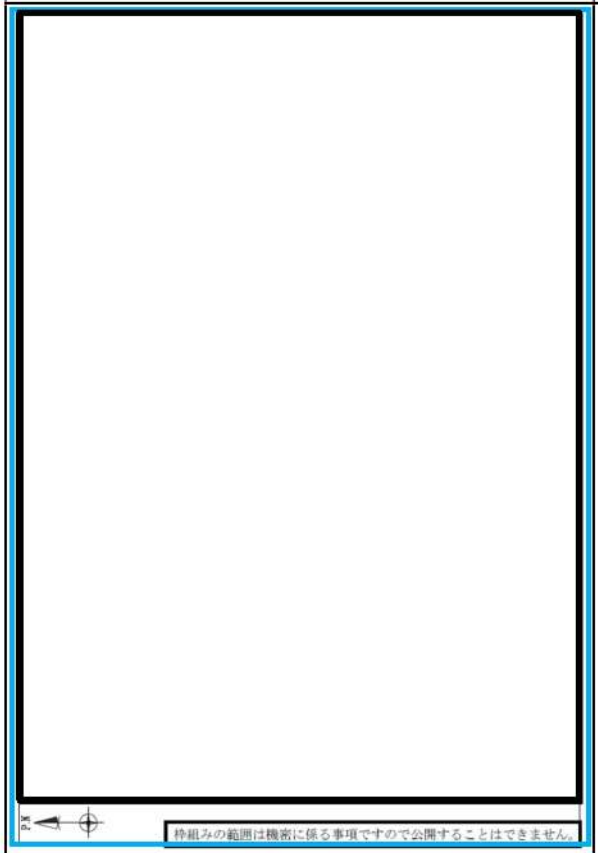
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（7/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-D-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-N51	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-D-N52	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-E-1	有	屋内消火栓	54
3AB-E-2	有	屋内消火栓	54
3AB-E-3	有	屋内消火栓	54
3AB-E-4	有	屋内消火栓	54
3AB-E-5	有	屋内消火栓	54
3AB-E-6	有	屋内消火栓	54
3AB-E-7	有	屋内消火栓	54
3AB-E-8	有	屋内消火栓	54
3AB-E-9	有	屋内消火栓	54
3AB-E-10	有	屋内消火栓	54
3AB-E-11	有	屋内消火栓	54
3AB-E-12	有	屋内消火栓	54
3AB-E-13	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-E-14	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-E-15	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-E-16	無（ガス消火設備等）	－	－

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

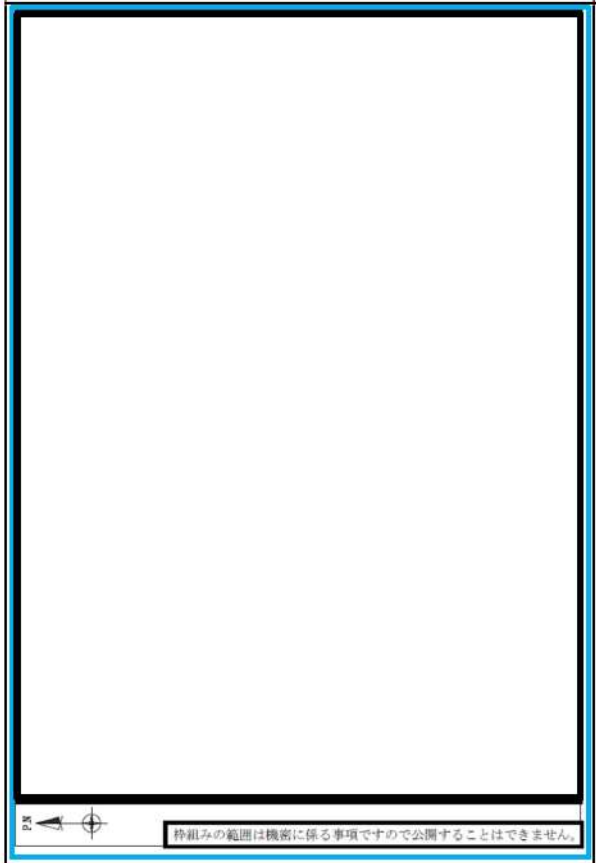
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（8/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-E-17	有	屋内消火栓	54
3AB-E-18	有	屋内消火栓	54
3AB-E-19	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-E-20	有	屋内消火栓	54
3AB-E-N1	有	屋内消火栓	18
3AB-E-N2	有	屋内消火栓	9
3AB-E-N3	有	屋内消火栓	9
3AB-E-N4	有	屋内消火栓	9
3AB-E-N5	有	屋内消火栓	18
3AB-E-N6	有	屋内消火栓	9
3AB-E-N7	有	屋内消火栓	9
3AB-E-N8	有	屋内消火栓	18
3AB-E-N9	有	屋内消火栓	18
3AB-E-N10	有	屋内消火栓	18
3AB-F-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-4	有	屋内消火栓	54
3AB-F-5	有	屋内消火栓	54
3AB-F-6	有	屋内消火栓	54
3AB-F-7	有	屋内消火栓	54

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

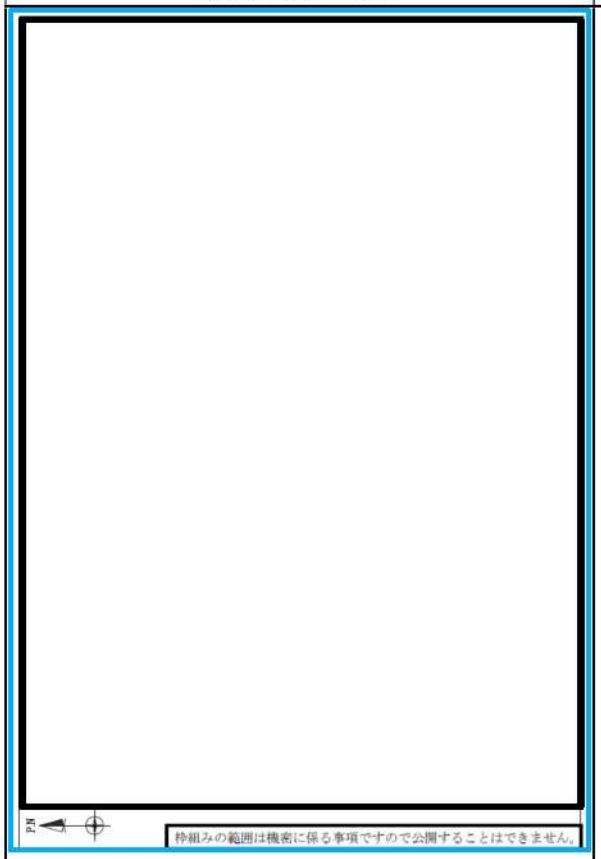
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（9/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-F-8	有	屋内消火栓	54
3AB-F-9	有	屋内消火栓	54
3AB-F-10	有	屋内消火栓	54
3AB-F-11	有	屋内消火栓	54
3AB-F-12	有	屋内消火栓	54
3AB-F-13	有	屋内消火栓	54
3AB-F-14	有	屋内消火栓	54
3AB-F-15	有	屋内消火栓	54
3AB-F-16	有	屋内消火栓	54
3AB-F-17	有	屋内消火栓	54
3AB-F-18	有	屋内消火栓	54
3AB-F-19	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-20	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-21	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-22	有	屋内消火栓	54
3AB-F-23	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-24	有	屋内消火栓	54
3AB-F-25	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-26	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-27	有	屋内消火栓	54

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

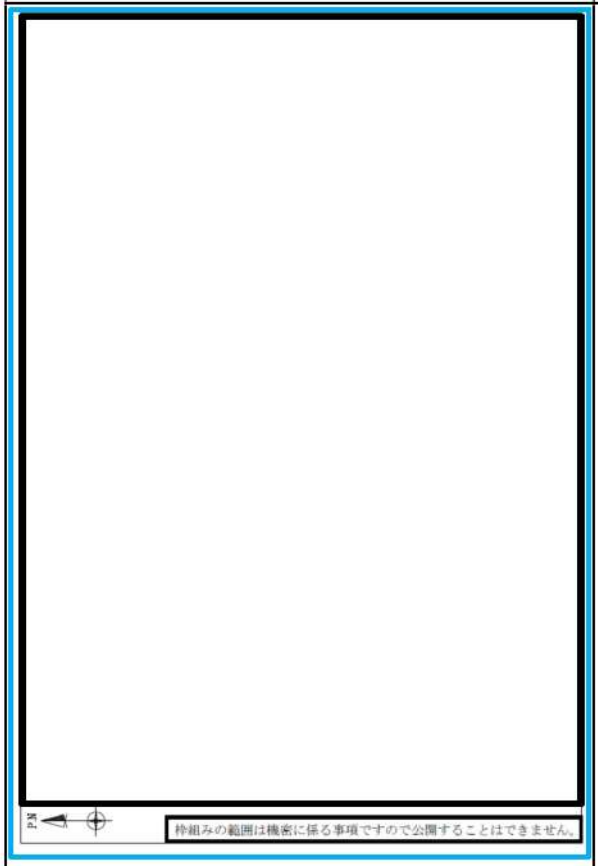
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（10/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-F-28	有	屋内消火栓	54
3AB-F-29	有	屋内消火栓	54
3AB-F-30	有	屋内消火栓	54
3AB-F-31	有	屋内消火栓	54
3AB-F-32	有	屋内消火栓	54
3AB-F-33	有	屋内消火栓	54
3AB-F-34	有	屋内消火栓	54
3AB-F-35	有	屋内消火栓	54
3AB-F-36	有	屋内消火栓	54
3AB-F-37	有	屋内消火栓	54
3AB-F-38	有	屋内消火栓	54
3AB-F-39	有	屋内消火栓	54
3AB-F-40	有	屋内消火栓	54
3AB-F-N1	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-N4	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N5	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N6	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N7	有	屋内消火栓	9

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

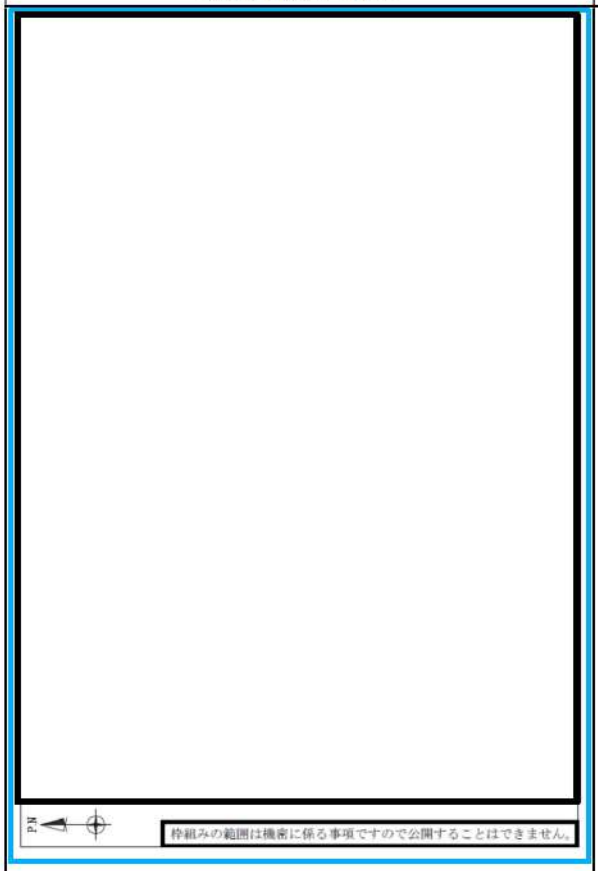
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（11/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-F-N8	無（消火器）	－	－
3AB-F-N9	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N10	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-N11	有	屋内消火栓	9
3AB-F-N12	有	屋内消火栓	18
3AB-F-N13	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-F-N14	有	屋内消火栓	18
3AB-G-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-5	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-7	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-8	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-G-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-1	無（ガス消火設備等）	－	－

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

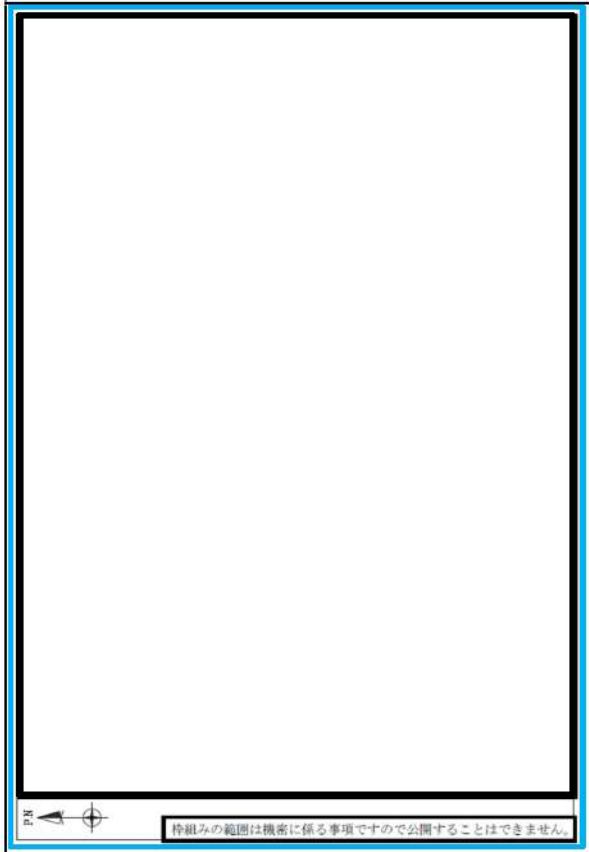
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（12/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-H-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-5	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-7	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-8	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-11	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-12	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-13	有	屋内消火栓	54
3AB-H-14	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-15	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-16	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-17	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N4	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N5	有	屋内消火栓	27

相違理由

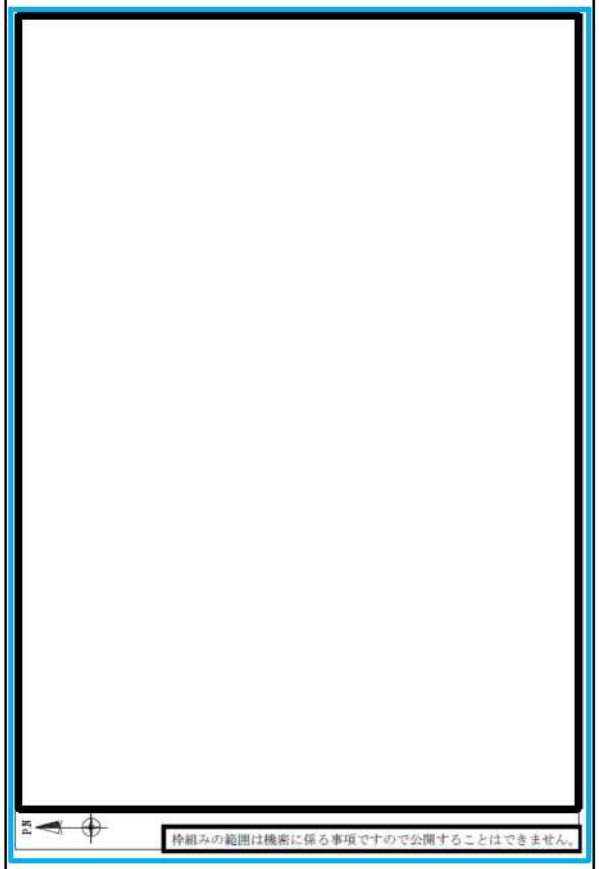
【女川】
設計方針の相違
泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。
（先行PWR，島根と同様）

【大飯】
記載方針の相違
女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（13/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-H-N6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N7	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-H-N10	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-1	有	屋内消火栓	36
3AB-J-2	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-4	有	屋内消火栓	9
3AB-J-5	有	屋内消火栓	9
3AB-J-6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-7	有	屋内消火栓	18
3AB-J-8	有	屋内消火栓	18
3AB-J-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-10	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-11	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-12	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-13	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-14	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-15	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-16	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-17	有	屋内消火栓	9

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

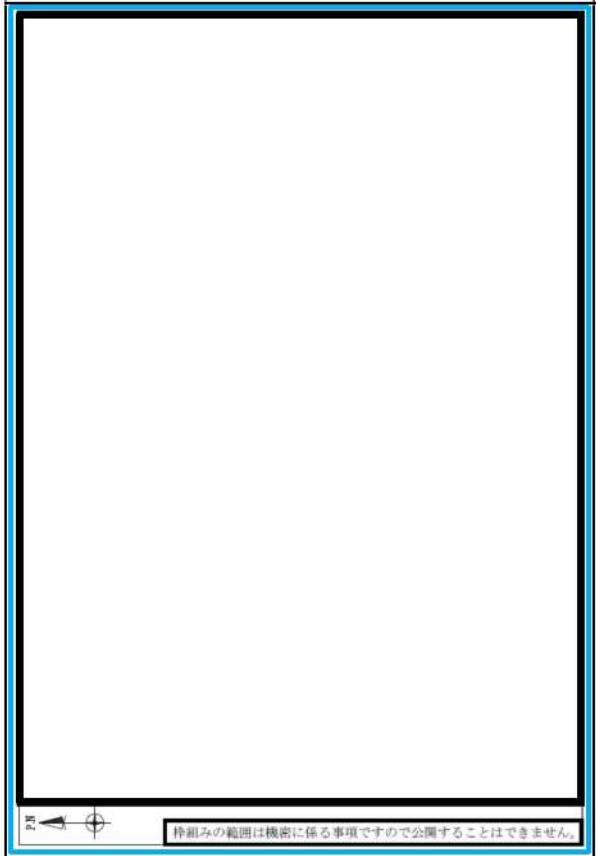
記載方針の相違

女川審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉



女川原子力発電所２号炉

泊発電所３号炉

表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（14/17）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-J-18	有	屋内消火栓	54
3AB-J-19	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-20	有	屋内消火栓	9
3AB-J-21	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-J-22	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-1	有	屋内消火栓	36
3AB-K-2	有	屋内消火栓	36
3AB-K-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-5	有	屋内消火栓	36
3AB-K-6	有	屋内消火栓	36
3AB-K-7	有	屋内消火栓	36
3AB-K-8	有	屋内消火栓	36
3AB-K-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-10	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-11	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-12	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-13	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-14	有	屋内消火栓	36
3AB-K-15	有	屋内消火栓	36

相違理由

【女川】

設計方針の相違

泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。

（先行PWR，島根と同様）

【大飯】

記載方針の相違

女川審査実績の反映

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
		表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（15/17）	【女川】 設計方針の相違 泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。 （先行PWR，島根と同様）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-K-16	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-17	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-18	有	屋内消火栓	54
3AB-K-19	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-20	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-21	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-22	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-23	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-24	有	屋内消火栓	54
3AB-K-25	有	屋内消火栓	54
3AB-K-26	有	屋内消火栓	54
3AB-K-27	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-28	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-29	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-30	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-K-31	有	屋内消火栓	54
3AB-K-32	有	屋内消火栓	54
3AB-K-33	有	屋内消火栓	36
3AB-L-1	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-2	無（ガス消火設備等）	－	－

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
		表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（16/17）	【女川】 設計方針の相違 泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。 （先行PWR，島根と同様）

区画番号	消火活動に伴う溢水の有無	溢水源	溢水量（m³）
3AB-L-3	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-4	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-5	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-6	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-7	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-8	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-9	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-10	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-11	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-51	無（ガス消火設備等）	－	－
3AB-L-N1	有	屋内消火栓	9
3AB-L-N2	有	屋内消火栓	9
3AB-L-N3	有	屋内消火栓	9
3DG-F-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-F-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-F-N3	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-F-N4	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-H-N1	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-H-N2	無（ガス消火設備等）	－	－
3DG-J-N1	無（ガス消火設備等）	－	－

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
		表１ 消火水の放水による溢水影響評価対象区画（17/17） 区画番号：3DG-J-N2 消火活動に伴う溢水の有無：無（ガス消火設備等） 溢水源：－ 溢水量（m³）：－ 区画番号：3CWPB-A-N01 消火活動に伴う溢水の有無：有 溢水源：屋外消火栓 溢水量（m³）：24 区画番号：3CWPB-B-N01 消火活動に伴う溢水の有無：無（ガス消火設備等） 溢水源：－ 溢水量（m³）：－ 区画番号：3CWPB-B-N02 消火活動に伴う溢水の有無：無（ガス消火設備等） 溢水源：－ 溢水量（m³）：－ 区画番号：3CWPB-B-N03 消火活動に伴う溢水の有無：有 溢水源：屋外消火栓 溢水量（m³）：94 区画番号：3CWPB-B-N04-1 消火活動に伴う溢水の有無：有 溢水源：屋外消火栓 溢水量（m³）：94 区画番号：3CWPB-B-N04-2 消火活動に伴う溢水の有無：無（ガス消火設備等） 溢水源：－ 溢水量（m³）：－ 区画番号：3CWPB-B-N05 消火活動に伴う溢水の有無：有 溢水源：屋外消火栓 溢水量（m³）：24 区画番号：3CWPB-B-N06 消火活動に伴う溢水の有無：無（ガス消火設備等） 溢水源：－ 溢水量（m³）：－	【女川】 設計方針の相違 泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定しており，具体的には「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。 （先行PWR，島根と同様）

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
添付資料 1.4.2-1 消火活動に係る時間設定の考え方 1.はじめに 溢水ガイドに記載のとおり発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水を想定し、防護対象設備に対する影響を評価した。 発電所内で生じる異常状態の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火活動のために設置される消火栓からの放水及びスプリンクラーからの放水による溢水を想定した。 消火活動における溢水量については、防護対象設備が設置されているすべての建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）において、消火活動が連続して実施される時間及びスプリンクラーの放水時間を次のとおり見込んで算出した。 発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水のうち、消火栓からの放水、スプリンクラーからの放水及び格納容器スプレイ系からの放水があるが、格納容器スプレイ系からの放水については原子炉格納容器内のみで生じ、防護対象設備は耐環境性があることから、格納容器スプレイ系の動作により発生する溢水により原子炉格納容器内の防護対象設備が安全機能を損なうことはない。なお、格納容器スプレイ系の作動回路は、チャンネルの単一故障を想定してもその機能を失うことがなく、かつ、誤信号発生による誤動作を防止する設計とする。 具体的には、原子炉格納容器圧力異常高の「2 out of 4」信号による自動作動又は中央制御室盤上の操作スイッチ２個を同時に操作することによる手動作動とする設計とする。 (1)消火栓からの放水による溢水 原則として３時間の消火活動を想定して溢水量を算出するが、火災源が小さい場合については、図１のとおり日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」で算出した。なお、ガス消火区画に設置している消火栓をガス消火区画外で使用する場合、ガス消火区画に設置している防護対象設備が機能喪失しないことを確認する。 (2)スプリンクラーからの放水による溢水 火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定(30 分)し、溢水量を算出した。	添付資料 25 消火水の放水における放水量について １．はじめに 火災時の消火活動における消火栓からの放水による発生溢水量は，評価において設定している放水時間に十分な保守性を持っている。 また，消火活動によって防護対象設備に影響を与える可能性を考慮し，消火活動を行う防護対象区画の設備は放水による影響を受けるものとして評価する。	添付資料 21 消火水の放水における放水量について １．はじめに 火災時の消火活動における消火栓からの放水による発生溢水量は，評価において設定している放水時間に十分な保守性を持っている。 また，消火活動によって防護対象設備に影響を与える可能性を考慮し，消火活動を行う防護対象区画の設備は放水による影響を受けるものとして評価する。	【女川】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映。 ・放水時間の考え方について，泊，女川ともに後述している。 ・本資料は消火水からの放水量に関する資料であるため，スプリンクラー，格納容器スプレイ系に関する記載は反映しない。 ・泊では，9条-別添1-4に以下のとおり記載している。 泊では，火災時における溢水源としては，自動作動するスプリンクラーは設置されていないことから，消火栓からの放水を考慮する。 格納容器スプレイについては，単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから（インターロック等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても誤動作しない），溢水源として考慮しない。

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
2.評価方針 (1)消火栓からの放水による溢水 日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針（JEAG4607-2010）」解説-4-5(1)の規定による、火災荷重に対応する等価火災時間を放水時間として評価した。 〔解説－4－5〕「耐 火 壁」 (1) 評 価 法 火災に対する耐火壁能力の評価を行い、耐火壁の機全性を確認する。 a．耐火壁にて囲まれた区域の可燃物の種類及び量から、全可燃物の燃焼時の発生熱量を求める。 b．次式により区域の火災荷重を求める。 $F_{load}=Q_T/A$ ここで　F_{load}：火災荷重（MJ/m²） Q_T　：発生熱量（MJ） A　：区域床面積（m²） c．米国NFPA Handbook（表4－3参照）に示されている火災荷重と等価火災時間より，当該区域の壁が必要とする耐火時間を求める。 d．耐火壁の仕様と当該区域の壁が必要とする耐火時間を比較し，耐火壁が必要な耐火時間を満足していることを確認する。 表4－3　火災荷重と等価火災時間について （米国NFPA Handbook Twentieth Edition より） 	火災荷重 (MJ/m²)	等価火災時間 (h)
454	0.5
909	1.0
1,360	1.5
1,820	2.0
2,730	3.0
3,640	4.5
4,320	7.0
4,910	8.0
5,680	9.0 | 図１　「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」抜粋 (2)スプリンクラーからの放水（誤作動を含む）による溢水 スプリンクラーからの放水量については、火災防護に関する基本方針で示されている値を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定（30分）し、溢水量を算出した。また、スプリンクラーには、自動起動及び手動起動があるが、溢水影響評価においては、両者を区別せずに溢水量を算定した。			【大飯】 記載箇所の相違 女川と同様に後段にて評価放水量を記載する。その際に，大飯と同様に等価時間について，JEAG4607-2010を基に算出しているということを記載する。 【大飯】 設計方針の相違 泊では，防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
ｂ．時間評価における保守性について 時間評価における保守性については、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、(1)現場到着時間の設定について、現場到着までの時間が長くなるように、中央制御室からの移動時間が長いＥ．Ｌ．＋26.0mエリアを選定し評価を実施した。さらに、(2)スプリンクラーの放水時間について、運転員は現場到着後に火災状況をすぐに確認でき、現場より中央制御室の運転員に予作動弁閉止（閉止時間 約１分）を依頼して、放水の停止を行うので溢水量の低減は可能であるが、余裕を見てスプリンクラーの放水停止までの時間を 10 分と設定した。			【大飯】 設計方針の相違 泊では，防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。

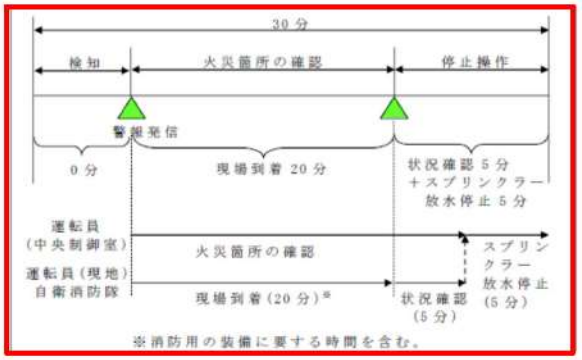
泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
3. 放水時間等の設定 (1)消火栓からの放水による溢水 消火活動における消火栓からの放水による放水量については、溢水ガイドに記載のとおり、管理区域の原子炉周辺建屋の各溢水防護区画については、放水時間を３時間に設定するとともに、非管理区域の原子炉周辺建屋及び制御建屋内の各溢水防護区画については、火災源を考慮した放水時間を設定した。 放水時間の設定における基本的な考え方は以下のとおり。 ○基本的な考え方： 消火栓からの放水は、そのエリアにおける火災荷重に対する等価火災時間を用いる。火災評価においては区画内の可燃性物質の火災荷重（単位面積当たりの発熱量）と燃焼率（単位時間単位面積当たりの発熱量）から、各火災区画の等価火災時間（潜在的火災継続時間）を求め、求められた等価火災時間からの区画における耐火壁の耐火能力が十分であることを評価する。この等価火災時間により火災が継続する時間を概算できることから、火災荷重より求められた等価火災時間を放水時間として評価することは可能であると考えられる。 ○3 時間放水エリア： 管理区域の原子炉周辺建屋での消火活動においては、通路部に広大なスペースがあり、火災源も広がる。よって消火活動を行う際は、火災源の遠方から放水する必要があり、消火活動も難しいものと想定されるため、溢水ガイドに沿って３時間の放水時間にて評価した。 ○火災荷重を用いて評価するエリア： 非管理区域の原子炉周辺建屋及び制御建屋においては、電気盤室等通路が、狭隘なスペースになっており火災源が広がらないため、火災源に接近して消火活動をしやすいと考えられることから、溢水ガイドに記載の「火災源が小さい場合」に該当すると判断し、現実的な評価として、各室の火災荷重を用いて JEAG4607-2010 を参考に等価火災時間を用いて評価した。	２．消火水放水量について （１）消火水評価の放水時間に関する保守性について 消火活動による放水時間は，火災荷重より求められる等価火災時間によらず一律 3 時間として設定している。この放水時間の 3 時間は，「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」で規定される「3 時間以上の耐火能力を有する耐火壁」からなる時間であり，消火時間に対して十分保守性を持たせている。 【島根２号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添 1-添付 6-1 より抜粋 (2) 消火栓からの溢水流量について a．消火栓からの放水時間に関する保守性について 消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，3 時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。	２．消火水放水量について （１）消火水評価の放水時間に関する保守性について 消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。	【女川】 設計方針の相違 ・泊は火災源の大きさを考慮し，「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出している。（先行PWR，島根と同様） ・「消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。」という島根の記載を踏襲する。 【島根】 記載表現の相違 【大飯】 記載方針の相違 島根審査実績の反映

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
(2)スプリンクラーからの放水による溢水 消火活動におけるスプリンクラーからの放水による放水量については、火災防護に関する基本方針で示されている値を用いるとともに、火災発生時の中央制御室での警報発信後から、現場到着までの時間、状況確認及びスプリンクラーの放水停止までの時間に保守性を考慮して設定(30 分)し、溢水量を算出した。 具体的には、図２に示す。 ａ．火災発生時の対応に要する時間  図２　火災発生時の対応に要する時間 【島根２号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添 1-6-1 より抜粋 6.1 溢水量の算定 (2) 放水時間 消火活動における消火水の放水時間は，評価ガイドに従い原則３時間に設定した。ただし，火災源の小さい一部の区画については，日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表 4-3 火災荷重と等価時間について)に従い，放水時間を設定した。	（２）評価放水量について 消火活動における消火栓からの放水量は，消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130ℓ／分以上，屋外消火栓：350ℓ／分以上）であることを考慮し，保守的に以下のとおり設定した。	（２）評価放水量について 消火活動における消火栓からの放水量は，消防法施行令により消火栓に要求される放水量（屋内消火栓：130L/min 以上，屋外消火栓：350L/min 以上）であることを考慮し，保守的に設定した。 また，消火活動における消火水の放水時間は，溢水ガイドに従い原則３時間に設定した。ただし，火災源の小さい一部の区画については，日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表 4-3 火災荷重と等価時間について)に従い，放水時間を設定した。	【大飯】 設計方針の相違 泊では，防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。 【女川】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 泊は火災源の大きさを考慮し，「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算出していることについて，島根審査実績を参照し記載している。 （先行PWR，島根と同様）

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備，運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現，設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
(3)溢水量 溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。 ・溢水量（屋内消火栓）＝15.6［m³/h］× 放水時間 ・溢水量（屋外消火栓）＝42.0［m³/h］× 放水時間 【島根２号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添 1-添付 6-1 より抜粋 ○評価上の溢水流量　→　屋内　260 l/min（130 l/min×2 倍） 屋外　700 l/min（350 l/min×2 倍）	・屋内消火栓からの溢水量 150ℓ／分×2 箇所×3 時間＝54m³ ・屋外消火栓からの溢水量 390ℓ／分×2 箇所×3 時間≒141m³	・屋内消火栓からの溢水量 溢水量（屋内消火栓）＝150［L/min］×２箇所×放水時間 ・屋外消火栓からの溢水量 溢水量（屋外消火栓）＝390［L/min］×２箇所×放水時間	【女川】 記載方針の相違 等価時間を設定している島根の審査実績を参照し，屋内消火栓及び屋外消火栓からの溢水量について記載している。 記載表現の相違 【島根】 記載方針の相違 記載の構文については，女川を参照し記載している。 設計方針の相違 放水量の設定による相違。
	（３）実放水量について 消火水の放水による溢水源の想定に当たっては，単一箇所での異常状態（火災）の発生を想定していることから，管理区域内の屋内消火栓１箇所からの放水量の確認を行った。確認結果を表 1 に示す。 表１ 放水量確認結果 放水量 測定結果１（O.P.+11.0m）　246.4 ℓ／分 測定結果２（O.P.－8.1m）　264.9 ℓ／分 確認結果を踏まえ，保守的に 300ℓ／分として３時間放水量を算出すると，（２）と同様に 54m³ になることから，（２）によって算出した評価放水量は妥当であると判断できる。	（３）実放水量について 消火水の放水による溢水源の想定に当たっては，単一箇所での異常状態（火災）の発生を想定していることから，管理区域内の屋内消火栓１箇所からの放水量の確認を行った。確認結果を表 1 に示す。 表１ 放水量確認結果 放水量 測定結果１（T.P.2.8m）　251.7L/min 測定結果２（T.P.33.1m）　246.8L/min 確認結果を踏まえ，保守的に 300L/min として３時間放水量を算出すると，（２）と同様に 54m³ になることから，（２）によって算出した評価放水量は妥当であると判断できる。	【女川】 設計方針の相違 ・設置高さはプラント設計による相違 ・放水量は試験結果による相違 【女川】 記載表現の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

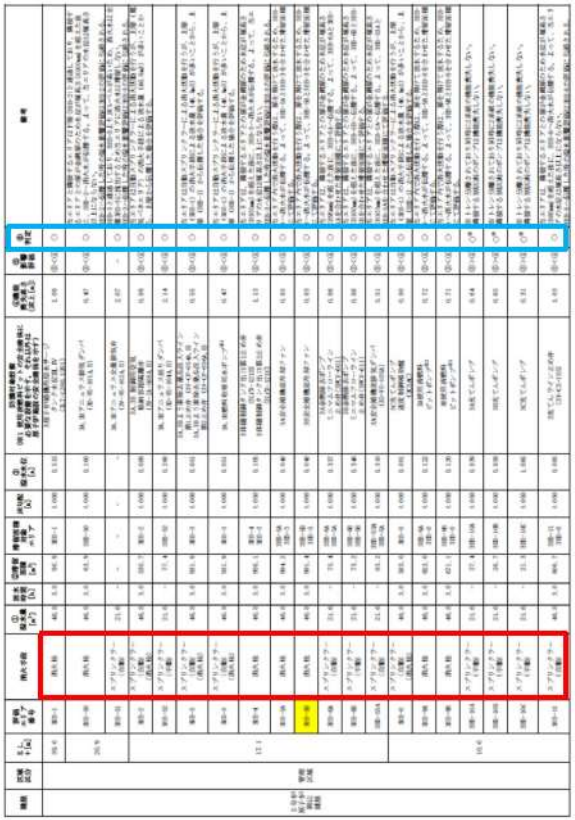
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

添付資料 1.4.2-2

消火活動に係る放水による溢水影響評価

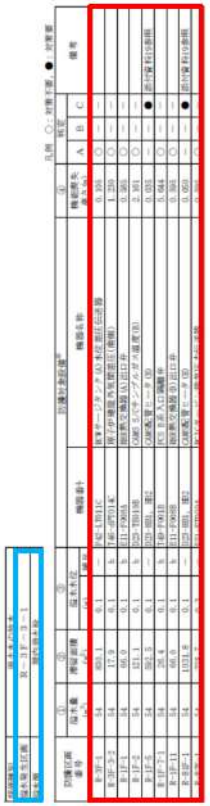
大飯３号炉　消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(1/4)



女川原子力発電所２号炉

添付資料 26

消火水の放水による溢水影響評価結果

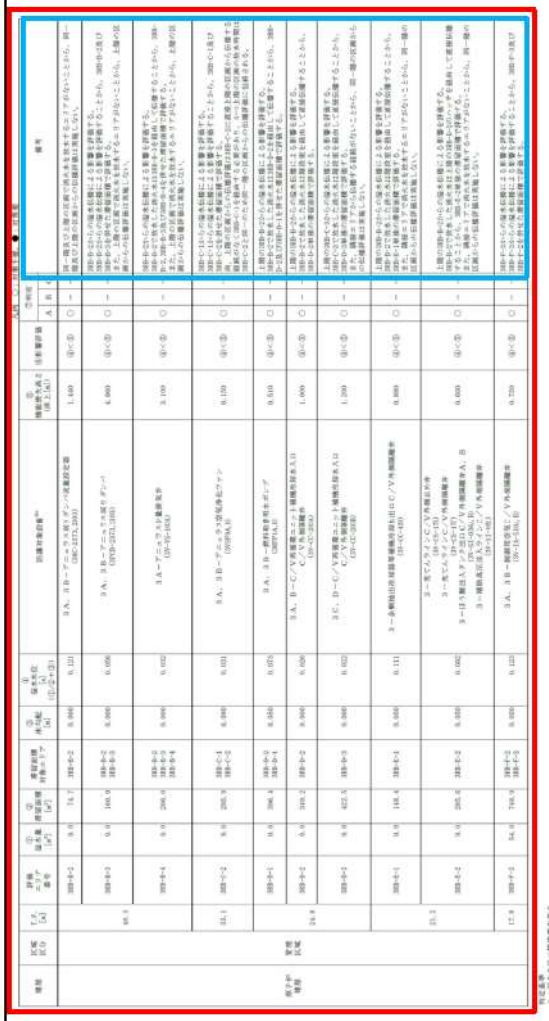


泊発電所３号炉

添付資料 22

消火水の放水による溢水影響評価結果

表１ 没水影響評価結果整理表（消火水）（1/12）



相違理由

【女川・大飯】

記載表現の相違

【大飯】

設計方針の相違

泊では，防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。

記載方針の相違

女川審査実績の反映

【女川】

記載方針の相違

・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方，泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに，最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。（大飯と同様）

・泊では，開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合，表の備考欄に記載する。（消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし）

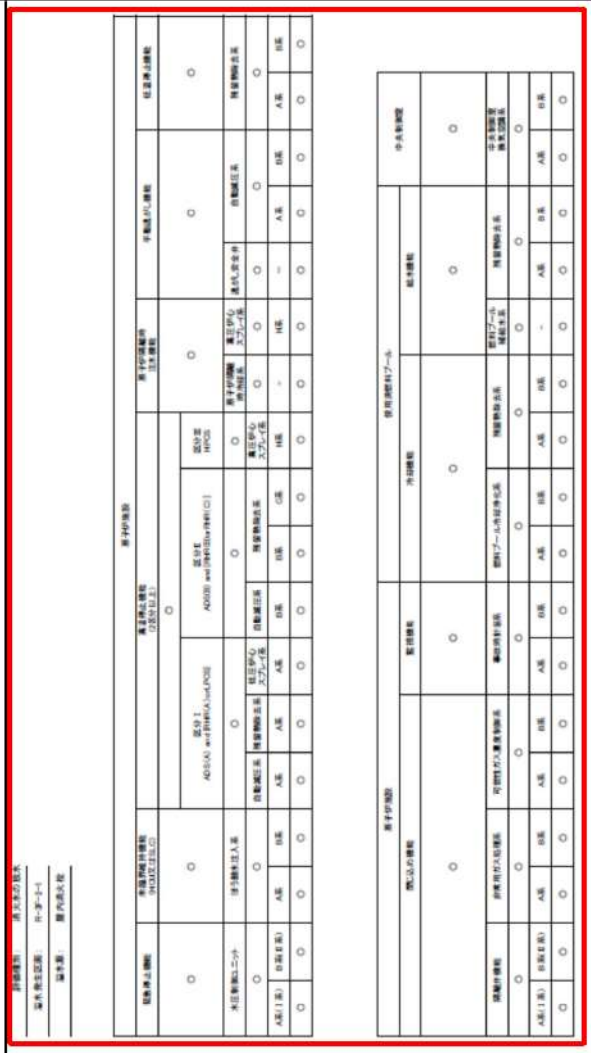
設計方針の相違

・泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。（すべての先行PWR，島根と同様）

・プラント設計の違いによる評価結果の相違

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

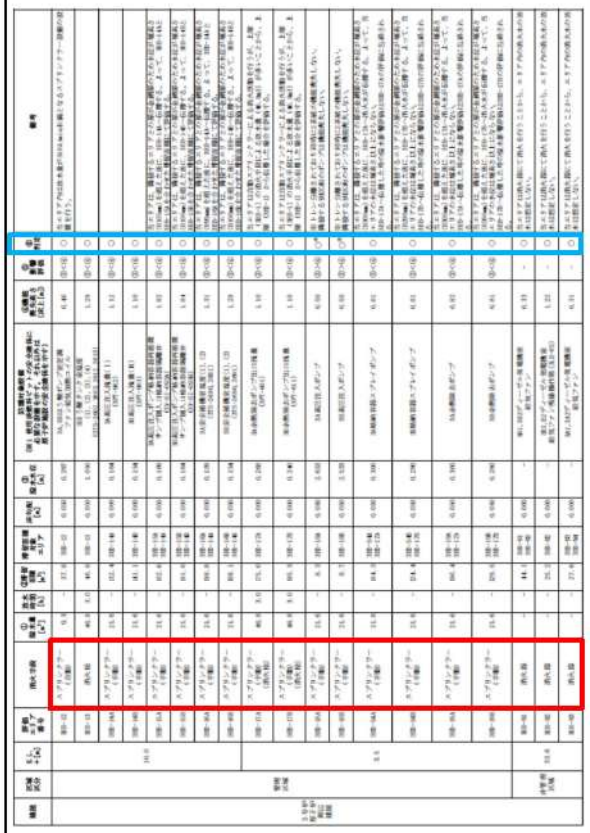
大飯発電所３／４号炉	女川原子力発電所２号炉	泊発電所３号炉	相違理由
			【女川】 設計方針の相違 ・女川では，同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり，判定表による評価を実施している。 ・泊の消火栓からの放水による没水影響評価では，すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため，判定表による評価は必要ない。

泊発電所３号炉　ＤＢ基準適合性　比較表

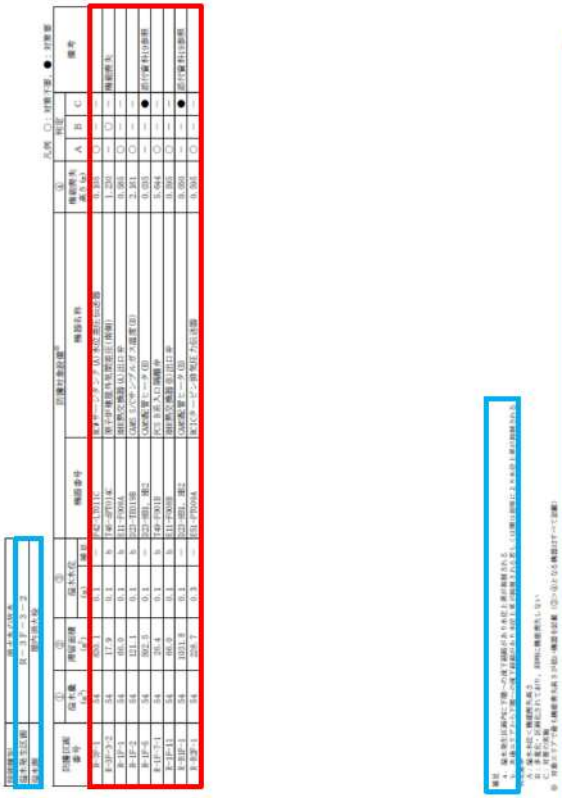
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所３／４号炉

大飯３号炉　消火活動に係る放水による溢水影響評価結果(2/4)

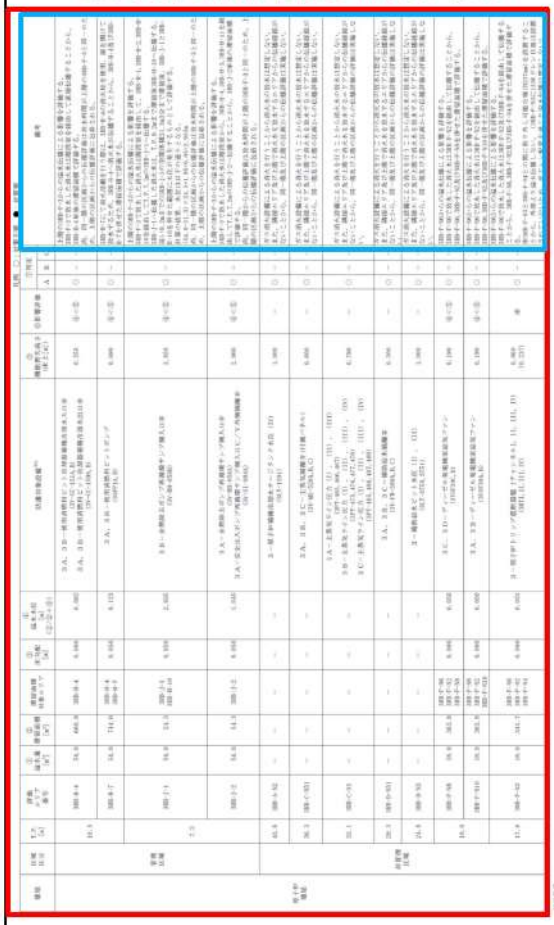


女川原子力発電所２号炉



泊発電所３号炉

表１ 没水影響評価結果整理表（消火水）（2/12）



相違理由

【女川・大飯】

記載表現の相違

【大飯】

設計方針の相違

泊では，防護対象設備が設置されている建屋にスプリンクラーは設置されていない。

記載方針の相違

女川審査実績の反映

【女川】

記載方針の相違

・女川は溢水が発生する区画を起点として評価をまとめている。一方，泊では評価エリアごとに溢水評価をまとめている。評価エリアごとに，最も溢水影響が厳しくなるケースを区画ごとに抽出した結果を表として示す。（大飯と同様）

・泊では，開口部等からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合，表の備考欄に記載する。（消火水の放水による溢水影響評価結果では該当なし）

設計方針の相違

・泊では，消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，３時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。（すべての先行PWR，島根と同様）

・プラント設計の違いによる評価結果の相違